

2003(平成15)年度

講義計画

経済学部

 駒澤大学

講 義 内 容

目 次

経済学科フレックス A・商学科

I 全学共通科目

1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	25
3	外国語科目	101
4	保健体育科目	239

II	専門教育科目	285
----	--------	-----

III	他学部履修科目	433
-----	---------	-----

IV	「日本語」・「日本事情」科目	479
----	----------------	-----

経済学科フレックス B

I 全学共通科目

1	宗教教育科目	497
2	教養教育科目	505
3	外国語科目	535
4	保健体育科目	567

II	専門教育科目	583
----	--------	-----

III	他学部履修科目	667
-----	---------	-----

経済学科フレックス A・商学科	全学共通科目	宗教教育
	全学共通科目	教養教育
	全学共通科目	外国語
	全学共通科目	保健体育
経済学科フレックス B	全学共通科目	専門教育
	全学共通科目	他学部履修科目
	全学共通科目	「日本語」
	全学共通科目	「日本事情」

経済学科フレックスA

商 学 科

I 全 学 共 通 科 目

1 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間（経A）	〈吉村 誠〉	11
仏教と人間（経A）	〈金沢 篤〉	12
仏教と人間（経A）	〈岡部 和雄〉	12
仏教と人間（経A）	〈永井 政之〉	13
仏教と人間（商）	〈飯塚 大展〉	13
仏教と人間（商）	〈石井 修道〉	14
仏教と人間（商）	〈片山 一良〉	14
仏教と人間〔再クラス〕	〈熊本 英人〉	14
仏教と人間〔再クラス〕	〈木村 誠治〉	15
仏教と人間〔再クラス〕	〈吉津 宜英〉	15
仏教と人間〔再クラス〕	〈晴山 俊英〉	16
文化と宗教	〈長谷部 八朗〉	16
社会と宗教	〈池上 良正〉	17
自然と宗教	〈小川 順敬〉	17
坐禅	〈木村 誠治・熊本 英人〉	18

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>	経A1必	4

講義のねらい

仏教の礼拝対象である仏像には、信者でなくともその美に心打たれることがある。そこにはいかなる思いが託されているのだろうか。また寺院には、神秘的なマンダラを前に呪文を唱え、あるいは清寂たる庭を背に黙座する人がいる。それらはいったい何を象徴しているのだろうか。本講義では、代表的な仏教芸術を手がかりに、美に託された思想の源流を求めて、遠くブッダの時代へとさかのぼる。その思想を未来へと投じたとき、私たちの人生や来るべき世界はどのように照らされるのだろうか。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は仏教のイコノロジーについて。仏・菩薩への信仰を分析し、その背後にある思想を読み取ってゆく。後期は仏教のシンボリズムについて。密教と禅の象徴形式について考察し、それらの意味を読み解いてゆきたい。年間を通じて、日本人の人間や社会に対する見方が、仏教のそれに裏打ちされていることを発見するであろう。さらに日本人が培ってきた感性や思惟が、これからの生活や社会に何らかの意味を持つのか否か、持つとすればどのようなありかたにおいてか、という問題について考えをめぐらせたい。

履修上の留意点

必修科目であるが、この機会を前向きにとらえ、日本の文化史・美術史の教養として、宗教学・仏教学の入門としてなど、自分なりの目標を立てて授業に臨んでもらいたい。出席励行。

成績評価の方法

出席状況とレポートによる総合評価。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

授業中に随時紹介する。

その他

授業は講義形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	かな ざわ あつし 金 沢 篤	経A1必	4

- 講義のねらい

ほぼ2,500年前に遥か遠隔の地インドで成立をみた仏教の基本と、それが持つ多様な側面を易しく概説する。教科書については教場で指示するが、人間にとっての大事な資源たる仏教にともかくも関心を持つことから始めたい。
- 成績評価の方法

成績評価は、夏・冬の年2回実施するレポート課題と年度末の定期試験によって行うが、出席状況に基づく平常点を考慮する場合もある。
- 教科書

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	おか べ かず お 岡 部 和 雄	経A1必	4

- 講義のねらい

仏教の全体像をなるべくわかりやすく講義する。現代において仏教を学ぶことの意義をたえず念頭におきたい。
- 講義の内容・授業スケジュール

講義のはじめに提示する。
- 成績評価の方法

年度末の試験による。
- 教科書

特定のものを用いない。
- 参考書等

必要があれば講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	ながい まさし 永井 政之	経A1必	4

講義のねらい

入学式ではじめて知った方もあろうが、駒澤大学は日本仏教の宗派の一つである曹洞宗が設立の母体になっている。したがって4年間の大学での生活の中では、さまざまな機会に「宗教的」なものに触れるであろう。

ところで学生諸君は、「宗教」とか、「仏教」という言葉を聞いたとたん、「辛気くさいもの」「前近代的なもの」「怪しげなもの」などの、漠然とした感想を持たれるものと想像する。実際、ここ1年間の、宗教、特に「仏教」をとりまくさまざまな事件—オウム真理教にせよ宗教法人法の改正にせよ—は、興味の対象とはなっても、そのイメージを好転させる方向にはないようである。現代人の多くが、宗教に関心を失った原因の過半は、既成の教団にその責任があるように私は考えている。したがって若者が宗教に無関心であったり、あるいは過度の期待を抱くことを批判することはできない。

ただ今から2,500年前にシャカによって総称された「仏教」は、けっして「おどろおどろしい」ものではないし、前近代的なものでもない。きわめて理性的な教えといつてよいであろう。そんなオーソドックスな「仏教」そして「禅」の立場を考えてみたい。

なお「宗教教育科目」という名称ではあるが、「個人の信仰」の領域にまで踏み込んで信仰を強制するものではない。

講義の内容・授業スケジュール

広い意味での「宗教」を考えることから、「仏教」はなにをめぐしているか、「禅」の立場はいかなるものかを、歴史に生きた人々を具体的に挙げつつ見ていきたい。

履修上の留意点

授業には必ず出席すること（出席をとります）。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

教科書

必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を指示する。課題図書は購入すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	いいづかひろのぶ 飯塚 大 展	商1必	4

講義のねらい

日本仏教史上にあらわれた個性的な人物に主眼を置いて、その時代的な背景を考えながら、仏教と人との関係を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

日本仏教史の概略を明らかにし、その枠組を設定した上で、個々の仏教者の生き方とその主張を講義する。

履修上の留意点

出席は毎講義とるので、無断欠席をしないこと。やむなく欠席する（した）場合は、事前・事後に欠席届を提出すること。

成績評価の方法

レポート（夏休み後に提出）及び年度末試験で評価するが、出席数を考慮に入れる。

教科書

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	いし い しゅう どう 石 井 修 道	商1必	4

講義のねらい 「仏教と人間」は、本学の宗教教育科目である。宗教、特に仏教は何を説き、その教えが一人一人とどうかかわるかを学びたい。

仏教の教えを基本に、道元禪師の教えとそれらがどのように関連をもつのか。また、道元禪師は、中国の禪者をどのように取り上げ、自己の主張にどのように継承されているかを具体的に明らかにして行きたい。

特に道元禪師の説かれる「坐禪」は、如何なる特色があるか、それがわれわれの生き方に何を教えているかを述べたい。

講義の内容・授業スケジュール ①宗教と自己との関係。②釈尊の伝記と教え（七回）。③中国禪者の個性と特色（六回）。④日中交流と仏教（三回）。⑤道元の伝記と思想（五回）。⑥坐禪。⑦曹洞宗（二回）。

履修上の留意点 「仏道をならうとは、自己をならうなり」（道元）をいかに主体的に考えるかを常に心がけて欲しい。

成績評価の方法 レポート（夏休み後に提出）20点と学年末試験80点満点で評価し、出席数も考慮する。

教科書 鎌田茂雄『仏陀の観たもの』（講談社学術文庫）273円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	かた やま いち ろう 片 山 一 良	商1必	4

講義のねらい 人間にとって宗教とは何かを考える。宗教としての仏教とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール 前期は宗教一般について、すなわち宗教と呪術、神話と儀礼、民族宗教と世界宗教などについて講じる。後期は仏教の基本的な教えについて、すなわち縁起と四諦、智慧と慈悲、戒と禪などについて講じる。いずれも現代の我々にある身近な問題の中で取り上げ、考えたい。

履修上の留意点 「人間学」として把握し、学ぶことが望ましい。

成績評価の方法 レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書 とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	くま もと えい にん 熊 本 英 人	全学科2・3・4年	4

講義のねらい 日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール 仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブッダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を理解してもらいたい。

成績評価の方法 年度末の筆記試験。適宜レポートを課す。

教科書 適宜プリントで配布する。

参考書等 講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	木村誠治 <small>きむら せいじ</small>	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の教えから、生命観や自己存在の意義を確認し、自己自身の生き方を探ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えを明らかにして行く。出家に至るまでの課題が一人釈尊に限られるものではなく、生死の課題は人間の実存として関わっていることを学ぶ。成道後に展開された縁起の教えから、心と存在の在りようを学ぶ。

履修上の留意点

静粛を第一とし、雑談は禁止する。教科書は特に用意しないので、講義内容の記録が定期試験の鍵となる。

成績評価の方法

定期試験と出席率による。

教科書

なし。

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	吉津宜英 <small>よしづ せいひ</small>	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎です。講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	ほれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	はせべ はち ろう 長谷部 八 朗	経A・商選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会と宗教	池上良正 <small>いけがみ よしまさ</small>	経A・商選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然と宗教	小川順敬 <small>おがわ としゆき</small>	経A・商選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 (前期)(後期) 禅	くまもと えいじん きむら せいじ 熊本 英人・木村 誠治	経A・商選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得)

4～13「坐禅実習」(一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 435)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学	〔日本文学「古典」〕	〈島田伸一郎〉	25
文学	〔日本文学「古典」〕	〈増尾聡哉〉	25
歴史学	〔東アジア古典考古学〕	〈千葉基次〉	26
芸術学	(1)〔日本美術〕	〈北野良枝〉	26
芸術学	(2)〔西洋美術〕	〈矢野陽子〉	27
芸術学	(3)〔音楽〕	〈赤羽由規子〉	27
哲学	〔近代の人間観と世界観〕	〈戸田洋樹〉	28
哲学	〔現代文明と人間〕	〈滝沢正之〉	28
論理学	〔科学方法論と現代論理学〕	〈鈴木聡〉	29
論理学	〔知の技法〕	〈箭野浩司〉	29
論理学	〔知の技法〕	〈伊古田理〉	30
科学史	〔近代科学の成立と展開〕	〈小宮山隆〉	30
倫理学	(1)〔人間観〕	〈古田知章〉	31
倫理学	(2)〔応用倫理学〕	〈黒崎剛〉	31
倫理学	(3)〔価値観〕	〈滝沢正之〉	32
倫理学	(4)〔応用倫理学〕	〈箭野浩司〉	32
倫理学	(5)〔制度とモラル〕	〈滝口清栄〉	33
倫理学	(6)〔東洋倫理〕	〈末木恭彦〉	33
宗教学	(1)〔比較宗教文化〕	〈池上良正〉	34
宗教学	(2)〔聖と俗〕	〈田中かの子〉	34
宗教学	(3)〔思想と儀礼〕	〈小川順敬〉	35
宗教学	(4)〔組織と運動〕	〈洗建〉	35
人文地理学	(1)〔風土と文化〕	〈竹林和彦〉	36
人文地理学	(2)〔風土と文化〕	〈高橋健太郎〉	36
人文地理学	(3)〔空間と行動〕	〈山口太郎〉	37
人文地理学	(4)〔空間と行動〕	〈伊藤修一〉	38
教育	の思想	〈伊藤茂樹〉	38
教育	の思想	〈萩原建次郎〉	39
教育	の思想	〈坂本信昭〉	40
教育	と社会	〈伊藤茂樹〉	40
教育	と社会	〈萩原建次郎〉	41
教育	と社会	〈坂本信昭〉	42
発達	と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	42
発達	と学習の心理学	〈川田三夫〉	43
発達	と学習の心理学	〈山本政人〉	44
カリキュラム	と学習	〈大浜幾久子〉	44
カリキュラム	と学習	〈川田三夫〉	45
カリキュラム	と学習	〈山本政人〉	46

(2) 社会分野

社会学	〔現代社会を考える〕	〈金澤朋広〉	46
社会学	〔社会生活を考える〕	〈呉炳三〉	47
統計学	〔社会現象の統計的分析〕	〈稲葉敏夫〉	47
文化人類学	〔社会変化と価値観〕	〈小川順敬〉	48

文化人類学〔社会変化と価値観〕	〈内山明子〉	48
法学・憲法〔法と権利〕	〈茂野隆晴〉	49
法学・憲法〔法と国家〕	〈新田浩司〉	50
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—	〈西修〉	51
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈富崎隆〉	52
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	〈橋本泰明〉	53
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大石雄爾〉	54
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳堀素雅子〉	55
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野中弘敏〉	56

(3) 自然分野

生物学〔生態と進化〕	〈清水善和〉	57
地球科学〔地球環境の現在・過去・未来〕	〈山縣毅〉	59
自然環境論〔生命と環境〕	〈持丸真里〉	60
自然環境論〔自然史と環境〕	〈藤井享〉	61
自然環境論〔環境と保全〕—夏季集中—	〈山縣毅〉	62
自然誌〔現代の自然像〕		
	〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	63
数学(1)〔微積分学入門〕	〈小沢誠〉	64
数学(2)〔線型代数学入門〕	〈小沢誠〉	64
数学(3)〔現代数学入門〕	〈福田賢一〉	65
情報数学〔情報と論理〕	〈上原隆平〉	65
物理学〔光と物質〕	〈篠原正雄〉	66
化学〔衣食住の化学〕	〈持丸真里〉	67
宇宙科学〔星と銀河〕	〈篠原正雄〉	67
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)	〔コンピュータの実際〕	〈小沢誠〉 68
コンピュータ基礎(2)(7)	〔コンピュータの実際〕	〈山本博信〉 69
コンピュータ基礎(3)(8)	〔コンピュータの実際〕	〈小川健次郎〉 70
コンピュータ基礎(5)	〔コンピュータの実際〕	〈竹田洋一〉 70
コンピュータ基礎(10)(23)(24)	〔コンピュータの実際〕	〈上原隆平〉 71
コンピュータ基礎(11)(15)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	
	〈竹田洋一〉	72
コンピュータ基礎(12)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	
	〈小沢誠〉	73
コンピュータ基礎(13)(17)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	
	〈山本博信〉	74
コンピュータ基礎(14)(18)(19)(21)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	
	〈長坂浩史〉	75
コンピュータ基礎(16)(20)(22)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	
	〈小川健次郎〉	77
コンピュータ応用(1)(2)	〔コンピュータの原理〕	〈上原隆平〉 78
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	〈遠藤萬里〉	78
心理学〔人間関係を考える〕	〈鈴木順一〉	79
心理学〔心を科学する〕	〈中丸茂〉	80
心理学〔心を科学する〕—夏季集中—	〈堀内正彦〉	81

(4) 総合分野

総合Ⅰ	〈 休 講 〉		
総合Ⅱ	〔自然観察入門－富浦をめぐる人と自然〕	〈清水 善和・他〉	82
総合Ⅲ(1)	〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D.M.〉	83
総合Ⅲ(2)	〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎 寿一郎〉	84
総合Ⅲ(3)	〔スペイン語圏文化の諸相〕	〈上野 勝広〉	84
総合Ⅳ(1)	〔現代アメリカ事情〕	〈林 明人〉	85
総合Ⅳ(3)	〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸小 哲雄〉	85
総合Ⅴ(1)	〔イギリス文化探訪〕	〈川股 陽太郎〉	86
総合Ⅵ(1)	〔民族とは何か〕	〈大野 祐二〉	87
総合Ⅵ(2)	〔イスラム〕	〈吉田 京子〉	87
総合Ⅵ(3)	〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早川 紀代〉	88
総合Ⅶ(1)	〔トラブルと法的解決〕	〈北野 かほる・他〉	89
総合Ⅶ(2)	〔都市論〕	〈早川 純貴・他〉	90
総合Ⅷ	〈 休 講 〉		

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「古典」〕	しま だ しんいちろう 島 田 伸一郎	経A・商・経B選	4

講義のねらい

「古くて新しい」和歌集である『万葉集』。現存する最古の和歌集だが、そこには現代の我々にも通じる「思い」を詠んだものも多い。また「やまとうた」の歌集でありつつも、先進の中国文学・文化に受けた影響は大きい。その点でも「古くて新しい」和歌集である。そうした万葉の歌を読みながら、文学に親しむとともに、文学について考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

毎時、テーマや歌人別に一首から数首を取り上げる。語義・語法や歴史的背景の解説、関連する神話・説話や他の作品の紹介を行いつつ歌を多面的に捉え、歌われた場と歌われた「思い」について考えていく。

履修上の留意点

特に予習の必要はないが、取り上げる歌を予告するので、声に出して読んで来てほしい。

成績評価の方法

夏期休業後に提出のレポートと年度末の定期試験の得点に出席状況を加味して評価する。

教科書

小野寛『新選万葉集抄』笠間書院、1,600円

その他

授業の展開は講義形式による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「古典」〕	ます お とし や 増 尾 聡 哉	経A・商選	4

講義のねらい

『大鏡』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

平安時代の代表的な文学作品には、女性の手になるものも多いが、一方では男性による和文も決して少なくない。本年度は『大鏡』の兼家伝から道長伝を中心に読み、『源氏物語』や『枕草子』等に描かれた世界とは、また違った視点でとらえた平安貴族のありようを見直したい。併せて、歴史物語が成立する社会的・精神的背景にも触れる予定である。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。

教科書

佐藤謙三校注『大鏡』（角川文庫）

その他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔東アジア古典考古学〕	千 葉 基 次 <small>ちばもとつぐ</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい	長城地帯から極東アジア地域で民族・特定文物・組織その他から、一つのキーワードを選び出し、授業の主題とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業題目の研究史から始め、個々の研究内容を解説し、最後に今後の課題を示す。
履修上の留意点	板書事項もあり、薄くて充分なので専用のノートを用意することが望ましい。
成績評価の方法	毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。レポートについては出欠状況を見て決める。
教科書	特になし。
参考書等	授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	北 野 良 枝 <small>きたのよしえ</small>	経A・商選	4

講義のねらい	室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。
講義の内容・授業スケジュール	第1回目の授業でガイダンスを行い、以後前期は室町から桃山まで、後期は江戸時代を扱う予定である。
成績評価の方法	学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。
その他	毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	矢野陽子	経A・商選	4

講義のねらい

この授業では15世紀から18世紀までのヨーロッパ諸地域の美術を対象とし、まずその主要な流れを理解することを目的とする。そして表現内容と様式、芸術家とパトロン、美術理論などを踏まえて、美術作品がどのように制作され享受されたか、美術が社会の中で占めていた位置、さらに各国の美術の特質、地域間での影響関係について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は15・16世紀、すなわち初期ルネサンスからマニエリスム美術を、後期は17・18世紀、すなわちバロック・ロココ美術を扱う予定である。

履修上の留意点

教科書を毎回持参すること。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価する。

教科書

高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』（美術出版社）1,900円

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (3) 〔音楽〕	赤羽由規子	経A・商選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	戸田洋樹	経A・商・経B選	4

講義のねらい

私たちは日常、自分の世界観・人間観について、特に詮索することはないが、多少なりとも反省してみると、それが時代の常識からそれほど隔たっていないことが分かる。私たちは知らず知らずのうちに常識というものを自分の考え方の基準や行動の指針として受け容れているのである。

本講義では、常識の背景となっていたり、既成の常識を批判することによって新たな常識を生み出してきた思想の歴史について、欧米の世界観・人間観を中心に概観する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 古代ギリシアの世界観・人間観
2. ヘレニズム・ローマ時代の世界観・人間観
3. 中世の世界観・人間観
4. ルネサンスの世界観・人間観
5. 17世紀の世界観・人間観
6. 18世紀の世界観・人間観
7. 19世紀の世界観・人間観
8. 20世紀の世界観・人間観

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験による。

教科書

授業開始時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	滝沢まさ之	経A・商・経B選	4

講義のねらい

人間の心とは何か、を考える。

哲学において、人間とは何か、ということは常に問われてきた。その核心の一つは、人間の心とは何か、という問いにあった。

現代に至り、この問いは新たな仕方であられうようになった。単純に、科学が進歩したからである。

進化論は、人間も他の動物種と同様に進化の系列に位置づけられることを示した。

脳科学は、人間の心の働きが、脳という物質から科学的に説明できる、と主張する。

また、コンピューターの進歩は、機械であっても物事を考えたりできるのでは、という見通しを与える。

では、人間の、つまり私やあなたや彼女や彼の心とは、いったい何なのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

現代における心の哲学の基本的なトピックについて論じる。「コンピューターは考えることができるのか」「他人に心があるとどうしてわかるのか」などである。

読み易い論文の一部を配布し、講読することも行う予定。

成績評価の方法

基本的に中間および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	すずき さとる 鈴木 聡	経A・商・経B選	4

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことだからである。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
 - (a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
 - (a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
3. メタ論理
 - (a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	やのひろし 箭野 浩司	経A・商選	4

講義のねらい

日本の教育制度はディベートやディスカッションの技術を教えない。しかし社会人として、あるいは国際社会の一員として生きてゆくためには、考えを言語化してコミュニケーションをとることは必要不可欠なスキルである。

この授業は、各国の言論文化の違いに留意しながら、特に話すことに重点を置いて思考表現とコミュニケーションのスキルを向上させることをめざす。参加者は、表現する前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるが、それを乗り越えることも目的の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

思考表現の技術について解説し、トレーニングを行う。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、司会術、小論文、クリティカル・シンキング、情報分析等。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とする。ほぼ毎回、何かしゃべってもらうことになる。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	伊古田 理 <small>いごた まさる</small>	経A・商選	4

- 講義のねらい** 本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。
- 履修上の留意点** 以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
- 成績評価の方法** 随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。
- 教科書** 本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。
教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）
副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）
- 参考書等** そのつど指示する。
- その他** 上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	小宮山 隆 <small>こみやま たかし</small>	経A・商選	4

- 講義のねらい** 科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。
そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。
- 履修上の留意点** 講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。
- 成績評価の方法** 前・後期の試験と夏のレポートで評価する。
- 教科書** 八杉龍一『図解・科学の歴史』（東京教学社）
- 参考書等** 講義の際に、その都度紹介する。
- その他** 通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等もちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	ふる た とも あき 古 田 知 章	全学科選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

西洋倫理学の代表的学説を、古代ギリシアから現代への流れに沿って時代ごとに紹介し、「人間」、あるいは、この「人間」という名称を与えられる「私」や「自己」という概念が、どのように、「行為」や「善」などのその他の倫理学の主題とともに論じられてきたのかを考察する。

成績評価の方法

二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	くる きき つよし 黒 崎 剛	全学科選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験(レポート)、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	滝沢正之 <small>たき ざわ まさ ゆき</small>	全学科選	4

講義のねらい

現代倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、善い悪いというものはそれほど白明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。人は殺してはいけない、とよく言うが、死刑はあるし、戦争もある。
また、何かについて「善い」とか「悪い」とか述べたときに、我々は何をやっているのだろうか。少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。
そこで、善悪についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

現代倫理学の主要なトピックを体系的に紹介する。具体的には、まず、契約論、カント主義、功利主義など、規範倫理の学説を解説する。その後、道徳の本性についてのメタ倫理的な考察に移行する。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) 〔応用倫理学〕	野浩司 <small>の ひろ し</small>	全学科選	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、人間がいかに生き、何をなすべきかを探求する学問である。言い換えれば、問題の多い世界の中で生き方を模索する哲学である。われわれが自己の生き方を決めるためには、知識を習得するとともに、自分の力で考えねばならない。応用倫理学の〈応用〉という言葉は、理論の応用という意味ではなく、具体的な問題に参入して、意思決定のシミュレーションを行うことを意味する。この授業は、テクノロジー、医療、宗教、メディア、教育、環境破壊、テロ、人口圧、多様な価値観の共存など、さまざまな問題と向き合っ、どうすべきかを考え、自分の意見を持ち、判断を下すこと、言い換えれば、生きてゆくための知を構築することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

問題の多くはビデオで提示する。身近な問題から始めて、別の場所で起きている問題や未来に起きる問題にまで射程を広げてゆく。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	たき ぐち きよ せい 滝 口 清 栄	全学科選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な上台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐり思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（10月上旬を予定）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	全学科選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ることは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基づいて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に取められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	全学科選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①近代宗教学の成立とその意義。②宗教の比較類型論の試み。③民俗・民衆宗教研究の展開。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	た な が 田 中 かの子	全学科選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされる時、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. ゴロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立つよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

「いのち」を導ぶ書物ならどれでも。

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔思想と儀礼〕	小 川 順 敬 <small>おがわ としゆき</small>	全学科選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なののでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずですよ。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔組織と運動〕	あらい けん 建 洗 建	全学科選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実にして考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (1) 〔風土と文化〕	たけ ばやし かず ひこ 竹 林 和 彦	経A・商選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 人文地理学の学問的性格
3. 人文地理学の基本概念
4. 人文地理学の思考対象とその方法
5. 人文地理学と地誌学
6. 地理学にとって文化とは何か？
7. 地域とは（地域の概念）
8. 文化地域
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
10. 文化景観
11. 文化伝播
12. 東南アジアの風土と文化
13. 東アジアの風土と文化
14. 市場の風景
15. 都市での居住（都市の文化）
16. 都市と農村
17. まとめ

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験 80%、平常点 20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たか ばし けん たろう 高 橋 健太郎	経A・商選	4

講義のねらい

文化や風土などを地域社会と関連づけて理解するという、人文地理学の基本概念について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活、または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかにか重要であるかということについて検討する。具体的には、講義内容として以下の項目を予定している。①人文地理学の位置づけ、②文化領域、③文化伝播、④文化生態、⑤文化景観、⑥認知地図、⑦風土、⑧生活様式、⑨居住、⑩風水、⑪言語、⑫民族、⑬宗教・巡礼、⑭観光、⑮ジェンダー、⑯中国。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し、提出してもらう。

成績評価の方法

評価は、定期試験の結果にレポートの提出状況を加味して採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (3) [空間と行動]	やまぐち たろう 山 口 太 郎	経A・商選	4

講義のねらい

空間（本講義では主に都市空間を取り上げる）における実践のなかで、人文地理学的知を通じて、人文地理学的事象を見出し、あるいは感じ、理解することを目的とする。空間に生きる人々や、その空間に関係する他者（特に観察者）の行動や振舞い方を理解し、考えることに主軸をおく。

具体的には1年間かけて、以下の3点について習得してほしい。

- 1) 都市（事例として主に東京を対象とする）を観察し、記録するメソッド
- 2) 人文地理学の研究手法のうち、特に知覚、行動に関する研究手法
- 3) 空間を理解する方法のひとつとしての景観観察法と、空間における実践としてのまちづくりの事例（国内各地の事例を紹介する）

講義の内容・
授業スケジュール

- I インTRODクシヨン
- II 都市を観察し、記録するメソッド
 1. 先達により観察され、記録された東京
例）小田内通敏、今和次郎、石井實、川本三郎、陣内秀信、路上観察学会、泉麻人、三浦展
 2. 人文地理学における研究手法
時間地理学、認知地図、近代歴史地理学的史料分析、テキスト分析、居住環境評価、フィールドワーク
- III 景観論の系譜と観察方法
 1. 景観行政の系譜 2. 景観の考え方 3. 景観観察方法
- IV まちづくり実践の事例紹介
 1. 歴史的町並みの事例 2. 市街地再開発の事例 3. 現在のまちづくりの潮流

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

前期、後期に行う試験によって評価する。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）

そ の 他

地理的知識を取り扱う学問は、現在狭義の地理学のみではない。そのため本講義では隣接分野の研究成果も多く取り上げる。広く都市論に興味を持って欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>	経A・商選	4

講義のねらい 日常生活の身近な事象の中にも、規則性や一般性が認められることが少なくない。このような事象を地理学ではどのように捉えているのだろうか？講義では、それらを人文地理学の研究成果を踏まえて紹介する。地理学の基本的な理論や考え方についての解説を通して、空間的な見方や考え方の理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 特に都市の人文社会的事象に関して、都市と人間活動の相互作用に注目して概説する。前期には、都市空間とその変容についてみていく。具体的には、(1) 都市の分布と立地、(2) 都市システムと都市機能の変化、(3) 都市構造の変化、(4) 都市の生活環境と行動、後期には、おもにその変容のメカニズムをみる。具体的には、(1) 人口変動と分布・人口移動、(2) グローバル化、(3) 産業立地・モビリティ、(4) 都市空間における知覚・認知、といったテーマを予定している。

履修上の留意点 講義では簡単な数式を用いることがある。

成績評価の方法 出席状況と試験の結果から評価する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 文献などについては適宜講義のなかで紹介する。
なお、高校で使用したものなどでかまわないが、地図帳を準備することが望ましい。

その他 原則として、授業は講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>	経A・経B 2選	2

講義のねらい 私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点 自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法 学期末試験により評価する。

教科書 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他 この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	はぎわら けんしろう 萩原 建次郎	経A・商・経B 2選	2

講義のねらい

この授業を通し、「私」とのかかわりにおいて「学ぶこと」「生きること」をとらえ直す機会をもちたい。そのために自らの学校教育体験を、人間形成の大きな流れ、ライフサイクルという視点から問い直すこと。そこから、自らの学校教育体験に依拠しながら暗黙のうちに意味付けてしまっている「教育」や「学習」について相対化する視点と感性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①学習体験をふりかえる－「学び」のマップづくり
- ②人間形成のプロセスをふりかえる 1－私のライフライン
- ③人間形成のプロセスをふりかえる 2－「学び」の自分史
- ④人間形成のプロセスを考える－ライフサイクル論の検討
- ⑤人間形成に関わる「重要な他者」を考える－子育てエージェントの歴史と現状
- ⑥あらためて私・学校・教育・学習を考える

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業への積極的な参加姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

とくに使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	さか もと のぶ あき 坂本信昭	商・経B2選	2

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂) 2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』(岩波文庫) 410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	い どう しげ き 伊藤茂樹	経A・経B2選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	はぎ わら けんじろう 萩原 建次郎	経A・商・経B 2選	2

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者(子ども・友人・親・先生など)とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 「居場所」をめぐる言説の登場
- ② 「居場所」の意味を読み解く
- ③ 子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④ 子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤ 「居場所」に関わる指導者論
- ⑥ 「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり場」へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）
ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	さかもとのあき 坂本信昭	商・経B 2選	2

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなる時、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	経A・商・経B 2選	2

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	かわ だ みつ お 夫 川 田 三 夫	経A・商・経B 2選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史的変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
 - 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
- この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
- この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	やまもとまさと 山本政人	経A・商・経B2選	2

講義のねらい

児童・生徒の発達と学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①発達とは何か
- ②発達の要因
- ③発達理論
- ④人格発達
- ⑤認知発達
- ⑥学習理論
- ⑦学習の要因
- ⑧発達と学習
- ⑨発達と教育
- ⑩発達・学習と臨床

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式で行う。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	経A・商・経B2選	2

※経B・法B・営Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	かわだみつお 川田三夫	経A・商・経B 2選	2

講義のねらい

- 1) 教授－学習過程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習（教育）をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育(学)・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史の変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程（学校教育の基本について）
- 8) 教授－学習過程（学習指導、学級集団、生徒指導）
- 9) 教育評価の歴史の変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領（改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等）
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題（授業時間、教科書、教科書検定、等）
- 13) その他（教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等）
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成 11 年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	やまもとまさと 山本政人	経A・商・経B 2選	2

講義のねらい 児童・生徒の学習のメカニズムを踏まえ、学習指導とカリキュラムのあり方、学習の評価、学習の障害とその指導、教育相談等について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①学習のメカニズム
- ②学習と動機づけ
- ③学習方法
- ④学習の評価
- ⑤学習の障害と指導
- ⑥不応答の心理と教育
- ⑦教育相談
- ⑧学級集団
- ⑨カリキュラムと学習
- ⑩教師の役割

履修上の留意点 不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法 学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他 講義形式を中心とするが、可能ならば討論を行いたい。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。前期、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	かなざわともひろ 金澤朋広	経A・商・経B選	4

講義のねらい 現代社会と文化についていくつかの事例を扱いながら、社会学における基本的な考え方に對する理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 医療・福祉・組織・情報などの分野で「現代社会」を取り巻く状況を、「社会学」というフィルターを通して考えていく。社会学の基本的な考え方を学びながら、これまでとは違ったものの見方を身につけられるようにしていく。

成績評価の方法 講義の中で扱った内容について学年末に行う試験によって評価する。

教科書 開講時に指定。

参考書等 講義時に指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔社会生活を考える〕	お 呉 びよん さん 三	経A・商選	4

講義のねらい

社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	いな ぼ とし お 稲 葉 敏 夫	経A・商・経B選	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。再試験は実施しない。

教科書

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著『経済・経営 統計入門』（共立出版）2,100円

その他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	小川順敬 <small>おがわ としゆき</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

文化人類学(以下、人類学)とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。

人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思っています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方式、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書 560 番 中央公論社)

参考書等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	内山明子 <small>うちやま あきこ</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

文化人類学は、研究者が属す世界と正反対の全く異質な世界に属す「他者」、すなわち「未開」に代表される近代文明以外/以前の社会を調査対象とすることで、多様性に富んだ人類の姿を提示したり、全人類に普遍的な特徴を求めたりしてきた学問である。また、そのような「他者」を調べることによって、「他者」の目に映る近代文明の姿を描き批判していく学問としても大きな役割を果たしてきた。実際にはそのような「他者」たちは、私達と同じ近代文明世界の一員として、市場経済に組み込まれ、植民地、そして、その後は国民国家の中で生きてきたのだが、文化人類学はそのことに長いあいだ目をつぶってきたのだ。しかし、1980年代頃からそのような文化人類学に対して、他の学問や、今まで調査対象とされてきた人々の間から厳しい批判の声があがるようになり、文化人類学の側からも学問の基本的な枠組みの見直しが積極的に進められてきた。

本講義では、従来の文化人類学がどのように批判されどう見直されようとしているのかに重点を置くことで、社会変化と価値観をめぐる諸問題を扱っていくことにする。地球規模で人々やモノが移動し、テクノロジーが猛スピードで変化している今日に生きる私達は、それまで当然のこととして受け入れていた諸概念を次々と見直していく必要に迫られている。そのために必要な柔軟なものを見方をしていく切っ掛けとして、文化人類学を学んでくれることを期待している。

成績評価の方法

学期末の筆記試験を成績評価の中心に据えるが、他に夏休みの課題レポート、及び授業で取り上げるビデオに関する感想文提出なども成績評価のさいに考慮していく。

教科書

教科書は指定しない。参考文献を授業中に紹介していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	しげの たが はる 茂野隆晴	経A・商・経B選	4

講義のねらい

年間の授業は、前期においては、「法」というものが、いかなるものであり、いかなる特徴をもつものであるかを、教科書に掲載の事例・判例などの資料を用いて成べく平易な説明をなすことによって進めていきたい。進むにつれて、法を学ぶ面白さが感じられるようになればと思う。後期においては、主に憲法典の条文に則して、その基礎的な知識を学んでいけるように、やはり平易な授業ということに留意して進める。その際、日に生起する具体的事件などを取り上げるなどによっても憲法が身近に感じられるようにつとめたい。

さらには、現代社会のなかに未だ色濃く残存する封建法意識であるが、そうした観点から、かつての「家」制度についても触れていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

- 4・5月
- 法とは何か
 - 法の種類
 - 法源
 - 法の生成（日本法の歴史）
 - 法と裁判の基礎知識
 - 国家の基礎知識
- 6・7月
- 民法と商法の考え方
 - 裁判法、刑法、社会法の考え方

後期

- 9・10月
- 憲法とその原理について
 - 基本的人権の保障
- 11・12月
- 統治機構について
 - 年間のまとめ

履修上の留意点

資料ならびに条文に則して行うことの多い授業ですので、テキスト、六法は毎時間必ず持参のこと。また、授業時の私語は厳禁ゆえ、守れない者には、直接、指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味し評価する。

教科書

大久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房刊）2,500円

参考書等

小型の六法、そのほかは、ばあいにより、指示しよう。

その他

授業の方法は講義です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と国家〕	新田 浩司 <small>にっ た ひろ し</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

日本国憲法（以下「現行憲法」と略称）が制定されて半世紀が過ぎた。敗戦による占領下において制定されたという経緯等、当初よりさまざまな問題を孕んでの制定であった。自衛隊をめぐって国論を二分する論議が続きながらも、我が国は、日米安保条約というアメリカの傘の下で、高度経済成長をおう歌してきたのであるが、その歪みが社会の隅々に露呈している。たとえば、公務員の不祥事、教育問題、凶悪犯罪の増加、環境問題等々。

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものであるが、法はそれらの問題の解決となりうるのだろうか。このような問題に対しては、法による解決に加え、我々国民が持つ習俗、習慣、あるいは道徳をふくめた、その国の文化も多いに影響するものであるといえる。

現行憲法による過度の民主主義、個人主義の蔓延、また、我が国の文化及び伝統もまた憲法によって歪められてしまっていることは大いに指摘されているところである。このことの妥当性、あるいは、戦前の軍国主義を否定するあまり我が国の文化までも現行憲法は破壊しては来なかったか。いずれにせよ、我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

この講義においては、我々が国民として住民として生活する上で必要な法学・憲法学的知識を得ることができるように、現実が発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | | |
|-------|---------------|-------|------------|
| 第1回目 | ガイダンス | 第14回目 | 信教の自由 |
| 第2回目 | 法学の基礎知識① | 第15回目 | 表現の自由 |
| 第3回目 | 法学の基礎知識② | 第16回目 | 学問の自由／教育権 |
| 第4回目 | 法学の基礎知識③ | 第17回目 | 経済的自由 |
| 第5回目 | 憲法の基礎知識 | 第18回目 | 身体の自由 |
| 第6回目 | 憲法とは何か | 第19回目 | 新しい人権 |
| 第7回目 | 日本国憲法の制定過程 | 第20回目 | 社会権 |
| 第8回目 | 日本国憲法の基本原理 | 第21回目 | 参政権 |
| 第9回目 | 国家の安全保障（戦争放棄） | 第22回目 | 国務請求権 |
| 第10回目 | 基本的人権① | 第23回目 | 統治機構①（天皇） |
| 第11回目 | 基本的人権② | 第24回目 | 統治機構②（国会） |
| 第12回目 | 平等権（法の下での平等） | 第25回目 | 統治機構③（内閣） |
| 第13回目 | 思想・良心の自由 | 第26回目 | 統治機構④（裁判所） |

履修上の留意点

私語は慎むこと。

成績評価の方法

夏休みレポート及び定期試験の成績により評価する。 ※レポートは必ず提出すること。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税

参考書等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕(夏季集中)	にし 西 おさむ 修	全学科選	4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があると思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
 - ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
 - ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
 - ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切にした授業内容にします。
 - ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- 要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展（国際的視野にたつて）
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界（法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など）
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

成績評価の方法

成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
前期試験 30%、後期試験 40%、出席・レポート 30%

教科書

開講時に指示。

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○	○	8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水	△	△	△	△	△	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	とみ 富 さき 崎 たかし 隆	経A・商・経B選	4

講義のねらい

「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがある。米同時多発テロを境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったとする論者は多い。しかし、世界政治の方向性をはっきりとしている訳ではない。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通している。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起こる事件の本当の意味は理解できない。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となる。政治学を学ぶ基本的な意義もここにある。

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したい。講義は、大きく「マクロ政治学」、「ミクロ政治学」、「国際政治学」3部に分かれる。講義全体として、特に現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとしていきたい。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化が現代政治と政治学にどのように影響を与えるかについても検討していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ政治学－国家と自由民主主義体制の枠組み－
 - 1. 政治・権力・国家の意味
 - 2. 望ましい「国家」のあり方（1）；国家の仕事の範囲
 - 3. 望ましい「国家」のあり方（2）；国家の運営方法
 - 4. 自由民主主義体制の意味
 - 5. 民主化と体制変動
 - 6. 自由民主主義体制の比較枠組み
- II ミクロ政治学－自由民主主義体制の作動メカニズム－
 - 1. 政党と政党制
 - 2. 有権者の投票行動と選挙
 - 3. 官僚制と議会
 - 4. 利益集団とマスメディア
 - 5. 中央地方関係
- III 国際政治学
 - 1. 国際政治の意味
 - 2. 国際政治の主要理論潮流
 - 3. 日本の外交政策
 - 4. 冷戦後の世界政治展開をみる新視点

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価する。

教科書

青木・大谷・中邨編『国家のゆくえ－21世紀世界の座標軸－』（芦書房）2001年

参考書等

適時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済理解へのガイド〕	はし橋 もとひろ あき明	経A・商・経B選	4

講義のねらい

経済学的なものの見方、考え方を修得することを目標とする。より具体的には、前期では、日本経済の現状を念頭におきつつ、一国の国民の所得や労働環境の決まり方を理論的に把握し、後期では、消費者と生産者の経済的行動が、ものの価格の決定にどう作用するのかを理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期：日本経済の概観 経済循環 国民所得 消費・貯蓄 国民所得の決定要因の分析 物価為替変動と国民所得
後期：需要と供給 無差別曲線 所得の制約 需要量の決定 生産曲線 費用曲線 限界費用曲線 利潤最大化 供給量の決定 市場による価格決定 余剰概念 市場の効率性

履修上の留意点

さまざまな経済政策の背後にある理論の基礎を理解することが目標であるので、かなりの出席率を確保し、しかも授業中に脳細胞を働かせて思考し、論理展開を十分理解することが大切である。いったん考え方をマスターしてしまえば、かなりの応用が利き、試験のための丸暗記は不要になるであろう。

成績評価の方法

前期と後期の二回の筆記テストおよび授業中に課せられる小レポートによる。なお再試験は実施しない。

教科書

小野編著『現代経済学の基礎』（学文社）3,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おおいしゆうじ 大石雄爾	経A・商・経B選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出していません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火がねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホップスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 資本主義と民族
9. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても随時とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

この講義は、年間の講義をとおして聞くことで社会科学の意味とおもしろさが理解できるように組み立てられています。また、講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 育 学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ 柳 堀 素雅子	経A・商選	4

講義のねらい

第二次世界大戦後、医学、医療はめざましい勢いで発達し、50年前には人類が考えもしなかったような問題が数多く出てきた。人工呼吸器の登場によって、呼吸停止しても心臓が動いている状態を作り出すことができるようになったし、脳が死んでも肉体は生きている「脳死」という状態も生み出された。このような複雑な状況を生み出してしまった現代に生きている我々は、医療の問題を単に医療関係者の問題としてだけでなく、患者ひとりひとりの重要な問題として受けとめざるをえない状況へと追い込まれている。人の死の迎え方をめぐって、医療者と患者や患者の家族の意見が対立したり、人それぞれの死生観によって死のあり方をめぐっての考え方が異なってくる。そのときに何を自らの思考の手引きにするのかは各人の努力によって、自分の考え方をはっきりさせていくしか方法がないことに気がつくはずである。現代に生きる我々にとっての新しい「生と死」の考え方を探り出すことを目的として講義を進めていく予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 現代の先端医療が、過去の死生観や思想によって解決できない問題を生み出したのはなぜか？
2. 新しい生命観は生み出されているのか
3. 科学技術時代の生と死とは？
4. 我々はどこへ行くのか？

履修上の留意点

講義中に私語をしたい人は、履修をしないでいただきたい。

成績評価の方法

総合的に評価する。
何回もレポートを提出してもらうので、レポートを提出したくない人は履修しない方がよいでしょう。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

講義の中でその都度お知らせします。

そ の 他

講義の他にビデオ、OHPを大量に使用します。時間があれば、グループディスカッションや全体の討論も行ないます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理-教育臨床心理学の立場から〕	野中弘敏 <small>の なか ひろ とし</small>	経A・商選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話できればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理-社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水善和	経A・商・経B選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性
 - (2) 遺伝子と生命現象
 - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンブリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化－生物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率
 - (2) 密度効果
 - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係と共生
 - (2) 花と昆虫の共進化
 - (3) 菌根
 - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発展段階
 - (3) ホミニゼーション（ヒト化）
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系（エコ・システム）
 - (2) 食物連鎖と生物濃縮
 - (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量

- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
- (1) 物質循環の大原則
 - (2) 水の循環
 - (3) 炭素の循環
 - (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
- (1) 遷移のモデル
 - (2) さまざまな遷移
 - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
- (1) 3つの多様性
 - (2) 多様性の尺度
 - (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
- (1) 里山の生物
 - (2) 都市と生物
 - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート、試験、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆した web 版教科書（無料ダウンロード可）を紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やまがたけし 山 縣 毅	経A・商・経B選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・関東平野の断層と地震
 - ・房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・関東山地の地質
 - ・関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教科書

特に定めません。

参考書等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN4-8343-4002-3 C7344

その他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔生命と環境〕	もちまるま 持丸真里	経A・商・経B選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説する。

後期は、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。

①生態系の化学物質汚染：有機塩素系化合物の生物濃縮

内分泌攪乱物質

オゾン層破壊

②生物の多様性の危機：熱帯林の破壊

近代農業・林業の問題点（自然科学の観点から）

これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー 生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔自然史と環境〕	ふじ 藤井 すすむ 享	経A・商・経B選	4

講義のねらい

最新の地質時代を第四紀というが、この時代は約170万年前にはじまり寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期を繰り返した時代である。この170万年間には少なくとも6回の氷期が確認されているが、このうち最終の氷期を「ヴェルム氷期」と呼ぶ。ヴェルム氷期は約72,000年前にはじまり約1万年前までの62,000年間継続したとみられる。つまり、長く続いた氷河時代の、最後の氷期が終わったのはごく最近のことなのである。私たちは今、最終氷期のあとの、東の間の温暖期に生きているのである。

ヴェルム氷期の中でも、約2万年前から約18,000年前は特に寒かった時代であり、現在の氷河分布面積の約3倍にあたるおよそ4,900万km³もの氷河が陸地を覆っていたとみられる。北半球についてみると、それらの大部分は北緯40°以北に分布していた。

では、その頃の日本列島はどのような自然環境下にあったのであろうか。本講義は最終氷期以後の気候や植生、地形など気候変動に伴う自然環境の変化について考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は最終氷期（ヴェルム氷期）と現在、後氷期（最温暖期）と現在の各気候、海面変化、植生、地形等の自然環境を比較しながら進めたいと思う。その内容とスケジュールは下記のとおりである。

- ① 第四紀の編年と氷期・間氷期
- ② ケッペンの気候分類と寒冷高緯度地域の気候
- ③ 日本列島周辺の気候と植生分布
- ④ 最終氷期の気候と植生変化
- ⑤ 日本海の高環境
- ⑥ 海面変動と地形の変化
- ⑦ 後氷期の自然と環境
- ⑧ 自然エネルギーと地球環境

履修上の留意点

この講義は、最終氷期から後氷期に至る気候や地形、植生等の自然変遷史を考察するものである。したがって、ヴェルム氷期以後の自然史を扱うので、留意してほしい。講義の中で地図を多用するので、講義ノートとともに地図帳を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕(夏季集中)	やまがた 山 縣 毅	全学科選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教科書

特に定めません。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水	△	△	△	△	△	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水善和・篠原正雄 持丸真里・山縣毅	経A・商選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのような姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
 - (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
 - (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 地球環境形成の歴史 山縣毅
 - (1) 地球環境の変遷（プレートテクトニクスからプレリウムテクトニクス）
 - (2) 地震のメカニズム
 - (3) 火山活動のメカニズム
 - (4) プレリウムの活動による気候変化
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
 - (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
 - (2) 化石燃料の化学
 - (3) 大気環境の変化
 - (4) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>	経A・商選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、一変数関数・一変数関数の微分・一変数関数の積分を、後期に、二変数関数・二変数関数の微分・二変数関数の積分を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』(共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2) 〔線形代数学入門〕	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>	経A・商選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、行列・連立一次方程式・行列式を、後期に、空間ベクトル・線形空間・内積空間を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』(共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (3) 〔現代数学入門〕	福田 賢一 <small>たく だ けん いち</small>	経A・商選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実的な応用力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と応用、情報理論、情報数理、言語理論、線型代数とその応用、後期：線型計画法、確率現象と社会現象、数値解析とその応用

履修上の留意点

高校数学の初歩的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な定義、性質を確実に把握する必要がある。

成績評価の方法

試験結果を中心に、レポート、小テスト、出席状況等を加味し総合的に判定する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。

その他

プリントは数時間に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意

科目名	担当者名	配当学科	単位
情 報 数 学 〔情報と論理〕	上原 隆平 <small>うえ はら りゅう へい</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

形式言語理論、中でも特にオートマトン理論を学ぶ。オートマトンとは「状態を持った機械」をモデル化したもので、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものと同等である。情報科学や言語理論における基礎的分野である。

講義の内容・授業スケジュール

まず始めに形式言語理論の初歩的な知識を学び、形式的な記述に慣れる。次にオートマトン理論的に的を絞り、現実の問題がどのようにオートマトンとしてモデル化されるかを学ぶ。そしてオートマトンで表現できるものと、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものが同等であることを学ぶ。本授業の中では実際のプログラミングは行わない。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。特に小テストを授業の最後に適宜行ない、その結果を重視して成績をつける予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。また Web や電子メールを使って補助資料を配布するので、インターネットに接続されたコンピュータが使用できることが望ましい。ただしこれは必須ではない。使用できない学生には個別に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	篠原まさお しのほらまさお 篠原正雄	経A・商選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円

その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためには毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	もち丸真里 持丸真里	経A・商選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について講義する。

その後、衣食住の化学として、以下のような各論の解説を行う予定である。

- ①衣の化学：合成繊維 合成洗剤（酵素化学の基礎、水質汚染問題も含む）
- ②食の化学：遺伝子組換え食品（遺伝子工学の基礎を含む）食品の安全性
- ③住の化学：ダイオキシン問題 内分泌攪乱物質 フロン類によるオゾン層破壊 など

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しのはらまさあ 篠原正雄	経A・商選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返し、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。

太陽： 構造 エネルギー源

恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源

後期は銀河をとりあげます。

銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域

銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造

宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お <small>さわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	経A・商選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の3点を重視する。

教科書

HTML 4.01 Specification(<http://www.w3.org/TR/html4/>), Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参考書等

The World Wide Web Consortium(<http://www.w3.org/>)

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やまもとひろのぶ 山本博信	経A・商選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた“情報リテラシー”を実習を通じて理解する。インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

これまでのコンピュータシステムは、たとえば企業では、情報システム部門や専門家によって作られ、エンドユーザ部門に提供されてきた。パッケージソフトウェアの普及などによって身につけることができる情報処理技術に伴って、ユーザ自身がコンピュータシステムを作り上げることも可能になった。このように情報技術の環境が整いつつある。学習と情報技術を結びつけ、知的生産性を向上させるためには、各個人（エンドユーザ）の情報活用能力を高めることが重要である。本講座では、情報を読み、書き、プレゼンテーションし、応用する能力（情報活用能力または情報リテラシー）をエンドユーザであるみなさんがどのようにして身につけるか、実習を通じて学習する。

- ・表計算ソフトの計算処理と各種操作方法（起動と終了、表示窓と格納箱の切り替え、ブックの保存、データの入力と編集、数式の入力、相対参照と絶対参照、オートフィル、書式設定、罫線、グラフの作成と編集、関数の利用、データの並び替え、複数のワークシートの利用、作図のツール）
- ・Webページの概要
- ・インターネットの諸サービスの活用

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。試験前にあらかじめ提示した課題を最終回の授業において実施し、提出するという形態をとる。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	小 川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>	経A・商選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)	竹 田 洋 一 <small>たけだ よういち</small>	経A・商選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)で主としてワープロソフト(WORD)と表計算ソフト(EXCEL)を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習(自宅または情報センターの自習室などのパソコンで)を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらう課題、そして学期末に行うテスト(実技+筆記)の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (10)(23)(24) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	経A・商選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (11)(15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	たけだ よういち 竹田 洋一	経A・商選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OS は Windows) で主としてワープロソフト (WORD) と表計算ソフト (EXCEL) を用いる実習を行う。Windows の基本的操作、日本語入力の方法、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習 (自宅または情報センターの自習室などのパソコンで) を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらう課題、そして学期末に行うテスト (実技+筆記) の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

その他

授業日程
コンピュータ基礎 (11)

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○			8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○			8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○			8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○			8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○			8月26日	火					
8月8日	金	△	△	△			8月27日	水					

△は予備日
コンピュータ基礎 (15)

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金			○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月			○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火			○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水			○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木			○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金			△	△	△	8月27日	水					

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お <small>ざわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	経A・商選	2

講義のねらい HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点 毎回出席すること。

成績評価の方法 レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教科書 HTML 4.01 Specification(<http://www.w3.org/TR/html4/>), Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参考書等 The World Wide Web Consortium(<http://www.w3.org/>)

その他 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (12)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○				8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○				8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○				8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○				8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○				8月26日	火						
8月8日	金	△	△	△				8月27日	水						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもと ひろのぶ 山本 博 信	経A・商選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた“コンピュータリテラシ”および“情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。PC（パソコン）で作成できる画像をどのように処理して活用するかについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及している。日常生活においても、パソコンなどに接する機会が増え、これらを活用することがますます必要となってきた。パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理して情報を作成、発信することができようになった。学習と情報技術を結びつけ、知的生産性を向上させるためには、各個人（エンドユーザ）の情報活用能力を高めることが重要である。パソコンでどのようにして画像を作成してホームページの発信に活用するかについても学ぶ。

- ・コンピュータによる情報処理と組織による情報処理について
- ・表計算ソフトの基礎、応用
(1) 行列の計算 (2) ファイル形式 (3) 並べ替え、平均、集計、分散 (4) データの視覚化 (5) 統合的利用（ワープロ文書へ表やグラフを埋め込み仕上げる） (6) VBAによる問題解決
- ・Windowsの環境について（個人情報の自己管理方法など）
- ・電子メールの利用
- ・インターネットの利用（情報を収集して文書を作成する）
- ・Webページの作成（内容の構造化、表現（画像）およびその作成技術について）

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって行う。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (13)

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○			8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○			8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○			8月22日	金					
8月6日	水	△	△	△			8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○			8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○			8月27日	水					

△は予備日

コンピュータ基礎 (17)

前半							後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
8月1日	金						8月20日	水				○	○	○
8月4日	月						8月21日	木				○	○	○
8月5日	火						8月22日	金				○	○	○
8月6日	水						8月25日	月				○	○	○
8月7日	木						8月26日	火				○	○	○
8月8日	金						8月27日	水				△	△	△

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (14)(18)(19)(21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが さか ひろ ふみ 長 坂 浩 史	経A・商選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用(電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思ってよい。

教科書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (14)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○				8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○				8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○				8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○				8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○				8月26日	火						
8月8日	金	△	△	△				8月27日	水						

△は予備日

コンピュータ基礎 (18)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金				○	○	○	8月20日	水						
8月4日	月				○	○	○	8月21日	木						
8月5日	火				○	○	○	8月22日	金						
8月6日	水				○	○	○	8月25日	月						
8月7日	木				○	○	○	8月26日	火						
8月8日	金				△	△	△	8月27日	水						

△は予備日

コンピュータ基礎 (19)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水	○	○	○			
8月4日	月							8月21日	木	○	○	○			
8月5日	火							8月22日	金	○	○	○			
8月6日	水							8月25日	月	○	○	○			
8月7日	木							8月26日	火	○	○	○			
8月8日	金							8月27日	水	△	△	△			

△は予備日

コンピュータ基礎 (21)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水				○	○	○
8月4日	月							8月21日	木				○	○	○
8月5日	火							8月22日	金				○	○	○
8月6日	水							8月25日	月				○	○	○
8月7日	木							8月26日	火				○	○	○
8月8日	金							8月27日	水				△	△	△

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (16)(20)(22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お 小 川 健 次 郎 <small>お がわ けんじろう</small>	経 A・商選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールや WWW などのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教 科 書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

コンピュータ基礎 (16)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金				○	○	○	8月20日 水						
8月4日 月				○	○	○	8月21日 木						
8月5日 火				○	○	○	8月22日 金						
8月6日 水				○	○	○	8月25日 月						
8月7日 木				○	○	○	8月26日 火						
8月8日 金				△	△	△	8月27日 水						

△は予備日

コンピュータ基礎 (20)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○				8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○				8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○				8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○				8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○				8月26日 火						
8月8日 金	△	△	△				8月27日 水						

△は予備日

コンピュータ基礎 (22)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金							8月20日 水	○	○	○			
8月4日 月							8月21日 木	○	○	○			
8月5日 火							8月22日 金	○	○	○			
8月6日 水							8月25日 月	○	○	○			
8月7日 木							8月26日 火	○	○	○			
8月8日 金							8月27日 水	△	△	△			

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	うえはらりゅうへい 上原隆平	経A・商選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・授業スケジュール

まずはじめに、コンピュータの動作原理を簡単に学ぶ。そしてコンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を、目的に応じて組み合わせることが必要になる。これをプログラミングとよぶ。いくつかの問題に対して、プログラムを作成する。同じ問題に対していくつかの解決方法があることを知り、これらの解決方法の「比較」を通じて「効率のよいプログラム」とは何かを学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しない。しかし授業に必要な資料は WWW を通じて配布するので、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWW の利用など）はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識（関数 log など）が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学(1)(2) 〔人類の進化〕	えんとうばんり 遠藤萬里	経A・商選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようなヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であまり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教科書

遠藤萬里編『人類生物学入門』（てらべいあ）

参考書等

進化については 遠藤萬里『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000 円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400 円 他の方野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

その他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	すずき じゆんいち 鈴 木 順 一	経A・商・経B選	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でもしていただきたい。授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択してください。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
 川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』－自己理解ワークブッカー－（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕	なかまる 中丸 しのぶ 茂	経A・商・経B選	4

講義のねらい

心理学は、人間の心（行動・言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、心の科学、および、心の工学と定義され、心の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. オリエンテーション | 心理学って何？ |
| 2. 血液型と性格 | 本当に関係あるの？ |
| 3. 科学としての心理学 | 科学って何？ |
| 4. 行動分析学Ⅰ | ラムちゃんの電撃 |
| 5. 行動分析学Ⅱ | バナナとリンゴ |
| 6. 行動分析学Ⅲ | 月に向かって吠える |
| 7. 認知心理学Ⅰ | マジカルナンバー |
| 8. 認知心理学Ⅱ | カクテルパーティ |
| 9. 認知心理学Ⅲ | 悩めるオマタかおる |
| 10. 心霊現象の心理学 | 幽霊は乗り物がお好き？ |
| 11. 社会心理学Ⅰ | 他人を好きになる時 |
| 12. 社会心理学Ⅱ | 恋、愛、そして、意志決定 |
| 13. 無意識の心理学 | UFOは存在するか？ |
| 14. 人格心理学 | 社交的な人は朝に弱い |
| 15. 占いの心理学 | ラッキーカラーは、赤！！ |
| 16. 呪いの心理学 | 呪殺は可能か？ |
| 17. 所信の心理学Ⅰ | 知識は人類を駄目にする！！ |
| 18. 所信の心理学Ⅱ | マインド・コントロール |
| 19. 宗教の心理学 | 神社の石段 |
| 20. スポーツ心理学 | イメージトレーニング |
| 21. プロファイリング | モラル・ハラスメント |
| 22. テクノ・コミュニケーション | 顔文字は使ったほうがいいか |
| その他（リクエスト可） | |

履修上の留意点

講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握できるというのではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。（教科書 理解度UP++）

成績評価の方法

筆記試験の絶対評価として処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教科書

中丸茂『心理学者のための科学入門』1999（北大路書房）
 中丸茂『トワイライト・サイコロジー』2000（北大路書房）
 講義オリジナル資料 毎回配布（2～3枚） 年間 40～50枚

参考書等

講義用の配布資料で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕(夏季集中)	ほりうち まさひこ 堀内 正彦	全学科選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることも含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいふべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○	○	○		8月20日 水							
8月4日 月	○	○	○	○	○		8月21日 木							
8月5日 火	○	○	○	○	○		8月22日 金							
8月6日 水	○	○	○	○	○		8月25日 月							
8月7日 木	○	○	○	○	○		8月26日 火							
8月8日 金	○	○	○	○	○		8月27日 水							

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅱ 〔自然観察入門—富浦をめぐると自然—〕	清水 善和・上原 隆平 漆原 和子・小沢 誠 小高 昭一・篠原 正雄 橋詰 直道・持丸 真里 柳澤 紀夫・山縣 毅	経A・商選	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データを取り、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。また、我々の身近に接する自然は生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然であるので、地域の自然を理解するためには、自然をめぐると歴史的・地理的な背景を知る必要もある。

本講義の前半（4～7月中旬）は、本校教室での植物、鳥類、地質・岩石、天体、身近な自然環境などの自然観察の方法を中心に講義をおこなう。また、植物観察やバードウォッチングなど一部の講義では駒沢公園を利用した実習もおこなう。

後半（7月20～24日）は、千葉県富浦町にある駒澤大学富浦セミナーハウスに合宿して（4泊5日）、具体的な調査方法やデータ処理の仕方、レポートのまとめ方等の集中講義（午前）と植物・植生、地形・地質・土壌、歴史・地理の野外実習（午後）をおこない、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。また、夜には天体望遠鏡を用いた天体観察の実習も行う。

これらの講義・実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方と基本的な観察の手法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期講義

- 4月11日（1）ガイダンス（清水）
- 18日（2）自然観察の方法、生物図鑑の使い方（清水）
- 25日（3）植物観察（駒沢大学）（清水）
- 5月2日 連休
- 9日（4）バードウォッチングの方法（柳澤）
- 16日（5）バードウォッチングの実際（駒沢公園）（柳澤）
- 23日（6）岩石・地質の見方1（山縣）
- 30日（7）岩石・地質の見方2（山縣）
- 6月6日（8）化学的な自然の見方1（持丸）
- 13日（9）化学的な自然の見方2（持丸）
- 20日（10）天体観測の方法1（篠原）
- 27日（11）天体観測の方法2（篠原）
- 7月4日（12）レポートの作成法（清水）
- 11日（13）富浦実習の準備（清水）

7月20日～24日 富浦実習（4泊5日）：午前の講義と午後の野外実習、夜の天体観察など。

- 9月12日（14）レポート提出
- 26日（15）レポート講評・返却

履修上の留意点

前期半期の講義と7月下旬の富浦実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦実習に参加できない学生は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、富浦実習に参加できる学生のみ履修すること。なお、9月卒業を予定している学生は履修できない。

富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする（予約の都合上、宿泊費16,000円は4月に徴収する）。

実習を伴う科目の性質上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイダンスをおこない、履修希望者が定員を越えた場合にはその場で抽選をおこなうので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

多数の教員が分担して講義と実習をおこなうので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課してこまめな評価をおこなう。とくに、富浦実習については現地での実習をふまえた課題についてレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点を総合して最終的な成績判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試はおこなわない。

教科書

特になし。

参考書等

各教員が必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	経A・商選	4

講義のねらい

The most advanced English course available, it should give students the best preparation for study abroad. The course is conducted so that students may experience what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will study something in English instead of studying English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Major emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Considerable time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series: during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	岡崎 壽一郎 <small>おかざき とういちろう</small>	経A・商選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二「ヨーロッパ像の転換」）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔スペイン語圏文化の諸相〕	上野 勝 広 <small>うえの かつひろ</small>	経A・商選	4

講義のねらい

英米圏に比較して、スペイン語圏は一般に我々日本人にはなじみが薄い。しかし、そこは多様性に満ちた実に豊かな文化を有する地域である。この講義では、そうした文化の諸相の一端を歴史的な視点を軸に紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容について3分の2はスペイン、3分の1は中南米に関する話題を取り上げる。地理、観光、言語、文学、思想、美術、建築、祭り、音楽、映画等に歴史的な視点を意識しながら紹介してゆく。しばしばビデオ等の視覚的資料も提示する。

履修上の留意点

スペイン語にはあまり興味がなくても（あればなお良いが）、歴史を含めた様々な文化に関心を持つ人の受講を歓迎する。講義の理解にスペイン語の知識は必要ない。なお講義中の私語は厳に慎むこと。場合によっては退場していただくこともある。

成績評価の方法

毎回の授業終了時に提出するミニレポート（40%）に年間2回（前期末・後期末）の試験の結果（60%）を総合して評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

日本語の参考文献やホームページは、講義内容に合わせて随時授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし 林 明 人	経A・商選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこ 丸 小 哲 雄	経A・商選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。ポストモダンという言葉には混乱がありますが、最大公約数的に言って、ポストモダンはそのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化にたいする批判）することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（＝文化）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き；「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について；ポストモダンの特質について
4. ソシユールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について：ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス：とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての『道徳の系譜』を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について：合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判：外部の力と内部の力について
10. トランスモダン（横断的近代：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョンナル意識との対抗性について
11. レビュー：冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

成績評価の方法

出席、タム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

教科書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ 川 股 陽太郎 <small>また ようたろう</small>	経 A・商選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。日本とは、日本人とはと問われたとき、あなたがたはどう説明しますか。イギリスとは、イギリス人とはということ、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。ある民族の文化を理解しようとするとき、その民族の言語・風俗・習慣を知る必要がある。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド、スコットランド、ウェールズ、コーンウォール、シェットランド・オークニー諸島、ヘブリディーズ諸島という地理的側面から、またイングランド人、スコットランド人、ウェールズ人、コーンウォール人とか、シーズナルハンター、ピクト人、ケルト人、ローマ人、アングロサクソン人、デーン人、バイキング、ノルマン人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。

イギリス人は自分たちを「混血」(ミックスチャー)であるという。人がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは「血」もさることながら、土地と無縁でないし、地域の文化(言語、風俗、習慣)と無縁ではない。しかしそれを決定するのはあくまでその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、ローマの植民地時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人、デーン人、バイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性とその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで日本とイギリスを比較・検討することで、よりいっそう明確にその差異を認識することができる。それは、自分の所属する社会と別の社会を比較することによって、それぞれの文化がもつ性格をいっそう明確に認識するということである。

「日本の常識は世界の非常識」であることが多いのも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって、最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためには、まず自国の文化を理解し、そして他国の文化を理解することが重要である。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポート用紙(A4)10枚程度のものを、年1回提出。レポートには「参考文献名」を記入し、「引用文」には注)を付し、書名とページ数を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義要録、参考資料等を適宜配布する。

その他

講義形式をとる。パソコン、ビデオ、書画カメラ等を用い、映像、写真、絵図、資料を提示しつつ講義を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (1) 〔民族とは何か〕	おの の 野 祐 二	経 A・商選	4

講義のねらい この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。
後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点 講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法 前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書 詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等 原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (2) 〔イスラム〕	よし た きの 京 子	経 A・商選	4

講義のねらい 現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラムに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラムに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラム」認識の方法論の中から、イスラムの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを採用する。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラム概説とは異なる点に注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期、後期を通じ、イスラムの信仰の核である、クルアーン、預言者ムハンマド、イスラム法学、イスラム神学、歴史的分派、スーフィズム等々のトピックごとに概論的授業を行う。

履修上の留意点 宗教学的、思想的側面からのイスラム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法 年間を通じ、出席率、提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書 特になし

参考書等 授業中紹介

その他 数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	経A・商選	4

講義のねらい

改正雇用機会均等法が施行されて3年たちましたが、依然新卒男女学生の就職率は格差があります。なぜこうした格差が生まれるのだろうか？、世間の男と女の座標軸はいったいどのようにつくられているのだろうか？。こうした疑問を私たちがくらししている、さまざまな場面をとりあげて、経済学や社会学、歴史学の成果を土台にして考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

1年間の講義を4期にわけます。

- a ジェンダーってなんだ？
フェミニズムの歴史とフェミニズムの歴史のなかから生まれたジェンダーという考え方について。
- b 自分らしく働いて自分を高く売ってどういうこと？
雇用のなかの男女の分離、男性の会社人生、女性の会社人生？ 改正雇用機会均等法
男も女も自分らしく働く。
- c 家族ってなんだ？
家族の人間関係と機能、近代家族と現代家族、家族のなかのいろいろな問題
どんな家族を創りたい？ シングルの選択。
- d セクシュアリティってなに？
オスの性と男の性、性における男性支配、セクシュアリティの歴史、援助交際は自分の考え
で性をうるからいいの？人間らしい性関係ってなに？

成績評価の方法

論述試験。再試験は実施しない。

教 科 書

教科書は指定しない。講義にあわせて資料を配布する。また参考書を随時紹介するので、そのうち1冊は読むこと。映画やビデオの上映はする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ(1) 〔トラブルと法的解決〕	北野かほる・王志安 小木曾綾・佐藤多美夫 塩入みほも・西修	経A・商選	4

講義のねらい

人間の日常生活は、常に順調であるとは限らない。社会生活にはトラブルがつきまとう。トラブルには様々な形で解決を試みることが考えられるが、法的な解決は最も効力のある解決方法である。しかしその類型は一樣でなく、社会生活の様々な側面において様々なトラブルの類型とその法的解決方法がある。

法的トラブルにはどのようなパターンが考えられるか。法的トラブルに遭遇したらどのように解決すればよいのか。あるいは法的トラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのか。これらの点についてマクロ及びミクロの観点から分析し、法治国家の市民として知っておくべき法的知識やトラブル解決の糸口について考えていきたい。

昨年度までは民事法的領域について考察したが、今年度は、公法と呼ばれる領域に焦点を当て、我々の社会生活の各側面から考えられる法的なトラブルとその解決方法について考える。

講義は6名の教員が交替で行う。講義の具体的内容については担当教員がそれぞれの開講の際に開示する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「トラブルと法概論」北野かほる
- (2) 「憲法裁判からみたトラブルと法的解決」西修
- (3) 「行政事件を巡るトラブルと法的解決」塩入みほも
- (4) 「現代型犯罪と法的解決」佐藤多美夫
- (5) 「犯罪と刑罰（犯罪の実情と捜査・刑事裁判の諸原則、被害者支援など）」小木曾綾
- (6) 「国家間紛争と国際裁判の役割」王志安

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席するほか、試験は必ず受けること。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際して必要の都度開示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ (2) 〔都市論〕	早川純貴・浦田早苗 品田知美・中野裕二 保坂尚郎	経A・商選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化、住宅難、犯罪、失業と貧困、ホームレス、ゴミ問題、再開発、あるいは国際化と多文化主義。しかしこれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4～6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。
 早川純貴『都市論』のガイダンス (1回/4月)
 品田友美「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月) ——都市には、多くの人々が集う場として独特の生活様式が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を、主に2つの視点から振り返る。①環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するのか。②家族：都市はいつも新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるのか。2つの視点を、生活様式というキーワードで結びながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。
 保坂尚郎「都市と労働」(6回/6・7月) ——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の整備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と、駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。
 中野裕二「移民問題とフランスの苦悩」(4回/9月・10月) ——移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。講義ではフランスの移民問題を概観した後、住宅や教育そして地域生活への参加に焦点を当て、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。さらにはこれらの点を中心に日本との比較をしてみたい。
 早川純貴「『まちづくり』と住民参加」(4回/10・11月) ——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。
 浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」(4回/11・12月) ——イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。もちろん学生諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

3 . 外 国 語 科 目

外国語

3 . 外国語科目

〔 英 語 〕

英語 I A (經 A)	〈三 芳 康 義〉	101
英語 I A (經 A)	〈丹 治 弘 昌〉	101
英語 I A (經 A)	〈町 田 尚 子〉	102
英語 I A (經 A)	〈川 崎 浩 太 郎〉	102
英語 I A (經 A)	〈相 馬 美 明〉	103
英語 I A (經 A)	〈真 砂 久 晃〉	103
英語 I A (經 A)	〈岩 屋 玉 江〉	103
英語 I A (經 A)	〈田 中 保〉	104
英語 I A (經 A)	〈川 崎 浩 太 郎〉	104
英語 I A (商)	〈相 馬 美 明〉	104
英語 I A (商)	〈三 芳 康 義〉	105
英語 I A (商)	〈水 崎 野 里 子〉	105
英語 I A (商)	〈岸 本 茂 和〉	105
英語 I A (商)	〈小 笠 原 隆 元〉	106
英語 I A (商)	〈川 崎 笑 佳〉	106
英語 I B (經 A)	〈増 田 恵 子〉	107
英語 I B (經 A)	〈川 股 陽 太 郎〉	107
英語 I B (經 A)	〈伊 良 部 祥 子〉	108
英語 I B (經 A)	〈山 田 照 子〉	108
英語 I B (經 A)	〈石 原 孝 哉〉	108
英語 I B (經 A)	〈大 庭 直 樹〉	109
英語 I B (經 A)	〈増 田 恵 子〉	109
英語 I B (經 A)	〈伊 良 部 祥 子〉	109
英語 I B (經 A)	〈山 田 節 子〉	110
英語 I B (商)	〈大 庭 直 樹〉	110
英語 I B (商)	〈増 田 恵 子〉	110
英語 I B (商)	〈伊 良 部 祥 子〉	111
英語 I B (商)	〈山 田 照 子〉	111
英語 I B (商)	〈川 股 陽 太 郎〉	111
英語 I B (商)	〈石 原 孝 哉〉	112
英語 II A (經 A)	〈伊 藤 幸 一〉	113
英語 II A (經 A)	〈伊 勢 村 定 雄〉	113
英語 II A (經 A)	〈西 村 祐 子〉	114
英語 II A (經 A)	〈萩 原 輝〉	114
英語 II A (經 A)	〈佐 藤 アヤ子〉	114
英語 II A (經 A)	〈逢 見 明 久〉	115
英語 II A (經 A)	〈鈴 木 美 貴 子〉	115
英語 II A (經 A)	〈足 田 和 人〉	115
英語 II A (商)	〈伊 勢 村 定 雄〉	116
英語 II A (商)	〈岩 山 義 春〉	116
英語 II A (商)	〈萩 原 輝〉	116
英語 II A (商)	〈古 富 猛〉	117
英語 II A (商)	〈太 田 雅 子〉	117
英語 II A (商)	〈高 見 陽 子〉	117
英語 II B (經 A)	〈吉 川 直 澄〉	118

英語ⅡB (経A)	〈山口 晃〉	118
英語ⅡB (経A)	〈牧野 正秀〉	119
英語ⅡB (経A)	〈渡部 孝治〉	119
英語ⅡB (経A)	〈市川 仁〉	119
英語ⅡB (経A)	〈児林 英子〉	120
英語ⅡB (経A)	〈樋渡 俊光〉	120
英語ⅡB (経A)	〈植村 恵子〉	120
英語ⅡB (商)	〈手島 敬子〉	121
英語ⅡB (商)	〈佐藤 孝一〉	121
英語ⅡB (商)	〈小布施 圭佐三〉	122
英語ⅡB (商)	〈森田 隆光〉	122
英語ⅡB (商)	〈岩原 康夫〉	123
英語ⅡB (商)	〈飯沼 好永〉	123
英会話 I	〈ラーズ, R.〉	124
英会話 I	〈ウェルズ, J. K.〉	124
英会話 I	〈ソルタ, P. N. F.〉	125
英会話 I	〈デンドウ, G.〉	125
英会話 I	〈ジトウィッツ, P. D.〉	126
英会話 I	〈プラスキー, J. C.〉	126
英語LL I	〈甲斐 捷子〉	127
英語LL I	〈加藤 佐和子〉	127
英語LL I	〈久保 ひさ子〉	128
英語LL I	〈中林 正身〉	128
英語LL I	〈西村 祐子〉	129
英語LL I	〈塙 美智子〉	129
〔ドイツ語〕		
ドイツ語IA (経A・商)	〈志 真 斗美恵〉	130
ドイツ語IA (経A)	〈井村 行子〉	130
ドイツ語IA (経A・商)	〈河上 和史〉	130
ドイツ語IA (商)	〈百 濟 勇〉	131
ドイツ語IB (経A・商)	〈柴野 博子〉	131
ドイツ語IB (経A・商)	〈飯塚 公夫〉	131
ドイツ語IIA (商)	〈飯塚 公夫〉	132
ドイツ語IIA (商)	〈河上 和史〉	132
ドイツ語IIA (経A)	〈松岡 晋〉	132
ドイツ語IIB (経A)	〈河上 和史〉	133
ドイツ語IIB (商)	〈野島 利彰〉	133
〔フランス語〕		
フランス語IA (経A)	〈谷川 かおる〉	134
フランス語IA (経A・商)	〈小玉 齊夫〉	134
フランス語IA (経A・商)	〈菅谷 暁〉	134
フランス語IA (商)	〈伊藤 なお〉	135
フランス語IB (経A)	〈大野 英士〉	135
フランス語IB (経A・商)	〈菅原 猛〉	136
フランス語IIA (商)	〈竹田 正純〉	136
フランス語IIA (経A)	〈小玉 齊夫〉	137
フランス語IIA (経A)	〈前田 祝一〉	137

フランス語ⅡB (経A)	〈菅 谷 暁〉	138
フランス語ⅡB (商)	〈畑 中 千 晶〉	138

〔 中 国 語 〕

中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈松 本 丁 俊・胡 玉 華〉	140
中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈宮 本 厚 子・三田村 圭 子〉	140
中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈村 松 哲 文・福 地 桂 子〉	141
中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈工 藤 早 恵・陳 洲 拳〉	141
中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈塩 旗 伸一郎〉	141
中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈秋 元 翼・胡 玉 華〉	142
中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈松 本 丁 俊〉	142
中国語ⅡA (商)	〈松 本 丁 俊〉	142
中国語ⅡA (商)	〈福 地 桂 子〉	143
中国語ⅡA (商)	〈王 聡〉	143
中国語ⅡA (商)	〈弘 兼 加奈子〉	143
中国語ⅡA (経A)	〈釜 屋 修〉	144
中国語ⅡA (経A)	〈櫻 庭 和 典〉	144
中国語ⅡA (経A)	〈李 雲〉	145
中国語ⅡA (経A)	〈松 本 丁 俊〉	145
中国語ⅡB (経A)	〈王 聡〉	145
中国語ⅡB (経A)	〈平 石 淑 子〉	146
中国語ⅡB (経A)	〈弘 兼 加奈子〉	146
中国語ⅡB (商)	〈根 岸 政 子〉	146
中国語ⅡB (商)	〈櫻 庭 和 典〉	147
中国語ⅡB (商)	〈松 本 丁 俊〉	147

〔 ス ペ イ ン 語 〕

スペイン語ⅠA (経A・商)	〈荻 野 雅 司〉	148
スペイン語ⅠA (経A・商)	〈中 川 清〉	148
スペイン語ⅠA (経A・商)	〈宮 地 達 郎〉	148
スペイン語ⅠB (経A・商)	〈真 下 祐 一〉	149
スペイン語ⅠB (経A・商)	〈ナバロ, ホワンJ.〉	149
スペイン語ⅠB (経A・商)	〈ナバロ-ポロ, L.S.〉	150
スペイン語ⅡA (商)	〈荻 野 恵〉	150
スペイン語ⅡA (商)	〈真 下 祐 一〉	151
スペイン語ⅡA (経A)	〈大 岩 功〉	151
スペイン語ⅡA (経A)	〈福 本 久美子〉	152
スペイン語ⅡB (経A)	〈宮 地 達 郎〉	152
スペイン語ⅡB (商)	〈福 本 久美子〉	152

〔 ロ シ ア 語 〕

ロシア語ⅠA (経A・商)	〈クロチコフ, Y.・杉 山 秀 子〉	154
ロシア語ⅠB (経A・商)	〈木 村 英 明〉	155
ロシア語ⅡA (商)	〈木 村 英 明・杉 山 秀 子〉	155
ロシア語ⅡB (経A)	〈木 村 英 明・佐 野 朝 子〉	156

《再履修クラス》

〔英 語〕

英語 I A [再クラス]	〈西村 祐子〉	157
英語 I A [再クラス]	〈岩井 洋美〉	157
英語 I A [再クラス]	〈林 孝憲〉	157
英語 I A [再クラス]	〈太田 美智子〉	158
英語 I A [再クラス]	〈伊藤 美代子〉	158
英語 I A [再クラス]	〈高橋 寛〉	158
英語 I A [再クラス]	〈吉江 正雄〉	159
英語 I A [再クラス]	〈埴 美智子〉	159
英語 I A [再クラス]	〈塚本 利男〉	159
英語 I A [再クラス]	〈川島 弘之〉	160
英語 I A [再クラス]	〈尾上 典子〉	160
英語 I A [再クラス]	〈太田 由紀子〉	161
英語 I A [再クラス]	〈高柳 文江〉	161
英語 I A [再クラス]	〈桧山 晋〉	161
英語 I A [再クラス]	〈森田 隆光〉	162
英語 I A [再クラス]	〈岩原 康夫〉	162
英語 I A [再クラス]	〈前期：川股陽太郎、後期：八十木裕幸〉	162
英語 I A [再クラス]	〈西原 克政〉	163
英語 I B [再クラス]	〈手島 敬子〉	163
英語 I B [再クラス]	〈林 孝憲〉	163
英語 I B [再クラス]	〈木村 克彦〉	164
英語 I B [再クラス]	〈武藤 久緒〉	164
英語 I B [再クラス]	〈江田 幸子〉	164
英語 I B [再クラス]	〈甲斐 捷子〉	165
英語 I B [再クラス]	〈石原 孝哉〉	165
英語 I B [再クラス]	〈前田 脩〉	165
英語 I B [再クラス]	〈太田 由紀子〉	166
英語 I B [再クラス]	〈村石 恵照〉	166
英語 I B [再クラス]	〈町田 成男〉	166
英語 I B [再クラス]	〈松堂 啓子〉	167
英語 I B [再クラス]	〈三浦 眞理〉	167
英語 I B [再クラス]	〈飯沼 好永〉	167
英語 II A [再クラス]	〈佐藤 明子〉	168
英語 II A [再クラス]	〈宇都宮 秀和〉	168
英語 II A [再クラス]	〈岡崎 寿一郎〉	168
英語 II A [再クラス]	〈川股 陽太郎〉	169
英語 II A [再クラス]	〈岡崎 寿一郎〉	169
英語 II A [再クラス]	〈井伊 順彦〉	169
英語 II A [再クラス]	〈ピアス, D.M.〉	170
英語 II A [再クラス]	〈前期：田中 靖子、後期：矢島 直子〉	170
英語 II A [再クラス]	〈小笠原 隆元〉	171
英語 II A [再クラス]	〈河内山 有佐〉	171
英語 II A [再クラス]	〈大 瀨 利春〉	171
英語 II A [再クラス]	〈山 岸 二郎〉	172
英語 II B [再クラス]	〈前期：岩井 洋美、後期：矢島 直子〉	172
英語 II B [再クラス]	〈池 上 賀英子〉	172

英語ⅡB〔再クラス〕	〈川手浩一〉	173
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川手浩一〉	173
英語ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川公一〉	173
英語ⅡB〔再クラス〕	〈落合和昭〉	174
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川股陽太郎〉	174
英語ⅡB〔再クラス〕	〈河内賢隆〉	174
英語ⅡB〔再クラス〕	〈本間俊一〉	175
英語ⅡB〔再クラス〕	〈笹倉貞夫〉	175
英語ⅡB〔再クラス〕	〈西田義和〉	175

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	176
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈松岡晋〉	176
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	176
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈百濟勇〉	177
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈五十嵐信子〉	177
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈柴野博子〉	178
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈野島利彰〉	178
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈松岡晋〉	178
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	179
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈百濟勇〉	179
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	180
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈本橋右京〉	180
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	180
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百濟勇〉	181
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百濟勇〉	181
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈本橋右京〉	182

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	183
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈芦原眷〉	183
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	183
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	184
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈竹田正純〉	184
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈今関アーン〉	185
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	185
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈伊藤なお〉	186
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	186
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈畑中千晶〉	186
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	187
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	187
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈前田祝一〉	187
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	188
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	188

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈江林英基〉	189
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈戸張嘉勝〉	189
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈杉山静〉	189

中国語 I A・I B [再クラス]	〈佐藤 善美子〉	190
中国語 I A・I B [再クラス]	〈天野 節〉	190
中国語 I A・I B [再クラス]	〈根岸 政子〉	190
中国語 I A・I B [再クラス]	〈櫻庭 和典〉	191
中国語 I A・I B [再クラス]	〈曹 泰和〉	191
中国語 I A・I B [再クラス]	〈李 雲〉	191
中国語 I A・I B [再クラス]	〈三田村 圭子〉	192
中国語 I A・I B [再クラス]	〈小川 隆〉	192
中国語 I A・I B [再クラス]	〈胡 玉華〉	192
中国語 I A・I B [再クラス]	〈弘兼 加奈子〉	193
中国語 I A・I B [再クラス]	〈蘭 明〉	193
中国語 II A [再クラス]	〈平石 淑子〉	193
中国語 II A [再クラス]	〈李 雲〉	194
中国語 II A [再クラス]	〈秋元 翼〉	194
中国語 II A [再クラス]	〈大久保 明男〉	194
中国語 II B [再クラス]	〈塩旗 伸一郎〉	195
中国語 II B [再クラス]	〈李 雲〉	195
中国語 II B [再クラス]	〈蘭 明〉	195

[スペイン語]

スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈宮地 達郎〉	196
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈大岩 功〉	196
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈上野 勝広〉	197
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈佐藤 紘子〉	197
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈荻野 恵〉	197
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈荻野 雅司〉	198
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈佐藤 麻里乃〉	198
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈福本 久美子〉	198
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈大岩 功〉	199
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈佐藤 紘子〉	199

[ロシア語]

ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈廣田 英靖〉	200
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈佐野 朝子〉	200
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈木村 英明〉	201
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈安徳 ニーナ〉	201
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈クロチコフ, Y.〉	201
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈安徳 ニーナ〉	202

《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	203
英 文 講 読	〈前 田 脩 一〉	203
英 文 講 読	〈横 森 正 彦〉	203
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	204
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	204
時 事 英 語 研 究	〈河 内 賢 隆〉	204
マルチ・メディア	〈落 合 和 昭〉	205
マルチ・メディア	〈大 庭 直 樹〉	206
マルチ・メディア	〈町 田 尚 子〉	207
英 会 話 II	〈ジトウィッツ, P. D.〉	208
英 会 話 II	〈プラスキー, J. C.〉	208
英 会 話 II - 夏 季 集 中 -	〈ピアス, D. M.〉	209
英 会 話 III	〈ウエルズ, J. K.〉	210
英 会 話 III	〈ウエイド, D. A.〉	210
英 会 話 III - 夏 季 集 中 -	〈レーン, C. M.〉	211
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	212
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	212
英 語 L L II	〈町 田 尚 子〉	213
英 語 L L III	〈岸 本 茂 和〉	214
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	214
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	215
ドイ ツ 語 外 国 書 講 読	〈松 岡 晋 一〉	216
時 事 ドイ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	216
上 級 ドイ ツ 語	〈栗 原 万 修〉	216
ドイ ツ 語 L L I	〈小 林 ゲ ア リ ン デ ー 〉	217
ドイ ツ 語 L L II	〈小 林 ゲ ア リ ン デ ー 〉	217
ドイ ツ 語 I A (選)	〈栗 原 万 修〉	217
ドイ ツ 語 I B (選)	〈織 田 繁 美〉	218
ドイ ツ 語 II (選)	〈百 済 勇 一〉	218
フ ラ ン ス 語 外 国 書 講 読	〈遠 山 博 雄〉	219
時 事 フ ラ ン ス 語	〈遠 山 博 雄〉	219
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	220
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラ リ ア ・ 三 倉, M.〉	220
フ ラ ン ス 語 L L II	〈ラ リ ア ・ 三 倉, M.〉	220
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈井 田 清 子〉	221
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈長 谷 川 光 明〉	221
フ ラ ン ス 語 II (選)	〈桑 田 禮 彰〉	221
中 国 語 外 国 書 講 読	〈佐 藤 普 美 子〉	222
時 事 中 国 語	〈塩 旗 伸 一 郎〉	222
上 級 中 国 語	〈釜 屋 修 一〉	223
中 国 語 L L I	〈佐 藤 普 美 子〉	223
中 国 語 L L II	〈小 川 隆 一〉	223
中 国 語 I A (選)	〈蘭 明 一〉	224
中 国 語 I B (選)	〈釜 屋 修 一〉	224
中 国 語 II (選)	〈松 本 丁 俊 一〉	224
ス ペ イ ン 語 外 国 書 講 読	〈真 下 祐 一 郎〉	225
時 事 ス ペ イ ン 語	〈上 野 勝 広〉	225

上級スペイン語〈上野勝広〉	225
スペイン語LLI〈ナバロ, ホワンJ.〉	226
スペイン語LLII〈ナバロ, ホワンJ.〉	226
スペイン語IA(選)〈中川清〉	226
スペイン語IB(選)〈亀山晃一〉	227
スペイン語II(選)〈荻野雅司〉	227
ロシア語外国書講読〈廣田英靖〉	228
時事ロシア語〈木村英明〉	228
上級ロシア語〈クロチコフ, Y.〉	228
ロシア語LLI〈安德ニーナ〉	229
ロシア語LLII〈安德ニーナ〉	229
ロシア語IA(選)〈クロチコフ, Y.〉	230
ロシア語IB(選)〈木村英明〉	230
ロシア語II(選)〈安德ニーナ〉	231
朝鮮語IA(選)〈宋美玲〉	232
朝鮮語IB(選)〈宋美玲〉	232
朝鮮語II(選)〈宋美玲〉	232

英 語 I A

<英語 I A の授業内容と履修上の留意点>

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	みよし やすよし 三 芳 康 義	経 A 1 年	2

講義のねらい

この科目の目的は、基本的な英文を正確に読むために必要な文法の知識をより体系的に整理して学ぶことにあります。英文の内容理解と文法事項を再確認しつつ、TOEFLのような学外の英語検定試験の文法問題にも慣れると共に、英語の運用能力の向上を目指します。授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、レポート、前・後期試験の結果などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教 科 書

Milada Broukal、竹前文夫、菊地圭子編著『英文理解のための英文法入門』（成美堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	たんじ ひろまさ 丹 治 弘 昌	経 A 1 年	2

講義のねらい

映画のシナリオを中心にして学習を進めます。年間3本くらいの映画を予定して、各場面の映像及び会話を通じて英語表現を身に付けさせる。基本単語の習得、俗語への理解、日英語の表現比較など、プリントとDVDによって学習します。

講義の内容・授業スケジュール

各授業ごとにキーワードとキーセンテンスを指示しますので、受講者はそれらを中心にしてできるだけ幅を広げる予習並びに復習をしてください。また日頃より面白い映画やシナリオに注目して、それらの解説文などあったら持参してください。

成績評価の方法

成績評価は原則として3分の2以上の出席を最低限として、数回の小テスト並びに年2回の期末テストによって判定します。期末テストは最終授業日に行いますので留意しておくようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	町田尚子	経A1年	2

講義のねらい

英語を共通語として用いることができるように、あなたの英語を強化し、磨く手助けをする授業です。音声情報の理解上達には英語特有の音やリズムの聞き取り練習から始め、内容理解へと進みます。また、ウェブサイト上の記事を取り上げ、文脈からの内容把握を徹底し、文字情報をすばやく正確に理解する力を培います。

講義の内容・授業スケジュール

前期夏休み前の12回は TOEIC Test の聞き取り練習を中心に進めます。PC 教場が使用できるときは、テストのほか、ウェブサイトのニュース報道を文字と音声で理解する試みに当てます。
後期9月からは、英語新聞等のウェブサイトからの日本経済や社会問題の記事と論説を読み、メディアの英語に習熟し、内容の要約とあなたの見解を述べることを目指します。

履修上の留意点

予習を前提とし、課題を担当して発表する積極的な参加を高く評価します。大学の PC 講習を必ず受講し、KOMAnet の ID・Password を取得しておいてください。

成績評価の方法

平常授業での発表と小テストを重視し、定期試験成績と同等の評価をします。

教科書

Timothy Kiggell *New Listening Tactics for the TOEIC Test* マクミラン ランゲージハウス 1,800円。ISBN4-89585-462-0C3082
プリント

参考書等

『時事ニュースワード2003→2004』（時事通信社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	川崎浩太郎	経A1年	2

講義のねらい

大学生の日常生活に即した表現を学習する。Speaking に関しては、日常会話の基本的表現を解説する。Writing に関しては、入学時の英語からさらに一歩進んで、センテンス単位の作文ではなく、パラグラフ単位で表現できるようになることをめざす。Writing、Speaking だけでなく、Reading、Listening などとも相互に応用できるような学習方法を身につけてもらいたい。

履修上の留意点

辞書を必ず持って来るように。

成績評価の方法

出席点、発表点 50%、授業中のレポート 50%。全授業日数のうち 3 分の 1 以上欠席したものは不可とする。

教科書

『Thoughts into Writing 〈パラグラフ・ライティング入門〉』（成美堂）1,700 円（税別）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	相馬 美明	経A1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEIC のリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

Hiroko Nishida・William Gudykunst *American Communication Patterns* (金星堂) 1,200円
Mitsuho Sugawara *10-Minute Listening (Introductory)* (桐原書店) 780円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	真砂 久晃	経A1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の点数 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。

教科書

English Composition Made Easy 石黒昭博 他著 (金星堂) 1800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	岩屋 玉江	経A1年	2

講義のねらい

これまでに培ってきた英語力を基礎として、英語表現力の向上を目標とします。日本的な題材を扱ったテキストを使い、英語でそれらをどのように表現するかを中心に学習していきます。

履修上の留意点

テキストの例文や作文は、会話に役立つ表現ですので、覚えるよう心がけて下さい。授業は、予習、復習を前提とした発表形式でおこないます。

成績評価の方法

評価は、出席状況、演習への参加状況、小テスト、前期及び後期試験等を総合しておこないます。

教科書

Expressing Japanese Culture (金星堂) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	田中保	経A1年	2

講義のねらい 口語英語の極めて使用頻度の高い基本的な日常表現を通して、英語的発想を学び、英語としての自然な表現に慣れて、ダイアログからディスカッションへと英語の運用能力を培うようにする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法 成績評価の方法は、以下の項目を総合的に検討して評価する。

1. 授業時の発表
2. 授業時の小テスト
3. レポート
4. 前期・後期の筆記試験
5. 出席状況

教科書 『さあ始めよう 会話作文』(朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	川崎浩太郎	経A1年	2

講義のねらい 大学生の日常生活に即した表現を学習する。Speakingに関しては、日常会話の基本的表現を解説する。Writingに関しては、入学時の英語からさらに一步進んで、センテンス単位の作文ではなく、パラグラフ単位で表現できるようになることをめざす。Writing, Speakingだけでなく、Reading, Listeningなどとも相互に応用できるような学習方法を身につけてもらいたい。

履修上の留意点 辞書を必ず持って来るように。

成績評価の方法 出席点、発表点 50%、授業中のレポート 50%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 『Thoughts into Writing 〈パラグラフ・ライティング入門〉』(成美堂) 1,700円(税別)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	相馬美明	商1年	2

講義のねらい 入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEICのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法 全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書 Hiroko Nishida・William Gudykunst *American Communication Patterns* (金星堂) 1,200円
Mitsuho Sugawara *10-Minute Listening (Introductory)* (桐原書店) 780円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三芳 康義	商1年	2

講義のねらい

この科目の目的は、基本的な英文を正確に読むために必要な文法の知識をより体系的に整理して学ぶことにあります。英文の内容理解と文法事項を再確認しつつ、TOEFLのような学外の英語検定試験の文法問題にも慣れると共に、英語の運用能力の向上を目指します。授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、レポート、前・後期試験の結果などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

Milada Broukal、竹前文夫、菊地圭子編著『英文理解のための英文法入門』（成美堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	水崎 野里子	商1年	2

講義のねらい

基礎的な英作文、あるいは英会話の練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基礎的な英作文に必要な英単語、文法、慣用表現、構文などを学ぶ。後期は、自由英作文、あるいは自由英会話を練習する。
また、前期、後期を通して、バイリンガルの副読本を用い、日本語から英語、あるいは英語から日本語に置換可能な思考パターンを学ぶ。

履修上の留意点

授業は平常点を重視する。学生の方々は、出席に留意して欲しい。

成績評価の方法

平常点(出席重視)と、前期後期二度のテスト、あるいはレポートによって、総合判断する。

教科書

『英語常識が身につく基礎トレーニング』（朝日出版社）1,600円

参考書等

最初の授業の時、教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	岸本 茂和	商1年	2

履修上の留意点

英和辞典は必携。

成績評価の方法

全授業日数の3分の1以上欠席の場合は不可とする。試験は前期末と最終試験の2回。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	おがさわら 小笠原 りゆう 隆 げん 元	商1年	2

講義のねらい	これまで6~7年間学んだ英語力を何とか開花させるべく意志伝達・運用能力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	年間 25 回程の授業中、小作文、レポート提出を 10 回以上課すので覚悟する事。
履修上の留意点	実力をつけたいと思うならば、ひたすらに自分で努力し、実績を示されたい。
成績評価の方法	出席点、レポート、英作文、二回の試験、授業中の発表などを総合的に評価する。
教科書	次の二冊を購入されたい ①『語順が身につく英作文』（朝日出版社）1,800 円＋税 ②『異文化理解と国際ビジネス』（成美堂）（これは自習・レポート用）1,700 円＋税
その他	授業初回時に辞書持参で必ず出席の事。諸資料配布と英語力実力考査を行う。 受講生諸君の主体的、積極的努力を期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	かわ さき 川崎 えみ か 笑佳	商1年	2

講義のねらい	入学時の英語知識を基盤として、意志伝達能力の向上を目指す。授業では、テキスト、又は必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、基本的な表現から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。
履修上の留意点	毎回授業中に英作文を書いて提出してもらうので、辞書持参が望ましい。
成績評価の方法	3分の2以上の出席および英作文、発表、授業態度、テストの結果をもとに総合的に評価する。
教科書	『Thoughts into Writing - パラグラフ・ライティング入門』（成美堂）1,700 円

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	増田 恵子 <small>ます だ けい こ</small>	経A1年	2

講義のねらい

「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。

履修上の留意点

積極的に授業へ参加することが望ましい。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教科書

All of the Women of the Bible (開文社) 1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	川 股 陽太郎 <small>かわ また ようたろう</small>	経A1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常評価。出席、発表、小テスト等を総合し評価する。

教科書

教科書は未定。プリント教材を適宜配布、VHS、DVD等も使用する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	伊良部 祥子 <small>いらぶ あきこ</small>	経A1年	2

講義のねらい

英国史についてのエッセイを読み、英語の読解力の向上をはかるとともに、イギリスについて理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

イギリスの歴史に関するトピックを読み、英語での質問を通して内容理解を深めたいと思う。

履修上の留意点

予習して出席すること。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験、授業時の発表、レポート提出、出席状況で総合評価する。

教科書

Britain: Historical Tales (三修社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	山田 照子 <small>やま だ てるこ</small>	経A1年	2

講義のねらい

この授業では、Reading Comprehensionを磨くことを目的とします。読み方のコツをReading Tipsでまず学び、本文の内容理解を目指すテキストを用います。エッセイの内容は、グローバルな課題を身近に感じられるような話題が選ばれていますから、楽しく学べると 생각합니다。

履修上の留意点

発表形式で授業を進めますから、予習が必要です。

成績評価の方法

授業中における発表、小テスト、レポート、中間・学年末試験、出席率等によって総合評価します。

教科書

浅川他、編著 *Inspiring English* -リーディングマスターコース- (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	石原 孝哉 <small>いし ほん こう さい</small>	経A1年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。レポートはe-mailで提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教科書

The Whole Story Longman (南雲堂フェニックス) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	おおほなおき 大庭直樹	経A1年	2

講義のねらい

このクラスは講読のクラスなので、年間を通して、多読と精読を平行しておこなっていく。

講義の内容・授業スケジュール

このクラスでは、キリスト教をテーマにして文献を読み込んでいく。テキストには、キリスト教とヨーロッパ文明の関わりを論じたものを選び、それを精読していく。テキスト以外に、プリントとして、「旧約聖書」の抜粋、「新約聖書」に収められているイエスの譬え話などを読んでいく。基本的には、プリントはクラス外で読んで、その内容をクラスで発表してもらう。

成績評価の方法

成績は、3分の2以上の出席と、発表に重点をおく。課題の提出、そして前期と後期にそれぞれ定期試験を行う。

教科書

テキスト 『新約聖書物語』(成美堂)
プリントは教場で配布する

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	ますだけいこ 増田恵子	経A1年	2

講義のねらい

「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。

履修上の留意点

積極的に授業へ参加することが望ましい。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教科書

All of the Women of the Bible (開文社) 1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	いらぶあきこ 伊良部祥子	経A1年	2

講義のねらい

英国史についてのエッセイを読み、英語の読解力の向上をはかるとともに、イギリスについての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

イギリスの歴史に関するトピックを読み、英語での質問を通して内容理解を深めたいと思う。

履修上の留意点

予習してくる事。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験、授業時の発表、レポート提出、出席状況で評価する。

教科書

Britain: Historical Tales (三修社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	やま だ てる こ 山 田 照 子	経A1年	2

講義のねらい

この授業では、Reading Comprehensionを磨くことを目的とします。読み方のコツをReading Tipsでまず学び、本文の内容理解を目指すテキストを用います。エッセイの内容は、グローバルな課題を身近に感じられるような話題が選ばれていますから、楽しく学べると思います。

履修上の留意点

発表形式で授業を進めますから、予習が必要です。

成績評価の方法

授業中における発表、小テスト、レポート、中間・学年末試験、出席率等によって総合評価します。

教科書

浅川他、編著 *Inspiring English* -リーディングマスターコース- (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	おお ば なお き 大 庭 直 樹	商1年	2

講義のねらい

最新の出来事を、英字新聞・外国の雑誌・インターネットから入手して読んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

このクラスは、講読のクラスなので、できるだけ多くの情報を英語で読むことを重点におく。読み物は、プリントを教場で配布する。さらに課題として、ある出来事が外国の新聞等でどのように報道されているか、調べて発表してもらう。クラス以外にも相当の量の英文を読むことになる。たくさんの英文を読んで内容を要約する力を養うことが、このクラスの重点である。

成績評価の方法

成績は、3分の2以上の出席、発表、頻繁におこなうクイズ、そして定期テストによって行う。

教科書

テキスト：プリントを配布するが、詳細は教場で指示する。
プリントで配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	ます だ けい こ 増 田 恵 子	商1年	2

講義のねらい

「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。

履修上の留意点

積極的に授業へ参加することが望ましい。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教科書

『絵と原文で楽しむ *Jane Eyre*』(大阪教育図書) 1,800 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	伊良部 祥子 <small>いらぶ あきこ</small>	商1年	2

講義のねらい

アメリカに関するトピックを読み、英語の読解力及びリスニング能力の向上をはかる。同時に、アメリカの文化・社会について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

速読に適したテキストであるので、どんどん読みすすめていきたい。英語による質問応答も行う。

履修上の留意点

予習してくること。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験、授業時の発表、レポート提出、出席状況で評価する。

教科書

Let's Learn About American Culture (松柏社) 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	山田 照子 <small>やま だ てるこ</small>	商1年	2

講義のねらい

この授業では、平易な英語で書かれたエッセイと、内容理解、語彙、文法、構造、作文からなる練習問題で構成された総合教材のテキストを使います。イギリス英語で書かれていて、イギリスと日本の日常的な習慣や風物とその背景にある価値観について学び、外国人とのコミュニケーション能力の習得を目指します。

履修上の留意点

発表形式で授業を進めていきますから、予習が必要です。

成績評価の方法

授業中における発表、レポート、小テスト、中間・学年末試験、出席率等によって総合評価します。

教科書

Terry O'Brien 著『*Clearly Britain, Clearly Japan* (ちょっとイギリス拝見)』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	川股 陽太郎 <small>かわ また ようたろう</small>	商1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常評価。出席、発表、小テスト等を総合し評価する。

教科書

教科書は未定。プリント教材を適宜配布、VHS、DVD等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	いしはら こうさい 石原 孝哉	商1年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。レポートはe-mailで提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教科書

The Whole Story Longman (南雲堂フェニックス) 1,600円

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	伊 藤 幸 一 <small>いとう こういち</small>	経A 2年	2

講義のねらい

テキストは平明な短文で記されているが、所々、空欄になっているので予習せざるを得ないが、結果、暗記が容易となるか。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、着席順に当てるので予習されたい。また、復習の為に宿題レポートを3回(5月末、夏休み、大学祭後)課し、「まとめ」として最終授業時にテストの予定。

成績評価の方法

評価は、以上、予習、復習、まとめの成果による。授業の進め方も含め、詳細は最初の授業時に説明する。

教 科 書

Listening to the VOA : *Stories of the Mississippi River Valley* (松柏社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	伊 勢 村 定 雄 <small>いせむら さだお</small>	経A 2年	2

講義のねらい

英語の音読及びダイアログの暗唱を通して、会話の基本的パターンを学び、英語の発音に慣れる。

講義の内容・授業スケジュール

各課(ワン・レッスン)ごとに2~3時間をあてて進む。方法は[音読→訳読→ダイアログの練習→ダイアログのテスト]となる。

履修上の留意点

予習なしでは授業には参加できないので、必ず準備すること！(予習方法は特に最初に伝える予定)

成績評価の方法

ダイアログのテスト及び出席態度が主。

教 科 書

伊勢村定雄・David W. Chapmon『オーラル・コミュニケーション英語演習』(北星堂書店) 1,900円

参 考 書 等

中型英語辞典なら何でも可。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	にしむらゆうこ 西村祐子	経A2年	2

講義のねらい

インターネットをつかって海外の情報にふれながら内容を把握し、英語でサマリーしながらその内容を電子メールなどを用いながら教場でインターアクティブに検討していく。後期には基本的なソフトウェアであるMSワードでの英文資料のつくりかた、パワーポイントをもちいたプレゼンテーションのつくりかたなどを後期には学んでいく。インターネットを利用して欧米だけではなく、アジア、中東、アフリカなどの情報にもふれていく。

成績評価の方法

ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出があるため、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教科書

Web-Watching the World. (南雲堂)

その他

学生への要望：電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイプング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	はぎわらてる 萩原輝	経A2年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を、英語で表現できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

4月から6月は"Happiness"と"Money"と"Work"についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、"Love and Hate"と"Humor and Laughter"と"Experience"についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

いつでも自分の考えや意見を英語で表現できるようにするためには、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。

教科書

Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』(南雲堂) 1,957円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	さとうアヤ子 佐藤アヤ子	経A2年	2

講義のねらい

Eメールの書き方を学びます。
使い慣れてしまうとEメールほど便利なものはありません。特に外国に出すときはとても便利です。本授業では、実際にEメールを読み、自分でも書いてみて、英作文の能力を高めたいと思います。

成績評価の方法

出席点、毎回行なう小テスト、宿題等で決定します。

教科書

『はじめてのEメール英作文』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A	おの 逢 見 明 久	経A2年	2

講義のねらい	インターネットの英字新聞の記事・小説・詩・戯曲・映画など、様々な表現形式の英語に触れて、文語体と口語体の違いを確認し、音声面から口語体の表現を捉えて英語の聞き取りの力を養成することを目標にします。
履修上の留意点	平常点の比重が大きいため、欠席は成績評価に大きく影響します。遅刻した場合、発表の機会を失うことがあるので要注意。予習は必須で、少なくとも、未知の単語は調べておくように。発言は正誤に関わらず、事前に調べてきた成果を発表できている場合は、評価します。
成績評価の方法	評価の割合は、平常授業での発表や受講態度、及びレポートの合計をおおよそ60%までとし、前後期の試験の結果の合計を40%とします。
教科書	随時プリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A	すず き み き こ 鈴 木 美 貴 子	経A2年	2

講義のねらい	日常の話題に対する表現力を高めることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	日常生活における会話を題材とした作文のテキストを用いる。主に、テキストに沿って、ダイアログや作文を学ぶ。
履修上の留意点	毎時間、できるだけたくさん英語表現を覚えていただきたい。
成績評価の方法	出席状況、前・後期試験により総合的に評価する。
教科書	木塚晴夫 『Writing English through Topics of Daily Conversation 大学生の日常生活を英語にしよう』（金星堂）1,700円
その他	辞書を常に持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A	あし だ かず ひと 足 田 和 人	経A2年	2

講義のねらい	英作文および英会話の運用能力向上をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	演習形式で授業を行う。
成績評価の方法	毎時間小テストを行い平常点とし、前後期試験の点数を評価して加える。
教科書	WHAT'S UP? 2002-3 Elementary (桐原書店)
参考書等	必要に応じて配布・紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	伊勢村 定雄	商2年	2

講義のねらい	英語の音読及びダイアログの暗唱を通して、会話の基本パターンを学び、英語の発音に慣れる。
講義の内容・授業スケジュール	各課（ワン・レッスン）ごとに2〜3時間をあてて進む。方法は、〔音読→訳読→ダイアログの練習→ダイアログのテスト〕となる。（詳細は初回に説明する）
履修上の留意点	予習なしでは授業に参加できないので、必ず予習はすること！（予習方法は特に初回に伝える予定）
成績評価の方法	ダイアログのテスト及び出席態度が主。
教科書	伊勢村定雄・David W. Chapman『オーラルコミュニケーション英語演習』（北星堂書店）1,900円
参考書等	中型英語辞典なら何でも可。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	岩山 義春	商2年	2

講義のねらい	この授業では、パラグラフを作成するための基本的なルールを学び、自分の考えを短いエッセイの形にできるようになることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	英文を書く上での基本的な事項（punctuation marks, dangling modifiers, wordiness等）をしっかりと学びます。前・後期を通じて、エッセイ（A4で2枚）を4回提出することが課せられる。
成績評価の方法	前・後期末試験を全評価の40%とし、エッセイ（4回）とclass activitiesを全評価の60%とする。全授業回数の1/3以上を欠席した学生はこの授業をパスできないものとする。
教科書	プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	萩原 輝	商2年	2

講義のねらい	これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を、英語で表現出来る能力の習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	4月から6月は"Happiness"と"Money"と"Work"についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、"Love and Hate"と"Humor and Laughter"と"Experience"についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。
履修上の留意点	いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。
成績評価の方法	成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。
教科書	Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』（南雲堂）1,957円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	古 富 猛 <small>こ とみ たけし</small>	商 2 年	2

講義のねらい	<p>かねてより複雑化し、迷路にはまっていたパレスチナ問題に代表されるごとく、イスラム対キリスト教の対立構造は 21 世紀に入ってまもなく、予想もしない手段でその根深さを露呈した。つまり 9・11 テロ事件である。20 世紀までに、様々な要因で戦争を繰り返した人類は、宗教的対立抗争で滅亡するのではないかと危惧する程の事件と言える。</p> <p>もはや我々は違った方法で、闘争本能を燃やすべきであり、ワールド・カップによってその意見に賛同してくれる人も多くなってきた。サッカーに限らず、あらゆるスポーツによって、人種の違いや文化の、また習慣の違いによる対立を避け、お互いに理解すべき時代に入ってしまったと認識すべきであろう。そこでやはり誤解の要因のひとつである言語の違いに焦点を合わせ、言葉こそあらゆるジャンルの違いを乗り越えるための道具であると考え、語学を学ぶ重要性が増大したと考える。</p>
--------	---

講義の内容・授業スケジュール	日本人が外国語を学ぶ場合、ヨーロッパ系の言語とは構造的に、決定的相違があり、本来至難のわざであることを説明し、従来の文法を取り入れた方法が、とどのつまり向いていることを理解してもらいたい。そして、それにそって教科書中心にすすめてゆく。
----------------	---

成績評価の方法	平常点を考慮し、予習発表をしてもらう。出席も評価に加え、前後期筆記試験を実施する。
---------	---

教 科 書	教科書は教場にて指示する。
-------	---------------

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	太 田 雅 子 <small>お だ まさこ</small>	商 2 年	2

講義のねらい	英語のスピーキングとリスニングの力を養成することを目標とする。
--------	---------------------------------

履修上の留意点	全授業回数の 3 分の 1 以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第 1 回目の授業で指示するので、必ず出席すること。
---------	--

成績評価の方法	毎回小テスト。
---------	---------

教 科 書	テキストは未定。
-------	----------

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	高 見 陽 子 <small>たか み ようこ</small>	商 2 年	2

講義のねらい	文法や構文に関する知識をひろげながら、それを英語でのコミュニケーションに活かす能力を伸ばすことを主な目標とします。
--------	---

講義の内容・授業スケジュール	自分の意見を述べ、議論するうえで必要な英語表現や話の展開の仕方などに慣れ、簡単なプレゼンテーションやグループ・ディスカッションを通して実践することを課題とします。
----------------	---

履修上の留意点	辞書を必ず持参すること。
---------	--------------

成績評価の方法	全授業回数の 3 分の 2 以上の出席を基本条件として、前・後期試験と上記課題の結果をベースに、授業中の取り組み等の平常点を加味し、総合的に評価します。
---------	--

教 科 書	テキストについては、第一回目の授業で指示します。
-------	--------------------------

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	きつかわ なお 吉川直澄	経A2年	2

講義のねらい

I B を基礎として、専門書を読むための訓練となりうる論説文（比較的短いコラム）、つまり著者がある見解を論理的に述べ、読者を説得しようとする知的な文章を正確に読む。その経験を積むことにより、論理的思考力と精神的耐久力を養う。

履修上の留意点

全授業数の3分の1以上欠席した学生には原則的に単位を認定しない。遅刻や欠席をせず意欲をもって授業に参加する姿勢を求める。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、宿題、前期後期試験を総合して評価する。

教 科 書

安西徹雄『英文読解術』（ちくま新書）680円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	やまぐち あきら 山口晃	経A2年	2

講義のねらい

基礎的なリーディング能力を前提として、英文をより多く正確に読めるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

毎週異なったテーマで、リーディングの要点を説明し、実際にまとまった長さの英文を読んで理解する演習を行う。

履修上の留意点

授業中の演習が主となるので、予習の必要はないが、復習をして自分の理解度を確かめるようにする。

成績評価の方法

期末テストが主な評価基準となるが、授業参加の態度と出席も加味する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

そ の 他

リーディングの内容について質問し、ディスカッションまで持っていくようにしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	まさのまさひで 牧野正秀	経A2年	2

講義のねらい

英語の授業は皆さんの独習が主体となり、それを実際発表するという行動に移さなければなりません。独習だけで誤解や思い込みから自分流の知識に左右される場合があります。従って、発表の場が客観的手段に訴えられる教室です。I Bでの勉強を基により高度な英文を理解する力を養成することを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

英語の授業は演習なので、指名して発表してもらいます。従って必ず予習をして授業に臨むこと。基礎力を十分に復習再確認しながら、授業を進めていきます。1回の授業で必ず1回の質問が、全員に行きわたるようにします。

履修上の留意点

予告なしに小テストを随時実施する場合がありますので、常に予習復習を怠らないように。授業だけでは勉強に限りがあります。自学自習の時間が圧倒的に多いわけなので、不足の分を自学自習で補うことを特に要望します。

成績評価の方法

評価は前後期のテストの結果に平常点と出席数を加味して行なう。

教科書

開講時教室で指示

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	わたべこうじ 渡部孝治	経A2年	2

講義のねらい

英語の運用能力の向上を目指す。読解、作文を中心に行うが、リスニングにも力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュールについては開講時に指示する。

履修上の留意点

会話にも活かせる基本的な表現を学び、さらに応用表現も学ぶ。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

テキストについては、開講時に指示する。

参考書等

参考書についても開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	いちかわひとし 市川仁	経A2年	2

講義のねらい

英文の内容を正確に把握することを目的とします。あわせて聞き取りの練習も行なっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

演習科目ですので、予習を前提として授業を行ないます。必ず予習をした上で出席してください。

成績評価の方法

成績評価は、年間授業回数の3分の2以上の出席を条件とした上で、授業中の発表、試験などを総合して行ないます。

教科書

『若き魂の叫び』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	児林英子	経A 2年	2

講義のねらい

英語学習を無味乾燥なものにしないため、英語に関する歴史・地理・日常的常識等も細かい点にわたって指導していきたい。更に発音、書法なども文法事項と共に学んでいきたい。

成績評価の方法

出席は全授業日数の三分の二以上。
試験は各学期共二回程度。実施二週間前に予告するので注意のこと。受験しなければ0点扱いとなる。
毎時予習して教室にくること。

教科書

授業開始後に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	樋渡俊光	経A 2年	2

講義のねらい

日本の若者達が将来米岡へ旅行または留学する際に役に立つ、米事情や大学キャンパス生活に関する最新の实用情報が中心で、英文構造と英語語彙のレベルは、米国の大学が発行する大学案内や学生便覧、行政府や諸団体の発行する各種刊行物のそれと同等であり、現実的英文である。その英文にあふれることにより生きた英語のマスターに役立つものである。

成績評価の方法

出席点、二回の定期試験で評価し、年間欠席数は5回以内とする。

教科書

A SHORTER COURSE IN READING (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	植村恵子	経A 2年	2

講義のねらい

新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・経済・外交・軍事・環境保護からスポーツに至るまで多方面の英語ニュースを読んでいきたい。これにより新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標とした。

講義の内容・授業スケジュール

使用するテキストは各課6ページから成り、まずは関連ニュース類出用語を学び、次に2ページに渡る News を読んで内容を把握し、そして EXERCISES で練習問題を解く、という作業を3回の授業で2課終える割合で前期・後期を通じて進んでいきたい。

履修上の留意点

よく予習をして授業に臨み、授業中は大学生としてのマナーをもって受講し、授業は休まず、積極的に発表することが大切である。もちろん授業中の私語は厳禁、注意を受けてもやめない場合は、授業妨害とみなし退室していただく。

成績評価の方法

出席状況(実授業回数少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や発表の内容、小テスト)及び前期・後期試験による。

教科書

藤井・内野『時事英語の総合演習-2003年度版-』(朝日出版社) 1,500円

参考書等

『リーダーズ英辞典』(研究社) 7,600円
『現代用語の基礎知識』(自由国民社)
『imidás』(集英社)
『知恵蔵』(朝日新聞社)

その他

予習してきた内容を各自に発表してもらい、それに対して説明を補足し、また予習の結果生じた疑問に答えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	手島敬子	商2年	2

講義のねらい

本科目は「英文読解力向上」をテーマに、できる限り多くの英文を読むことで英文になれ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

なるべく辞書に頼らず短時間に効率良くテキストを読む練習、さらに一定の時間内にテキストの趣旨・要点を正確にとらえる練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などにに基づき総合的にを行います。

教科書

開講時指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	佐藤孝一	商2年	2

講義のねらい

授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいを思っています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んでください。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計り TOEIC 教材を用いる予定です。毎時間5人の人に発表をしてもらいますが、事前に割り振りします。

成績評価の方法

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。

教科書

- (1) M.ドライバー著 *It's as American as hot dogs, apple pie, and Chevrolet (World Communication)* 1,700円
- (2) TOEIC テキストに関しては未定。授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	おがせ けいさく 小布施 圭佐三	商2年	2

講義のねらい	この授業の目的は、パラグラフ・リーディング、リスニング、及び表現力を養成することにある。教科書の題材は、英国の文化が中心になっている。魅力ある内容になっているので興味をもって飽きずに読めるでしょう。
講義の内容・授業スケジュール	《前期》 UNIT 1 (Television) ~UNIT 10 (The Changing Face of Shopping) 《後期》 UNIT 11 (Transport) ~UNIT 20 (Student Life in Britain)
履修上の留意点	授業形態は演習形式で行います。
成績評価の方法	①出席点②平常点③レポート④定期試験（前・後期）などを加味して総合評価します。
教科書	杉本豊久/R. Payne <i>UK Made Easy</i> (SANSHUSHA) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	もり たかみつ 森田 隆光	商2年	2

講義のねらい	このコースはI Bを基礎として、さらに、できるだけ多くの量の文章を読めるように、また大意の把握に心がけ、読む速度をあげると言うことですので、そのように行いますが同時にしっかりとした、正確な英文を書くことが出来るようにします。英文が書けると言うことは最大の利点です。皆さんがんばって下さい。毎回出席することが必要条件です。
成績評価の方法	試験60%、レポート20%、出席20%
教科書	森田隆光著 <i>New Writing in Current English</i>
参考書等	開講時発表

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	岩原 康夫 <small>いわはら やすお</small>	商2年	2

講義のねらい

21世紀に入り、衛星放送やインターネットの発達で、益々世界は経済・政治・情報・文化などの面で緊密な関係を深め、国際関係に関する認識と理解抜きには、生きることは不可能になりつつある。特に、アメリカという国との関係は、幕末の開国以来日本にとって最も重要な国際関係であり、この国を十分理解せず日本の国際関係は考えられない。このような観点から、今や唯一の超大国と言われるアメリカの歴史を学び、その発展の流れを追いながら、その思想や文化を考えたい。豊かなコミュニケーションは、相手を知り、また自らを知ることによってはじまるが、このことは国際関係にも当てはまる。アメリカの歴史を理解することで、彼我の差をきちんと認識し、それによってより広い国際的な視野を醸成し、ひいては英語をコミュニケーションの手段として使う上でも、その知識や理解を活用できたらと思う。そのために、英語特有の論理と表現に注意を払った読解力の養成を目標としたい。

外国語

講義の内容・授業スケジュール

クラスは基本的にテキストに沿って読み進むが、必要な歴史的・文化的背景や英語表現などについて説明する。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験 60 パーセント、平常点 40 パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける participation によって判断する。

教科書

Eric Homburger, *The United States: an Illustrated History* (『図解から学ぶアメリカの歴史』) (英宝社) 1,900 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	飯沼 好永 <small>いいぬま よしなが</small>	商2年	2

講義のねらい

英語の技能において、リーディングは、情報を得る重要な要素であり、情報化社会である現代においては、氾濫する情報の中から自分の必要とする情報を正確に、かつ迅速に収集することが求められています。この授業においては、英語の文章の構造に慣れながら、段階ごとの main idea を押え、文意を正確に把握していく技能を訓練していきます。ただし、日本語と英語では、段落の構成だけでなく、それを構成する文自体に違いがあるので、文法・語法の助けを借り、正確に意味を把握していくことも心がけていきます。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の力を向上させることは困難であるので、予習と復習は欠かさないで下さい。また、速読には、多くの語彙が不可欠なので、日ごろから英単語、英語の表現等を積極的に身につけるよう心がけて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%)

教科書

塩川晴彦 *The Real World Today New Edition* (桐原書店) 750円

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL のスコアー450点、TOEIC のスコアー500点程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラーズ, R.	経A・商1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する (受け身の授業ではなく積極的な参加を望む)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J. K.	経A・商1年	2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I !!
Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1st semester will be question and answer, while the 2nd semester will be role playing activities.

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ソルタ、P.N.F.	経A・商1年	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates, who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

A textbook with 15 units, a workbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教科書

Communicate: Book 1 a / David Paul / Macmillan Language House.
Student's Book 1 a (¥1,230) & Workbook 1 a (¥880).

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	デンドウ, G.	経A・商1年	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his / her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ジトウィッツ, P. D.	経A・商1年	2

講義のねらい

To help students English in a variety of social usel and business situations. To increase students' working vocabulary and to improve pronunciation.

講義の内容・授業スケジュール

Students will intensively practice English through intensive pair work and assigned dialogues.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in classes.

教科書

Teamwork by Richard Carrington. Macmillian Language House, 1994.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	プラスキー, J. C.	経A・商1年	2

講義のねらい

The goal of this coarse is for students to begin expressing themselves at a basic level of proficiency about everyday topics with which they are familiar.

講義の内容・授業スケジュール

Grammar and vocabulary will be incorporated into communicative speaking activities, i.e., pair discussions with other students. These activities will be supplemented with pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises and listening practice.

履修上の留意点

Homework will be used in place of a textbook and therefore will be an essential part of preparation for each class.

成績評価の方法

Assessment will be determined by a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral/written test (20%) given during the last class meeting.

教科書

None.

英語 L L I

＜英語 LL I の授業内容と履修上の留意点＞

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階LL教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFLのスコアー450点、TOEICのスコアー500点程度を達成目標とする初級レベルです。I Aの振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	甲斐捷子	経A・商1年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通してアメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意志伝達の現場をビデオで見ながら、コミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」、「話す」授業の中で、基本的な発音の矯正も適宜行います。

履修上の留意点

授業としては週1回ですが、演習科目の成否は学習量で決まりますから、少なくとも週2回はLL自習室で復習して下さい。また1単元終了時には小テストを行います。

成績評価の方法

一応の日安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意をして下さい。

教科書

Vival San Francisco（マクミラン・ランゲージハウス）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	加藤 佐和子	経A・商1年	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEICスコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度等で評価する。

教科書

『アメリカ英語の発音教本』（研究社）
『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保ひさ子	経A・商1年	2

講義のねらい	海外旅行の場面別で、一回で通じる短い会話文を習得することをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	旅行会話の短文を、ラボを使用して聞きとり、書きとり、反復練習、録音、再生する。さらに、応用できるように、暗記する。毎回小テストあり。
履修上の留意点	LL 授業は、本来、ラボによる practical training のため、欠席しないように、お願い致します。
成績評価の方法	期末試験 50%、 実習授業 50% 但し、小テスト、発表を含む。
教科書	マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	中林正身	経A・商1年	2

講義のねらい	英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ほくたちが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能(リスニングとスピーキング)の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやっってもらう。この作業のなかで学生諸君他には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験をとおして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れてもらう。
履修上の留意点	上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行なうつもりである。授業時間外での復習は必須である。
成績評価の方法	出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。
教科書	最初の授業時に指示する。
参考書等	最初の授業時に指示する。
その他	家庭や LL 自習室を利用しての予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	^{にしむらゆうこ} 西村祐子	経A・商1年	2

講義のねらい

基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語ではなしてみることからはじめる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。英語と日本語を半分程度ずつ用いるが、後期にはほとんど授業を英語ですすめるようになる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教科書

参考書等

『サバイバルイングリッシュ』（朝日出版）1、2をおもに使用。テキストは購入する必要はない。
使用ビデオ：Grapevine 1,2,3、Survival English 1,2 など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	^{はなわみちこ} 埴美智子	経A・商1年	2

講義のねらい

英語の実力の養成に関して口頭によるコミュニケーションの重要性が指摘されている。聞き、話す能力が要求されているのである。本LL教室ではリスニングの力をつけると共に英語の発音等を徹底的に練習し明確な英語を話すことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音、アクセント、イントネーション等を重点的に取り入れ練習問題等をこなしていく。ヒアリング能力を高めるため日常的な会話を取り入れ簡単な文章の暗記、口頭練習を通して英語に慣れていく。

履修上の留意点

テキストは忘れないこと。必ず復習を行う。テープに入れた音等を家でも聞き声に出して練習する。

成績評価の方法

出席率、普段の授業態度、小テスト、前・後期試験等の総合評価で行う。

教科書

『Perfect Listening（パーフェクト・リスニング）-TOEIC テスト対応問題付-』（朝日出版）2,000円

参考書等

日常的な情景を集めた会話のビデオを見てヒアリング・オーラル・プラクティスを数多くこなすためにプリントを配布する。

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	志 真 斗美恵	経A・商1年	2

講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にしたがって、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。

履修上の留意点

はじめての外国語ですが、授業に参加していれば理解できる内容です。できる限り休まず出席してください。

成績評価の方法

平常点（練習問題の提出・小テスト）と前期・後期試験で総合的に評価します。

教科書

斉藤佑史・荒木詳二『ドイツ語文法プレリユード』（郁文堂）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	井 村 行 子	経A1年	2

講義のねらい

ドイツ語文法の基礎を一通り学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は名詞を中心に、冠詞、形容詞の変化などを学び、後期は動詞を中心に、時制や態などを学ぶ。具体的な授業の予定は次の通りである。第1回 アルファベット 第2回 発音 第3回 動詞の現在形 第4回 定冠詞の変化 第5回 動詞の変化（不規則動詞） 第6回 不定冠詞の変化 第7回 複数形 第8回 人称代名詞 前置詞 第9回 形容詞の変化 第10回 過去形と未来形 第11回 比較級と最上級 第12回 完了形 第13回 助動詞第14回 分離動詞 第15回 関係代名詞 第16回 再帰代名詞 第17回 受動態 第18回 指示代名詞 不定代名詞 第19回 数詞 第20回 zu不定詞 分詞 第21回 接続法の形態 第22回 接続法の用法

履修上の留意点

学ぶべき項目は多く、与えられた時間は限られている。必ず予習のうえ授業に参加してほしい。

成績評価の方法

主として前期末と後期末の二度の筆記試験による。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	河 上 和 史	経A・商1年	2

講義の内容・授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずです。知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

教科書

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	もも ずみ いさむ 百 済 勇	商1年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。それを駒澤大学の学生に伝授したい。初めてドイツ語を学ぶ学生が多いと思うが、毎回、出席すること。

講義の内容・授業スケジュール

採用テキストに沿って進めるが、毎時間1章つづの内容を履修していく。

履修上の留意点

毎回出席すること。それが大原則である。連絡を密にするために、連絡方法はメールによって行う。

成績評価の方法

原則として、毎時間、小テストを行う。それゆえに期末試験は、行わない。毎回出席が原則である。

教科書

新スタンダード・ドイツ文法：大岩信太郎、朝日出版社、2,300円

参考書等

初めてドイツ語を学ぶ学生が多いと思う。使用辞書に関しては教場で示唆する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	経A・商1年	2

講義のねらい

ドイツ語の学習を通して、ドイツの文化にも触れる授業にしたいと思っています。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

小塩 節『ドイツ こころの旅』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	いい つか きみ お 飯 塚 公 夫	経A・商1年	2

講義のねらい

ドイツ語及びドイツ文化に親しみをもつこと。

講義の内容・授業スケジュール

文法を簡単に説明してから、教科書の文章の理解と読み（発音）に取り組みます。

履修上の留意点

まじめであること。

成績評価の方法

前後期の試験及び平常点。

教科書

西村佑子他著『改訂版・ドイツ語へようこそ』（同学社・2500円）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	飯塚公夫 <small>いいづか きみお</small>	商2年	2

講義のねらい

一年次で履修したドイツ語の基礎の応用。ドイツ語文献を読むための基礎作り。

講義の内容・授業スケジュール

連休前に一年の文法の補習の予定。それ以後は読み物を読んでいく。

履修上の留意点

文法に自信のない人は辞書は持ってくる。あらかじめ当てておかないので予習しておく必要がある。勉強する気のない人は出ないほうがいい。

成績評価の方法

前・後期の試験および平常点 (=発表点)

教科書

文法の補習の際は、一年次の文法の教科書を持参すること。それ以後の読み物は、大学語学用教科書として編まれたもので、『ゴレム伝説』（白水社・900円）という本を使います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	河上和史 <small>かわ かみ かず ひと</small>	商2年	2

講義の内容・授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。
いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。諸君の積極性に期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	松岡晋 <small>まつ おか すずむ</small>	経A2年	2

講義のねらい

下に掲げた教科書を用いてドイツ語の現代文を読みます。ドイツ語の新聞、雑誌等を読むための基礎訓練になれば、と思っております。

講義の内容・授業スケジュール

教科書は、各課とも、現代ドイツの生活や社会に関する2~3ページのドイツ語の文章、関連する文法事項の説明および練習問題からなっています。ドイツ語の文章には注解も付いており、比較的容易に読みこなせるはず。教科書終了後は、また別の文章をコピーで配布して読むつもりです。

履修上の留意点

多少は予習をお願いいたします。また、毎回、独和辞典を持参してください。ドイツ語に限らず、外国語のテキストを読むには、最初のうちは時間と忍耐力が必要です。すぐに諦めないで、粘り強く続けてください。

成績評価の方法

成績評価は最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢、分担箇所和訳をきちんと準備したかどうかなど）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

石井寿子ほか『時事ドイツ語 '02年トピックス』（朝日出版社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	かわかみかずひと 河上和史	経A2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。
いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。諸君の積極性に期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	のじまとしあき 野島利彰	商2年	2

講義のねらい

同じ人間のように見えてもドイツ人は日本人とは考え方がとても違います。どんな点が異なり、それが社会生活にどのように反映しているかをてゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書はほとんど1年次の復習で構成されています。復習しながらより高度の文法的知識を積み上げます。教科書をなるべく早く終わり、より上級の文章も読みたいと思います。

履修上の留意点

語学は予習が大切です。予習をして授業に出席してください。教科書にはCDが付属していますので、予習の際によく聞いて置いてください。

成績評価の方法

予習をしているか否か、年2回の期末試験、ヒアリングテスト、出席状況などを総合的に判断して成績を評価します。

教科書

大谷弘道著『ドイツ人を知る9章』三修社 2500円

[フランス語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	たに かわ 谷 川 かおる	経A1年	2

講義のねらい

フランス語の基礎文法を学ぶ。

講義の内容・ 授業スケジュール

文法事項の解説の後、練習問題に取り組み、最後に簡単な小テストを行う。

成績評価の方法

前期・後期の試験、小テストなど。

教 科 書

小畑精和・寺家村博、『快速フランス語』（駿河台出版社）1600円＋税。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	こ だま なり とも 小 玉 齊 夫	経A・商1年	2

講義のねらい

初歩のフランス語文法の授業として、基本的な文のしくみを、なるべく多くの例文を読みとおすことによって理解していきたいと思います。一年次の目標は、自分で辞書をひいて、音読を試みながら読解していくことですが、そのためには、覚えている単語、表現の数が多く、聞き取りの場面でも有利になるはず。つとめて、記憶機能と、記憶を呼び起こす機能を鍛えるようにしたいと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

一回の授業で一課を学習する、予定です。フランス語を聴き、書く練習として、小テストを、各課の終わりに試みます。

履修上の留意点

特別な場合を除いて、授業には毎回出席して、そのつど、覚えるべきことを確認していくようにしてください。

成績評価の方法

随時行う小テスト、それに、前・後期の試験によって、成績評価をします。

教 科 書

高橋 著 『アン ジェルム』（朝日出版社、1800円）

参 考 書 等

辞書等については、最初の授業時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	すが や さとる 菅 谷 暁	経A・商1年	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を勉強します。

履修上の留意点

文法の習得は特に一步一步の積み重ねが大事なので、休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教 科 書

天羽他著『初級フランス語文法』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	伊藤 なお	商1年	2

講義のねらい

一年かけてフランス語文法の基礎を習得し、実際に運用できるようになるための基礎固めをします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは基本単語と平易な日常表現によってフランス語の基礎を習得するよう組み立てられています。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、聴き取り問題も含めた練習問題に取り組みます。発音練習と音読には力を注ぎます。

履修上の留意点

授業に出席するのはもちろんのこと、必ず復習と毎回与えられる課題をして授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

久松健一『フェリシタシオン!』（駿河台出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B	大野 英士	経A1年	2

講義のねらい

フランス語を全く知らない初心者を対象に、フランス語の基礎的な文法知識を学習しつつ、特に、話す、聞く、読む、書く能力を無理なく、バランスよくつけてもらうことを目標として授業を行います。

講義の内容・授業スケジュール

今年度使用する教科書は、パリにフランス語を勉強してきた日本の学生が、全く初歩の段階からフランス語を学んでいくという内容です。各課はそれぞれ「会話」「文法」「練習」から構成されています。教科書の日本人学生と同じように、ステップを踏んで学んでいけば、必ずフランス語の世界が自分のものになります。一週一課の割合で進む予定。

履修上の留意点

授業中は、恥ずかしがらないで、大きな声で積極的に授業に参加してください。その上で、教科書に出てくる会話は暗記するぐらい声を出して、何度も読んでください。「練習」はできれば予習の段階で、あらかじめ準備してきてください。

成績評価の方法

授業中の小テスト、一学期末のテスト、定期試験の三つの総合点で評価します。

教科書

藤田裕二他著『新・東京-パリ、初飛行』（駿河台出版社）

参考書等

辞書等は、授業の開始時に簡単なガイダンスを行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B	菅原 猛 <small>すが わら たけし</small>	経A・商1年	2

講義のねらい	英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。
講義の内容・授業スケジュール	IAを補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。
履修上の留意点	教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。
成績評価の方法	平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。
教科書	藤田裕二、藤田知子、S・ジレ共著『新・東京ーパリ、初飛行』（駿河台出版社）1,600円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II A	竹田 正純 <small>たけだ まさずみ</small>	商2年	2

講義のねらい	初年度で習得した項目を復習しつつ、読解力を養い、簡単なフランス語による自己表現もできるようにすることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストも、「文から文章へ、模倣から創造へ、読解から表現へ」を標榜したものを使用するので、特に読む・書くの練習に力を注ぎたい。話すことの練習を、それに少しばかり加えることができれば、今年度の目標は十分達成できたと言えよう。
履修上の留意点	予習復習を欠かさないこと。辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	授業のなかで小テストをおこなう。その結果をベースに前後期2度の試験で評価する。
教科書	高垣由美『大学生のためのフランス語－文から文章へ、模倣から創造へ、読解から表現へ』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	小 ^こ 玉 ^{たま} 齊 ^{なり} 夫 ^お	経A2年	2

講義のねらい

中級程度のフランス語で書かれた、日仏文化のなかでの体験談を、それぞれの人の、異なった、あるいは同じ反応の類型を確かめながら、読んでいきます。自分自身の、日本あるいはフランス文化に対する思いを確定していく、そのきっかけになれば、という意図で、授業をすすめていくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

初めは、文法的な事項の再確認を重視して、ゆっくりと読んでいきますが、後期からは、フランス語長文読解・把握の練習として、いささか速度を早めた読み方も試みてみます。教科書の講読以外に、音としてのフランス語の授業も、少ない時間ながら、適宜、可能であれば、組み込んでみる予定です。フランス語の作文も、宿題として、書いてもらいます。

履修上の留意点

仏和辞典を駆使して、フランス語としての言葉のつながり方、を理解するつもりで、授業に出ること。生活に必要な単語を、フランス語として、覚えること。特別の事情がないかぎり、毎回、授業に出ること。

成績評価の方法

宿題などの提出状態、前期・後期の試験によって、総合的に評価します。

教科書

コルノリエ・野村 著 『私の日仏異文化体験』（第三書房、1500円）

参考書等

『現代和仏小辞典』（白水社）が、フランス語の単語を使えるようになるためには、便利です。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	前 ^{まえ} 田 ^だ 祝 ^{のり} 一 ^{かず}	経A2年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、こまかいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語1A・1Bの単位の取れていない人は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで基本的には成績を評価しますが、授業中の課題や出席状況にも配慮します。

教科書

ロニー・ブローマン著、桜井幸子編『ボランティアとその体験から、国境なき医師団の挑戦』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB	菅 谷 暁 <small>すが や みたる</small>	経A2年	2

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教科書

ポームルー著『セレクション時事フランス語(1997-2002)』(朝日出版社) 1,800円

そ の 他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正しく発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB	畑 中 千 晶 <small>はた なか ち あき</small>	商2年	2

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

履修上の留意点

ペアワークなど、クラス内の活動に積極的に参加してください。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』(白水社) 1,800円

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA－ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA－ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中区勇程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA－ⅠBに準ずる。

【辞書について】

○1年次必修科目の学習しか想定しない場合

- ・相原茂『はじめての中国語学習辞典』（朝日出版社） 2,600円
- ・上野恵司『標準中国語辞典〔第2版〕』（白帝社） 2,300円

これらは初学者向けの語法解説を充実させているほか、例文にもピンインが付いており、単語の意味を調べるだけでなく文中での使われ方を会得するのに役立つ。ぜひ例文を音読したり書き写したりしてほしい。

○2年次まで学習する場合

- ・松岡榮志ほか『クラウン中日辞典』（三省堂） 4,000円
- ・上野恵司『基礎中国語辞典』（NHK出版） 3,500円
- ・武信 彰『プログレッシブ中国語辞典』（小学館） 3,500円
- ・相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円

ここに挙げた以外にも、同規模あるいはさらに小型の、また中日・日中を1冊で間に合わせるような辞書が幾つか出版されているが、内容が粗雑であったり、古かったり、学習に必要な配慮を欠いていたりで、薦められない。なお、日中辞典は必携ではないが、以下のものが手元があれば重宝するであろう。

- ・北京・対外経済貿易大学『日中辞典〔第2版〕』（小学館） 7,000円 2002年
- ・倉石武四郎、折敷瀬興『岩波 日中辞典〔第2版〕』（岩波書店） 5,000円 2001年

○2年次以降も継続して学習する場合は、以下のうち、実際に手に取ってみて気に入ったものを選ぶとよい。かなり値が張るものが多いが、じっくりと親しみ使い込むほどに、大枚を叩いた以上の恩恵が身にみられるのもこれらの書である。

- ・相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円
- ・伊地智善継『白水社中国語辞典』（白水社） 7,800円
- ・商務印書館・小学館『中日辞典』（小学館） 6,800円
- ・愛知大学『中日辞典〔増訂第2版〕』（大修館書店） 8,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	松本 丁俊	経A・商1年	2
中国語 I B	胡 玉華		

講義のねらい

発音、文法を踏まえ、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」という四技能を関連付けながら学習して行けるよう補助する。終了すると、その後独学でも継続して学習出来る様な基本能力を修得するねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

最初の発音は二人でくりかえし担当する。課文は胡が担当し、文法のポイントは松本が担当する。練習は二人で分けて担当する。中国関連の短いコラムとか、暗記用のミニ会話の内容。

履修上の留意点

最後まで情熱を持ち続けてのぞんで欲しい。

成績評価の方法

出席状況、授業中の練習問題などの小テスト、前期、後期のテストを合わせ総合的に評価する。

教科書

児野道子・鄭高詠『2000年からの中国語』（金星堂）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	宮本 厚子	経A・商1年	2
中国語 I B	三田村 圭子		

履修上の留意点

必ず予習をし単語等を調べてから授業に臨むこと。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（小テストを含む）で評価する。

教科書

『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

その他

詳細は開講時に説明する。

科目名			担当者名	配当学科	単位
中国語	I	A	村松哲文	経A・商1年	2
中国語	I	B	福地桂子		

講義のねらい

中国語で簡単な日常会話が出来、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記(ピンイン)を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしていく。

履修上の留意点

授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』(同学社) 2,300円

参考書等

参考書は授業中に適宜紹介する。

その他

授業には「守り」ではなく「攻め」の態勢で出席してほしい。

科目名			担当者名	配当学科	単位
中国語	I	A	工藤早恵	経A・商1年	2
中国語	I	B	陳洲拳		

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙、文法や言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語は、特に授業での反復練習に参加することが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教科書

陳洲拳、劉光赤、水野麗子編著『耳留学中国語』(陸美出版) 2,400円+税

科目名			担当者名	配当学科	単位
中国語	I	A	塩旗伸一郎	経A・商1年	2
中国語	I	B	塩旗伸一郎		

講義の内容・授業スケジュール

中国語の音声的魅力を最重視し、懇切丁寧に発音を指導する。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、年間を通じて聞き取り小テストを盛大に執り行う。

履修上の留意点

鏡を持参のこと。学習歴のある英語と異なり、中国語は毎回出席が当然。

成績評価の方法

定期試験+小テスト-欠席点。前・後期とも欠席3回目から10点ずつ減点する。

教科書

相原茂・陳淑梅・飯田敦子『恋する莎莎』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	秋元翼	経A・商1年	2
中国語 I B	胡玉華		

講義の内容・授業スケジュール

前期はピンイン（中国式ローマ字表記）で中国語の音節の発音の仕方を学んだ後、簡単な文型の学習に入る。後期はひきつづき発音訓練をしながら、初級文法の知識をつみ重ね完成させる。

履修上の留意点

中国人教師の発音をよく聞き、大きい声を出して正しい発音が身につくように練習してほしい。学んだ文型を用いて会話にも積極的に挑戦してほしい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果を重視し、各期末のテストと合わせて評価する。

教科書

尹景春・竹島毅著『《新版》中国語はじめの一步』（白水社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	松本丁俊	経A・商1年	2
中国語 I B	松本丁俊		

講義のねらい

I AとI Bが同じ教員の担当になるので、発音篇から始まり、課文は会話で話す力を学習出来る様にする。表現のポイントは文法の基礎になる例文を憶えながら、最終的には「書く」、「聞く」の力を修得することがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

日本人が中国人の家庭を訪問する設定で、挨拶から始まり、子供とのやり取り、バスでの北海公園見物、食卓での会話等、登場人物に親しみながら発音を学び、文法構造を飲み込める様な授業である。

履修上の留意点

会話の連続であるため、毎時限しっかり憶えて、休まず頑張る事。

成績評価の方法

前期と後期にテストの結果を重点とし、授業中の発音と練習及び出席点を加味する。

教科書

植田渥雄『八木さんの中国家庭訪問』（金星堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	松本丁俊	商2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に学習。長文学習は、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みる事が出来る。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫してる。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段の授業状況、例えば訳をすとか、練習をすとかなど、さらに出席状況も加味する。

教科書

陳榮生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	福地桂子	商2年	2

講義のねらい

自分で辞書を調べて、簡単な文章が読めることを目指す。
文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文表現を学ぶ。
語彙を増やす。
中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。

講義の内容・
授業スケジュール

本文は簡単な物語。
新出単語の語釈、文法の例文、本文全て指名して発表してもらう。

履修上の留意点

新出単語をはじめ、既習の単語でも分からない単語は辞書を調べてくること。
既習の課は拼音をはずした漢字だけの文章が読めるよう復習すること。
授業の時辞書を携帯すること。
出席が4分3に満たない場合失格。

成績評価の方法

授業での発表内容（予習してあるかどうかを重視）、小テスト（発音テストも行う）、期末テスト（前期、後期各1回）を総合的に勘案して評価する。

教科書

讃井唯允『着実に学ぶ中国語 初級～中級編』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	王 聡	商2年	2

講義のねらい

発音の復習・日常会話と文法事項の学習を進んでいくと同時に、日中文化の違いに対する理解を深めることも授業のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 発音の復習。2. 中国人と交際する時最も頻繁にでる話を話題にし、会話の訓練を行う。
3. 文法事項を順次に学んでいく。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

出席率・授業態度・平常点50%、定期試験50%。

教科書

相原茂他『ドリル中国語テキストⅡ——日本と中国』（くろしお出版）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	弘 兼 加奈子	商2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約四回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

三浦正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	釜屋修 <small>かま や おさむ</small>	経A2年	2

講義のねらい	中国語Ⅰで学んだ力を活用してやさしい読物に挑戦する。朗読を通して発音をより正確にし、不確実なところを矯正する。
講義の内容・授業スケジュール	週一回の学習機会なのでつみ重ねがたいせつとなる。毎回指名して朗読、翻訳をこころみてもらおう。
履修上の留意点	積極的に授業に参加し、予習をしてくること。
成績評価の方法	出席状況、平常点、定期試験により総合的に判定する。
教科書	原田松三郎『エベンディのとんち話』（金星堂）1,850円
参考書等	辞書を必要とする。ふさわしい辞書を開講後に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	櫻庭和典 <small>さくらば かず のり</small>	経A2年	2

講義のねらい	やさしい長文の文章の読解と、日常生活に使われるより多くの語彙を習得し、実践会話の習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	文章を正しく読めるよう、音読のトレーニングと文章の理解力を高める。受講者には一人一人読みと訳をしてもらい、さらに、日常生活に使われる語彙を実際につかって会話のトレーニングを行う。
履修上の留意点	必ず予習を行うこと。 授業には辞書を携帯すること。
成績評価の方法	平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。
教科書	八木章好編著『漢語趣話』（白帝社）1,800円
参考書等	必要になったら授業のなかで紹介する。
その他	授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	李雲	経A2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

三瀧正道、楊光俊『現代中国走馬看花』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	松本丁俊	経A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国語の能力は、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」という面にわたるコミュニケーション能力を指す。この四技能が同時並行的に伸長することによって中国語習得を目指し、週1回の授業で、1課を2～3回で終わられる様にする。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とするが、授業中の状況、例えば発音、訳、練習及び出席状況によって加味する。

教科書

金路『コミュニケーション中国語』（白帝社）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	王聡	経A2年	2

講義のねらい

発音の復習・日常会話と文法事項の学習を進んでいくと同時に、日中文化の違いに対する理解を深めることも授業のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 発音の復習。
2. 中国人と交際する時最も頻繁にでる話を話題にし、会話の訓練を行う。
3. 文法事項を順次に学んでいく。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

出席率・授業態度・平常点50%、定期試験50%。

教科書

相原茂他『ドリル中国語テキストⅡ－日本と中国』（くろしお出版）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	経A2年	2

講義のねらい	初級で習得した事柄を実際にコミュニケーションの手段として活用できるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	中国語の多様な動詞の使い方を中心に学習する。正しい発音の習得にも力を入れる。
履修上の留意点	①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習をしてくること。③授業には辞書を携帯すること。
成績評価の方法	平常点、及び期末試験による。
教科書	戸沼市子他著『動詞をながめて中国語』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	ひろ かね か な こ 弘 兼 加 奈 子	経A2年	2

講義の内容・授業スケジュール	一年次に学んだ文法事項を復習しながら、置き換え練習、簡単な会話練習、ヒアリング等を行なう。
成績評価の方法	成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	高橋良行・村上公一・陸明『楽しい中国語コミュニケーション』（同学社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	ね ぎし まさ こ 根 岸 政 子	商2年	2

講義のねらい	1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」を中心とした中国語の習得をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	会話を中心としたテキストを使用し、やさしい言葉で、すぐ使える会話表現を身に付ける。さらに聞く能力を高める。
履修上の留意点	平常の反復練習が中国語上達への鍵であるから、まずは大きな声を出して読むこと。また必ず予習をしてくること。
成績評価の方法	前期後期の試験および小テスト、出席状況（4分の3以上出席のこと）や授業への参加度などで評価する。
教科書	塚本慶一監修・劉 穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	さくらばかずのり 櫻庭和典	商2年	2

講義のねらい

中国語は、特に発音（四声）が明瞭でないと、意味が通じないため、一年次で学んだことを復習しながらより正しい発音（四声）の習得と、実生活で使える会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得、中国語文の反復・応用練習・暗誦を中心に授業をおこない、さらに、各課ごとに内容について、中国語で質問し中国語で答える練習をする。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。
授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

櫻庭和典・服部元彦・堀誠共著『音で学ぶ中国語』（晃洋書房）1,600円＋税

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	まつもとあつとし 松本丁俊	商2年	2

講義の内容・授業スケジュール

伝統的な、もしくは新しい中国事情をテーマとして、単に語学としての中国語を学習するだけでなく、言語の背景を学ぶことで、より一層理解、関心を深めることが出来る様に授業を進める。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、授業中の発音チェック、訳のチェックと練習のチェックをして、出席状況も加味する。

教科書

羅奇祥、甲斐淳子『中国ストーリー』（駿河台出版社）1,600円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	おぎのまさし 萩野雅司	経A・商1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回の正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

使用する教科書等は開講時に指示します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	なかがわまさし 中川清	経A・商1年	2

成績評価の方法

前期・後期の各期末にテストを行うが、平常の授業の参加意欲を重視する。なお、希望者に対して課題レポートを提出させ、その成績を加点する。

教科書

中川・児玉『スペイン語への誘い』（芸林書房）2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	みやちたつろう 宮地達郎	経A・商1年	2

講義のねらい

英語につく世界語のスペイン語にたいする興味を持たせる。大学入学まで学習してきた英語との対比で授業を行い、日本語対英語・スペイン語の比較も学習する。

履修上の留意点

各課の練習問題の提出は生徒の自主性に任せる。提出された問題は教員が添削した後、次週生徒に返還する。

成績評価の方法

前期、後期のテスト、練習問題提出、出席で総合判断する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	ましも ゆういち 真 下 祐 一	経A・商1年	2

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていきながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。はじめに各課のテーマについて解説を行い、次に練習問題によって理解を確実にします。毎回かならずあたります。練習用プリントも随時配布するのでファイルを用意しておくこと。

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意しててください。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

上野勝広『新世紀のスペイン語』（同学社）

参考書等

『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	ナバロ, ホワンJ.	経A・商1年	2

講義のねらい

この一年を通して卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期及び後期の約半分の時間は動詞の現在形、後期の残りの時間は動詞の過去形について、教師が一課毎に簡単な説明を行なう。その後学生諸君の動詞の活用練習を中心に、質疑応答形式の練習問題を解答して頂く。

履修上の留意点

毎回一課進むので必ず予習して頂きたい。この場合の予習とは、説明が理解でき練習問題をスムーズに行なう為の下調べ（辞書で調べる etc.）を意味する。疑問点は授業説明時、又は練習問題施行時に必要があれば質問し、確実に理解できるようにする。つまり授業自体が復習になるように心掛けて頂きたい。

成績評価の方法

練習問題の応答を通し、予習復習ができていないか否かで成績評価する。

教科書

Juan J. Navarro 『Español en laboratorio』 1,000円
この講義の初回授業時に、教室にて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	ナバローポロ, L. S.	経A・商1年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞 SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞 ESTAR・SER と ESTAR の相違点・HAY と ESTAR の相違点・指示詞・否定文
5. 動詞 TENER・所有詞・TAMBIEN と TAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR 動詞・ER 動詞・IR 動詞）・不定語
7. 直接法現在の不規則動詞 I・TENER QUE と HAY QUE
8. 直接法現在の不規則動詞 II・IRA + 不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER と CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞 gustar
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子／フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）
『新スペイン語辞典』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 II A	おぎの 萩野 めぐみ 恵	商2年	2

講義のねらい

「会話」「エッセー」「インタビュー」といった多様なスペイン語の文章に触れながら、イベリア半島を構成する2国、スペイン及びポルトガルの文化や歴史を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「会話」と「インタビュー」、後期は「エッセイ」を中心に読む。文法事項は適宜プリントを配布し、1年次に学習した基礎を復習、確認しながら、命令、接続法を中心とした中・上級レベルへと発展させる。

履修上の留意点

毎回の予復習を必ず心掛け、積極的に授業に取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、年4回のテスト、課題提出等を総合して評価する。

教科書

萩野・サンティアゴ『イベリア文化の輝き』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	ま し も ゆう いち 真 下 祐 一	商2年	2

講義のねらい

日常会話の表現の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 比較級・比較級の不規則形・最上級
2. 直説法過去：規則動詞と不規則動詞Ⅰ・過去の時を特定する表現
3. 直説法過去：不規則動詞Ⅱ・過去における期間の言い方
4. 直説法完了過去・過去の不定期間の表現
5. 未来形・JR+A について・未来を表わす語句
6. 天候と無人称表現・その他の無人称表現
7. 現在進行形・不規則現在分詞
8. 現在完了

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子/フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	おお いわ いさお 大 岩 功	経A2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	福本久美子	経A2年	2

講義のねらい	接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	始業時に「授業方針」のプリントを配布する。
成績評価の方法	前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。
教科書	佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』（大学書林） プリント（授業中に配布）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	宮地達郎	経A2年	2

講義のねらい	英語と比較して再度スペイン語に対する興味を持たせる。
履修上の留意点	最低復習をして、質問あれば次週にそれを行うことはしてほしい。
成績評価の方法	前・後期のテスト及び出席点。
教科書	『新日本語の基礎Ⅰ 分冊スペイン語訳』（スリーエーネットワーク）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	福本久美子	商2年	2

講義のねらい	接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	始業時に「授業方針」のプリントを配布する。
成績評価の方法	前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。
教科書	佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』（大学書林） プリント（授業中に配布）

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです、これからの国際的時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。駒澤大学での必修クラスのロシア語は1週間に2度しかありませんが、与えられた時間を最大限に有効に使うべく、次のような目標と年間スケジュールで授業はすすめられます。

なお、ここで参考までに辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	クロチコフ, Y. 杉山 秀子	経A・商1年	2

外国語

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B	木村英明	経A・商1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

戸辺又方 編『1年生のロシア語』（白水社）
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 II A	木村英明 杉山秀子	商2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。
ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡB	木村英明 佐野朝子	経A2年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。
さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

教科書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。

[再履修クラス]

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にしむら ゆうこ 西村 祐子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールでといあわせたりしてみる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：インターネットのウェブサイトをつかって実際に問い合わせ、サイトの感想のメールなどをかいてみる。

履修上の留意点

学生への要望：電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出があるため、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教科書

テキスト：*Subject: E-mail: writing effective messages* (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわい ひろみ 岩井 洋美	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常表現を題材にしたテキストで、多くの練習問題に取り組む。

講義の内容・授業スケジュール

語彙や文法、会話表現の習得。

履修上の留意点

取り組み姿勢を重視するので、遅刻と欠席は評価に大きく響く。

成績評価の方法

出席と授業態度を重視。そのほか、小テストと2回の期末試験で評価。

教科書

Communication in the Real World (TOEICに役立つ日常英語) (成美堂) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はやし たかのり 林 孝憲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初歩的な会話を意識した英作文を行う。最初に会話形式の必修短文を作文し、何度か声に出して暗誦するようにする。次に応用として弱冠長めの文章を作文してゆく。前者では発話を、後者では文法を課題に学習する。

成績評価の方法

宿題は課さないが、授業中に指名して発表してもらうので必然的に集中して作業に臨むことになる。再クラスということもあり出席は重視。出席点を含む平常点を50、定期テストを50の割合で評価する。

教科書

『Let's Try English - 英語でトライー』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	おわたみちこ 太田美智子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点 必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法 平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書 *Say It In Songs* (マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いとうみよこ 伊藤美代子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 英語による意思伝達を可能にすることがまず第一の目的。当然、ライティングだけでなく、スピーキングの訓練も行う。ライティングは、センテンスからパラグラフまで、スピーキングは日常会話からスピーチまでをめざす。その過程で当然、ヒヤリングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール 原則として、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用し、日本語の説明は必要最小限に抑える。

履修上の留意点 予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法 各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書
 1. *Nobukazu Aoki, Haruo Erikawa* 『コミュニケーションのための基礎英作文』(金星堂) 1,850円
 2. 伊藤美代子(編著)『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	たかひろし 高橋寛	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 本講義では英会話の基礎を身につける為、リスニングと英作文の練習を中心に行っていきます。

成績評価の方法 評価は出席点と定期試験の結果を総合して出します。

教科書 *Everyday Talk* (朝日出版社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よしえまさお 吉江正雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分之一を超える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教科書

A Short History of the World (こびあん書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわみちこ 埴美智子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基本動詞を中心にした慣用句を含んだスキットや練習問題を行っていく。日常基本表現から会話表現の理解と運用能力を高めていくことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話題性がありウィットに富んだ会話を楽しみながら基本動詞、慣用語句等を身につけ生きた表現が自然に出る様にする。

履修上の留意点

復習や予習をし、書いたり発話の練習を行う。

成績評価の方法

出席率重視 (70%)、普段の授業態度 (10%)、後期試験 (20%)

教科書

Writing Better English (金成堂) 1,600円

参考書等

参考書等を勧める場合はその都度黒板に板書して説明する。

その他

テープや声を出して練習する場が多いので積極的に授業に参加する態度を要す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	つかもととしお 塚本利男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語の語順・文章構造を確実に理解し、日常生活の様々な事柄について英語で表現する事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

各章で①基本文法事項②練習問題③発展問題さらに学習した事柄についての確認をする④復習問題をやりながら、運用の能力の練習をします。授業の最後に、毎回総仕上げとして、日常の身近な事柄、例えば、日本の四季、大学生活、コンパなどについて意見・考えを英語で書く小テスト (20~30分) を行います。

成績評価の方法

授業における発表・小テスト・前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表・小テストが、50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『語順が身につく英作文』(朝日出版) 1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	かわしまひろゆき 川島弘之	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

受験英語を生かして、英語を楽しむことを目指す。学生が強い関心と興味を抱いているロックを中心とした音楽を教材として使う。テキストと共に学生1人1人のロック音楽等のリクエスト曲を使用する。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代っているばかりか、現代詩の一翼をになっている。ロックの歌詞の中には「生きがい（生きる真の目的、生きる意味、価値）」や「Love」について深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。ロック音楽を通して、人間の心、私たちの心が揺さぶられ、英語音声への感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

授業では、他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを重視する。発表、レポート、前後期の定期試験に基づく。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

- ①『ロックの心 (1)』（大修館書店）
- ②『学生のリクエスト曲』

参考書等

- 『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）
- 『ロックの意味』（草思社）
- 『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）
- 『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

その他

ビデオ、DVD、のロック・コンサートで英語を楽しむ。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	おのえのりこ 尾上典子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

Benjamin Franklin, Susan B. Anthony, Sitting Bull, Andrew Carnegie, Thomas A. Edison, Henry Ford, Helen Keller, Walt Disney, Martin L. King Jr., Elvis Presley などアメリカン・ドリームを形造るのに貢献してきた偉大な人々の生涯や業績を紹介した英文を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、読解・聴解・作文などの総合的英語運用能力の向上をはかる。

また、折にふれて英米文化に関する英語ビデオを鑑賞させて、時事英語の理解力と聞解能力の増強もはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が3分の2に満たないものおよび授業態度の非常に悪い者は落第させる。毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験および小テストによって総合的に判断する。

教科書

Roy E. Charron, 宮野智晴著 『Profiles of the American Dream (アメリカン・ドリームを読む)』（金星堂）1,800円（税別）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	おお いた ゆきこ 太田 由紀子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

モデルとなる優れた英文を「応用」することにより日本語を介さず自然な英文が書けるよう訓練する。

講義の内容・授業スケジュール

さまざまな分野・領域における基礎的な知識を伝える文章からテキストは構成されている。自然科学・地理・歴史・文化・言葉と文学・数学・音楽など内容は多岐にわたるが、各トピックの全体像をまず説明した上で特定箇所には焦点をあて、そこに見られる文法事項を確認する。その上でトピック全体を俯瞰し、重要な単語や言い回しなどを文脈の中で理解するとともに段落の構成方法なども学ぶ。一連の作業を終えた上で最後に応用英作文を行う。トピックに関連する内容を自由に表現してもらい積もりである。

外国語

履修上の留意点

英和・和英辞書を常に携行すること。

成績評価の方法

前期・後期テスト、授業時の応答の様子、提出してもらった自由英作文、出席状況などから総合的に評価する。

教科書

E. D. Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』(鶴見書店) 1,600円

参考書等

江川泰一郎著 『英文法解説』(金子書房) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	たか やなぎ ふみ え 高柳 文江	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基にwriting、speaking両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には、2/3以上の出席が要求されます。前期後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験(前期試験、後期試験)60%、日常点(出席、演習テスト等)40%

教科書

『World Today - 文化の諸相』(鳳書房)

参考書等

テープレコーダー使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	ひ やま すずむ 山 晋	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

履修上の留意点

授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等の問合せには一切応じないので自己管理すること。携帯を授業中に鳴らした者は退室してもらい欠席扱いとする。毎回小テストを行い、小テスト解答終了時以降の入室は欠席扱い。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に「不可」。

教科書

第一回日の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	もり た たか みつ 森 田 隆 光	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基礎から学生諸君にわかりやすく講義を行って行きます。聞く、書く、話すを全部行ってゆきます。クラスは非常に興味のある授業になると思います。授業は日本語と英語を併用し時にはフランス語でも行います。まずクラスに出席してみてください。

成績評価の方法

前期、後期の試験 リポート年1回（英文にて）

教科書

開講時指示

その他

欠席は3回まで（年間）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわ ほん やす お 岩 原 康 夫	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとす。そのために、ある一定の基本的な動詞を中心にした構文と用法をマスターし、日常的なレベルでのコミュニケーション力を高めたい。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験 60 パーセント、平常点 40 パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける participation によって判断する。

教科書

『Cultivating Writing Skills (基本語彙を使った発展英作文)』（朝日出版）2,000 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	前期：かわ だ た よう とう 川 股 陽太郎 後期：や せ り ぐ ち め ぐ 八十木 裕 幸	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語を話したり、書いたりするための基礎知識を習得することをねらいとしました。日本語と英語の違いに注目して、英語表現の特徴を掴むこと。次に、コミュニケーションを行ううえで大切な英語表現の文体的特徴を学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

日英比較；主語、述語、修飾語、前置詞、肯定と否定、話法、慣用表現、文体；informale style, formal style, selection and unity of style...

履修上の留意点

文法、作文が中心になります。予習をしっかりとやって、授業に臨んでください。

成績評価の方法

欠席—4点減点、レポート—1回4点、小テスト—1回2点、前期後期テスト—合計100点、授業態度（発表まど）を総計して評価します。

教科書

武田良一 『英語表現法入門』（英宝社）1,900円+税
プリント

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にしはら かつまさ 西原 克政	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられている Basic English (850 語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方) を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているため、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただきたいと思います。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

教科書

『英語表現トレーニング』(北星堂書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	てじま はいこ 手島 敬子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教科書

開講時指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	はやし たかのり 林 孝憲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

読解の授業では構文を正確に捕らえながら邦訳することを第一の目標とする。その上で内容の要約も念頭に置き、時事的な内容のテキストを使用する。またリスニングでは、各項目のテーマごとに単語レベルから対話・普通文レベルへと聞き取りを進めてゆく。

成績評価の方法

読解では担当する文章をあらかじめ割当て発表してもらう。リスニングは定期的に小テストを行い、読解の発表と合わせて平常点とする。出席点を含む平常点を50、定期テストを50の割合で評価する。

教科書

『エコライフと経済』(南雲堂)
『五分間ヒアリング』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B 〔再クラス〕	木村 克彦 きむら かつひこ	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

Developing Reading Skills (朝日出版社) 1,700 円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B 〔再クラス〕	武藤 久緒 むとう ひさお	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語学力の基礎となるのは読解力です。標準的で平明な英語を正しく理解できるよう、必要文法事項を説明しながら精読します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：The Cat and Cricket Game
The Rainy Afternoon
Spinnie The Spider's Solution
後期：Chipper and the Sunflower Seed Tray Perfume

履修上の留意点

毎回、受講者に順次、訳読してもらいます。積極的に学習にとりくむよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテスト、授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

ジュリア・高矢著 *Tom Black and Friends* (英宝社) 1,200 円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子 えだ さちこ	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現方が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めて行きますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

John S. Lander 著『*HOLLYWOOD 2 Short Scenes from the Movies* (ビデオで見る映画とスターたち)』(朝日出版社) 1,800 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	甲斐捷子 <small>か い かつ こ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら、英語の運用能力を総合的に高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。

履修上の留意点

1単元終るごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

Beginning Video English (鶴見書店) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	石原孝哉 <small>い し ばら こう さい</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。レポートはe-mailで提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教科書

Longman *The Whole Story* (南雲堂フェニックス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	前田 脩 <small>ま え だ おさむ</small>	全学科2・3・4年	2

 講義の内容・
授業スケジュール

現実に役立つ英語と同時に英米の文化の一片でも知識として取り入れて、授業をすすめます。毎回あてますので予習は必須です。時々英字新聞のコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価を50%程、前期、後期のテストをそれぞれ10%、40%程度に評価し、全体として総合評価します。

教科書

Survival English (Book 1) (朝日出版社) 1,359円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	おた ゆきこ 太田 由紀子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	豊かな内容を楽しみながら語彙力・読解力を向上させる。
講義の内容・授業スケジュール	言葉と文学、歴史、自然科学といった様々な分野・領域における英語文化の基礎知識を学ぶ。
履修上の留意点	英和辞書を常に携行すること。
成績評価の方法	前期・後期それぞれの期末試験、授業時の応答の様子、および出席状況などにより総合的に判断する。
教科書	E. D. Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』（鶴見書店） 1,600円
参考書等	江戸川泰一郎著 『英文法解説』（金子書房） 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	むら いし えいしょう 村石 恵照	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	テキストを中心に、英文の基本的読解方法と現代社会に関わる様々なトピックを英文で読める読解力を習得する。
成績評価の方法	授業参加意欲、出席、テストなどで総合的に評価。
教科書	『The Powerful Reader Basic (英文講読の新技法・基礎編)』（マクミラン・ランゲージハウス）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まち た しげ お 町田 成男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とスピード・リーディングの基礎を身につける。読解力については、精読に加えて、段落・文章等の大意を把握する。リスニングについては、テープを聞きながら文章の大意を把握する。
成績評価の方法	出席点と発表と年2回の試験の総合評価とする。
教科書	現在多数の中から検討しているので、第一回めの授業で発表する。また、その時、プリントしてテキストの内容を説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まつ とう ひろ こ 松 堂 啓 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

リスニング力の向上を目指す。ごく平易な口語英語のリスニングを通じて、基礎力の強化をはかる。4課ごとにまとめた小テストを行い習熟度を確認していく。また適宜、プリントを使用しての学習も行う。

成績評価の方法

2/3以上の出席を満たすこと。
年4回予定している小テストと定期試験の成績を重視する。

教科書

Learn to Listen (マクミランランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	み うら ま り 三 浦 眞 理	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

非常に平易な英語で書いてある文章を、できるだけ速読し、量を多く読むことによって、英文を読む力と内容把握力の向上を図りたいと思います。
ごく基本的な構文及び語句を中・高校生に戻ったつもりで復習し、再確認しながら学習していこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

英文の story を読んで、その内容がある程度把握できるようになることを目標に、簡単な表現で書かれている文を多読し、基礎的にしっかり学習していこうと思います。
ごく基礎的な英語を(最初から再学習するつもりで)しっかりとおぼえてもらいます。
テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。

履修上の留意点

後期最後に総まとめ試験実施(授業時間中の小テスト重視)

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席(厳守)、授業中の発表、小テスト(70~80%)及び後期試験の結果によりおこないます。

教科書

INTERMEDIATE Faster Reading (成美堂) 1,600円

参考書等

プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	いい ぬま よし なが 飯 沼 好 永	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて、修得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加して下さい。特に英語に対し苦手意識のある学生は、予習に力を入れて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)

教科書

千葉元信・松尾秀樹・岡崎久美子『*Reading Landmarks of the world* (英文読解のトレーニング)』(三修社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	佐藤 明子	全学科3・4年	2

講義のねらい	リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。
履修上の留意点	授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。
成績評価の方法	前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)
教科書	『Real Life in Britain (イギリスを感じてみよう)』(三修社) 1,850円(税別)
参考書等	辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	宇都宮 秀和	全学科3・4年	2

講義のねらい	再クラスを受け持って受ける印象は次のようなものである。1) 学力はあるのに、出席日数が不足して単位が取れない場合。2) 基礎的なことを理解しないままに、ズルズルやって来た場合。 前者の場合、理由はいろいろあるだろうが、多くの場合、自分の生活を律することが出来なくて、なんとかなるだろう位の気持ちで学生々を送っているような印象を受ける。しかし、セルフ・コントロールが出来なくては社会生活を送ることが出来ない。 後者の場合、納得しないまま、なんとかなるだろう、あとで分かるようになるだろう、の気持ちがあるように思われる。 いずれにしても、「基本」をしっかりとやること。生活においても、勉強においても。
成績評価の方法	成績は平常点。出席は2/3以上。
教科書	テキストはプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎 寿一郎	全学科3・4年	2

講義のねらい	語学は、「外国語の学習で、母国語の限界を越える」(言語相対論)、また、「子供は、6才で基本的な文法力を、10才まで基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得する」(言語発達史)の確認といえます。授業では、文の五型・冠詞と前置詞(日本語の文法概念にはない)の理解を徹底し、英語のラディカルな運用能力を目指します。
履修上の留意点	テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。
成績評価の方法	平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。
教科書	高山宏編注『古代世界を探る』(金星堂) 1,200円
その他	月曜日 5時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	川 股 陽太郎 <small>かわ また ようたろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

IA を基礎として英語の運用能力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングのより高度な運用能力練習をする。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常評価。出席、発表、小テスト等を総合し評価する。

教 科 書

教科書は未定。プリント教材を適宜配布、VHS、DVD等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	岡 崎 寿一郎 <small>おか ざき としいちろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

語学は、「外国語の学習で、母国語の限界を越える」(言語相対論)、また、「子供は、6才で基本的な文法力を、10才まで基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得する」(言語発達史)の確認といえます。授業では、文の五型・冠詞と前置詞(日本語の文法概念にはない)の理解を徹底し、英語のラディカルな運用能力を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教 科 書

教養課程英語研究回編『精説高等英文法』(文化書房博文社)1,400円

そ の 他

火曜日 4時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	井 伊 順 彦 <small>い い のぶ ひこ</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

言葉の4機能である「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」のうち、前の3つに重点を置いて、英語の実用能力を高めることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

カセットテープを多用して、かなりの量の聞き取りや書き取りをおこなう。また、単語の並びかえというかたちで英作文能力の向上もめざす。

履修上の留意点

以上のような授業形態であるため、毎回なんらかのかたちで指名される諸君は半数以上になる。4年生に対しても、出席し、なおかつ活動することが大前提であると警告しておく。

成績評価の方法

授業中の活動状況、数回の小テスト、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教 科 書

The Signs of the Times: America and Japan (日米カレント・トピックス) (朝日出版社) 1,650円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	ピアス, D. M.	全学科3・4年	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. Students will improve their conversational ability by expressing opinions on topics of their own interest. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. Students will be free to make their own groups and carry out discussions and make presentations. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure: an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student maybe. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	前期: 田中靖子 後期: 矢島直子	全学科3・4年	2

講義のねらい

大学1年で得た英語力をもとにして、英語を書く力をさらにつけてもらいたいと思います。センテンスを書くだけでなく、パラグラフを書くことを目指します。

履修上の留意点

教室でどんどん当てますから、予習をしてください。英語の文章を自分なりに書いた上で、授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

ふだん当てた時の英語力、出席状況、前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	おがさわら 小笠原 隆元 りゅう げん	全学科3・4年	2

- 講義のねらい 英語学習歴が8～10年にもなる受講生の実力、意志伝達・運用能力の向上をめざしたい。日、英両語で自信を持って発言出来るように努めてほしい。
- 履修上の留意点 授業初回時に英語力実力考査を実施するので必ず辞書持参の事。さらに関連諸資料、提出物を配布するので、受講者は必ず出席する事。
- 成績評価の方法 単位認定は各人各様の事情もあろうが試験・出席点・提出物・授業への参加度等々の総合的評価で行う。
- 教科書 テキストはまず次のものを購入されたい。
『英語自己表現の基礎レッスン』（松柏社）1,600円＋税
◎他詳細は教場で順次示すので留意。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	こうちやま 河内山 有 佐 あり さ	全学科3・4年	2

- 講義のねらい スピーキング、プレゼンテーション能力を育てる。
- 講義の内容・授業スケジュール プレゼンテーション (Show & Tell) 教科書におけるダイアログの応用表現 ディスカッション
- 履修上の留意点 なし
- 成績評価の方法 出席、プレゼンテーション重視
- 教科書 EVERYBODY'S TALKING (マクラミン) 1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	おお 大 淵 利 春 ふち とし はる	全学科3・4年	2

- 講義のねらい 英語 I A で学んだことを基礎として、英語による意志伝達能力の向上を目指す。
- 履修上の留意点 予習をしっかりと行い、辞書を必ず持参するようにして下さい。
- 成績評価の方法 平常点50%、前・後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容、授業態度などから総合的に評価します。
- 教科書 Both Sides Now (成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	山岸二郎 やまがし じろう	全学科3・4年	2

講義のねらい

カタログによれば本書は総合に区分されている。が、Exercisesもあり、これを利用して、英文を書くことに力を置く。

こゝ十余年、ソ連邦の崩壊もあり東ヨーロッパは苦難の道を進んでいる。西ヨーロッパもこれと直接又は間接的に係りながら、EUという大経済圏を目指して、努力を続けている。この現実を通観し、理解を深めると共に新しいヨーロッパの実状に触れたい。

成績評価の方法

出席を重視する。平常の学習、課題、テストなど総合的に評価する。

教科書

John H. Randle・辻 昌弘『*This is Europe* (新しいヨーロッパ)』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	前期：岩井洋美 後期：矢島直子 いわた ひろみ やじま なおこ	経A・商3・4年	2

講義のねらい

大学1年で学んだ英語を基礎にして、英文を正確に読むこと、後には量を多く読むことを目指します。

履修上の留意点

教室でどんどん当てますから、予習をしておくこと。ただ単語の意味を調べるだけでなく、文章の意味を理解して授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

ふだん当てた時の英語力、出席状況、前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	池上賀英子 いけがみ かえこ	経A・商3・4年	2

講義のねらい

IBの学習を基礎として英語の読解力を一層に質と量において、向上することを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の基礎学力の習熟を主眼とし、英米を始めとする英語圏における英語を取り巻く文化的・社会的な背景の理解を学習していきます。適宜、視聴覚教材も使用します。

履修上の留意点

可能な限り出席し、授業に積極的に参加することを、第一義と考え強く求めます。

成績評価の方法

授業内での演習と発表、周期的課題提出、小テスト、定期試験の成績を総合して評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわてひろかず 川手浩一	経A・商3・4年	2

講義のねらい

国際化が進展するにつれ、国外はもちろん国内においても外国人とのコミュニケーションを円滑に進めることが必要です。
言葉の問題もさることながら文化や価値観の違いがあります。おたがいの理解を深めることが必要です。

講義の内容・授業スケジュール

英語の技能は聞く、話す、読む、書くの4つに分かれるがここでは主として読解力に主眼をおいている。

履修上の留意点

練習問題は Questions や Vocabulary に関するもの Idiom や Usage など多様である。

成績評価の方法

評価は出席、レポート、テストなど総合評価です。

教科書

『Clearly Britain, Clearly Japan ちょっとイギリス拝見』(南雲堂)

その他

月曜日 4 時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわてひろかず 川手浩一	経A・商3・4年	2

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることにある。
今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとらわれていては日常生活すらできなくなっている。特に英語は世界各地で使用されやすい言語として国際語の役割をはたしている。

講義の内容・授業スケジュール

英語の技能は、聞く、話す、読む、書くの4つに分かれるが、ここでは主として読解力に主眼をおいている。又、重要な単語、イディオム、構文などをちりばめて、多様性ととんだ英文が学びとれるようにしてある。

履修上の留意点

練習問題は T-F Questions をはじめとして Vocabulary Quiz や Idiom and Usage など Completion Exercise も用意してあります。

成績評価の方法

評価は、出席とテストなど総合評価です。

教科書

『Everyday Economics (よくわかる経済英語)』(南雲堂) 1,800 円

その他

月曜日 5 時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ほさがわ こういち 長谷川公一	経A・商3・4年	2

講義のねらい

マザー・テレサの生涯は、貧困にあえぐインド・カルカッタの人びとのハンセン氏病治療と救済のために、自分のエネルギーの全てを投入した人間愛に貫かれていた。彼女自身はユーゴ生まれだが、彼女の活動は国籍、宗教、人種の相違を越えた高い次元で、世界中の人びとに静かな感動を与えたのである。このテキストは、カトリック尼僧として、カルカッタで精力的に貧者の救済に当たったマザー・テレサの活動のドキュメントである。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点する。

教科書

『マザー・テレサ』(桐原書店) 388 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	おち あい かず あき 落 合 和 昭	経A・商3・4年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、そのなかで、使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第三段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりでいる。）出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) *Phrasal Verbs* (オックスフォード大学出版局) 2,200円
- 2) 『話すための口語英語リスニング』(成美堂) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわ また よう たろう 川 股 陽太郎	経A・商3・4年	2

講義のねらい

I Bを基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常評価。出席、発表、小テスト等を総合し評価する。

教科書

教科書は未定。プリント教材を適宜配布、VHS、DVD等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	経A・商3・4年	2

講義のねらい

このクラスは3・4年生を対象とした再クラスなので、英語の苦手な諸君が多いと思われる。でも、我々の身近に迫った英語は何としても克服しなければならない。ここで取り上げた英語は、我々の周辺で起きた、わかり易い記事である。授業の始めと終りにテープレコーダーを用いて耳の訓練も重視する。「努力なくして英語の上達はあり得ない」とにかく頑張ってほしい。

成績評価の方法

出席点と発表点（通年3回以上）を重視する。前者30点、後者30点、それに前・後期の試験で評価する。

教科書

Mini World 2003 (マクミラン)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ほんまとしかず 本間俊一	経A・商3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ささくらさだお夫 笹倉貞夫	経A・商3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに実践的な英語の運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後末テストの他、随時レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら最終評価を出す。

教科書

Malvina Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック (The Big Book of Amazing Facts)』(太陽社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	にしだよしかず 西田義和	経A・商3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では質的な深さの精読だけではなく、読解力の量的な幅の拡大も含めて、総合的に学習しながら、読解力を養成する。

英語に限らず、外国語を読むとき、文法をはじめ語彙など重要な要素があるが、それ以外にも文化的な背景等も重要な役割を果たしている。表現や文法に注意するだけでなく、敏速に大意・要点をつかみながら授業を進める。学生諸君の知識で容易に読みこなせるテキストを採用する。時として未知の語句等があると思うが、文脈からそれらは容易に理解できよう。

成績評価の方法

授業中における発表、レポート、前・後期の定期試験などを総合的に判断して評価する。ただし、原則として平常授業の欠席率が三分の一を越えた場合は不合格とする。

教科書

開講時に指示する。

その他

上記で述べたことを最初の授業でさらに詳しく説明するので受講者は必ず出席するように。

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	しばのひろこ 柴野博子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	まつおかすすむ 松岡晋	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

下に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を復習します。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に短文の和訳練習を行います。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

長谷川つとむほか著『らくらくドイツ文法』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	おだしばみ 織田繁美	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法というと無味乾燥という印象が思い浮かぶかも知れない。そのため授業に出たくないという気持から、遅刻し、休みがちになるのかも知れない。最初の4～5回、夏休み後の2～3回、この弱い気持を封じ込めて授業に出席し、授業初めの説明30～40分静かに耳を傾け、その後の演習では自分に当たってなくても、2～3題は解いてみるという前向きな気持で授業に臨むようにすれば、授業も後半に入る頃には、ドイツ語のしっかりした基礎が身についていくのが実感できることと思う。

履修上の留意点

授業初めの説明は殊に大切なので遅刻しないこと。一回一回の授業内容が有機的な積み重ねになるので欠席しないこと。

成績評価の方法

演習で正解に達すると、その都度、出席簿にチェックされ、これが平常点として加味され、成績評価にかなりのウェイトが置かれる。これに前・後期末のテスト結果が成績評価に加わる。

教科書

高橋行徳著『わかり易いドイツ文法』（芸林書房）1,300円

参考書等

プリントを併用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 済 勇	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

1991年以來、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、応用問題にその重点を置く。毎回、何等かの形で試験をして、それを採点する。その平常点を重視、その結果期末試験は行わない。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストに沿って、章ごとに進む。そして毎回小テストを行う。次の時間にそれを採点して返す。

履修上の留意点

この受講生は、成績よりも単に出席していなかったが故に単位を落としたのが殊勝な理由であろう。それ故に、毎回出席がまずその前提である。連絡を密にするために、メールを使用する。

成績評価の方法

毎回、小テスト、それ採点を採点して返すという繰り返しである。それ故に、平常点その基本となる。期末試験は行わない。

教科書

在間進 『わかって楽しいドイツ語』（三修社）2,200円

参考書等

初年度で使用したドイツ語辞書、教科書を持参のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	い がらし のぶ こ 五十嵐 信 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。そのことにより、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心、理解がふかまり、一そう広い視野を獲得することができます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語の正しい発音を身につけます。
- 2) ドイツ文法の基本を理解し、文法の各項目の例文、練習問題を読み解くことでしっかり覚えこみます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

学生諸君にのぞむこと
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできない一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえこの時間は休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加えて評価します。

教科書

在間進・納谷昌宏・清野智明『明るく楽しくドイツ語を！』（改訂版）（三修社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	柴野博子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級ドイツ語のごく基本的な事柄を習得することを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の学習は、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

高木実・常木実『新初級ドイツ語読本』（郁文堂）1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	野島利彰	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

簡単な文章を読みながらドイツ語を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題を毎回、提出宿題にします。文章の訳読は希望者に任せます。練習問題を解きながら授業を進めます。

履修上の留意点

宿題を提出することが大事です。

成績評価の方法

宿題を提出したか否か、出席が基準を満たしているか否か、と期末試験の成績で総合的に判断します。

教科書

在間／イエセル著『ヴェーラとヴェルナー』朝日出版 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	松岡晋	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

あまり難しくないドイツ文を読み通すことによって、同時に、初等文法の復習も行おう、というのがこの授業の目指すところです。

講義の内容・授業スケジュール

授業は下に掲げる教科書に即して行われます。各課は読章（1～2ページからなるドイツ語の文章）、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限度にとどめ、ドイツ文の読解に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点（出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々）によって行います。

教科書

諏訪功ほか著『文法読本——ヨーロッパとは何か（新訂版）』（郁文堂）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	杉本 正俊 <small>すぎもと まさとし</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

「再」クラスではあるが、学生がドイツ語を「全く知らない」事を前提に、発音と文法を初めからやり直し、その知識を基礎にドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

一年でいちおう初級文法のすべてを終え、それに対応したドイツ語の文を読むつもりです。

履修上の留意点

学生諸君は、必ずしも予習は要求されない。しかし授業中は勉強に集中する。また、負担にならない程度の課題が時々出るが、きちんとこなして行けば力が付くと思う。学生の理解力に応じた授業を行うので修得すべき事項は何度でも反復説明します。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行う。平常点もかなり重視する。

教科書

河合節子・林良子・四ッ谷亮子著『はじめてのドイツー使えるドイツ語表現』（改訂版）（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	百 済 勇 <small>もも ずみ いさむ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

既に10年以上、ドイツで最も重要な研究機関、「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任している。そこで欧州の学部学生、院生及び研究者の語学研修を身近に見ている。それを駒澤大学の学生に伝授したい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、明確に専門に目を向けること。それには語学の修得が前提となる。当然に数カ国語が必要だ。ここではドイツ語の履修だが、使えるドイツ語を目指す。それ故にドイツ語・英語会話を併存させる。毎回の出席が前提。

履修上の留意点

語学研修は、反復の継続である。それ故に出席が、先ずは大切だ。毎回出席出来ない学生は履修しないこと。連絡を密にするために、メールを利用する。

成績評価の方法

毎回の出席を前提にしているが故に、学期全体の評価は平常点とする。その結果として学期末試験は行わない。

教科書

ドイツ語・英語会話を中心にするが故に、その都度プリントで渡す。

参考書等

このクラスは、再履修故に、既に購入している「ドイツ語辞典」及び「ドイツ語文法書」持参のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	柴野博子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んで行きます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の〈異文化との出会い〉を扱ったものです。

履修上の留意点

ドイツ語の学習には、一歩一歩積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr『留学生のみたドイツ』（朝日出版社）1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	本橋右京	経A・商3・4年	2

講義のねらい

初級文法項目を確認しながら、比較的やさしいテキストを読むことで、読解力を高めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のやさしい文章にできるだけ多く触れ、基本的な語彙や枠組みを習得していきます。その過程で、ドイツ語圏の社会や文化についても学びます。
毎時間CD-ROMを利用します。まずは、発音・数字・日常的な表現等から始め、徐々に基本的な語彙や表現、文法事項を確実にものにします。

履修上の留意点

みなさんの積極的な学習を希望します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

Schlecht&三室 CD-ROMブック 『パソコンで学ぶドイツ語 ハロー、ヴィーゲーツ?』（三修社）4,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	杉本正俊	経A・商3・4年	2

講義のねらい

発音と初級文法を初めからやり直し、その知識を土台にして、やさしいドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

一年間でいちおう初級文法の必要知識をすべて与え、それに応じたドイツ語の文を読むつもりです。学生の理解力に応じた授業を行うので、難解な事項は何度でも反復説明します。

履修上の留意点

学生の皆さんには、必ずしも予習は要求しません。しかし授業中は勉強に集中して下さい。また、時々負担にならない程度のやさしい課題を出しますが、きちんとこなして行けば力が付くと思います。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行い、平常点もかなり重視する。

教科書

小塩節『ドイツこころの旅』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 済 勇	経A・商3・4年	2

講義のねらい

1991年以来ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」の客員研究員をしている。そこではドイツ以外の外国の学部学生、院生、研究者なども研修生として来ている。そこで共通する明白な問題意識は、学習、研究の目的、それに伴っての語学修得意識が強い事である。駒澤大学の学生にそうしたことを伝授すること。

講義の内容・授業スケジュール

各学部の学生がいるが、それぞれ専門課程に進む。その為にこれまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。毎回、何等かの形でテストを行う。

履修上の留意点

まずは、毎回出席することである。語学は反復練習のなにもものでもない。そうした継続した学習態度を研鑽してもらう。連絡を密にするが、それにはメールを使う。

成績評価の方法

毎回の出席を前提としているが故に、学期全体の平常点で採点する。その結果として、期末試験は行わない。

教科書

ドイツ語・英会話を中心とするが故に、教場でその都度プリンを配布する。

参考書等

再履修故に、既に購入したドイツ語辞書、また使用した「ドイツ文法書」を持参のこと。

その他

水曜日1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 済 勇	経A・商3・4年	2

講義のねらい

長い間、ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任している。そこでの真摯な学部学生、院生、研究者達の語学研修の素晴らしさを駒澤大学学生に伝習したい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、明確に自分の専門を履修する目的意識、その前提である外国語修得が必要だ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。毎回、何等かの形でテストを行う。

履修上の留意点

語学研修は、反復の継続である。それ故に出席が、まずは大切だ。毎回出席できない学生は、受講しないこと。連絡を密にするためにメールを利用する。

成績評価の方法

毎回の出席が前提であるだけに、平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

ドイツ語・英会話を中心とするが故に、その都度プリントを配布。

参考書等

このクラスは再履修故に、既に購入している「ドイツ語辞典」及び「ドイツ語文法書」を持参すること。

その他

水曜日3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	経A・商3・4年	2

外国語

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法面からドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた簡単な文法表現を覚え、練習問題でもって理解を確実なものとしします。

履修上の留意点

みなさんの予習や授業中の発表など積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

未定

〔フランス語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	菅 谷 暁 <small>すが や さとる</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を学習します。

履修上の留意点

文法の習得は特に一步一步の積み重ねが大事なので、休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書

山村他著『ジュタンプラス』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	荻 原 眷 <small>あし はら けん</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようになります。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を上台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

『キャロット』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	小 玉 齊 夫 <small>こ だま なり お</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

成績評価の方法

上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

教科書

小畑・寺家村 著 『快速フランス語』（駿河台出版社）1,600円

参考書等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光明	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を一通り習得することがこの授業の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず慣れ親しむために、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組んでもらいます。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教科書

稲田晴年『納得できるフランス文法』（第三書房）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	たけだ まさみずみ 竹田 正純	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の音を大切に、基礎的な項目の修得を心掛けたい。

講義の内容・授業スケジュール

初歩的な読む・話す・書くが身につくよう反復練習を中心に授業を進めていく。

履修上の留意点

辞書を必ず持参すること。授業を休まないこと。

成績評価の方法

授業のなかで小テストをおこなう。その結果をベースに前後2度の試験で評価する。

教科書

内藤陽哉・玉田健二『フランス語へのパスポート』（白水社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま げき 今 関 アン	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実にものにし、フランス語検定4級程度の力を付ける。

講義の内容・
授業スケジュール

テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点

単位習得の条件は4段階に分かれているが、いずれの条件も満たさない学生は理由の如何に関わらず、単位は出さない。出席とは漫然と教室に座っていることを意味しない。積極的に授業に参加しなければ、出席とは認めないから注意すること。

成績評価の方法

- A) フランス語検定4級合格(6月11月実施:各自書店で申し込む。勉強方法は授業時間後に問い合わせること)
- B) 『ふらんす夏休み学習号』(白水社)に添付された実力テストの点数+前・後期定期試験=200点以上
- C) フランス語検定5級合格+『ふらんす語夏休み学習号』(白水社)に添付された実力テストの点数+後期定期試験=180点以上
- D) 3/4以上の出席+夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』(白水社)の実力テスト+前・後期定期試験

教科書

澤田直之『アミカルマン』(駿河台出版社)1,800円

参考書等

仏和辞典:『ふらんす夏休み学習号』(白水社)(7月中に大学内紀伊屋書店で購入)

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	すが や さとる 菅 谷 暁	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点

休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書

藤田著『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社)2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B [再クラス]	伊藤 なお	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語文法の基礎を学習しながら、平易な対話文を読むとともに、簡単な表現を用いて実際の運用ができるようになることを目指します。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、聴き取り、発話を重視する授業を行ないます。

履修上の留意点

多少なりともフランス語に触れたことがあるはずの皆さんのなかには、フランス語を聴き取ったり、音に出すことに困難を感じた人もいるでしょう。しかし何度も聴き、繰り返し発話していれば、その困難も解消されます。そのためには、積極的に授業に取り組み、ためらわずに発話練習に参加することが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

前期・後期の試験、および平常点によって判定します。

教科書

藤田裕二『彼女は食いしん坊』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B [再クラス]	谷川 かおる	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語など、実用的なフランス語に親しみつつ、基礎的な文法を最初からゆっくりやり直す。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説、練習問題、簡単な文章の暗記など。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行い、出欠をとる。

成績評価の方法

前期・後期の試験、小テストなど。

教科書

藤田裕二、『彼女は食いしん坊』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II A [再クラス]	畑中 千晶	経A・商3・4年	2

講義のねらい

フランス文化についての短い読み物を読み進めながら、同時に、話す力、書く力につながるように、文法を復習する。

履修上の留意点

出席重視。長時間にわたって、連絡もせず、また、理由なく休んだ場合は、単位を放棄したものと見なすので、注意すること。

成績評価の方法

成績はクラス内の小テスト、前期末、学年末テストなどから総合的に評価する。

教科書

澤田直之他著『アミカルマン——フランス語・フランス文化への誘い——』（改訂版）（駿河台出版社）2002年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こと 沼 倉 広 子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

文化、地理、スポーツなどを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教 科 書

クリスチャン・ボームルー著『セレクション・時事フランス語』(1997～2002) (朝日出版社) 1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	たに かわ かおる 谷 川 かおる	経A・商3・4年	2

講義のねらい

簡単なフランス語を読みながら、文法を基礎からやり直す。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項の解説、練習問題、訳読など。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行い、出欠をとる。後期には、参加者と相談の上、より高度なフランス語の講読にもチャレンジしてもらう予定。

成績評価の方法

前期・後期試験および小テスト。

教 科 書

加藤晴久、一戸とおる『時事テーマで学ぶ初級フランス語読本』(朝日出版社) 2,200円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	経A・商3・4年	2

講義のねらい

中級フランス語の最初の段階に、レベルを設定します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法的理解を避け、やさしい物語を少しづつ読んでゆき、音としてのフランス語に慣れること、また日常的語法を習得してもらいます。

履修上の留意点

初級フランス語の単位未修者や自信のない人は、自分で参考書を買って求めて勉強するつもりでいること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席また平常の課題なども考慮します。

教 科 書

数江編『続々・愉快的なコント』(第三書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子	経A・商3・4年	2

講義のねらい	辞書を使いこなして読解力をつける。
講義の内容・ 授業スケジュール	歴史、文学、文化、経済など多岐にわたる内容のテキストを使用する。
履修上の留意点	文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。
成績評価の方法	前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。
教科書	クリスチャン・ボームルー著 『時事フランス語（2003年版）』（朝日出版社）1,800円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	は せがわ みつ あき 長谷川 光 明	経A・商3・4年	2

講義のねらい	実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を再学習します。
講義の内容・ 授業スケジュール	下記の教科書に従って、視聴覚教材を用いながら各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。
履修上の留意点	フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発声することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。
成績評価の方法	前期後期試験及び平常点。
教科書	中山真彦他『ボンジュール・パリ』（白水社）2,200円

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	江 林 英 基 <small>こう りん ひで もと</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『新版標準中国語Ⅰ』（白帝社）1,545円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	戸 張 嘉 勝 <small>と ばり よし かつ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基礎的な文法（文型）・会話を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①中国語と日本語との異同を簡単に解説し、学習上の注意事項と学習要領を学ぶ。
- ②発音と声調の反復練習によって正確な発音を覚える。特に日本語にない発音や発音上の約束事を徹底して行なう。
- ③基礎的な文法（文型）や実用会話は教科書の展開に沿って行なう。

成績評価の方法

前後期の中間試験、期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

劉郷英・嘉瀬達男・豊後宏記『中国語精選サラダ』（単語と基本文型）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	杉 山 静 <small>すぎ やま やすし</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本講義は初級中国語の修得を目的とする。中国語Ⅰの履修に不十分な人の為に中国語の基礎的なものを与える。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2～3週間は中国語の最も重要で基礎的なものである発音を重点的に授業をする。発音第一主義から、基礎句型、常用語句の授業に入る。同時に、簡単な文法、句法の説明も行う。

履修上の留意点

中国語発音システムである「漢語拼音方案」の修得に力を注ぐべき。漢字の発音、読み方に留意し、日本漢字との異同を比較する。

成績評価の方法

出席を最重視するが、授業に臨む態度も真面目でなければならない。年間通じて四回の試験やテストがある。出席率とテストの成績を総合的に評価する。

教科書

杉山静編『中国語実験教材』（金安出版社）1,000円

参考書等

辞書は必要で、試験のときに使用を認める場合がある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	佐藤 普美子	全学科2・3・4年	2

- 講義のねらい 中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかりと身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。
- 履修上の留意点 授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。
- 成績評価の方法 学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。
- 教科書 楊凱栄・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	天野 節	全学科2・3・4年	2

- 講義のねらい 中国語に興味を持ち、独習していけるようなきっかけを作りたい。
- 講義の内容・授業スケジュール 新出語句の発音と意味の確認。文法の説明と練習後、会話文の発音と意味を確かめて練習する。
- 履修上の留意点 予習、復習、必ず授業に出席。
- 成績評価の方法 出席、授業態度、課題、テストで総合評価する。
- 教科書 榎本英雄『できる中国語』（同学社）1,700円
- 参考書等 授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	根岸 政子	全学科2・3・4年	2

- 講義のねらい 中国語の正しい発音と基本文法を習得する。
- 履修上の留意点 最初の3、4回は中国語の発音をきちんと確認しながら進むので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、1回に1課のペースで進むが、学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。
1時限の授業であるが、きちんと4分の3以上出席すること。
- 成績評価の方法 前期後期のテストおよび小テスト、出席状況などで評価する。
- 教科書 関根謙著『基礎固め中国語』（同学社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	さくらばかずのり 櫻庭和典	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

始めは、発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。

履修上の留意点

授業の開始までに、教科書・辞書を必ず購入すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

小川郁夫著『中国語初級対話 64』（白帝社）1,550 円

参考書等

辞書は当分必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	そうたいわ 曹泰和	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	りうん 李雲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

丁秀山・坂井ひとみ『やさしい入門中国語』（金星堂）2,300 円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	三田村 圭子 <small>みたむら けいこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。
講義の内容・授業スケジュール	最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。
履修上の留意点	前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。
成績評価の方法	前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを6回行い、出席等と合わせて評価する。
教科書	相原茂『1年生のころ』（朝日出版社）2,500円
参考書等	第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	全学科2・3・4年	2

履修上の留意点	発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直したからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。
成績評価の方法	年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は初回に指示を受けること。
教科書	楊凱栄・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	胡 玉華 <small>こ ぎよく か</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	学習者がすでに持っている貴重な中国語学習の経験を生かして、発音と文法の基礎を学び直す。また、語学の勉強を通して、異文化への理解及び関心を深める。
履修上の留意点	各学習者の事情に合った学習指導を行うため、以下の点を守ってほしい：①1回目の授業に必ず出席する；②その後の授業をやむを得ず欠席の場合、事前申請或いは事後報告が必要。
成績評価の方法	平常点（出席、宿題の状況によって採点）、小テスト、定期試験によって行う。
教科書	竹島金吾監修 尹景春・竹島毅著『新版 中国語はじめての一步』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひろかね かなこ 弘 兼 加奈子	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。学生の理解度をみながら、ゆっくりと進めていく予定である。

履修上の留意点

中国語が嫌いな学生も、苦手意識を持たずに授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

佐藤晴彦・玄幸子『私だけの中国語テキスト』（光生館）2,600円（予価）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	ひろいし よしこ 平 石 淑 子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

磯部祐子・郭明輝著『中国語で中国を読む』（白帝社）1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	李 雲	経A・商3・4年	2

講義のねらい	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	山下輝彦『中国語でコミュニケーション』（金星堂）2,400円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	秋元 翼	経A・商3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール	日本語でもよく使われる9つの故事成語について書かれた教科書を使用する。文章は全文ピンインつきのやさしい中国語で書かれている。成語は中国の歴史に根ざしているので興味をそえられるであろう。
履修上の留意点	教科書には練習問題もあるので予習、復習をして授業に臨んでももらいたい。音読練習も重視したい。4分の3以上の出席を要する。
成績評価の方法	平常の学習態度、成果と各期末のテストで評価する。
教科書	荒屋勸、金佩華、橋本幸枝著『日本に生きる中国語－故事成語－』（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	大久保 明 男	経A・商3・4年	2

講義のねらい	中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。
履修上の留意点	積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。
成績評価の方法	(1) 出席：最も重視する。年間6回以上の欠席者は履修者と認めない。 (2) テスト：定期試験のほか、小テストを随時行う。 (3) 学習態度：遅刻、私語、回答回避などの消極姿勢はマイナス評価となる。以上による総合評価
教科書	尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	塩旗伸一郎 <small>しお ばた しんいちろう</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい

日常の中で中国語に触れる場面が当たり前となりつつある中、短文の大意を掴んだり簡略に意思を伝える文を書けることは、専攻を問わず有用な教養となり得る。この授業はそうした時代の要請に応えるコンピューターリテラシー（読み書き能力）の初歩的訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書以外に、中国の大学生との交信を想定した簡単な作文を2課ごとに作り、メールで提出する。

履修上の留意点

後期には習熟度に応じ、提携校である上海・華東師範大学の学生と通信を行う。生身の人間が相手である。真剣に取り組んでほしい。

成績評価の方法

前・後期ともに宿題の評価を積算し、欠席点を減じる。欠席は3回目から10点ずつ減とし、遅刻2回で欠席1回と数える。

教科書

董燕・遠藤光暁『インターネットで中国語』（三修社）2,600円

参考書等

辞書は小学館または講談社の『中日辞典』（共に第2版）および小学館『日中辞典』（第2版）を推奨する。極端に薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安易な辞書は役に立たない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李雲 <small>り うん</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

千島英一『楽しく話そう中国語』（金星堂）2,000円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	蘭明 <small>らん めい</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇2）（朝日出版社）2,500円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	みやち たつろう 宮地達郎	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法解説をできるだけ容易に説明する。簡単な日常会話も織込み、興味を持続させる。

履修上の留意点

最低限の復習、それに対する質問が望ましい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おおいわ いさお 大岩功	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・ 授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

江澤照美『パソ ア パソ』（同学社）2,700円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『新版・スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

最初の授業で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おぎ の めぐみ 荻 野 恵	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

下記テキストを使用し、単身赴任中の父親が暮らすバルセロナにサッカー留学をする太郎君のストーリーを通じて、接続法・現在までの文法事項を整理しながら学習すると共に、日常の会話表現やリスニングにも慣れていくことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストの第1課から第7課、後期は第8課から第12課まで進む予定である。又、各課の理解度に応じ、適宜プリントを配布する。

履修上の留意点

毎回、必ず予復習を心掛け、積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、年4回のテスト、課題提出等を総合して評価する。

教科書

小池・上野『スペイン語を学びましょう』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おぎのまさし 荻野雅司	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語を通して、スペインのみならず、日本では、ともすると遠く、縁のうすいと思われがちな中南米の文化にも親しむ機会を持つことを狙いとす。

講義の内容・授業スケジュール

過去に学んだ事を今一度根本から見直して、スペイン語の基礎を習得する。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行うが、総合的な成績の評価に当たっては、良くて、悪くてもテストの結果のみによってこれを行わない。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さとうまりの 佐藤麻里乃	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を守ること。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題の出来具合により評価する。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
『新スペイン語辞典』（研究社）など

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	ふくもとくみこ 福本久美子	経A・商3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

基礎文法を一通り終えることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。

履修上の留意点

初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい** スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
- 履修上の留意点** 予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。
- 成績評価の方法** 出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
- 教科書** 寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。
- 参考書等** 辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい** スペイン語Ⅰで学習した基礎文法を復習した後、直説法未来、現在完了、過去、未来完了、過去完了更に接続法の用法を学習し、より複雑な構文が理解できるように指導する。
- 履修上の留意点** 欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。
- 成績評価の方法** 毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。
- 教科書** 西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）
- 参考書等** 最初の授業で指示する

〔ロシア語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	廣 田 英 靖 <small>ひろ た ひで やす</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）定価未定

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	佐 野 朝 子 <small>さ の あさ こ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	木村英明	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	安徳ニーナ	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕 ロシア語ⅡB〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	経A・商3・4年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕 ロシア語ⅡB〔再クラス〕	あん たく 安 徳 ニーナ	経A・商3・4年	2

外国語

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教 科 書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布する。

〔選択科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	はやし 明人 林 明人	経A・商1・2・3・4選	4

講義の内容・ 授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから観賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを用います。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まえ 田 脩 前 田 脩	経A・商1・2・3・4選	4

講義の内容・ 授業スケジュール

イギリス風景庭園を主題としますが、まずはじめにイギリス及びヨーロッパの庭園の概略を知ってもらうため、簡単な庭園史のテキストを使います。その後、イギリス庭園と対比されるフランス庭園の概念を知るためのテキストのコピーを使用します。最後にイギリス風景庭園の成立の原因をさぐるために適すると思われる本を読みませう。庭園の概念についての説明はしますが、授業はあくまでも講読です。

成績評価の方法

授業の発表等日常評価を重視します。後期テストも評価に入れます。

教科書

- 『イギリス庭園物語』（南雲堂）1,200円
- コピーを使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	よこ もり まさ ひこ 横 森 正 彦	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

多読を行い、その内容を理解することを狙いとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期1編、後期1編、約100ページ以内の小説を取り上げて読み進めていきたい。

履修上の留意点

十分予習を行い、授業に参加して下さい。

成績評価の方法

授業態度（発表など）、テスト100点、レポート100点、欠席1回4点減点などを総合して評価します。

教科書

The Woman in White, Wilkie Collins（南雲堂フェニックス）1,200円＋税

参考書等

授業時に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	たけむら えつこ 竹村恵都子	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

馬場彰・佐藤和哉『*Current English - 2002/2003 Edition*（時事英語 - 2002/2003年度版）』（成美堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	はやし あきと 林明人	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	かわうち けんりゅう 河内賢隆	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

本テキストは最新の新聞の論説やコラムを集めたものである。イギリス系のものが多いので、表現は少し堅いかも知れない。語法がしっかりしているので、きちんとした英語の力をつけるには恰好のテキストである。諸君と共に地味に学んでいきたい。「教えることは学ぶことである」

成績評価の方法

どの程度の学生が集まるかわからないが演習形式で授業をすゝめたい。出席点と発表点を重視する。それに二回の定期テストの結果を加えて評価する。真面目な態度ならば、少し位結果が悪くとも良い評価を下す。

教科書

『時事英語 2002/2003』（成美堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おちろ あい かず あき 落合 和 昭	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的な演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講を希望する学生は、最初の授業の時に、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%（ヒヤリングが20%、会話英作文が20%）、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業に、全員が最低一回は当てようとする）。出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『口語英語の基本的総合演習』（鶴見書店）1,442円
- 2) *Idioms*（オックスフォード大学出版局）2,200円
- 3) 『グッド・ウィル・ハンティング』（松柏社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おお ば なお まき 大 庭 直 樹	経A・商1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスの第一の課題は、Office2002を使いこなすことである。Office2002は Word (ワープロ), Excel (表計算), PowerPoint (プレゼンテーション), Schedule+ (スケジュール管理)を中心としたアプリケーションである。Wordと電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。更に、Excelでの表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット(マルチメディア)の世界を探索することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。

第四の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー2001」を使って、自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

後期からは、受講生一人一人にプレゼンテーションをしてもらう。発表内容は、コンピュータ、インターネットについてならば何でもよろしい。発表は、コンピュータ・インターネットについての知識、情報の交換を目的とする。受講生は、前期から発表のプロジェクトを決めて、入念に発表の準備をしてほしい。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたするはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室(朝9時より夜9時まで開館)で補修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	まち だ なわ こ 町 田 尚 子	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネット上のマスメディアの英語理解の上達を考えている人たちのためのコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4 - 203教場のPCで、英語新聞のウェブサイト上のオンライン記事・論説・特集等を選んで速読し、Wordで要約、さらに自分の見解をまとめ、電子メール・添付ファイルで提出し、添削指導を受けます。担当者とのメールは英文で行い、英文メール作成をマスターします。受講者のPC習熟度にあわせて、個別指導から始める予定です。

履修上の留意点

本学でのPC講習を受講し、KOMAnetのUserIDとPasswordを取得済みであることが前提となります。授業時間内に完結しないときは、自習室あるいは自宅で完成させて送信します。受講人数は30名程度に限定します。4月第一回授業時間にアンケートを実施しますので、必ず出席してください。

成績評価の方法

毎授業の要約と作成メールの成績で評価します。

教 科 書

教場で指示します。

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア480点、TOEICのスコア700点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅱ	ジトウィッツ, P. D.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

To build upon the skills mastered in English 1 by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking.

To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills.

To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.

教 科 書

The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅱ	プラスキー, J. C.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin expressing themselves beyond the basic level of proficiency about everyday topics with which they are familiar.

講義の内容・
授業スケジュール

Grammar and vocabulary will be incorporated into communicative speaking activities, i.e., pair discussions with other students. Emphasis will be placed on student-to-student exchange of information and negotiation of meaning of means of questions. These activities will be supplemented with pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises and listening practice.

履修上の留意点

Homework will be used in place of a textbook and therefore will be an essential part of preparation for each class.

成績評価の方法

Assessment will be determined by a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピアス, D. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The English intensive seminar is full-year course condensed into six days. Registration is voluntary, for students who are specially eager to improve English conversation ability. With these two properties in mind, the program is designed to provide incessant speaking practice in every period of the six days. By the end of the intensive practice, it will be much easier for students to speak in English. Practice will be on three levels: ordinary simple expressions, intelligent conversation, and academic topics. Lecture practice will concentrate on topics from American sociology. Concentrated listening comprehension will also be divided specifically into the same three levels. Most of the class time will be devoted to conversation practice between students in groups of two, three or four, according to the practice pattern. Audio-visual work, making use of a few short films, will be used for comprehension and composition practice in the final period of each day.

外国語

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student maybe. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○	○	○	8月27日	水					

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
 Students must have taken English conv. II to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
 I'm waiting to meet you and to improve your English...

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウエイド, D. A.	全学科2・3・4選	2

講義の内容・ 授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stem, not only from language difficulties, but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of the cultural heritages of other countries.

講義の内容・
授業スケジュール

This is a highly intensive class concentrated within six days. During that period a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems. Included within the course will be research projects where in the students will be expected to collect information and present it to the class. Individual presentations will also be required.

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills, or for students who are unwilling to participate fully in pair work, role plays or group activities.

成績評価の方法

Evaluation
 25% attendance
 25% presentations
 50% participation and contribution to discussions.

参 考 書 等

Reference Books Dictionary

そ の 他

Method of Teaching. Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程

	前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水					

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL のスコア480点、TOEIC のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお た まさ こ 太 田 雅 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

プリント教材。テキストは未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	にし むら ゆう こ 西 村 祐 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC 700程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教 科 書

テキスト：Headway *pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway *elementary*、および *pre-intermediate*、その他。(いずれも本学LL事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)

そ の 他

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなうことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ (90分程度) をもってくること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	町田 尚子 <small>まち だ なお こ</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級程度のLL授業履修済み、または未履修の場合、英検2級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC、TOEFLのテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・授業スケジュール

4, 5月: ビデオテープを用い、TOEICの基本的な練習問題による復習。
 6月と7月第1週: TOEICスコア700程度を目指した聞き取り練習(添削指導)。
 7月第2・3週: TOEICリスニング模擬テスト。
 9, 10月: TOEFLのテスト用練習問題の添削指導。
 11, 12月: パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。
 最終授業日: テスト

履修上の留意点

Emailで連絡・添削等をするので、自習室(KOMAnet)あるいは自宅のメールアドレスがあること。事前登録30名の選に漏れ、受講を断念する希望者のためにも、固い意思で続けることができることを確信して、登録することを望みます。

成績評価の方法

毎授業のテストと最終テストで評価点を出します。

教科書

LL事務室備付けの教材 *Basic Skills and Strategies*、*English Master Box (1) (2)*、*Cambridge Preparations for the TOEFL Test* 等を使用します。

参考書等

教場で指示します。

英 語 L L Ⅲ

〈英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LLⅡを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	岸 ^{まし} 本 ^{もと} 茂 ^{しげ} 和 ^{かず}	全学科2・3・4選	2

履修上の留意点

英和辞典は必携。

成績評価の方法

前授業日数の3分の1以上欠席の場合は不可とする。授業の性質上筆記試験を実施するかどうかは未定。

教 科 書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	久 ^く 保 ^ほ ひさ子 ^こ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

nativesのlectureが聞きとれることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

workbookになっているtextを、聞きとり、書きとり、録音、再生、反復練習する。前期と後期、各々announcementを各一回、dedateを各一回、参加すること。

履修上の留意点

LL classは、本来、laboratoryによるpractical trainingのため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

期末試験 50%、
実習授業 50%

教 科 書

Michigan Action English Step 6 (World Times Japan)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	にしむらゆうこ 西村祐子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかっただけで「話すこと」からはじめたLL Iのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。レベルIIIは一層高度な、それを利用して会話の表現力を増していくことをめざしている。授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。ほとんど毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、それにもとづいた教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度（TOEIC 900程度）をめざす学生用なので、このレベルにみえない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語での短い課題が与えられ、プレゼンテーションを中心とした会話コースとなる。定期試験はおこなわない。

教科書

特に指定しない。

その他

学生への要望：聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。
 使用カセットテープ：Open University Program シリーズ（LL 事務室備え付け）。
 使用ビデオ：Mapping the Landscape（ジェムコ出版、LL 事務室備え付け）その他オープンユニヴァーシティシリーズを適宜使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語外国書講読	まつ 松岡 晋	経A・商3・4選	4

講義のねらい

ある程度以上の内容を備えたドイツ語の文章を読むことによって、ドイツ語圏の政治、社会、文化にかんする知識を得ることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教材は、授業担当者が選んだ数点のなかから受講者の希望に合わせて、最初の時間内に決定する予定であります。選ばれたテキストを訳読することが中心となりますので、毎回、予習すること、および疑問点を明確にしておくことが求められます。

履修上の留意点

外国語の原テキストを読むことは、誰にとっても簡単なことではありません。ともかく、ねばり強く、独話辞典とほぼ毎回配布される説明コピーを参照しつつ、一年間頑張ってくださいることを切に願っております。

成績評価の方法

成績評価は、最低限2回以上行われる筆記試験に平常点を加味して行うつもりです。くれぐれも定期的出席を！

教科書

コピーで配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ドイツ語	の 野島 利彰	経A・商3・4選	4

講義のねらい

ドイツでは環境政党である「緑の党」が政権に参加し、環境問題と自然保護、そして動物保護に積極的に取り組んでいます。環境問題先進国であるドイツの状況を知り、日本を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

フランクフルター・アルゲマイネ新聞を中心とし、ドイツ・オーストリアの有力紙からの記事を読みます。

履修上の留意点

予習しやすいよう、授業終了の少し前に次回分の時事用語および文法事項の説明をします。訳読は希望者に任せます。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度によります。

教科書

教材には記事のコピーを配布します。

参考書等

日本の新聞で環境問題・動物保護についてよく読むことが、ドイツの記事を理解する早道です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ドイツ語	くり 栗原 万修	経A・商3・4選	2

講義のねらい

上級ドイツ語クラスは、3、4年生を対象にしたクラスです。1、2年次で習得した語学力をのばし、さらに内容を文法的にも正確に読みとり、より高度なドイツ語が身につくようにするのがねらいです。継続的に1年間つづければ、かなり力がつくはずですので、欠席しないでつづけてください。1年間が終わって、受講してよかったと思えるような内容にしたいと思います。

成績評価の方法

成績評価は、試験ではなく、平常の勉学経過を中心に総合的に判断します。

教科書

テキストは特定せず、受講者の語学力に合わせ、また受講者の希望も聞きながら、最適と思われるものをその都度、コピーして配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 L L I	^{こばやし} 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 L L II	^{こばやし} 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A (選)	^{くり} 栗原 ^{かず} 万 ^{のぶ} 修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I A は文法です。このクラスもドイツ語の文法を最初からやります。でもこのクラスは選択なので、1科目だけしか履修しない人もおりますから、できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的に続けないと習得できませんので、出席を重視します。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

大岩『快速ドイツ文法 (14 課)』(朝日出版社) 2,100 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	織田 繁美	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

これからドイツ語を修得し、将来はドイツ人と話せる位いまで上達したい、或は高度な本を読めるようになりたい、でも、自分には無理だろうと諦めるのが殆どの場合かも知れないが、ドイツ語の世界に踏み込む最初の精神的ハードルを飛び越え、自分独りでその世界にどんどん突き進んでいく気構えさえあれば、今の時代は居ながらにして、大きな金銭的負担もなく実現できるようになっている。この授業では、諸君の前に立ちはだかるこの精神的なハードルが飛び越えられる一つの力強い機縁になるような方向に授業を進めたい。授業ではテキストの外に、プリント、カセットテープを併用し、多角的な面から勉強目標にアプローチをしていきたいと思う。

履修上の留意点

授業を2~3回も引き続き休むと、自分では気付かなくても語感が鈍り、他の学生に遅れを取ったという焦りが出るので、遅刻したり、欠席しないこと。

成績評価の方法

授業では一人に1~2行位いを辞書を見ながら訳してもらい、その都度出席簿にチェックされ、平常点として成績評価にかなりウエイトが置かれる。これに前、後期末のテスト結果が評価に加味される。

教科書

Stufen 1 (Klett 社) 3,580 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II (選)	もも ずみ いさむ 百 濟 勇	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

長い間、ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任しているが、そこでの真摯な学部学生、院生、研究者の語学研修の素晴らしさを駒澤大学学生に伝授したい。

講義の内容・授業スケジュール

短期大学生を含めて専門課程に視野を置きながらの語学研修を目指す必要がある。これまでの蓄積を生かし、さらに使えるドイツ語を目指す。それ故にドイツ語・英会話の併用を行う。毎回小テストを行う。

履修上の留意点

毎回の出席が前提だ。それ故に出席できない学生は、受講しないこと。連絡を密にするために、メールを使用する。

成績評価の方法

毎回、何等かの形でテストを行う。平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

会話中心故に、毎回教場でプリントを配布する。

参考書等

既に1年次に購入している「ドイツ語辞書」及び「ドイツ語文法書」を毎回持参のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語外国書講読	とよ やま ひろ お 遠 山 博 雄	経A・商3・4選	4

講義のねらい

2年次までに学習した文法の知識・語彙・読解力を生かし、かつさらに深めながら、きちんとしたフランス語の文章を熟読すること。

講義の内容・
授業スケジュール

フランス現代作家の読み易い短篇小説からはじめて、少しずつ程度の高い作品に挑戦していきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。自分で読み解くことが大切です。一人だちのためにも。

成績評価の方法

1～2回の筆記試験を予定しています。あわせて出席状況や教室での学習ぶりも考慮します。

教科書

ル・クレジオの『樹の国への旅』から読みはじめますが、教材はこちらで用意します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事フランス語	とよ やま ひろ お 遠 山 博 雄	経A・商3・4選	4

講義のねらい

フランス（語圏）社会の状況や動きを、フランスのTVニュースをとおして垣間見ること。同時に新聞記事の読解。

講義の内容・
授業スケジュール

TVニュースを聴き取るとは至難のわざですが、文字に書き落としたものを配布しますから、まずは（新聞記事とともに）読む練習から。1年の終わりには少しは聴き取れるようになって欲しいと思います。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。解説を聞きに来るのではなく、自分で読み、発音し、できれば聴いてみるのが大切です。

成績評価の方法

1～2回の筆記試験を予定していますが、参加者の人数によっては口述方式に変更するかもしれません。あわせて出席状況や教室での学習ぶりも考慮します。

教科書

そのつどプリントを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級フランス語	小玉 齊夫 <small>こたま なりお</small>	経A・商3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも目標なので、従って評価に含まれることにもなります。

教科書

カルトン・西 著 『資料で読み解くフランス語』(第三書房) 1,800円

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ラリア・三倉、M. <small>みくら</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P. P. P (ペーペーパー) *Presenter Pratiquer Produire*』(第三書房) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L II	ラリア・三倉、M. <small>みくら</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 *BIENVENUE EN FRANCE TOME I* (Didier HATIER)
上記の教材をコピーして学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	井田清子 <small>い だ きよ こ</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、フランスの大学生の日常生活やパリをはじめ代表的な地方都市を話題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

フランス人の日常生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

小倉孝誠、小倉和子著『エメ・ヴ・ラ・フランス?』（第三書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	長谷川光明 <small>は せがわ みつ あき</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、視聴覚教材を用いながら、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発声することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教科書

モーリス・ジャケ他『カンピュス』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II (選)	桑田禮彰 <small>くわ た のり あき</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語中級。

講義の内容・授業スケジュール

発音・文法についてもしっかりと確認しながら、フランス語のテキストを丁寧に読んでいきます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

テキストは授業開始時に受講者と相談の上、決定します。

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語外国書講読	佐藤 普美子	経A・商3・4選	4

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品（主として詩歌、エッセイ、短篇小説）を読んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章（の一節）を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事中国語	塩旗 伸一郎	経A・商3・4選	4

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、速読（初見）と精読の2種のアプローチにより様々な文体を読み解く力を養う。併せて中国語入力や検索の体験学習も行う。

講義の内容・授業スケジュール

見出しとリード中心の速読は、初見とはいえ画面上で自動的にピンインのルビがつくので、その場で声に出して読むことができる。精読は、文の構造を捕える練習が眼目となる。

履修上の留意点

精読部分は予習が必要である。

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取。

参考書等

辞書は中日大辞典（大修館書店）、中日辞典（講談社 or 小学館）、中国語辞典（白水社）を推奨する。これらよりはるかに薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安直な辞書は役に立たない。

その他

教場は総合情報センター。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級中国語	釜屋修 <small>かまや おさむ</small>	経A・商3・4選	2

講義のねらい

今年度は長文解釈力の向上を目標とし、短篇小説、ショート・ショート、随筆等を取りあげる。

講義の内容・授業スケジュール

受講者が分担して、朗読・翻訳を行い、現代中国の社会、人間の生きざま等についての理解を深める。

履修上の留意点

きちんと出席し、予習をすること、積極的に作品と向きあって考えること。

成績評価の方法

読解能力、発音と口頭表現の技術を重視する。出席状況、期末試験の成績とあわせ評価。

教科書

釜屋修・玉廻珍『北京文学小景』（三修社）1,400円

参考書等

中辞典以上の辞典をもつことが望ましいが、開講後に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L I	佐藤普美子 <small>さとう ふみこ</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-IBの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を怠さず。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び授業への参加意欲）を重視。

教科書

楊達他『音で覚える中国語会話特訓』（同学社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L II	小川隆 <small>おがわ たかし</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

テープを使って、中級でいどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、この科目やその他の中国語選択科目をなるべく多く履修しておいてほしい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱榮『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	らん 明	全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一个月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	かまや おきむ 釜屋 修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

発音の基礎、基本語法の習得をめざす。耳でしっかり聞き、大胆に発声、表現して現代中国語の楽しさを学んでもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

正確な発音の習得、発音表記であるピンインの修得を前期の目標とする。後期は学んだ発音のいっそうの向上をめざす。

履修上の留意点

I A (選)とあわせて受講することも可能であるが、この科目だけ選択した人は、週一回のみの学習となるので欠席のないようにしてほしい。

成績評価の方法

出席状況、日ごとの受講態度、平常点・小テスト・期末テスト等の成績を参考に総合的に判定する。

教科書

西川和男ほか『楽々中国語』CD付、（白帝社）2,400円

参考書等

開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	まつもと あつとし 松本 丁俊	全学科2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の文化、歴史、風俗習慣、社会生活等が理解できる内容で、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」中国語の力になる様な授業を行う。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点として、授業中の発音、訳し方、練習などをチェック、さらに出席点も加味する。

教科書

平井和子・干小薇『中国語の魅力』（好文出版）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語外国書講読	ま し も ゆ う い ち 真 下 祐 一	経A・商3・4選	4

講義のねらい

新聞記事から文学作品まで多岐にわたる分野のスペイン語テキストの読解力を養います。精密な読解力は個性ある表現力の基礎ともなります。思考力を鍛え、感覚を研ぎ澄まし、感情を豊かにするための場として講読を役立ててください。「困難なものほど刺激的だ」とキューバの詩人J・レサマ・リマは言っています。

講義の内容・授業スケジュール

現代のスペイン語文に親しんでもらうため、できるだけ多くのテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。

履修上の留意点

個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけて講読が行えるようテキストの選定にあたります。動機を明確にしておきましょう。

成績評価の方法

毎回の積極的な授業参加を評価します。

教科書

初回の授業で受講者と話し合って決定します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事スペイン語	う え の か つ ひ ろ 上 野 勝 広	経A・商3・4選	4

講義のねらい

インターネットを通じて入手できる最新のニュース記事を中心に、生きのいいマスコミのスペイン語を講読します。
受講者が辞書を使いながら独力で内容を理解できるよう、時事文の特徴や表現法を体得してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

最初は短くわかりやすい記事からゆっくり丁寧に読みはじめます。慣れてきたら徐々にスピードを上げて、この種の文章に対して必要な多読速読ができるように進めてゆきます。

履修上の留意点

受講者は毎回指名され、記事の訳読や内容に関する質問を受けます。予習を怠らず出席することが重要です。

成績評価の方法

授業への参加態度を重視し、平常点で評価します。試験やレポートは課しません。

教科書

コンピュータおよびプリント使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級スペイン語	う え の か つ ひ ろ 上 野 勝 広	経A・商3・4選	2

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じた下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

授業への参加態度を重視し、平常点で評価します。試験・レポートは課しません。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2, 500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L I	ナバロ, ホワン J.	全学科 2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：基礎スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことがない方はご遠慮下さい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語習得の上での基礎知識を増やして頂きたい。

教科書

Viaje al español
 テキスト及び VTR 教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	全学科 2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：中級スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことのない方及び初級程度の学力の方には困難、御遠慮頂きたい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通して上級スペイン語会話に接して頂く。

成績評価の方法

『*Viaje al español* 上級編』
 テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	なか がわ きよし 中 川 清	全学科 1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞 SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞 ESTAR・SER と ESTAR の相違点・HAY と ESTAR の相違点・指示詞・否定文
5. 動詞 TENER・所有詞・TAMBIEN と TAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR 動詞・ER 動詞・IR 動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞 1・TENER QUE と HAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞 2・IRA + 不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞 GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験－7月と1月－

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）、
 『新スペイン語辞典』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 II (選)	おぎ の まさ し 荻 野 雅 司	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語 I で学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語 I で得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著「新・何を話しましょうか」(芸林書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語外国書講読	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経A・商3・4選	4

講義のねらい

1~2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。授業では簡単な読みものを読むだけではなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

その他

状況に応じて、総合情報センターの教場新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ロシア語	きむら ひであき 木 村 英 明	経A・商3・4選	4

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊以降、長く政治的、経済的に迷走を続けてきたロシア社会だが、この数年はプーチン政権下で一定の安定を取り戻しつつある。豊かな天然資源、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	経A・商3・4選	2

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話をを行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 L L I	安徳 二一ナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S, KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS SPEAK IT'* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 L L II	安徳 二一ナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

そ の 他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 価格未定
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B (選)	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語Ⅱ(選)	安徳ニーナ <small>あん とく</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S. KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS WE SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 I A (選)	<small>そん み りょん</small> 宋 美 玲	全学科1・2・3・4選	2
朝鮮語 I B (選)			

講義のねらい	同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。
講義の内容・授業スケジュール	文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。
履修上の留意点	最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
成績評価の方法	授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円
参考書等	野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 II (選)	<small>そん み りょん</small> 宋 美 玲	全学科2・3・4選	2

講義のねらい	初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して、実践的な習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	初級のテキストをもって、基本的な文法及び表現に基づいた句型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって読解の能力を強化していく。
履修上の留意点	テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。
成績評価の方法	授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	1) 野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円 2) 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円
その他	書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。 『暮らしの単語集 韓国語』で単語のテストを行う。

4 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光 永 吉 輝〉	239
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈佐藤政之・館岡儀秋・三幣晴三〉	240
健康・スポーツ実習 (体操&ウォーキング)	〈三 幣 晴 三〉	241
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村正義・牧野 茂〉	242
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈内山雅博・牧野 茂〉	243
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高 橋 俊 介〉	244
健康・スポーツ実習 (テニス)	〈江 口 淳 一〉	245
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈佐 藤 政 之〉	246
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈内山雅博・館岡儀秋〉	247
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈田中佳孝・長濱友雄〉	248
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	249
健康・スポーツ実習 [再クラス] (簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	249
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (サッカー)	〈秋 田 浩 一〉	250
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓球)	〈川 村 正 義〉	251
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ゴルフ)	〈鈴 木 淳 平〉	252
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (空手道)	〈高 橋 俊 介〉	253
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン)	〈牧 野 茂〉	254
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール)	〈山 口 良 博〉	255
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	256
生涯スポーツ実習 I～IV前後期/基礎 (簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	257
生涯スポーツ実習 I～IV前後期/基礎 (バドミントン)	〈長 濱 友 雄〉	258
生涯スポーツ実習 I～IV前後期/基礎 (室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	258
生涯スポーツ実習 I～IV前後期/基礎 (卓球)	〈牧 野 茂〉	259
生涯スポーツ実習 I～IV前後期/基礎 (バスケットボール)	〈牧 野 茂〉	260
生涯スポーツ実習 I～IV前後期/応用 (簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	261
生涯スポーツ実習 I～IV前後期/応用 (ニュースポーツ)	〈大 石 武 士〉	262
生涯スポーツ実習 I～IV前後期/応用 (バドミントン)	〈長 濱 友 雄〉	263
生涯スポーツ実習 I～IV前後期/応用 (室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	263
生涯スポーツ実習 I～IV前後期/応用 (バドミントン)	〈鈴 木 淳 平〉	264

生涯スポーツ実習 I～IV前後期／応用（卓球）	〈牧野 茂〉	265
生涯スポーツ実習 I～IV前後期／応用（バスケットボール）	〈牧野 茂〉	266
生涯スポーツ実習（集中前期）（テニス集中）	〈江口 淳一〉	267
生涯スポーツ実習（集中後期）（テニス集中）	〈江口 淳一〉	268
生涯スポーツ実習（集中後期）（ゴルフ集中）	〈三幣 晴三〉	269
生涯スポーツ演習（シーズン前期）（ゴルフ）	〈竹田幸夫・他〉	270
生涯スポーツ演習（シーズン後期）（スキー・スノーボード）	〈佐藤政之・他〉	271
健康・スポーツ論 1	〈高橋 俊介〉	272
健康・スポーツ論 1	〈川村 正義〉	273
健康・スポーツ論 2	〈大石 武士〉	274
健康・スポーツ論 2	〈川村 正義〉	275
健康・スポーツ論 2	〈牧野 茂〉	276

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1時限 (商)		2時限 (経済-1)		3時限 (経済-2)	
火曜日	※佐藤	ゴルフ	※三幣	ゴルフ	※高橋	空手道
	光永	トレーニング	高橋	空手道	館岡	ゴルフ
	三幣	体操&ウォーク	牧野	卓球	牧野	室内球技
	川村	室内球技	川村	室内球技	光永	トレーニング
	館岡	ソフトボール	佐藤	ジョギング	三幣	体操&ウォーク
	江口	テニス	江口	テニス	江口	テニス
	内山	卓球	内山	ソフトボール	内山	ソフトボール

※は、科目の主担当者

保健体育

「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
1時限											
2時限	長	前期・基礎	大	前期・応用		牧	前期・応用	牧	前期・応用		
		バドミントン		ニュースポーツ※			卓球		バスケットボール		
	濱	後期・基礎	石	後期・応用		後期・応用	野	後期・応用	野		バスケットボール
		バドミントン		ニュースポーツ※		卓球	バスケットボール				
3時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	鈴	前期・応用	牧	前期・基礎	牧	前期・基礎	
		バドミントン		簡化太極拳※		室内球技		卓球		バスケットボール	
	濱	後期・応用	石	後期・基礎	後期・応用	野	後期・基礎	野	後期・基礎		
		バドミントン		簡化太極拳※	室内球技	卓球	バスケットボール				
4時限	大	前期・応用		鈴	木	前期・基礎	鈴	前期・応用			
		簡化太極拳※				室内球技		バドミントン			
	後期・応用	後期・基礎				後期・応用					
	石	簡化太極拳※				室内球技	木	バドミントン			

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

保健
体育

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	佐藤 政之・館岡 儀秋 三幣 晴三	経A・商1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習 (7・9 アイアン)
- 4 時限目：打撃練習 (7・9 アイアン) ・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習 (5 アイアン)
- 6 時限目：打撃練習 (5 アイアン)
- 7 時限目：打撃練習 (W 1・W 3)
- 8 時限目：打撃練習 (W 1・W 3)
- 9 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 10 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 11 時限目：打撃練習 (パッティング) ・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習 (パッティング) ・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド (模擬コース)
- 14 時限目：ラウンド (模擬コース)
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点 70%・実技点 (実技テストを含む) 30% の割合で評価する。

その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (体操&ウォーク)	み 三 幣 晴 三	経A・商1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。「Walk」は戸外で新鮮な空気に触れて実施し、それによって自分の感性を豊かにする。健康体操・ストレッチは体のバランスをチェックし矯正する。器械運動は、マットや鉄棒、さらにトランポリンなどの種目を中心にしてやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：同
- 4 時限目：器械運動（マット・トランポリン）
- 5 時限目：同
- 6 時限目：Walk
- 7 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 8 時限目：同
- 9 時限目：器械運動（男子：あん馬、つり輪、平行棒、跳馬）
（女子：平均台、段違い平行棒、跳馬）
- 10時限目：同
- 11時限目：Walk
- 12時限目：健康体操とストレッチ体操
- 13時限目：自主練習
- 14時限目：同
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階の体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守る。Walkはグラウンドや戸外で実施する。

成績評価の方法

健康体操・器械運動・Walkは、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70点、実技点30点の割合で評価する。器械運動ではやさしい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむら まさよし まきの しげる 川村 正義・牧野 茂	経A・商1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バトミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート 2 対 1、ゲーム (1 次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート 3 対 2、ゲーム (1 次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート 4 対 3、ゲーム (1・2 次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (2 次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム (2 次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)
(バトミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70 点)、実技テスト (20 点)、態度点 (10 点)、60 点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	うちやま まさひろ まきの しげる 内山 雅博・牧野 茂	経A・商1必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単と言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たが はし しゆん すけ 高 橋 俊 介	経A1必	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	経A・商1必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本記述
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本記述
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	佐藤 政之	経A1必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約 25 年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60 分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12 分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、
野外走、クロスカントリー）
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：12 分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12 分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	うちやま まさひろ たておか よしあき 内山 雅博・館岡 儀秋	経A・商1必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目： 〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目： 〃
- 5 時限目： 〃
- 6 時限目： 〃
- 7 時限目： 〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目： 〃
- 10時限目：試合(勝ち点制)
- 11時限目： 〃
- 12時限目： 〃
- 13時限目： 〃
- 14時限目： 〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	<small>たなか</small> 田中 <small>よしたか</small> 佳孝・ <small>ながほま</small> 長濱 <small>ともお</small> 友雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技術の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： ♪ (サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： ♪ (シングルスゲーム)
- 5 時限目： ♪ (シングルスゲーム)
- 6 時限目： ♪ (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： ♪ (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： ♪ (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目： ♪ (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目： ♪ (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目： ♪ (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目： ♪ (ダブルスゲーム)
- 14 時限目： ♪ (ダブルスゲーム)
- 15 時限目： ♪ (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： ♪ (アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目： ♪ (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： ♪ (ゲーム)
- 6 時限目： ♪ (ゲーム)
- 7 時限目： ♪ (ゲーム)
- 8 時限目： ♪ (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目： ♪ (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目： ♪ (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目： ♪ (ゲーム)
- 13 時限目： ♪ (ゲーム)
- 14 時限目： ♪ (ゲーム)
- 15 時限目： ♪ (まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	鈴木 淳平 <small>すずき じゆん べい</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席率の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(簡化太極拳)	大石 武士 <small>おおいし たけし</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション	16時限目：太極拳動作について説明
2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目：総合
3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18時限目：総合
4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19時限目：総合
5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾	20時限目：総合
6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭	21時限目：総合
7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚	22時限目：総合
8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目：総合
9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目：総合
10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢	25時限目：総合
11時限目：総合	26時限目：総合
12時限目：総合	27時限目：総合
13時限目：総合	28時限目：総合
14時限目：総合	29時限目：総合
15時限目：テスト	30時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(サッカー)	あき 秋 田 浩 一	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習(キック、トラップ、ヘディング、ドリブル) チーム分け
1日目午後：〃
2日目午前：パス練習、ゲーム
2日目午後：ロングキック、ゲーム
3日目午前：ドリブル、ゲーム
3日目午後：シュート、ゲーム
4日目午前：ルールの解説、ゲーム
4日目午後：ゲーム(リーグ戦)
5日目午前：〃
5日目午後：〃

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
(1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
(2) 実施時間：午前10:00～12:00
午後13:00～15:30
(3) 実施場所：玉川グラウンド
(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
(5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(卓球)	かわむらまさよし 川村正義	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム。
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム。
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム。
- 3 日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方。
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習。
- 4 日目午前：ダブルスゲーム。
- 4 日目午後：ダブルスゲーム。
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合。
- 5 日目午後：まとめ。

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点 70 点。実技点 30 点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ゴルフ)	すずき しゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目：オリエンテーション
グリップ、アドレス、スイング
打撃練習 (7・9アイアン)
- 2日目：打撃練習 (7・9アイアン) ・ビデオによるスイング理論の解説
打撃練習 (5アイアン)
打撃練習 (5アイアン)
- 3日目：打撃練習 (W1・W3)
打撃練習 (W1・W3)
打撃練習 (アプローチ)
打撃練習 (アプローチ)
- 4日目：打撃練習 (パッティング) ・ルールの解説
打撃練習 (パッティング) ・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
ラウンド (模擬コース)
- 5日目：ラウンド (模擬コース)
実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点(実技テストを含む)30%の割合で評価する。

そ の 他

- 雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。
再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川グラウンド
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(空手道)	たかほししゅんすけ 高橋 俊介	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1日：空手道の歴史と技の説明
自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 第2日：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 第3日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
- 第4日：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
- 第5日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
実技試験

保健
体育

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧野 茂	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への「履修届（事前登録）」は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	やまぐち よしひろ 山 口 良 博	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃
午後：〃
- 第5日目 午前：〃
午後：〃

保健
体育

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(室内球技)	すずき じゆん へい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる基礎的な技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントンを行なう。チームスポーツ、個人スポーツに必要とされる要素(体力的・技術的)を意識してゲームを多く消化していく。
スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期)7月18日(金)～22日(火)
(後期)12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返す稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・單鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目： }
- 11 時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すず き じゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (室内球技)		全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (卓 球)	まき の 野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
 - 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
 - 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
 - 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
 - 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
 - 7 時限目：シングルスゲームの練習
 - 8 時限目：
 - 9 時限目：
 - 10 時限目：
 - 11 時限目：
 - 12 時限目：
 - 13 時限目：
 - 14 時限目：
 - 15 時限目：
- 総合練習、シングルスゲーム練習
- 総合練習、ダブルスゲーム

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 牧 野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス①、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス②、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク①、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク②、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗步・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (ニュースポーツ)		全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はら とも お 雄 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すず き じゆん へい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (室内球技)		全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11 時間目： }
- 12 時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15 時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 牧 野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3時限目：サーブ、ラリー
- 4時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8時限目： }
- 9時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13時限目： }
- 14時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バスケットボール)	まさ 牧 の 野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、-halfコート 2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート 2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート 3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート 4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①-half・コート 2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②-half・コート 3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE③-half・コート 3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE①-half・コート 2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE②-half・コート 3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE③-half・コート 4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) テニス集中	えぐち じゅん いち 江 口 淳 一	全学科選	1

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながらHighでFullにテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 3日目午後： 〃 〃 （戦術と応用）
- 4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月18日（金）～22日（火）
7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10:00～12:00
午後13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（前期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	え ぐち じゆん いち 江 口 淳 一	全学科選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニス業打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（日）～25日（木）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	み ぬき はる み 三 幣 晴 三	全学科選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 - ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：平成15年12月21日（日）～25日（木）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	たけだ ゆきお 他 竹田 幸夫 他	全学科選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的なねらいを主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 12:20~12:40 2研-101 教場
2回目 4月16日(水) 12:20~12:40 2研-101 教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月20日(日) 13:00~16:00 2研-102 教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目【9月8日(月)】実技：14:00~17:00《打撃練習》
講義：19:00~21:00《ゴルフスイングの基本》
 - 2日目【9月9日(火)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》
講義：19:00~21:00《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目【9月10日(水)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》
講義：19:00~21:00《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目【9月11日(木)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《ラウンド・その他》
講義：19:00~21:00《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目【9月12日(金)】実技：9:00~11:00・12:30~14:30《ラウンド・その他》

履修上の留意点

生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 実習日程：平成15年9月8日(月)~9月12日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 場 所：①宿泊 軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話(0267)46-1111
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
②練習場 軽井沢ゴルフ練習場 電話(0267)48-1211
③コース 晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- 定 員：30名
- 集合解散：現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)
詳細については事前授業で説明するので必ず出席すること。
- 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 服装・用具：
 - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウィンドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	さとう まさゆき 佐藤 政之 他	全学科選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 12:20~12:40 2研-101 教場
2回目 4月16日(水) 12:20~12:40 2研-101 教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月22日(月) 13:00~16:00 2研-102 教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目【2月16日(月)】午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目【2月17日(火)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目【2月18日(水)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目【2月19日(木)】
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目【2月20日(金)】
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成16年2月16日(月)~2月20日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グランド 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定 員：スキー 40名
スノーボード 10名(但し、初心者に限る)
- 4) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているのに特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	たかほし しゆん すけ 高橋 俊介	経A1選	2

講義のねらい

健康スポーツ論学習の内容は健康で楽しい社会生活を送るためにもスポーツを行なうことは心身をリフレッシュさせ、体力の維持、健康の増進には欠かすことのできないことですが、体育とは何か、体育とは何をめざして行うのか、また現在のスポーツがどのような変革の道を通って今日に至ったのか、その歴史を知ることによって体育の意義を知り、健康を考えることに役立つものである。

- I
 - 1 時限目：運動はなぜ必要か
 - 2 時限目：人類が生命を維持するのに必要な労働本能から生まれた運動
 - 3 時限目：一人の人間の健康が、国家、社会、団体に与える問題と運動
 - 4 時限目：体育によってどのような教育が考えられるか
 - 5 時限目：学校体育による教育
 - 6 時限目：社会体育による教育
 - 7 時限目：生涯体育による教育
 - 8 時限目：現在行なわれている運動がどのような経緯で生まれてきたか
 - 9 時限目：実用の面から生まれてきた運動
 - 10 時限目：健康の面から生まれてきた運動
 - 11 時限目：ホモルーデンスの面から生まれてきた運動
- II

“レポート提出”授業時間内に課題に対する独自の見解をレポートする。

 - 12 時限目：(例) スポーツの文化性、芸術性について
 - 13 時限目：(例) スポーツマン精神について
 - 14 時限目：(例) 大衆スポーツ論
 - 15 時限目：(例) スポーツと政治

成績評価の方法

出席を重視し、特にペーパーテストは行なわないが、レポート提出によって試験に代え評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	かわむらまさよし 川村正義	経A・商1選	2

講義のねらい

「健康は人間が自分に贈れる最大のプレゼントである」ことを忘れず、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な身体にかかわる教養を高めることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目 講義のねらいと内容説明
- 2 時 限 目 からだの組織と機能について。
- 3 時 限 目
- 4 時 限 目 身体活動量と健康について。
- 5 時 限 目 ・スポーツマンは長生きか
- 6 時 限 目 ・寝て暮らしたらどうなるか
- 7 時 限 目 ・女性はなぜ長生きか 等々
- 8 時 限 目 健康づくりの運動と栄養
- 9 時 限 目 ・有酸素運動と健康づくり
- 10 時 限 目 ・筋力トレーニングの必要性
- 11 時 限 目 ・脂肪と運動 等々
- 12 時 限 目 生活習慣病について
- 13 時 限 目 健康に関する時事問題
- 14 時 限 目 まとめ・「健康寿命をのばし自分の意志で自由に行動できる長生きほど幸せな生涯はない」
- 15 時 限 目 レポート提出日

成績評価の方法

出席状況とレポートによる評価

教 科 書

特に指定しない。 資料を配布。

参 考 書 等

- 『健康と運動の科学』(大修館書店)
- 『運動・健康とからだの秘密』(近代科学社)
- 『スポーツと寿命』(朝倉書店)

そ の 他

講義形式を基本とするが、運動生理の医学ビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	おおいし 大石武士	全学科選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

保健体育

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カツサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	かわむらまさよし 川村正義	全学科選	2

講義のねらい

「健康は人間が自分に贈れる最大のプレゼントである」ことを念頭に、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な身体にかかわる教養を高めることをねらいとする。
そして今から「知識」と「態度」が連動して成り立つ「行動」を起こしてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目 講義のねらいと内容説明
- 2時限目 健康や体力と考え方
- 3時限目 運動・スポーツの実施の意義
- 4時限目 ・生物学的意義
- 5時限目 ・社会的意義
- 6時限目 ・教育学的意義
- 7時限目 健康と体力の現状
- 8時限目 運動・スポーツの実践
- 9時限目 ・運動の仕組み ・運動技能
- 10時限目 ・トレーニング方法と障害
- 11時限目 ・体力測定と評価方法
- 12時限目 運動・スポーツ実施の効果
- 13時限目 ・身体的効果 ・身体の発達成長
- 14時限目 ・心理的効果 ・生活習慣病の改善
- 15時限目 まとめ・「健康寿命をのばし自分の意志で自由に行動できる長生きほど幸せな生涯はない」

履修上の留意点

数回の小テストを行う予定

成績評価の方法

定期試験と受講態度を加味して評価する。

教 科 書

特に指定しない。資料を配布する。

参 考 書 等

- 『健康・体力のための運動生理学』（杏林書院）
- 『健康と運動の科学』（大修館書店）
- 『スポーツと寿命』（朝倉書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論2(前期)	まきの野 茂 <small>の しげる</small>	全学科選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3時限目：健康とは何か②
- 4時限目：健康とは何か③
- 5時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11時限目：日常生活と健康② ◻ ◻ ◻ ◻ ◻ ◻ ◻ ②
- 12時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経 済 学 科 フ レ ッ ク ス A
商 学 科

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.583)

科
專
門
教
育
目
錄

Ⅱ. 専門教育科目

※印の科目については、経済学科フレックスBの頁を参照してください。

経済学概説《経A》〈小杉修二〉	285
経済学概説《経A》〈中濟光昭〉	285
経済学概説《経A》〈安元稔〉	286
経済学概説《商》〈大吹勝男〉	286
経済学概説《商》〈古沢紘造〉	287
経済理論ⅠA・資本の原理《経A》〈斉藤正美〉	288
経済理論ⅠA・資本の原理《経A》〈長谷川義和〉	288
経済理論ⅠA・資本の原理《商》〈阿部弘〉	289
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学〈畠中貴〉	290
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学〈小野哲司〉	290
経済理論Ⅱ・マクロ経済学〈荒木勝啓〉	291
経済理論Ⅱ・マクロ経済学〈浅野克巳〉	292
経済学史〈福原好喜〉	293
経済学史〈安元稔〉	294
経済政策〈飯田泰之〉	295
財政学〈里中恆志〉	296
金融論〈代田純〉	297
社会政策〈光岡博美〉	298
日本経済論〈小林正人〉	299
国際経済論〈徳永俊明〉	300
商学総論〈大吹勝男〉	301
経営学総論〈百田義治〉	302
会計学総論《商》〈石川純治〉	303
会計学総論《経A》〈寺坪修〉	303
商業政策〈番場博之〉	304
マーケティング〈曾我信孝〉	305
経営管理論〈國島弘行〉	306
労働管理論〈堀龍二〉	307
簿記論〈島崎規子〉	308
簿記論〈森田佳宏〉	309
財務会計論〈小栗崇資〉	310
経済理論ⅠB・経済システムの原理〈大石雄爾〉	311
経済格数理学〈水野勝之〉	312
価値格理学論〈荒木勝啓〉	313
国民所得論〈吉野紀〉	314
計量経済学〈休講〉	
統計原論〈吉野紀〉	315
景気循環論〈野村信廣〉	316
現代資本主義論〈長島誠一〉	317
社会思想史〈阿部弘〉	318
日本経済史〈橋野知子〉	319
西洋経済史〈友松彦彦〉	320
農業政策〈溝手芳計〉	321
工業政策〈奥山雅之〉	322
経済地理学〈須山聡〉	322

交 通	論〈 休 講 〉	
中 小 企 業 論	〈吉 田 敬 一〉	323
環 境 經 濟 論	〈山 口 由 二〉	324
公 共 經 濟 学	〈鈴 木 伸 枝〉	325
財 政 政 策	〈 休 講 〉	
地 方 財 政 論	〈篠 原 章〉	326
国 際 金 融 論	〈齊 藤 壽 彦〉	326
銀 行 論	〈 休 講 〉	
銀 行 シ ス テ ム 論	〈齊 藤 正〉	327
現 代 銀 行 事 情	〈齊 藤 正〉	328
証 券 市 場 論	〈磯 谷 玲〉	329
保 險 論	〈 休 講 〉	
人 口 論	〈森 岡 仁〉	330
教 育 經 濟 論	〈谷 敷 正 光〉	331
勞 働 經 濟 論	〈 休 講 〉	
貿 易 論	〈古 沢 紘 造〉	333
※ 貿 易 実 務	〈荒 畑 治 雄〉	(618)
※ 通 関 実 務	〈荒 畑 治 雄〉	(619)
ア ジ ア 經 濟 論	〈鄭 章 淵〉	334
中 国 經 濟 論	〈小 杉 修 二〉	335
ア メ リ カ 經 濟 論	〈瀬 戸 岡 紘〉	335
ヨ ー ロ ッ パ 經 濟 論	〈 休 講 〉	
E U 統 合 論	〈清 水 卓〉	336
現 代 西 欧 經 濟 論	〈清 水 卓〉	337
ロ シ ア ・ 東 欧 經 濟 論	〈山 縣 弘 志〉	338
情 報 經 濟 ネットワーク論	〈中 濟 光 昭〉	339
プ ロ グ ラ ミ ン グ 論	〈濱 本 和 彦〉	340
基 礎 情 報 処 理 I	〈岩 瀬 弘 和〉	341
基 礎 情 報 処 理 II	〈岩 瀬 弘 和〉	342
応 用 情 報 処 理 I	〈岩 瀬 弘 和〉	343
応 用 情 報 処 理 II	〈岩 瀬 弘 和〉	343
商 品 学	〈石 崎 悦 史〉	344
商 業 史	〈幸 野 保 典〉	345
消 費 經 濟 論	〈川 島 美 保〉	346
經 営 戦 略 論	〈田 淵 泰 男〉	347
企 業 統 治 論	〈岩 波 文 孝〉	348
財 務 管 理	〈 休 講 〉	
經 営 学 史	〈 休 講 〉	
經 営 情 報 シ ス テ ム 論 I	〈齐 藤 隆〉	349
經 営 情 報 シ ス テ ム 論 II	〈齐 藤 隆〉	350
会 計 監 査 論	〈森 田 佳 宏〉	351
会 計 情 報 論	〈石 川 純 治〉	352
管 理 会 計 論	〈石 川 祐 二〉	353
原 価 計 算 論	〈 休 講 〉	
税 務 会 計 論	〈柳 裕 治〉	353
經 営 分 析	〈 休 講 〉	
コ ン プ ュ ー タ 会 計 I	〈鈴 木 勝 浩〉	354
コ ン プ ュ ー タ 会 計 II	〈鈴 木 勝 浩〉	355
憲 法	〈内 田 真 利 子〉	355

民	法	一	部	〈大	宮	隆	356
民	法	二	部	〈織	田	晃	357
商	法	一	部	〈受	川	環	357
商	法	二	部	〈受	川	環	358
經			法	〈岡	田	外司博	358
勞			法	〈藤	本	林	359
行			法	〈小	林	弘	360
国			法	〈齋	藤	洋	361
※税			I	〈奥	村	正	(627)
※税			II	〈奥	村	正	(628)
原	講	I	・	II	〈岩	波	362
原	講	I	・	II	〈小	杉	362
原	講	I	・	II	〈清	水	362
原	講	I	・	II	〈鈴	木	363
原	講	I	・	II	〈鄭		363
原	講	I	・	II	〈福	原	363
原	講	I	・	II	〈溝	手	364
原	講	I	・	II	〈山	縣	364
現	經	I	・	II	〈菅	原	365
現	經	I	・	II	〈羽	田	366
現	經	I	・	III	〈吉	川	367
現	經	I	・	IV	〈藤	澤	368
現	業	I	・	II	〈休	講	
現	業	I	・	III	〈代	田	369
※現	業	I	・	II	〈阿	部	(633)
※現	業	I	・	II	〈友	松	(633)
※總	業	I	・	VI	〈休	講	
※會	事	I	・	II	〈鈴	木	(635)
※情	事	I	・	II	〈永	井	(636)
※情	事	I	・	II	〈永	井	(637)
※教	事	I	・	II	〈谷	敷	(638)
演	事	I	・	II	〈淺	野	369
演	事	I	・	II	〈阿	部	370
演	事	I	・	II	〈荒	木	370
演	事	I	・	II	〈飯	田	371
演	事	I	・	II	〈石	川	371
演	事	I	・	II	〈石	川	372
演	事	I	・	II	〈岩	波	372
演	事	I	・	II	〈大	石	373
演	事	I	・	II	〈大	吹	373
演	事	I	・	II	〈小	栗	374
演	事	I	・	II	〈小	杉	374
演	事	I	・	II	〈小	林	375
演	事	I	・	II	〈齊	藤	375
演	事	I	・	II	〈里	中	376
演	事	I	・	II	〈清	水	377
演	事	I	・	II	〈代	田	377
演	事	I	・	II	〈鈴	木	378

演	習	I	〈瀬戸岡 絃〉	378
演	習	I	〈曾我 信孝〉	379
演	習	I	〈鄭 信章 淵〉	379
演	習	I	〈德 永松 俊憲 明〉	380
演	習	I	〈友 松 憲 彦〉	380
演	習	I	〈中 濟 光 昭〉	381
演	習	I	〈橋 野 知 子〉	382
演	習	I	〈百 田 義 治〉	383
演	習	I	〈福 原 好 喜〉	384
演	習	I	〈古 沢 絃 造〉	385
演	習	I	〈堀 龍 二〉	385
演	習	I	〈光 岡 博 美〉	386
演	習	I	〈溝 手 芳 計〉	386
演	習	I	〈森 岡 仁〉	387
演	習	I	〈森 田 佳 宏〉	387
演	習	I	〈谷 敷 正 光〉	388
演	習	I	〈安 元 稔〉	388
演	習	I	〈山 縣 弘 志〉	389
演	習	I	〈吉 野 紀 一〉	389
演	習	I	〈吉 田 敬 一〉	390
演	習	II	〈浅 野 克 巳〉	390
演	習	II	〈阿 部 弘 弘〉	391
演	習	II	〈荒 木 勝 啓〉	391
演	習	II	〈飯 田 泰 之〉	392
演	習	II	〈石 川 純 治〉	392
演	習	II	〈石 川 祐 二〉	393
演	習	II	〈岩 波 文 孝〉	393
演	習	II	〈大 石 雄 爾〉	394
演	習	II	〈大 吹 勝 男〉	394
演	習	II	〈小 栗 崇 資〉	395
演	習	II	〈國 島 弘 行〉	395
演	習	II	〈小 杉 修 二〉	396
演	習	II	〈小 林 正 人〉	396
演	習	II	〈齊 藤 正 正〉	397
演	習	II	〈里 中 恆 志〉	397
演	習	II	〈清 水 卓 純〉	398
演	習	II	〈代 田 純 純〉	398
演	習	II	〈鈴 木 伸 枝〉	399
演	習	II	〈瀬戸岡 絃〉	399
演	習	II	〈曾我 信孝〉	400
演	習	II	〈田 中 浩 也〉	400
演	習	II	〈鄭 信章 淵〉	401
演	習	II	〈德 永松 俊憲 明〉	402
演	習	II	〈友 松 憲 彦〉	402
演	習	II	〈中 濟 光 昭〉	403
演	習	II	〈橋 野 知 子〉	404
演	習	II	〈番 場 博 之〉	404
演	習	II	〈百 田 義 治〉	405
演	習	II	〈福 原 好 喜〉	405

演	習	Ⅱ	〈古	沢	紘	造	405
演	習	Ⅱ	〈堀		龍	二	406
演	習	Ⅱ	〈光	岡	博	美	406
演	習	Ⅱ	〈溝	手	芳	計	407
演	習	Ⅱ	〈森	岡		仁	407
演	習	Ⅱ	〈森	田	佳	宏	408
演	習	Ⅱ	〈谷	敷	正	光	408
演	習	Ⅱ	〈安	元		稔	409
演	習	Ⅱ	〈山	縣	弘	志	409
演	習	Ⅱ	〈吉	野		紀	410
演	習	Ⅱ	〈吉	田	敬	一	410
演	習	Ⅲ	〈浅	野	克	巳	411
演	習	Ⅲ	〈阿	部		弘	411
演	習	Ⅲ	〈荒	木	勝	啓	412
演	習	Ⅲ	〈石	川	祐	二	412
演	習	Ⅲ	〈岩	波	文	孝	413
演	習	Ⅲ	〈大	石	雄	爾	413
演	習	Ⅲ	〈大	吹	勝	男	414
演	習	Ⅲ	〈小	栗	崇	資	414
演	習	Ⅲ	〈小	杉	修	二	414
演	習	Ⅲ	〈小	林	正	人	415
演	習	Ⅲ	〈齊	藤		正	415
演	習	Ⅲ	〈里	中	恆	志	416
演	習	Ⅲ	〈清	水		卓	416
演	習	Ⅲ	〈代	田		純	417
演	習	Ⅲ	〈瀬	戸	岡	紘	417
演	習	Ⅲ	〈曾	我	信	孝	418
演	習	Ⅲ	〈鄭		章	淵	418
演	習	Ⅲ	〈德	永	俊	明	419
演	習	Ⅲ	〈友	松	憲	彦	419
演	習	Ⅲ	〈中	濟	光	昭	420
演	習	Ⅲ	〈橋	野	知	子	421
演	習	Ⅲ	〈長	谷	川	義	422
演	習	Ⅲ	〈畠	中		貴	422
演	習	Ⅲ	〈番	場	博	之	423
演	習	Ⅲ	〈百	田	義	治	423
演	習	Ⅲ	〈福	原	好	喜	423
演	習	Ⅲ	〈古	沢	紘	造	424
演	習	Ⅲ	〈堀		龍	二	424
演	習	Ⅲ	〈溝	手	芳	計	425
演	習	Ⅲ	〈光	岡	博	美	425
演	習	Ⅲ	〈森	岡		仁	426
演	習	Ⅲ	〈森	田	佳	宏	426
演	習	Ⅲ	〈谷	敷	正	光	427
演	習	Ⅲ	〈安	元		稔	427
演	習	Ⅲ	〈山	縣	弘	志	427
演	習	Ⅲ	〈吉	野	敬	一	428
演	習	Ⅲ	〈吉			紀	428

科
專
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済学概説	こすぎ しゅうじ 小杉修二	経A1必	4

講義のねらい

ビデオ映像による「見る・知る・考える」経済学部入門

人類学によると人類は500万年前にアフリカに生まれ、現在の人類の祖先もまた20万年前にアフリカに生まれたと言われています。そして、1万年前に農業が発明され、それとともに文明が生まれました。200年程前に産業革命がおこり、それまでの人力・畜力・風力・水力等にかわって化石燃料が動力源となり、20世紀の後半に世界的な高度経済成長が始まりました。

人類史の大部分を占める狩猟採集時代一欠乏の時代に人間性は形成されました。人類はその技術的社会的条件を手に入れるや、自分を取囲む世界を変化させ、利用し、支配し、所有しようとして今日に至っています。これを別の面から見れば「経済成長」の歴史ということになります。

講義の内容・授業スケジュール

この授業ではこのプロセスをビデオ映像を中心にして「見る・知る・考える」ことにします。前期は「経済成長と人間」、後期は「経済成長と環境」をテーマとします。

履修上の留意点

言うまでもないことですが、私語、飲食、携帯電話は禁止（授業に集中できない人は参加資格なし）。

成績評価の方法

前期・後期とも試験と出席点で評価します。

教科書

特にありません。

参考書等

その時々指示します。

その他

ビデオだからと言ってただ漠然と見るのではなく、必ずノートをとること。

科
専
門
教
育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済学概説	なか すみみつ あき 中 濟 光 昭	経A1必	4

講義のねらい

本講義では、みなさんのまわりにあふれている経済に関わる情報を用いて「科学する」ことを練習していきます。その際、経済学の基礎的知識を説明し、経済現象との関連を有機的に身に付けられるよう配慮します。

講義の内容・授業スケジュール

まず、レポートなど大学で勉強する上で必要な技術を学びます。その際、論理的に考え文章を組み立てる練習も行います。基礎的技術が身についた後は、次のような講義の進め方をします。新聞に掲載された記事の解説とそれに関係する基礎的な経済理論を概説し、皆さんに問題提起をします。提起された問題について皆さんが答えていきます。

履修上の留意点

新聞を毎日読むこと。

成績評価の方法

定期試験と数回の小レポートによります。

教科書

ノートをきちんととってください。

参考書等

必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済学概説	やすもと みのる 安元 稔	経A1必	4

講義のねらい

この講義では、経済学的なものの方とは何かを経済学の基本的な概念を解説しながら、講義します。現在私たちが生きている社会は、資本主義社会・工業化社会・市場経済社会などと呼ばれていますが、これらは必ずしも同じものではありません。その違いを理解するためには、現代経済の成り立ち、歴史的な発展を知る必要があります。講義は、以下の順序で進めます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経済的営為の意味・経済学の対象
2. 資源配分の方法
3. 市場経済と非市場経済
4. 慣習経済・指令経済・市場経済
5. 市場経済の特質
6. 工業化と産業革命
7. 人口変動と工業化
8. 農業と経済発展
9. 都市化と工業化
10. 日本の工業化・ヨーロッパの工業化
11. 18・19世紀イギリスの経済変動
12. 国際経済の展開
13. 20世紀の経済史

専
門
教
育
目

履修上の留意点

配布する資料をよく読んで、まとめてもらいます。毎回出席し、私語を慎むこと、指定された文献・資料は必ず読むこと、これらを守って下さい。

成績評価の方法

課題について書いてもらうレポート・期末の試験で採点します。再試験は実施しません。

教科書

特にありません。

参考書等

適宜指示します。

その他

できるだけ社会の動きに関心を持つ事が大事です。そのためには、例えば、新聞をよく読んで下さい。映像だけではなく、活字を大切にして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済学概説	おお ぶき かつ お 大吹勝男	商1必	4

講義のねらい

今日のわが国のさまざまな経済問題を中心にとりあげ、それらについて現象的事実の解説ではなく、そうしたことがなにゆえにおきるのかを分析するための理論を講義します。

成績評価の方法

テーマ毎のレポートに平常点を加味しておこないます。

教科書

特に、使用することはない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 概 説	<small>ふる さわ こう ぞう</small> 古 沢 紘 造	商 1 必	4

講義のねらい

経済システムが人間の生存になくてはならない自然を破壊し、人間の生活の質を悪化させ、社会の持続的な発展を危ういものとしている。とはいえ、経済システムを創造したのは人間である。

人びとの生きる、働く、暮らすという点に着目し、経済をとらえ直すことで持続可能な社会を導く経済システムとはどのようなものか、考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

I 暮らしと経済

- 1 食と経済
- 2 住と経済
- 3 衣と経済
- 4 エネルギーと経済
- 5 廃棄物と経済

II 現代社会と経済

- 1 技術と経済
- 2 情報と経済
- 3 環境と経済
- 4 文化と経済
- 5 グローバル化と経済

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト・提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終わりの授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。再試験は実施しない。

教 科 書

特にこれといった教科書は使わない。専門用語などはそのつど説明する。

参 考 書 等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいということがあれば、遠慮なく相談に来てほしい。参考となる本を紹介したい（研究室：第2研究館、4階34室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論 I A・資本の原理	齋藤正美	経A1・2・3・4必	4

講義のねらい

日常大量にみられる商品価格の背後に価値があり、この価値の実体は労働であるとする労働価値説にもとづき、増殖する価値=資本の運動を追跡する。この中で、剰余価値生産を目的とする競争社会において、直接的生産者に貧困が蓄積され、生産を指揮するものに富が蓄積される様相を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 社会構成体の変遷
2. 労働手段による歴史の段階区分
3. 商品と貨幣
4. 絶対的剰余価値の生産
5. 相対的剰余価値の生産
6. 労賃
7. 資本蓄積

履修上の留意点

授業に出て、講義ノートの作成につとめること。

成績評価の方法

前・後期の末に試験をおこない、その成績で評価する。

教科書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）1800円を使用する。

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）2300円をあげておく。講義で示される抽象的理論に対し、現代的な接点を探るとき、この文献内の各種統計を参照する。

その他

授業は講義形式でおこなう。資料は、参考書であげた文献内の統計を含めて、プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論 I A・資本の原理	長谷川義和	経A1・2・3・4必	4

講義のねらい

現代の社会・経済システムは資本主義のシステムであること——20世紀末の日本と世界の経験は、そのことを改めて強く認識させるものであった。この講義では、この、誰にとっても逃れることの出来ない資本主義のシステムとはいかなるものであるかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期の講義では、バブルの形成と崩壊および世界的な規模での「マネーゲーム」を念頭に置きながら、「お金」が万能の力を発揮するのはなぜか、そのことに焦点を当てながら、資本主義の社会・経済システムの基本構造を解明して行きたい。

20世紀は、資本主義が世界的システムに発展した時代だった。生産力の急激な発展と大量生産—消費—廃棄の社会・経済システムの発展。それがもたらす「豊かな社会」と失業・貧困、インフレーション、南北問題、環境破壊等々の問題、そしてそれへの社会的な対応。それらのあらゆる経験を通して、我々は、21世紀の初頭に資本主義の歴史的な意義と限界、そして、その限界をのりこえる道について考察しうる地点にようやく立っている。後期の講義では、前期の講義を基礎にして、資本主義の歴史的意義と展望について考察する。

履修上の留意点

この講義は、出来る限り毎回毎回出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

成績は、定期試験の結果を主に、授業中に何回か行なう小レポートを従にして決定する。

教科書

教科書は指定しない。

参考書等

大谷禎之介『図解 社会経済学——資本主義とはどのようなシステムか』（桜井書店）

その他

授業方法—講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論 I A・資本の原理	あ べ 部 弘 あべひろし	商1・2・3・4選	4

講義のねらい

「経済理論」という科目は「経済学の体系」を示すものです。この講義は、経済学部で設置している「経済理論」のIAであり、主としてマルクスの『資本論』を土台として講義・演習をおこないます。

一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」としていて、階級社会における、「体制的な経済学」に対する批判を展開しています。この講義では、現在の「経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組について、『資本論』が19世紀半ば（1867年）に批判したその内容と現在の問題とを比較しながら、「経済学」はどうあるべきかを、受講生の皆さんと共に考えていこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- I 「富」とは何か
 - 1 「富」とは何か
 - (1) 「富」は人間にとって外部に存在する
 - (2) 「富」の人間からの乖離
 - (3) 「富」に支配された人間
 - 2 「経済学の方法」
 - (1) 「国富」
 - (2) 私的所有
 - (3) 価値
 - 3 人間社会と交換価値
 - (1) 商品
 - (2) 貨幣
 - (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本
 - 1 資本の生産
 - (1) 資本と商品
 - (2) 資本の本質
 - (3) 階級の生産
 - 2 資本の運動法則
 - (1) 資本の運動範式
 - (2) 資本の生産と再生産
 - (3) 階級社会の拡大再生産
 - 3 資本の蓄積と階級の生産
 - (1) 資本の蓄積
 - (2) 資本関係と人間労働
 - (3) 資本蓄積の本質
- III 資本主義生産様式と人間社会—まとめ

成績評価の方法

- 1 レポートによる評価
 - (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行います。
 - (2) レポートは、第1回目：7月
第2回目：9～10月
第3回目：10～11月
第4回目：12月

このばあい、第1回目は講師が受講生全体に共通のテーマを提起します。そして2回目以後は受講生の皆さん各自が作成したレポートからテーマをそれぞれ設定します。
- 2 その他：「定期試験」、それに付随する「追試」、そして「再試」は行いません。

教科書

教科書・参考書等については講義の中で指定しますが、講義の性格上、マルクスの『資本論』は必読文献です。ですから、基本として次の文献を指定しておきます。
 マルクス：『資本論』（大月書店）（国民文庫）1-9分冊。
 池上惇：『文化経済学のすすめ』（丸善ライブラリー）

その他

講師との連絡方法
 受講生と講師が連絡できるように、次に講師の住所等を掲載しておきます。
 阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204 TEL 03-3976-7984
 研究室：第2研究館5F No.2358、TEL 03-3418-9360

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	はたなか たかし 畠 中 貴	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

ミクロ経済学の基礎的な内容（家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、市場機構が果たしている基本的な役割、市場機構がうまく機能しないケース）を講義する。初歩的な数学（関数、微分）も併せて一から講義する。

この講義の目標とするところは、以下の2点である。

- (i) 経済のありさまを自分なりに把握するための能力を磨く。
- (ii) 注意深く筋道だった思考ができるようになるための訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は基本的に教科書に沿って行う。数学については、適宜プリントを配布する。前期は、第1章（価格理論の考え方）、第2章（需要と供給）、第3章（消費者の選択行動）、第4章（消費者行動と需要曲線）、第5章（純粋交換経済）を扱う予定。後期は、第6章（費用と供給）、第7章（生産と費用最小化）、第8章（費用曲線と供給曲線）、第9章（競争市場と市場均衡）、第10章（長期均衡の性格）、第11章（独占と寡占）、第12章（市場機構と効率性）を扱う予定である。

専
門
教
育
目

履修上の留意点

上に挙げた目標を達成するためにはまず、教科書に書かれている内容を正確に理解し、ミクロ経済学の理論体系をしっかりと頭に入れる必要がある。抽象的な理論の内容は、一度説明を聞いただけではなかなか頭に入らない。根気よく予習・復習を行い、1年を通して頭を働かせ続けることが肝要である。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のどちらか一方でも受けていなければ、単位を与えることはできないので注意すること。

教科書

倉澤資成著『入門価格理論』第2版（日本評論社）3000円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	おのの 哲 司	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

この授業ではミクロ経済学の初歩的な講義を行う。1年生も受講する授業なので、経済学の知識がゼロでも理解できるように、最も基本的なところから話を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

経済分析の基本である需要曲線と供給曲線の性質およびその変化、需要と供給の均衡についてまず理解してもらう。その後消費者余剰分析、独占均衡との比較、外部性の考慮など、均衡分析の応用を講義する。以下のような内容を予定している。

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 消費と需要
消費者行動と需要
需要曲線の性質
需要曲線の移動 2. 生産と供給
企業行動と費用
費用と供給曲線
供給曲線の移動 3. 需要と供給の均衡
競争と市場の均衡
経済状況の変化と価格の変化 | <ol style="list-style-type: none"> 4. 生産の社会的利益
消費者余剰
生産者余剰
余剰分析の応用 5. 独占
競争と不完全競争
独占と完全競争の比較
寡占とゲーム理論
競争促進政策 6. 外部性
私的費用と社会的費用
外部不経済と課税・補助金 |
|---|--|

成績評価の方法

基本的に試験による。学年末試験1回のみか、中間試験も実施するかは未定。中間試験を行う場合は1月前までに予告する。

教科書

授業中にプリントを配布するので、いまのところ教科書使用の予定はない。

参考書等

授業の中で言及する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論Ⅱ・マクロ経済学	あら ま よし ひろ 荒 木 勝 啓	経A1・2・3・4選必	4

講義のねらい

乗数理論の完全理解、貨幣の役割と信用創造理論、IS-LM-BP 曲線による国際経済と国内経済の関係の理解、経済成長と技術進歩の理解という5つのメインテーマを中心にマクロ経済理論を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 授業の内容は次の通り。
1. 国民経済の成立
 2. 所得の循環図式
 3. 国民所得の概念
 4. 国民所得の決定
 5. 政府・輸出入の導入
 6. 乗数理論
 7. ビルト=イン=スタビライザー
 8. 貨幣とは何か
 9. 信用通貨の成立
 10. 信用創造理論
 11. 貨幣数量説と古典派学説
 12. 流動性選好説
 13. LM 曲線
 14. 投資関数
 15. IS 曲線
 16. IS=LM 曲線による均衡実質国民所得の決定
 17. マンデル=フレミングの定理
 18. IS=LM=BP 曲線による国際経済と国内経済の関係の理解
 19. コブ=ダグラス生産関数に基づく経済成長率の算出
 20. ハロッド=ドーマーモデル
 21. 新古典派成長理論
 22. 期待理論その1
 23. 期待理論その2

成績評価の方法

再試験実施。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・マクロ経済学	あきの 浅野 かつみ 克巳	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。現在わが国の失業率は上昇傾向にあるというが、その要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはベアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
2. 国民経済計算と国民所得の考え方
3. GDP とは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化と GDP の関係
5. 消費と投資
6. IS-LM モデルと財政金融政策
7. インフレとデフレについて
8. 国際貿易
9. 政府の経済的役割
10. 総需要と総供給
11. 貨幣とマクロ経済
12. 貨幣政策と金融政策
13. 為替市場と金融政策
14. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず日をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよい。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立ちおすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、ノートをしっかりととり、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケイタイなどをもってのほか、以上厳守。守れない者は直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートの成績を総合評価する。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年。

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）2003年。これは公務員試験の問題集だけでなく他の国家試験の受験対策にも十分通用する。できる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他

毎回の授業の内容や主なトピックスをKOMSYに掲載するし、経済学部浅野ゼミのHPにも練習問題やその模範解答を載せるから、必要に応じて参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、いつでも質問相談に応じます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 史	ふくはらのぶ 福原好喜	経A1・2・3・4選必	4
		商1・2・3・4選	

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語居眠りは厳禁、ひどい場合は退場願う。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不屈きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。前期レポート、後期試験。再試実施。

そ の 他

一部で横道の話の方が面白いという風評があるが、学生の次元で経済学の話をしようにという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。PHS禁止。
履修者多数で授業の混乱が予想される場合、履修者を、教室定員（300名）に制限する。第1回目の授業は必ず出席のこと。今年度どうしでもとりたい人は最初の時間に申し出ること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済史	やすもと 元 稔	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義の目的は、社会科学のものの見方がある程度身につけた諸君に、『経済史』という学問領域の特色を知ってもらうことです。経済学と歴史学双方の学問的特色をもった『経済史』とは、人間のどのような営みを対象にするのか。どのような切り口で対象に接近するのか。今、『経済史』では何が問題になっているのか。先ず、こうした点を簡単に説明します。

次に、外国の経済史を勉強する意味について考えてみます。特にわれわれが生活しているアジア社会の歴史的な発展とヨーロッパのそれとは、どこが、どのように違うのか。環境・政治的要因・技術のあり方は、どのように経済発展の道筋を決定するのか。幾つかの考え方を紹介しながら、広い視野からこの点を捉え直してみたいと思います。

講義の後半では、ヨーロッパの中世以降における経済発展を取りあげます。中世に生きる人々は、物質的な欲求の充足をどのような形で行ってきたのか。そのためにどのような制度・慣習・技術を自らのものとしてきたのかを考えてみます。およそ1000年から1500年のヨーロッパは、農業中心の社会でした。農業生産はどのような形で組織され、その生産性はどの程度のものであったのか。中世社会における都市の機能は、どのようなものであったのか。中世社会が崩壊し、近代の誕生を告げた1500年～1750年におけるヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていったのか。こうした点を具体的にみていきます。

最後に、現代社会の根幹を形造った産業革命＝工業化とは何であったのかを説明します。工業化の波は、次々にヨーロッパ諸国、さらにアジア・その他の地域に拡大して行きました。国際経済の生成と発展の時期、19世紀末期から20世紀初頭の世界経済のメカニズムを具体的に説明して行くつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

第1編 『経済史』とは何か

- | | |
|---------------|--|
| I 『経済史』の対象と課題 | 1. 「経済的営為」の特色
2. 『経済史』の課題 |
| II 資源配分の方法 | 1. 市場経済と非市場経済（慣習・指令経済）
2. J・R・ヒックスの『経済史の理論』 |

第2編 外国経済史を学ぶ意味

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| I ヨーロッパとアジア | 1. 比較史の視点 |
| II 環境・政治支配の型と経済発展 | 2. E. L. ジョーンズの『ヨーロッパの奇跡』 |

第3編 ヨーロッパ経済の歴史的発展

- | | |
|--------------|--|
| I 中世の経済と社会 | 1. 農業生産と土地領主制
2. 中世都市と商業組織
3. 中世社会の変容 |
| II 近代の幕開け | 1. 農業革命・価格革命
2. 「長期の18世紀」の人口
3. プロト工業化 |
| III 最初の工業国家 | 1. 産業革命をどう捉えるべきか
2. 人口の動向と農業革命
3. 18・19世紀イギリスの経済変動
4. 都市化と工業化 |
| IV 工業化の伝播と拡大 | 1. ヨーロッパ大陸諸国の工業化
2. イギリス経済の退潮 |
| V 国際経済の生成と発展 | 1. 国際経済の構造
2. ヨーロッパとアジア |

履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパを中心に、経済発展を歴史的に概観し、経済史的なものの見方を身につけることを主な目的にしています。聞き慣れない用語・概念や事実が多くでてきますので、億劫がらずに調べ、理解して行くことが必要です。受講者は、授業スケジュール・講義資料（講義中に配布します）をいつも持参して下さい。

成績評価の方法

前期試験を行わない代わりに、夏休みに参考書 E. L. ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡』を読み、レポート（200字詰め原稿用紙20枚以上＝40点配点）を提出してもらい、後期試験（60点配点）と総合して成績を評価します。再試験を実施します。

教科書

参考書等

その他

特に指定しません。

E・L・ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡－環境・経済・地政の比較史－』（名古屋大学出版会）

授業の方法は、講義方式です。但し、OHP・ビデオ・資料を使って説明します。再試験実施。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済政策	飯田 泰之 <small>いいだ やすゆき</small>	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。経済問題に関してその導きの糸となるものこそが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とする。講義全体に必要な基本ツールの学習後、①理論的な枠組みを解説し、②それを用いて政策的課題を論じ、③現実の事例・データで確認するというプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は経済学の基本思考、図表・データの読み方使い方といった基本ツールを講義した上でミクロ・産業レベルの経済政策課題を中心に学習する。具体的には「貿易」「課税」「公共投資」「環境問題」「産業政策・産業規制」「不況の長期化」などを取り扱う。後期はマクロレベルの経済政策課題の学習と現在の日本経済に対する様々な政策提案の検討を行う。具体的には「財政政策の根拠」「金融政策の手法」「失業問題」「不良債権処理」「需要創出型構造改革」「インフレーションターゲット」などが中心になるだろう。

履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。

成績評価の方法

2回のレポート提出と後期試験。再試験は行わない。

教科書

指定しない。

参考書等

ミクロ経済学・マクロ経済学に関する基本的なテキストを持っていると便利である。その他の参考文献に関しては講義の中で紹介する。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	里中恆志	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済生活の中で公共部門の占める比重は確実に増加しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこでは市場経済原理の私経済とは異なる原理が作用する。公経済は租税徴収等による資金調達と、それをとおしての財政支出によらねば需要を充足できない経済領域である。したがって租税負担分配の方式、財政支出基準の考え方を問題にする。経済社会の変遷につれて負担の方式や支出基準についての考え方も変化する。そして公経済の比重が高まるにつれて、公経済と私経済の相互のかかわりもますます重要になる。

国民が財政意志の形成に参加する方法は民主主義の手続きをとおしてであるから、有効な財政政策の実現のためには、国民が財政をコントロールするルールと、その背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。国民はまた財政政策に対する基礎的な判断基準をもっていなければならない。このような観点から財政意志の形成過程、租税徴収による負担の分配、歳出の効率と合理性、財政の総需要管理政策について講ずる。

講義の進め方はまず財政意志の形成過程では予算の編成手続きの理解から入る。歳入面については租税収入を主要税種別に扱い、つぎに歳出面について主要経費別の考察を進める。さらに公経済の私経済へのかかわりについて総需要管理政策の視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

(第1週) 講義内容の紹介と年間授業計画の説明 (第2週) 公共財と公共部門 (第3週) 財政の歴史概略 (第4週) 予算編成と主計局の査定 (第5週) 予算編成と政党政治 (第6週) 予算政府案と議会審議 (第7週) 予算の執行と競争入札 (第8週) 予算の政治過程 (第9週) 租税原則学説 (第10週) 給与所得税と課税の普遍性 (第11週) 申告所得税と累進課税 (第12週) 法人税と徴税技術 (第13週) 国際化と移転価格税制 (第14週) 一般消費税と付加価値 (第15週) 地方税と地方歳出 (第16週) 地方財政費と財政調整の制度 (第17週) 機関費と純粋公共財 (第18週) 公共事業費と費用＝便益分析 (第19週) 公共事業費と公共財産の形成 (第20週) 社会保障関係費と所得再分配 (第21週) 補助金とスピルオーバー (第22週) 公債費と公債負担 (第23週) 総需要管理政策と国民所得の決定 (第24週) 課税乗数と均衡予算定理 (第25週) 公債による財源調達と債券価格 (第26週) 大量国債の累積とその限界 (第27週) 財政金融政策と国際収支 (第28週) 財政投融资と政府貯蓄 (第29週) 試験と評価についての説明 (第30週) 試験 授業の配当曜日によって年度授業回数に若干の異動があり、予定とおりの時間数が組めないことがある。その場合は一部予定を割愛することがある。

履修上の留意点

関連科目として経済学部の専門教育科目である「経済理論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。「財政学」は経済と政治の学際的な分野の科目であるから、他学部履修科目として開設されている法律学科の「行政法各論」、政治学科の「地方自治法」等の履修も有効である。他学部履修の制度の活用も望まれる。

成績評価の方法

成績評価は学期末テストとして行われる試験による。試験は論述式による。自筆のノート持ち込み可。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

大蔵省大臣官房調査企画課長編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
野口悠紀雄 著『公共政策』モダン・エコノミックス12(岩波書店)
中谷巖 著『入門マクロ経済学』(日本評論社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
金 融 論	しろ た じゆん 代 田 純	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

4～5月においては、金融入門として、金融論の基礎について説明する。金融とは何か？についてまず解説する。資金の貸借関係としての金融について説明し、部門間のマネーフローについて説明する。また、金融の区分について解説し、間接金融、直接金融についても説明する。

6～7月においては、間接金融について日本の実情に即して説明する。伝統的に日本においては企業金融の特質は間接金融の優位であったことを明らかにする。メインバンク、系列融資、護送船団方式、業態規制といった日本の特質についても説明する。

9～10月においては、金融の証券化、換言すれば間接金融から直接金融へのシフトが進んでいることを明らかにする。80年代以降の株式発行増加、90年代に入ってから社債発行増加によって、企業金融は証券形態での資金調達を増加させた。90年代後半からは、海外に居住する外国人投資家による日本株投資も増加している。

11～12月においては、日本の証券市場の構造変化について説明する。外国人投資家による日本株投資が増加する一方、株式相互持ち合いが崩壊している。また日本においても日本版401Kなど年金基金が株主として成長しつつある。株式保有構造の変化に伴い、日本型経営にも変化が生じていることを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 金融入門 部門間資金フロー 金融についての諸学説
- 2 日本における間接金融
- 3 金融の証券化 間接金融から直接金融へ
- 4 証券市場の構造変化

履修上の留意点

出席は問わないが、私語は禁止します。2回生以上の履修が望ましい。

成績評価の方法

定期試験による。再試験は実施しない。但し、レポート提出者には加点する。

教科書

前期はテキストの指定はしないで、プリントを配布する。

後期は代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2001年を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	光岡博美	経A1・2・3・4選必	4
		商1・2・3・4選	

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

専科
教育
目

講義の内容・
授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. イノベーションと産業発展
産業構造の理論と歴史
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
製品の安全性とPL法
3. 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
情報通信革命（インターネット）

科専門教育
目

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義ではOHPなどをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

定期試験（論述式）による。再試験は実施しない。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	徳永俊明 <small>とくながとしあき</small>	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけでもありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていたことが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は読書ノート(2~3回)および講義の基本的内容の理解を確認する学年末レポートで評価します。(追・再試験は行いません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	商1・2・3・4選必	4
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

近年、経済学部にもヤンキーだか、モンキーだかわからない、以前の駒大生にはみかけなかった入学者が出現している（風体ではなく、受講態度）が、本学もまた大学であるかぎり、真理を探究する学問の場でなければならない。したがって、まず講義の妨害となる集团的私語をするような入学者諸君の受講は遠慮願いたい。

さて、講義の内容であるが、本講義も、現代の風潮にしたがい、企業はいかにすればより多くの利潤・利益を取得・実現することができるか、その方法を探ることを課題とする。すなわち、いかにしてサラリーマンおよび労働者を搾取（この言葉がわかるかな）するか、経営者の立場からその方法を考えるということである。これは、立場をかえれば、経営者になることのないほとんどの諸君からみれば、いかに自分が搾取されているかを学ぶことになる。さらに現代風にいえば、なにゆえにこれほどまでに多くの若くて将来のあるサラリーマンが過労死や過労自殺に追込まれるのか等々を考えるでだてにもなる。以上のような問題を意識しつつ授業では流通論を講義するものであり、その内容からして流通経済論といいかえてもよいとおもう。諸君は、流通理論の習得に努めるとともに単なる知識ではなく、将来社会にでも使い捨てるサラリーマンになることのないように、それらを学ぶ過程において、論理的に思考する能力を身につけてもらいたい。そして、単なる入学者ではなく、大学の学生となって卒業してもらいたい。そのためには、一年間を通して授業に出席することが必要である。また、本講義は、諸君が履修するであろうマーケティングおよび商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するであろう。

科 専
門 教
育 目

講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容は下記の項目にしたがってすすめるが、本年度は現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論に重点をおいて講義する。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通費用）
- (4) 商業資本論（電子商取引、eコマース）
- (5) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

成績評価の方法

評価は、期末試験によるが、講義の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また、各講義項目が終る毎に、小テストを実施し、諸君の理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とする。再試験は実施する。

教 科 書

1. 大吹勝男著『流通費用の基礎理論』（粹出版社、4月刊行予定）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営学総論	ひやく た よし ほる 百 田 義 治	商1・2・3・4選必 経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済学部には、現代企業とその経営に関連する科目が多く開講されています。とくに、経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどは、現代企業の構造と行動、また企業経営にかかわる諸問題の系統的・体系的理解には不可欠な科目です。経営学総論では、このような経営学関連科目を学ぶことの意義(楽しさ)について講義します。21世紀を迎えて、IT革命やグローバリゼーションが猛烈に進展するなかで日本企業は大きく変貌し、その経営も急速に変化しています。本講義では、このような激動のなかにある日本企業とその経営問題を理解するための基礎知識の獲得を目標に講義を進めます。しかし、現実の動きを離れては経営学を語ることはできず、また経営学に関心をもつこともできません。授業は、現代の企業経営をめぐるホットな話題を毎回の講義のテーマに関連づけて進めます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期の授業スケジュール)

- ①授業ガイダンス (経営学総論では何をどのように学ぶのか)
 - ②現代経営学の現状と課題 (21世紀経営学のパラダイム転換)
 - ③現代株式会社とコーポレート・ガバナンス (企業統治)
 - ④企業経営における「効率性」と「人間性」(経営学の生成・発展・展開)
- (夏休みのレポート)

(後期の授業スケジュール)

- ⑤IT革命と企業経営の変化 (規模の経済からネットワークの経済へ)
 - ⑥企業経営のグローバル・ウェット化 (グローバリゼーションと異文化共生)
 - ⑦地球環境問題と企業の環境管理 (国際的動向と今後の課題)
 - ⑧人間尊重経営とコーポレート・シチズンシップ (企業倫理、企業の社会的責任)
 - ⑨「日本的経営」のその後 (終身雇用、年功制、能力主義、成果主義、…)
- (学年末試験)

履修上の留意点

新聞・雑誌・テレビ・インターネットなどを通して国内外の企業、経営、労働などの動向に関心に向け、現代の企業経営に問題意識をもつことが大切です。

成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。再試験あり。

教科書

未定

参考書等

授業や課題レポート(夏休み)に関連して随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計学総論	いし かわ じゆん じ 石 川 純 治	商1・2・3・4選必	4

講義のねらい

会計学の基礎知識および会計情報の役割について学習する。後半の授業では前半の知識の上
に立って、さらに企業活動の重要な記録計算システムのモデルと、そのバリエーションとして
の革新的記録計算システムを学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は簿記の基礎知識をとおして会計全体の基礎を学習する。後半では会計情報と経営・経
済とのかかわりについて教科書の演習問題にそって学習する。

履修上の留意点

前半も後半もいずれも教科書にそって講義する。

成績評価の方法

定期試験による（前半も後半の講義からそれぞれ1問を予定）。

教科書

加古・渡部『新検定簿記講義3級』（中央経済社）648円；石川純治『経営情報と簿記シス
テム（3訂版）』（森山書店）2,500円。

参考書等

力のある学生には葛村『図説会計学（増補版）』（税務経理協会）を薦める。その他につい
ては、その都度指示する。

そ の 他

一方的授業を避けるため、まず「何が問題か」そしてそれを「どう解くか」を明確にするた
め設問を解いてもらい、そのあとで教科書にそって解説するという方式をとる。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計学総論	てら つば おさむ 寺 坪 修	経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済学専攻の履修者に、会計学の全体を判りやすく講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

経済や経営と比較しながら、「活きた会計」を取りあげる。講義は教科書に沿って行う。内
容等は、おおむね次のとおりとなる。

- 〈前期〉
- 会計とはどのようなものか（会計基礎概念）
- 簿記の基本的な考え方（複式簿記原理）
- 財務諸表にはどのようなものがあるか（財務諸表論）
- 〈後期〉
- 財務諸表で何が判るか（財務分析）
- 経営管理のための会計（管理会計）
- 監査とは（会計監査）

履修上の留意点

教科書・電卓を持参すること。

成績評価の方法

小テストと定期試験による（教科書参照可）。

教科書

寺坪修著『会社会計論』（創成社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	ばん ば ひる ゆき 番 場 博 之	商1・2・3・4選必 経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

商業政策（流通政策）とは、流通に関わる企業の活動に対する公的な介入（政策）を意味する。日本ではグローバルスタンダードの名のもとに規制緩和が進んでいるが、欧米では必ずしもそうではない。日本の商業政策とは何か、どのような特徴を持つのかを本講義では考えて行く。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は総論、後期は各論を行う。総論では流通経済学の基本的事項を概説し、そのあと日本の商業政策体系を解説する。各論では競争政策と出店政策を中心に説明する。また、講義の流れとは別に、テーマ講義を数回行う。そこでは、現在問題となっている商業政策・流通に関するテーマを取り上げて、1回完結の講義を行う。詳細なシラバスは開講時に配布する。

成績評価の方法

原則として定期試験の結果のみで評価する。必要に応じて小レポートを課すことも検討しているが加点の程度は高くない。

教 科 書

前期の総論では使用しないが、後期の各論では使用する予定である。書名等は後期の開講時に提示する。

そ の 他

講義ではOHC（教材提示装置）ならびにビデオを用いて、より具体的に商業政策にかかわる問題を見て行くこととする。講義の多くで教員の方で用意した書き込み式プリント、統計資料などを用いる。

問い合わせ先、E-mail: h2banba@cuc.ac.jp、HP: <http://www.cuc.ac.jp/~h2banba>

科目名	担当者名	配当学科	単位
マーケティング	曾我信孝	商1・2・3・4選必 経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・授業スケジュール

1. マーケティングの問題点
 - ・消費者の価値観とマーケティング支配
 - ・マーケティングと取奪関係
2. 製品政策
 - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
 - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
 - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
3. 価格政策
 - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
 - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
 - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
 - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
4. チャンネル政策
 - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
 - ・販売チャンネル（販売チャンネルを支配する理由は何でしょう）
 - ・チャンネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
5. 販売促進政策
 - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
 - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
 - ・サービス（現在存在していないようなサービスを思いつきますか）
6. 国際化戦略
 - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
 - ・マーケティングの現地化（なぜ現地でマーケティングを展開する必要があったのか）

科専
門教
育
目

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2~4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけでなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができているかどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜き書き解答等には厳しい評価となる。
2. 夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からはずす可能性がある。
4. 再試験は実施する。

教科書

指定なし

参考書等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 管 理 論	くにしまひろゆき 國島弘行	商1・2・3・4選必 経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

経営管理論では、人間の集団労働に対する計画、組織、指揮、統制などの管理の問題を、主として企業において検討します。

講義では、経営管理の多面的側面を学び、企業の実践的課題の歴史的展開に従って進化してきた具体的内容と現代的課題とを考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ロマン（社会的使命）とそろばん（所有、市場競争、利益）
- 2) 科学的管理の歴史的条件と理論的・技術的構造
- 3) フォード・システムと日本的生産システム
- 4) 職能論的管理論、組織構造論、日本的組織構造
- 5) 人間関係論、モチベーション、労働の人間化
- 6) 企業文化、日本的企業文化、企業倫理
- 7) 近代的管理論と意思決定
- 8) 経営戦略論と環境適応、戦略経営と創発的戦略
- 9) 情報ネットワーク経営、バーチャル企業、価値創造経営

現在、経営管理は、大量生産・販売・廃棄からの転換、グローバル化、情報ネットワーク化のもとで、革新が求められている。経営管理の基本を学ぶなかで、人間生活や市民生活を本当に豊かにする価値創造のための経営革新のあり方を考えていきたい。

成績評価の方法

出席状況、数回の試験

教 科 書

國島他著『経営革新のアプローチ』（八千代出版）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
労務管理論	ほり 堀 龍 二	商1・2・3・4選必 経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用形態の多様化
 2. 賃金・処遇の成果主義化
 3. 職能資格制度とキャリア形成
 4. 成果主義と目標管理と人事考課
 5. 労働時間の弾力化
 6. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記論	しま 島 崎 規 子	商1・2・3・4選必 経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

最も授業で目的とする点は、簿記とは、どのようなものであるかを理解してもらい、簿記のおもしろさを知り、好きになって簿記検定試験に挑戦してもらいたいことです。

簿記は、実践学です。学生各人が電卓とペンを使って先生といっしょに勉強に参加する授業です。

簿記の授業では、会社で日常使う言葉がたくさんでてくるので、就職する前の準備教育にもなります。

講義の内容・授業スケジュール

今年度の講義は、簿記検定を受験する者や経理で活躍しようとする者にすぐ役立つよう以下の内容で体系的に進めたい。友達といっしょに参加して下さい。

講義の大筋は、次のとおりです。

〈前期〉——複式簿記の基礎知識——

- (1) 簿記の主要概念
- (2) 取引・仕訳・勘定記入
- (3) 決算手続・試算表・精算表（その1）
- (4) 決算整理事項と精算表（その2）
- (5) 貸借対照表と損益計算書の作成

〈後期〉——主要取引・帳簿記入・応用問題——

- (6) 現金・預金・有価証券の取引
- (7) 商品売買・掛・債権・債務の取引
- (8) 固定資産・手形・資本の取引
- (9) 売上帳・仕入帳・商品有高帳の記入
- (10) 応用問題

専 門 教 育 目

履修上の留意点

授業では、毎回、教科書、ノート、電卓、筆記用具、定規が必要です。他人に迷惑をかけるよう忘れないで持ってきて下さい。

成績評価の方法

出席率、授業態度、小テスト、定期試験などを総合評価して決めます。なお、欠席理由が学校行事への参加や教育実習などの場合は出席扱いとします。きちんと届けを出して下さい。再試験を実施します。

教科書

下野武司・島崎規子・石田九洲男著『複式簿記の理論と演習』（中央経済社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 論	もり 森 た 田 よし 佳 ひろ 宏	商1・2・3・4選必 経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日わが国で一般に用いられている複式簿記は、明治6年（1873年）に刊行された福沢諭吉訳「帳合の法」に始まる。

複式簿記とは、現金の収支、商品の売買、債権債務の発生や消滅、建物・備品の購入や売却など、さまざまな企業活動を記録・計算・整理し、もって企業の財政状態および経営成績を明らかにするための技術である。

このような簿記の技術や知識は、税理士や公認会計士などの会計専門家を志す人にとっては必要不可欠なものであるとともに、企業の経営者が合理的な経営管理を行うためにも、投資者や債権者が企業に対して投資・融資を行う場合にも、また、企業に対して税金を課す税務当局者にとっても欠かすことのできない基本的なものである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義においては、日商簿記検定試験3級レベルをマスターすべく、簿記一巡の手続を手順を追って説明するとともに、簿記の技術的性格を重視して練習問題を多く取り入れる。

履修上の留意点

簿記では特に、毎回の講義内容の完全な理解が重要であり、その積み重ねがないと、最終的な目標である貸借対照表と損益計算書の作成に到達することが困難となる。基本的なしくみさえマスターすれば、簿記は決して難しいものではないので、頭で考えるだけでなく、実際にペンと電卓を手にとり、ワークブックに取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

原則として期末試験の結果により評価する。

教 科 書

加古宜土、渡部裕亘編著『新検定簿記講義 3級商業簿記』（中央経済社）680円
加古宜土、渡部裕亘編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記』（中央経済社）680円

科 専
門 教
目 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	小栗 崇 資	商1・2・3・4選必	4
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

専
門
教
育
目

講義の内容・
授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論ⅠB・経済システムの原理	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

いま私たちが生活している社会は、資本主義社会と呼ばれています。それは利潤を追求する資本が生産や分配を規定する力となっているからです。現代社会はますます複雑化し、様々な問題を抱えています。貿易摩擦、南北の貧富の格差、失業率の上昇や地球環境の悪化など、数え上げたらきりがありません。資本主義は経済成長を達成してきたにもかかわらず、どうしてこれらの問題を解決しえないのでしょうか。こうした問題が資本主義の発展の中で生じたことを考えれば、私たちは、それらの原因を理解し解決の糸口を探るためにも、資本主義の一般法則とその運動の仕組みを学ぶことが不可欠であるといえるでしょう。

経済理論ⅠB・経済システムの原理では、資本の一般的な原理の説明ののち、資本主義経済システムを成り立たせている諸関係や国家財政、産業循環などについて講義します。そして、現代の資本主義社会の仕組みと運動を理解するのに少しでも役に立つように、現実の問題についてもできるかぎり言及していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、以下のテーマに沿って進めます。

1. 商品と貨幣
2. 資本の生産と再生産
3. 平均利潤率と生産価格
4. 利子生み資本と銀行制度、株式会社
5. 近代的農業と地代
6. 社会階級と国民所得
7. 資本主義国家、経済政策、国家財政
8. 貿易と国際経済関係
9. 産業循環と恐慌
10. 独占資本主義の経済構造
11. 国家独占資本主義とインフレーション
12. 21世紀の経済と社会

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

経済理論ⅠBは、論理的・体系的なまとまりをもっており、講義の全体を通して聞くことによってよく理解できるという科目です。授業には毎回出席して、ノートをよくとることを勧めます。

成績評価の方法

授業時間中に、何回か小レポートを書いていただきます。成績の評価は、後期に行なう定期試験の結果に小レポートの点数を加味して行ないます。再試験は実施しない。

教科書

金子ハルオ編『資本主義の原理と歴史』（青木書店）2,000円

参考書等

大石雄爾編著『労働価値論の挑戦』（大月書店）3,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済数学	みずのかつし 水野勝之	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済理論は数学を利用して説明される。しかしながら、数学のうちどれが必要か不必要かは現段階で諸君は知らない。また、経済学の授業で突然数学が使われても忘れてしまった諸君もいればはじめて目にする諸君もいるはずだ。本講義では、今後の諸君の経済学の勉強への数字の適用を念頭において、そこで利用されるであろう数学の基礎とその経済学へのあてはめを行っていきたいと思う。講義内容は、経済学の例示としてマクロ、ミクロととびとびになるが「経済学に利用される数学」という方針の下に体系化させる。数学の苦手な諸君にも十分理解できるような授業の進め方をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 数学の用語・記号あれこれ
 - ①関数
 - ・関数
 - ・同次性
 応用：効用関数と生産関数
 - ② Σ (シグマ)
 - ・応用：予算式の表示
 - ・物価指数
 - ③その他
2. 微分と偏微分
 - ①微分の意味と最大・最小
 - ・応用：弾力性・他
 - ②微分いろいろ
 - ・積の法則
 - ・合成微分
 - ・その他
 - ③偏微分
 - ・偏微分の意味
 - ・応用：効用関数と限界効用
 - ・生産関数と限界生産力
 - ④その他
 - ・全微分
 - ・オイラーの定理
 - ・ラグランジュ未定係数法 - 最適消費 -
3. 行列
 - ①ベクトルと行列
 - ②行列の加減と積
 - ③行列式
 - ④逆行列
 - ⑤余因子と余因子行列
 - ⑥連立方程式

履修上の留意点

数学は全く苦手でもよい、出席することが望ましい。

成績評価の方法

授業中の課題と期末テストの総合評価。尚、再試験は実施しない。

教科書

前期使用：水野勝之著『入門編テキスト経済数学』（中央経済社）
後期使用：水野勝之著『テキスト経済数学』（中央経済社）

参考書等

水野勝之著『どうなってるの！？日本の経済』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
価 格 理 論	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でミクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することでもある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタツケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやミクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなるとときかむ泉の水「経済現蔭が生じ仕める。」和書体

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタツケルベルク均衡解
- (24) シュタツケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

講義の内容・授業スケジュール

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの吉野 おさむ紀	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

わが国の労働力は就業者 6,660 万人（平成 12 年）を数え、その内で約 5,600 万人の人が事業所等で雇用者として働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを 1 年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言って GDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは 4,400 万にのぼる家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の 1 年間の規模は平成 12 暦年の GDP によって 514 兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言える。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その 1 つ 1 つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上には舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

専
門
教
育
目

講義の内容・
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5 回
GDP、GNP などの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成 13 年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4 回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第 3 講で活躍する IS 曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第 3 章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8 回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS 曲線と LM 曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第 9 章
4. 「金融政策、財政政策」……………4 回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP 出版）第 4 章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5 回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わせられる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2 回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第 6 版）（多賀出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計原論	よしの 吉野 紀	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代の統計学の基本は推測統計学にあるという認識に立って講義を進めてゆく。それでは、推測統計学の基本とは何であろうか。サムエル・バトラーは「人生とは、不十分な証拠から十分な結論を引き出す芸術である」と言っているが、この文言の「人生」を「統計学」に置き換えるならば、相当の部分を言い当てていることになる。「相当の」であって「完全に」ではない理由は、元来、人生には偶然性や不確実性がつきものであって、偶然が支配しているとしか思えないデータから何がしかの決定や判断を下すためには、すべての経験に裏打ちされた人間性・人格を総動員して粗なデータをインテリジェンス（情報）へと昇華させなければならず、その過程こそ人生そのものであるからである。

統計学の扱う世界は不確実性が支配する世界であり、人間はこの偶然性に長い間悩まされてきた。「偶然とは、おそらく、神が自分の名をサインしたくなかったときの、神の仮名であろう」（アナトール・フランス）。端的に言えば、統計学の住む世界では、どのような結論が下されようとも、そこには確実に誤りが何パーセントかの確率で含まれるのである。この世界の住人たることに何がしかの面白味を感得してもらえればと期待する。

講義の内容・授業スケジュール

- 記述統計——標本データの整理——
度数分布表
統計値（平均値、中央値、最頻値）
散らばりを表す統計値（分散、標準偏差）
- 確率変数と確率分布
2項分布
ポアソン分布
正規分布
- 標本抽出と標本分布
ランダム・サンプリング
中心極限定理
t分布
- 統計的推定
推定とは何か
平均値の区間推定
- 仮説検定
検定とは何か
平均値の検定
- 回帰分析Ⅰ
単純回帰モデル
最小2乗法
回帰と相関
- 回帰分析Ⅱ
回帰における統計的推測
多変量回帰（重回帰）
- 経済成長の見方
弾力性の話
eの話

履修上の留意点

第2講では、2項分布や正規分布の分布の様子を見るために、パソコンでプリント・アウトさせた資料を配布して、具体的なイメージをもってもらえるよう努めたい。
また、1-201教場を使ってインターネット上のタブレットにアクセスして授業を行うことも、年に数回予定している。
数学上の知識は特に必要としない。

成績評価の方法

再試験は実施。

教科書

最初の授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
景気循環論	野村信廣 <small>のむらのぶひろ</small>	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

景気(循環)への関心が極めて高い。それは(1)景気循環が多くの人の生活に影響する(2)景気循環の姿がその時々で変化する(3)景気循環が経済・政治の諸問題に影響する一などのためである。講義では(1)景気循環を把握する方法(2)景気循環を引き起こす原因とメカニズム(3)景気循環を応用しての景気の現状把握や将来予測などを学ぶ。学生達が一般の景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。30900 景気循環論に比べて、理論面に力を入れる。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 景気の読み方
- (2) 景気の現状認識
- (3) 景気循環と景気指標
- (4) 景気循環を引き起こす要因とメカニズム
- (5) 景気循環の歴史
- (6) 景気循環の理論
- (7) グローバリゼーションと景気循環
- (8) 財政・金融政策と景気循環
- (9) 景気予測の方法と実践

専
門
教
育
目

履修上の留意点

日々の経済動向に興味を持つ。

成績評価の方法

レポート(前期)、定期試験(後期)、出席状況を加味して評価する。

教科書

景気循環学会・金森久雄『ゼミナール・景気循環入門』(東洋経済新報社)

参考書等

適宜参考資料を配布する。

その他

講義中心だが、質問や討議を歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 資 本 主 義 論	ながしませいいち 長 島 誠 一	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

第2次大戦以後の資本主義を国家独占資本主義と規定し、その概念・構造・循環・発展について、戦後の日本資本主義を説明しながら考察する。人間の解放（自立した個の連帯）視点から企業と市場の社会（資本主義社会）を批判的に解明する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に沿って以下の順序で講義する。

- (a) 戦後復興
- (b) 戦後資本主義と日本の資本体制
- (c) 戦後日本資本主義の社会体制
- (d) 戦後日本資本主義の循環と発展
- (e) 高度成長期の景気循環
- (f) スタグフレーション下の景気循環
- (g) バブルの形成と景気循環
- (h) バブル崩壊後の景気循環
- (i) 日本資本主義の構造変化と構造危機
- (j) 日本社会の構造改革
- (k) 21世紀の社会主義像

履修上の留意点

教室になるべく出ること。教科書を用意すること。歴史としての現代に関心を持ってほしい。

成績評価の方法

前期（夏休み中）にレポート。後期に定期（教場）試験。成績は前・後期の総合判断による。

教 科 書

拙著『戦後の日本資本主義』（桜井書店）2001年、本体3,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 思 想 史	あ べ ひろし 阿 部 弘	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係性を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

成績評価の方法

1 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。

レポートは7月・10月・11月・12月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。

年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、とかく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。

レポートの形式は、7月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからテーマを設定します。

2 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。

3 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」および「追試験」とか「再試験」は行いません。

教 科 書

阿部弘『労働と所有』（八千代出版）¥3200＋税

そ の 他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようになるために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘 6-1-4-204/TEL 03-3976-7984

研究室：第2研究館 5F No.2538/TEL 03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史 (後 期)	ほし の とも こ 橋 野 知 子	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、19-20世紀の日本における経済社会の変化を国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。知ること、そして変化の原因を考えることこそが重要なのです。

講義の内容・
授業スケジュール

19-20世紀の日本経済を、歴史的な流れをとらえつつ、重要なトピックスを中心に講義します。講義形式で進めますが、映像の利用による説明も随時取り入れる予定です。講義は、以下の項目順に進める予定です。

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 近代日本経済史へのアプローチ-日本経済史を学ぶ意義 | 3. 明治維新 |
| 2. 幕末の経済と開港 | 5. 近代産業の発達/軽工業と重工業 |
| 4. 殖産興業と松方財政 | 7. 第一次大戦と日本経済 |
| 6. 日清・日露戦争と日本経済 | 9. 高橋財政 |
| 8. 1920年代~昭和恐慌へ | 11. 戦後経済改革 |
| 10. 戦時経済 | 13. 高度経済成長 |
| 12. 経済復興 | 15. 平成不況と現代経済 |
| 14. 高度成長の終焉~バブルの時代へ | |

科 専
目 門
教 教
育 育

成績評価の方法

講義中の小テストと試験により評価します。再試験はございませんのでご注意ください。

教 科 書

特に指定しません。毎回資料を配付します。

参 考 書 等

講義の中でその都度紹介します。

そ の 他

この講義は週2回おこなわれ半期で終了する集中科目です。同じ時間帯に前期は「西洋経済史」(友松憲彦先生担当)が開講されます。2科目を連続して受講することで、経済史に関するより体系的で深い理解が可能になります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 経 済 史 (前 期)	とも まつ よし ひこ 友 松 憲 彦	経A・商・経B1・2・3・4履	4

講義のねらい

「西洋経済史」という科目名を聞いて、21世紀の日本に生活する自分に18世紀や19世紀のヨーロッパやアメリカの経済を学ぶ意味があるのだろうか、という疑問をもつ人もいるでしょう。あるいは、これまでの経験から人名や年号の丸暗記を強いられる科目ではないかと思ひ、それだけでウンザリの人もいるかもしれません。

しかしこの講義は、歴史的事実を解説し、それを暗記することを少なくとも主題にはしていません。講義がめざすことは、資本主義とよばれる現代経済の特徴や問題がどのように生まれてきたのか、またそれが今後どう変化していくのかを、資本主義の母体であった西ヨーロッパやアメリカの「過去の経済」(＝経済史)の研究によって考えることです。また、「過去の経済」を知ることは、われわれの生きている現在の経済や社会を見なおし、相対化する目を養ううえでも重要です。

さらに「西洋経済史」は、経済学を学ぶうえでの基礎科目でもあることも指摘しておきます。例えば、この講義からは経済学の発達の歴史的背景を知るうえでの不可欠の知識が得られるでしょう。あるいは、世界経済の流れを理解し、そこに日本経済の歴史を位置づければ、現在の日本経済の特徴や問題にもより深い理解が可能となると思います。そうした意味で、「西洋経済史」は経済学の広範な諸科目と密接な関係をもち、経済学学習の土台となる科目といえるでしょう。

専
門
教
育
目

講義の内容・
授業スケジュール

1. 近代と前近代の経済
2. 前近代の経済 - 封建制の構造 -
 - (1) 農村と農業
 - (2) 都市と商工業
3. 近代への移行期の経済 - 資本主義の成長 -
 - (1) 「封建制の危機」と資本主義の誕生
 - (2) 農村工業の成長
 - (3) 海外市場の発達
 - (4) 国内市場の発達
4. 近代の経済① - 資本主義の確立 -
 - (1) 産業革命の原因
 - (2) 産業革命の過程
 - (3) 産業革命の結果
 - (4) 経済・社会問題の改革
5. 近代の経済② - 世界資本主義の形成 -
 - (1) イギリス経済と世界経済
 - (2) 後発国の産業革命
 - (3) 植民地の形成
6. 近代の経済③ - 資本主義の変質 -
 - (1) 「大不況」と資本主義の構造変化
 - (2) 植民地支配とその結果
7. 現代の経済

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味する。再試験は実施する。

教 科 書

配布される「資料」が教科書の代わりとなる。

参 考 書 等

岡田泰男編著『西洋経済史』(八千代出版)1996年
 長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』(ミネルヴァ書房)1992年
 石坂・船山・宮野・諸田著『新版西洋経済史』(有斐閣)1994年

そ の 他

この講義は週2回おこなわれ半期で終了する集中科目です。同じ時間帯に後期は「日本経済史」(橋野知子先生担当)が開講されます。2科目を連続して受講することで、経済史に関するより体系的で深い理解が可能になります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	みぞ 溝 手 芳 計	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

農業のあり方は、様々な問題に関わってくる。現代の農業は、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が重要となり、経済の国際化の中で農業の位置付けを問われている。農業に携わる人々にとっては、安定した就業条件、収入確保が必要である。消費者にとっては、適正な価格で良質の食料が安定的に供給されることが望まれる。農業が自然環境や生態系に及ぼす影響、国土保全機能などいわゆる多面的機能に対する関心も高まっている。地域作りや住宅問題では、農地の扱いもかかわってくる。授業では、こうした事実を念頭に置きつつ、現代日本の農業政策と関連分野の政策の構造を明らかにするとともに、その背景、経済学的意義、問題点も検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- 農業に関わる諸問題の概況を説明し、問題状況のイメージをつくる。
- 土地利用産業、生物資源培養産業といった農業の産業的特性について考察するとともに、それらの現代的展開を紹介する。
- 戦後日系の農業政策の流れを概観したうえで、WTO体制の下での農政の特徴を示す。
- 食品安全、環境、土地、住宅、地域振興など関連分野の政策が農業政策に及ぼす影響を検討する

履修上の留意点

出欠票をかねた「コミュニケーション・カード」を配布するので、授業の感想や質問を書くこと。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とするが、出席状況も考慮に入れる。

教科書

使用しない。授業時にレジュメ、資料等を配布する予定。

参考書等

- ・井野隆一ほか『農業問題入門』（大月書店）
- ・梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）
- ・田代洋一『日本に農業は生き残れるか』（大月書店）
- ・食糧政策研究会編『WTO体制下のコメと食糧』（日本経済評論社）
- ・中野一編『アグリビジネス論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
工業政策	おく やま まさ ゆき 奥 山 雅 之	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

我が国の工業を題材として、その生産構造の特徴を確認しながら、海外生産の加速や空洞化の進展といった状況のもと、その展望と工業政策の方向を考察する。また、環境との調和、新産業育成、産学連携といった今日的課題についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

- ①日本産業における工業の役割と特徴
- ②生産構造の変化と生産の海外化
- ③大都市工業、地方工業の実態と課題
- ④工業政策の今日的課題（環境との調和、新産業育成、産学連携など）
- ⑤我が国工業の展望と工業政策の今後

履修上の留意点

講義を通じて「ものづくり」産業の役割や重要性について再認識することを目標とする。

成績評価の方法

成績は学年末試験で評価する。ただし、レポート提出等も評価の対象とする。再試は行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

加藤秀雄著『ボーダレス時代の大都市産業』新評論。その他、必要がある場合には、授業で別途案内したい。

その他

多くの企業事例を紹介しながら、今後の日本の「ものづくり」産業について一緒に考えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済地理	す やま さとし 須 山 聡	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

地域の経済的つながり、地域経済の分析、経済の地域間格差を理解するためのツールとしての地理学的観点や基本概念を提供する。

講義の内容・授業スケジュール

前期はおもに地理学の目的と基本概念を図上実験を交えて講義する。後期には経済現象の地域的な捉え方の例としていくつかの地域の産業活動を例に講義を進める。

履修上の留意点

出席を厳密にとる。途中退席者を排除するために、同一授業時間中に出席を2回とる場合もある。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。

成績評価の方法

学年末試験（50%）、出席（50%）で評価する。したがって、出席率が50%の場合、試験で70点以上確保できないと単位が取れない。再試験は実施しない。

教科書

適宜資料を配布する。

参考書等

地図帳（高等学校で使用していたものでよしい）を持参されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	吉 田 敬 一	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を支えてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において、自動車工業を事例として中小企業が果たしてきた重要な役割を明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので(例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など)、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再試験も実施します。

教 科 書

本講義では教科書は使用しません。

参 考 書 等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境経済論	やまぐち ゆうじ 山口 由二	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しさゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な事例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論ができることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。
また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。再試験を実施する。

教科書

未定、最初の授業時に指定する。

参考書等

- ・ K. W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』（岩波書店）
環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1905年に原著は刊行されている。
- ・ 宇沢弘文著『自動車の社会的費用』岩波新書（岩波書店）
若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われる自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらうまいと思っていました。ちょっと古い本だがおすすめ。
- ・ 宮本憲一著『環境経済学』（岩波書店）3,600円ぐらい
筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の“容器”としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。
- ・ 環境庁編『環境白書平成13年度版』（朝日新聞）
白書というと堅苦しく難しいイメージがあるが、『環境白書』は、現在の環境問題についてかかっている良書。総説は毎年サブタイトルが変わり13年度版は“地球と共生する「環の国」日本を目指して”となっている。「環の国」の環は「環境」や「循環」の環の意で、「持続可能な簡素で質を重視する循環型社会」をイメージしたものである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 共 経 済 学	鈴 木 伸 枝 <small>すずき のぶ え</small>	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題を経済学的手法を用いて考えます。

この講義では、公共経済学の理論を概観します。まずは最も基礎的な理論を学び、年金や環境などの現実の諸問題に関連付けながらより高度な理論を紹介していきます。身につけた理論を応用すれば、講義で扱う内容そのもの以外にもさまざまな政策について経済学的に分析できるようになるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

以下のようなトピックスを扱う予定です：

1. 競争均衡の効率性・公平性
2. 外部性と市場の失敗
3. 公共財の理論
4. 所得再分配政策
5. 年金
6. 医療
7. 環境政策
8. 課税の理論
9. 政治過程・政府の失敗
10. 分権化・民営化

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

『経済理論Ⅱ・ミクロ経済学』程度のミクロ経済学の知識をもった学生を対象とした授業内容です。『経済理論Ⅱ・ミクロ経済学』の履修を強制はしませんが、未履修の場合は各自勉強しておいてください。

より理解を深めたい学生は、『財政学』や『経済数学』と併せて履修すると効果的でしょう。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の平均点で評価します。出席点も多少加味します。

教 科 書

特に指定しません。講義の進行状況にあわせて講義ノートを配布します。

参 考 書 等

適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 財 政 論	篠 原 章 <small>しの はら あきら</small>	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論を学ぶということ
2. 地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄問題と地方分権
4. 地方財政と地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：高齢化と地方財政
7. ケーススタディ：「東京」の社会経済学

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。再試験実施。

教科書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メール（akirashinohara@ma2.justnet.ne.jp）でも受けつける。また、篠原ホームページ（<http://www.daito.ac.jp/~akirashi/>）にも講義関連の情報を掲示するので活用してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 金 融 論	齊 藤 壽 彦 <small>さい とう ひさ ひこ</small>	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

外国為替、国際通貨、国際銀行業、在外企業の資金調達理論と歴史と現状を中心として国際金融を講義する。金融面に重点を置きつつ、できるだけわかりやすく講義し、時事問題にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

前期

前期は外国為替、外国為替銀行、国際通貨の理論について講義する。

- 4月 外国為替の仕組み
- 5月 外国為替相場論
- 6月 外国為替銀行論
- 7月 国際通貨論

後期

後期は国際金融の制度と現状について講義する。日本の国際金融にも言及する。

- 9月 IMF体制論
- 10月 変動為替相場論
- 11月 アジア通貨・金融危機論
- 12月 国際投資金融論

履修上の留意点

できるだけ出席するよう履修者に望みたい。授業中に出席票を提出してもらう。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の成績を中心とする。また前期授業の最後に小論文（試験ではない）を提出してもらい、この出来ぐあい出席点とともに成績評価に加味する。再試験を実施する。

教科書

齊藤壽彦『日韓台の対立 ASEAN 企業進出と金融』日本経済評論社

科目名	担当者名	配当学科	単 位
銀行システム論(前期)	さいとう 藤 正 齊 藤 正	経A・商・経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」の展開のなかで日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上などでよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 講義では銀行の基礎理論の理解を中心に据える。
 - 1) 銀行経営の不振とは対照的に大手消費者金融会社や商工ローン会社(貸金業)は史上最高の収益を達成している。
銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会(メーカー、流通業、消費者、さらに国家など)との関連を明らかにする。
 - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。

履修上の留意点

- (1) 銀行の役割を理解するためには、簿記の知識(初級程度で十分)をもって臨んでほしい。
- (2) 理解をさらに深めるために
 - 1) 前期科目の「現代産業事情Ⅲ(野村證券提供講座)」
 - 2) 後期科目の「現代銀行事情」
 - 3) 通年科目の「金融論」、「証券市場論」、
を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、前期試験(またはレポート)による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

日本銀行『新版 わが国の金融制度』
吉田暁「決済システムと銀行・中央銀行」日本経済評論社
建部正義「はじめて学ぶ金融論」大月書店

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代銀行事情(後期)	さいとう 藤 正 齊 藤 正	経A・商経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」の展開のなかで日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。

- (1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
- (2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、グローバル期（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
- (3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革を目指すビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

履修上の留意点

- (1) 銀行の役割を理解するためには、簿記の知識（初級程度で十分）をもって臨んでほしい。
- (2) 理解をさらに深めるために
 - 1) 前期科目の「銀行システム論」
 - 2) 前期科目の「現代産業事情Ⅲ（野村證券提供講座）」
 - 3) 通年科目の「金融論」、「証券市場論」
 を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業はレジメに沿って進める。

参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』（大月書店）2001年

日本銀行『新版 わが国の金融制度』

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』（ミネルヴァ書房）2003年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
証 券 市 場 論	いそ や あきら 磯 谷 玲	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

広義の金融仲介の一分野という点から証券市場の特徴と機能を検討する。対象地域としてはアメリカを中心とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の三点を軸として進める。

- ・ 広義の金融仲介と証券市場の位置付け
- ・ 証券市場を構成している発行市場、流通市場、株式、債権、および派生商品等に関する概説
- ・ アメリカにおける株式市場の機能（特に1980年代以降を中心とする）

成績評価の方法

各項目につき1回ないし2回小テストを実施する。小テストの合計によって成績評価する。再試験なし。

教 科 書

教科書、参考書は初回の授業で指示する。

科 専
目 門
教 教
育 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 論	もり おが じん 森 岡 仁	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能な限り将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものとはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況
再試験を実施する。

教 科 書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参 考 書 等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

そ の 他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育経済論	谷 敷 正 光 やしきただみつ	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、21世紀に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

科 専 目 門 教 育

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育
 - (1) 日本の産業化とリテラシー・識字教育
 - (2) 日本の経済成長と教育
 - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
 - (4) レーガン大統領の経済と教育1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
 - (5) レーガン大統領の経済と教育2 「国家は応える」(一部ビデオ)
 - (6) ブッシュ大統領の経済と教育1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
 - (7) ブッシュ大統領の経済と教育2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
 - (8) クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
 - (9) サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」(一部ビデオ)
 - (10) ブレア首相の経済と教育「教育委員会の民営化」(一部ビデオ)
 - (11) ブレア首相の経済と教育「オプティミズムアウト」(一部ビデオ)
2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - (12) 学制時代における経済と教育1 富国強兵・殖産興業 (映画)
 - (13) 学制時代における経済と教育2 学制公布と「行政管理学校」
 - (14) 教育令時代における経済と教育1 工場払下と産業の勃興 (一部ビデオ)
 - (15) 教育令時代における経済と教育2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
 - (16) 学校令時代における経済と教育1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
 - (17) 学校令時代における経済と教育2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
 - (18) 実業学校令時代における経済と教育1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
 - (19) 実業学校令時代における経済と教育2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」
3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法と教育 (一部ビデオ)
 - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (24) 高度成長終了後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画・OHPを使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)

森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）
ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
A・グリーン, J・ハリスン『英国病』（新評論社）
西尾範博編『苦闘するアメリカ教育』（教育開発研究所）
揖西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）
猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易論	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本などを教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	鄭 章 淵 <small>ちよん ちやん よん</small>	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノート参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。再試験を実施する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎「東アジアの開発経済学」(有斐閣アルマ) 2,000円(税抜き)

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国経済論	小杉修二	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上国の特徴=機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。

毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体勢づくりのため経済効率は低下し行き詰まった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大国志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策による外資の呼びこみ、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかげていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』(龍溪書舎) 4000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック 2000-2001』(古今書院) 3800円

その他

授業方法 講義+ビデオ映像の活用

専門教育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡訳 青木書店 1994年)をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
E U 統 合 論 (前期)	清 ^{しみず} 水 ^{たかし} 卓	経A・商経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

欧州統合はローマ帝国の昔から多くの政治家や文化人が提唱してきた構想ですが、その事は逆に、ユーラシア大陸の西端の狭い地域に多くの民族が競合し、度々戦争を行い対立してきた事実を反映しています。しかし、第二次世界大戦後、今日に至るまで取り組まれた欧州統合の動きの中で、西欧は戦争のない高度に繁栄した社会を実現してきました。こうした欧州統合の動きから多くの興味深い事柄を教訓として引き出せると思います。

講義の内容・
授業スケジュール

(下に示した教科書にそって講義を進めることにしますが、内容的には以下のような柱を考えています)

1. 市場統合の経過と現状
市場統合への道
1992年市場統合計画
現段階における市場統合への課題
2. 欧州通貨統合
第2次世界大戦後の国際通貨体制と欧州
欧州通貨危機と欧州統合
欧州通貨制度 (EMS)
欧州中央銀行制度
3. 市民的・社会的ヨーロッパ
欧州失業問題
地域格差問題
欧州福祉国家の現状
欧州基本権憲章
EUの拡大

履修上の留意点

講義を興味深く聴き、内容を理解するためには、高校までの世界史や、地理、政経などの基本知識が必要です。何より EU で現実に起こっている出来事への関心を持つことが大切です。学習の出発点は好奇心からです。

成績評価の方法

前期末に試験を行い成績を評価します。授業出席状況も配慮します。
4年生のための再試験は行いません。

教 科 書

田中素香、長部重康、久保広正、岩田健治『現代ヨーロッパ経済』(有斐閣) 2001年

参 考 書 等

1. 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義 アメリカ市場原理主義からの決別』(講談社新書)
2. クシトフ・ポミアン『ヨーロッパとは何か』(平凡社ライブラリー)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代西欧経済論(後期)	しみず たかし 清水 卓	経A・商・経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

第二次世界大戦後のヨーロッパ各国の経済、産業、社会の特徴を、各国の歴史や地理的条件を踏まえて解説します。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 各国の特徴
フランス
ドイツ
イギリス
イタリア
北欧諸国
ベネルクス諸国
地中海諸国
中・東欧諸国
2. ヨーロッパの地域構造
地域格差の構造と地域政策
産業分布

履修上の留意点

講義をより深く理解するためには、自ら EU 諸国の出来事に関心を持ち継続的に情報を集めるなど、好奇心を持つことがもっとも大切です。

成績評価の方法

後期末の定期試験の成績で決めます。授業出席状況も多少配慮します。
4年生のための再試験は行いません。

教科書

EU 統合論と同じです

参考書等

EU 統合論と同じです

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山縣弘志	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることができないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（白筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報・経済ネットワーク論	なか すみ みつ あき 中 濟 光 昭	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、情報が経済学でどのように扱われているかについて議論します。具体的には「経済学と情報」「デジタルエコノミーとはなにか」「ITによって何が変わるのか」「情報ネットワーク経済の基盤となる情報システムとは」「電子商取引とは」について理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレーディングなどについて理解を深めていきます。講義では、コンピュータを操作して情報システムについて実習し、またメールなどを活用し教員と皆さんが双方向に意見を交換するようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場のパソコンの使い方、受講上の注意など
- 2) グループウェアで共同作業を行なう
- 3) インターネットで株取引シミュレーションをやってみる
- 4) 経営情報システムの実例 (SAP R/3)
- 5) 情報経済システム論 - 情報とは、カジノテーブルと収穫逦増の法則、情報の非対称性、デジタルエコノミーとは
- 6) 情報システム概論 - コンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論
- 7) 電子商取引概論 - 電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度
- 8) インターネットビジネス概況 - マイクロソフトにみる情報ビジネス戦略、インターネットビジネスを覆う危機
- 9) 事例研究 (amazon.com, yahoo.com などについてビジネスモデルを調査・分析する)

科 専 門 門 教 教 育 育 目 目

履修上の留意点

ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行います。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用します。パソコン初心者には、まず基礎情報処理Ⅰ・Ⅱやコンピュータ基礎を履修することをお勧めします。

成績評価の方法

講義時の課題と夏季・冬季休業時に課すレポートによります。実習を含むため、追・再試験は行いません。卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めません。

教 科 書

初回の講義で指示

参 考 書 等

初回の講義で指示

そ の 他

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回の講義に「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めません（事前に相談すること）。
- ・Komanet に登録している前提で講義を行なうので、Komanet 未登録者は4月初旬に4号館1F 自習室に行き、登録手続きを行なうこと（登録なしに受講することは講義内容上困難）。
- ・講義に関する質問などは、事前予約の上、第二研究館4F 2437研究室 (tel: 03-3418-9352) に来室するか、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
プログラミング論	はまもと かずひこ 濱 本 和 彦	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンドアローンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としてはC言語とJavaを扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としてはC言語とJavaを扱う。前期にC言語、後期にJavaを扱う予定である。C言語は基本情報技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。Javaでは、主に、インターネットのWWW上でプログラムを発信するためのJavaアプレットについて講義する。いずれも実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メールによる出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生は大学のメールアドレスの取得手続きを行っておくこと。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。なお、再試験を実施する。

教 科 書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参 考 書 等

講義中に指定する。

そ の 他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクタで見せながら行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎情報処理 I (前期)	いわせ ひろかず 岩瀬 弘 和	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、経済学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」を予備知識のない段階から始める。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールや WWW）を利用できるようになること、さらには Word による文書の作成技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場の使い方, コンピュータの起動・終了方法, 受講上の注意など
- 2) Windows の基本的な使い方, 各種アクセサリの使い方
- 3) インターネットとネチケット, インターネット用語の説明, ブラウザの使い方
- 4) 検索エンジン・掲示板の利用法
- 5) ブラインドタッチ習得
- 6) 日本語入力 MS-IME の使い方
- 7) エクスプローラの使い方, フォルダ・ファイルのコピー・移動
- 8) ネットワークコンピュータ利用法, FD の使い方
- 9) 電子メールの使い方 (その1) 電子メールの作法, 署名挿入法
- 10) Word の使い方 (その1) 文字の入力と編集
- 11) Word の使い方 (その2) ビジネス文書の作成
- 12) Word の使い方 (その3) 表の作成
- 13) Word の使い方 (その4) 図の作成, 図の挿入
- 14) 電子メールの使い方 (その2) 添付ファイルの利用
- 15) まとめ

科 専
目 門
教 教
育 育

履修上の留意点

コンピュータ使用経験のない初心者を対象とした講義を行うが、実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

成績評価の方法

毎回の講義終了時に課す課題および出席状況により評価する。

教 科 書

初回の講義で指示する。

参 考 書 等

『超図解 Windows2000 Professional 基礎編』、エクスメディア、2000年、1380円
『超図解 Word2000 for Windows2000』、エクスメディア、2000年、1380円

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎情報処理Ⅱ(後期)	いわ せ ひろ かず 岩 瀬 弘 和	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義は、「基礎情報処理Ⅰ」の履修者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、表計算ソフト(Excel)によるデータ処理技法、PowerPointによるプレゼンテーション技法、さらにはHTMLによるWebページ作成技法を習得することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 表計算(その1) Excelの基本操作
- 2) 表計算(その2) データ集計、関数の利用
- 3) 表計算(その3) グラフの作成
- 4) 表計算(その4) 絶対参照・相対参照とその混合
- 5) 表計算(その5) LOOKUP関数の利用
- 6) 表計算(その6) 総合演習
- 7) プレゼンテーション(その1) PowerPointの基本操作、スライドの作成
- 8) プレゼンテーション(その2) オブジェクトの作成、図の挿入、アニメーション機能
- 9) プレゼンテーション(その3) グループ毎で発表資料の作成
- 10) プレゼンテーション(その4) グループ毎の発表
- 11) Webページ(その1) ホームページの設計、タグの使用法
- 12) Webページ(その2) 表の作成、画像の表示、リンク機能
- 13) Webページ(その3) ホームページ作成
- 14) Webページ(その4) ホームページの公開
- 15) まとめ

専
門
教
育
目

履修上の留意点

「基礎情報処理Ⅰ」の履修者を前提に講義を進めるため、コンピュータの基本的操作に関しては習得しておく必要がある。実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。前期に開講される「基礎情報処理Ⅰ」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

毎回の講義終了時における課題および出席状況により評価する。

教科書

初回の講義で指示する。

参考書等

『超図解 Excel2000 for Windows2000』、エクスメディア、2000年、1380円
『超図解 PowerPoint2000 for Windows』、エクスメディア、1999年、1380円

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用情報処理Ⅰ(前期)	いわ せ ひろ かず 岩 瀬 弘 和	経A・商・経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、経済分析を行う際のバックグラウンドを養い、実践的経済分析手法について学習する。すなわち、経済学において必要不可欠である経済データ処理技能を習得することを目的とする。そのため、計量経済学および経済統計を、実際の経済分析の中でいかに活用するかを、実践的にコンピュータを操作しながら学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・インターネットによる経済統計資料収集・Excelによる基本的なデータ分析
- ・Excelにおけるデータベース機能の活用
- ・ピボットテーブルの活用
- ・データ分析機能の活用(シナリオ、ゴールシーク、ソルバー)
- ・Excelによる回帰分析
- ・時系列データ分析(季節調整やトレンドの計測、自己回帰モデルによる予測など)

履修上の留意点

コンピュータの基本的操作を習得しており、Excelの使用経験を有していることが望ましい。実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

成績評価の方法

毎回の講義終了時に課す課題および出席状況により評価する。

教科書

初回の講義で指示する。

参考書等

『インターネット時代の数量経済分析法－基礎からニューフロンティアまで－』、多賀出版、1999年、2800円

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用情報処理Ⅱ(後期)	いわ せ ひろ かず 岩 瀬 弘 和	経A・商・経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

高度情報化社会といわれる現代社会において、コンピュータグラフィックス(CG)は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CGを作成したり鑑賞したりする機会が急速に増大するものと予想される。この講義では、CGの概要から始まり、CG作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存のCG作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG理論の理解を深めていく。さらに、現在CGが応用されている分野を知り、今後どのようにCGが活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・コンピュータグラフィックスとその展開
 - ・2次元CGの作成と変換理論の習得
 - ・3次元図形の表示技術(投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など)
 - ・自由曲線の種類とその理論(ベジエ曲線、Bスプライン曲線など)
 - ・自由曲面の種類とその理論(ベジエ曲面、Bスプライン曲面など)
 - ・3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど
- 上記の理論を学習するとともに、Photoshop、VRMLなどの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。前期に開講される「応用情報処理Ⅰ」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

出席状況及び提出課題にて評価する。再試験はレポートにて実施する。

教科書

配布資料

参考書等

田中成典・小林孝史(編)『VRMLの達人』、森北出版、1900円
黒瀬能幸(著)『3次元図形処理工学』、共立出版、2600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 品 学	石 ^{いし} 崎 ^{ざき} 悦 ^{よし} 史 ^{ふみ}	経A・商経B1・2・3・4履	4

講義のねらい

現在の商品の状況は変化が激しいが、消費者のニーズと企業との関係のなかで出現するものである。それをもとにして、商品の将来と社会生活の変化を考えたい。

現実のなかから商品学の体系を作り出すという手法を試みようとしているが、これが成功するかどうかは学生諸君の参加の程度にかかっている。自分の頭で考えるという習慣を大学生としてもたないと勉強はほとんど意味をもたないからである。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の順にしたがうが、現実をいかに抽象化していくかということを念願においているので、商品ブランド、CMなどの役割から社会科学の体系まで考えるプランを実行してみたい。教科書をみて判断して下さい。

成績評価の方法

前・後期に筆記試験をおこなう。再試験を実施する。

教 科 書

石崎悦史『商品知識イノベーション戦略』（同友館）1,600円

参 考 書 等

- (a) 石崎悦史『商品学と商品戦略』（白桃書房）
- (b) 片岡寛編著『市場力学を変える商品多様化戦略』（中央経済社）
- (c) 片岡寛編著『拡大する栄養ドリンク市場』（中央経済社）
- (d) 見日洋子『「生活福祉」を実現する市場創造』（中央経済社）

そ の 他

例年受講者が多いので、大教室での講義形態をとらざるをえないが、勉強をおもしろくするための方向性を示したいと考えている。勉強が生きる力になることを期待したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商業史	こうの やすのり 幸野保典	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

商業史とは、各時代の人間の経済生活のなかでとくに商業活動を取りあげて、その具体的役割や歴史的な変遷を明らかにする学問だといってよいであろう。この場合の経済生活とは、人間が生存のために必要な生活必需品などさまざまな財貨（商品）を獲得し、それらを消費しながら日常生活を繰り返すことである。広義の商業とは、財貨がどこで生産され、どのような経路で生産者から消費者へ運ばれ売られるかに関わることである。

経済の発達した現在では、消費者は必要な消費財をみずから生産せず、第三者が生産した財貨を商品として市場から購入しなければならない。人間の経済生活は市場における商品の売買という取引行為を通して営まれている。そして、商品売買という取引行為が生産活動から独立した場合、商品を購入して再び販売するこの取引行為は生産とは別の独立した職業として専門的に営まれることになる。これが本来の意味での商業で、それを専門に営む者が商人である。

このように、本来の商業は市場における商品の購入と再販売という連続した二つの取引からなっている。しかし、現実商品取引が行なわれる場合には、金融業（信用業務）、通信業（発注・受注業務）、保険業（商品の保全）、運輸業（商品運送業務）、倉庫業（商品の保管）などが商品の売買に付随して行なわれることから、これらも商業の範疇として考えられ、商業史の対象となりうる。外国との商取引である貿易も商業史の重要な一部門である。

このように商業史の対象は多岐にわたるが、本講義では、日本における小売商問題、とくに大正・昭和期の小売商問題に重点をおきたいと思う。それは、今日の小売商問題の源流を探るうえで重要であると考えられるからである。経済史とのかかわりのなかで商業史をみることは当然のことではあるが、小売商問題に限っては社会史や文化史からのアプローチも重要な要素となる。経済的効率のみから小売商問題を理解したり、外国との経済摩擦の解消策としての規制緩和問題に重点を置き解決を計ろうとすれば、地域文化の崩壊や個性の喪失はまぬがれないと考える。

科 専
目 門
教 教
育 育

講義の内容・授業スケジュール

- I. 商業史の課題と方法（1回）。II. 明治期の商業、1. 近代商業の経済的環境（1回）、2. 近代商業経営の成立（1回）、3. 商業教育の展開（1回）。III. 大正・昭和期の小売問題、1. 小売商の社会経済環境（1回）、2. 商業人口の過剰現象とその定着度（1回）、3. 中小商業者の零細性（1回）、4. 各種小売形態の発展、a. 百貨店①百貨店の発展（2回）②百貨店の植民地、占領地への進出（1回）、b. チェーンストアなどの発展（1回）、c. 小売市場、産業組合（1回）、d. 商店街①商店街の形成（1回）②各地「商店街ニ関スル調査」の概要（1回）③菓鴨地蔵通商店街、浅草仲見世商店街（1回）④砂町銀座商店街、高円寺純情商店街（1回）5. 中小小売商の経営実態、a. 小売商経営の実際（1回）、b. 小売商問題の発生と社会的認識（1回）。c. 露天商（ヤシ・香具師・てきや）（1回）。6. 中小小売商の社会運動、a. 反百貨店運動（1回）、b. 反産運動・その他の社会運動（1回）。IV. 戦時下の商業、1. 経済統制と商業（1回）2. 企業整備と中小商業者（1回）。V. 戦後の小売商問題、1. 流通革命とスーパー・マーケット（1回）、2. コンビニエンス・ストアの発展（1回）を予定している。

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

前期にレポート、後期に試験を実施する。再試験を実施する。

教科書

とくに指定しない。毎回講義にはレジユメを用意する予定である。

参考書等

- 竹林庄太郎『日本中小商業の構造』（有斐閣）1941年
 日本小売業経営史編集委員会『日本小売業経営史』（公開経営指導協会）1967年
 糸園辰雄『日本中小商業の構造』（ミネルヴァ書房）1975年
 藤田貞一郎、宮本又郎、長谷川彰『日本商業史』（有斐閣）1978年
 石坂昭雄、壽永欣三郎、諸田實、山下幸夫『商業史』（有斐閣）1995年
 白澤恵一『地域経済と小売商業』（溪水社）1982年
 鈴木安昭『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年
 田中道雄『商店街経営の研究－潮流・変革・展望－』（中央経済社）1995年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
消 費 経 済 論	川 ^{かわ} 島 ^{しま} 美 ^み 保 ^ほ	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

「消費経済論」という学科目の理解は必ずしも一様ではない。ここでは労働力再生産領域＝消費生活領域の経済学と捉え、消費経済論の対象を消費行動や物やサービスの購買に関わる問題に限定せず、世帯における消費過程の内実をも視野に入れ、消費生活上の諸問題を検討する。今日の経済のグローバル化、情報化、少子・高齢化等の進展は消費構造に転換を迫るものであるが、21世紀の消費生活をめぐる諸課題を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 消費経済研究の対象と方法
2. 消費経済研究の動向 (2回)
3. 戦後の消費生活の歩み (3回)
4. 勤労者の生活構造と家計
5. 家計調査の歴史と家計分析の方法 (2回)
6. 現代の家計構造の特徴
7. 企業社会の変容と生涯家計収支
8. 諸階層の家計と消費生活課題 (2回)
9. 戦後の消費者問題・消費者政策の変遷 (4回)
10. 情報化と消費生活 (2回)
11. カード化社会と消費者問題 (2回)
12. 無償労働と地域通貨
13. 生活福祉環境の変化と消費生活 (2回)
14. 持続可能な消費と新しいライフスタイル

履修上の留意点

日頃、消費生活に関わる問題に関心を持つこと。再試験実施。

成績評価の方法

レポートと出席状況で総合的に評価する。

教 科 書

伊藤セツ・川島美保編著『新版消費生活経済学』(光生館) 2,100円

参 考 書 等

授業中に紹介する。適宜プリント資料を配布する。

そ の 他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 戦 略 論	た ぶち やす お 田 淵 泰 男	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかんが、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになってきました。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとっても最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。

この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

経営戦略論のつぎのような主要分野について、それぞれの理論を事例ないしフィールドリサーチによる最近の実例などをまじえて解説します。

- ・経営戦略論への招待
戦略とは何か、経営戦略とは何か、経営戦略論の発展過程と概念の構築、経営戦略の体系。
- ・企業が生存していくために選択・決定すべき「企業戦略としての事業領域（ドメイン）の定義
- ・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」
- ・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える「事業ポートフォリオ戦略」
- ・競合企業に対して競争上の優位な地位を獲得するための「競争戦略」
- ・その他

機能分野別の戦略（研究・技術開発戦略など）、経営戦略と組織、最新の経営戦略論の動向などについて、授業時間数の配分を考慮して取り扱います。

履修上の留意点

企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

期末試験により評価します。出席は加点対象とします。ただし、受講者の学習意欲や出席状況を参考にして、レポートを加点対象とした総合評価とすることがあります。再試験を実施します。

教科書

開講時に説明します。

参考書等

適宜紹介します。

その他

毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するとき、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
企 業 統 治 論	いわ なみ かつ たか 岩 波 文 孝	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

グローバル化とIT革新など社会・経済的環境が著しく変化しており、企業と経営活動のあり方が問い直され始めています。日本やアメリカにおいても、一連の企業不祥事が表面化し、企業経営や経営者の行動に対するチェックあるいはモニタリングの強化が求められています。

本講義では、トップ・マネジメントの観点から企業の全体構造を捉え、株式会社の発展に伴う会社間ネットワークとトップ・マネジメント機能の考察を通じて、企業の公正かつ効率的な運営システムの構築、すなわち企業統治（コーポレート・ガバナンス）の構築について追究していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 企業統治論の対象
- 3 現代企業の株式所有構造と支配構造
- 4 現代企業の意思決定システムとトップ・マネジメント機能
- 5 メインバンクとガバナンス機能
- 6 企業のガバナンス構造とマネジメント
- 7 機関投資家とコーポレート・ガバナンス
- 8 コーポレート・ガバナンスの国際比較
- 9 トップ・マネジメントとコーポレート・ガバナンス
- 10 コーポレート・ガバナンスの今後の課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

レポートおよび学年末の定期試験により総合的に評価します。

教 科 書

植竹晃久・仲田正機『現代企業の所有・支配管理』（ミネルヴァ書房）1999年。

参 考 書 等

仲田・細井・岩波共著『企業間の人的ネットワーク』（同文館）1997年。

そ の 他

随時レジュメ等配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営情報システム論Ⅰ(前期)	さい どう 齋 藤 たかし 隆	経A・商・経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

第4の経営資源として「情報」が挙げられますが、それはなぜでしょうか。今日の企業は高度情報化社会の真っ直中にあり、業種や規模のいかんを問わず、パソコンをはじめとする情報システムを何らかの形で利用しています。場合によっては、情報システムなしでは企業活動が成り立たない企業もあります。本講義では、企業経営における情報システムの役割とその効果的な活用法について、事例を踏まえて習得します。また、その過程を通じて、学生諸君にとっても、高度情報化社会における自身の職業観について考えてみる契機となるようにしたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

「企業経営活動の枠組みと情報システムの優位性」「ビジネス活動を遂行するための情報システム」「意思決定を支援するための情報システム」「企業コラボレーションのための情報システム」「戦略的優位性を創出するための情報システム」、等

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義を進めますので、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」を履修済みか、同等の能力を有することが求められます。

成績評価の方法

発表や討議などを通じての授業への参画状況、課題の提出状況、提出物の内容、定期テストの成績等を総合して評価します。なお、追・再試験は原則として実施しません。

教科書

特に指定せず、レジメを使用します。

参考書等

その都度、提示します。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修者の人数を制限する場合があります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを実施しますので、必ず出席して下さい。初回講義に出席できない学生や質問等がある学生は、saito@rsch.tuis.ac.jp宛メールして下さい。なお、本講義は総合情報センターに登録しないと受講できません。受講希望者は4月に4号館1F白習室にて登録して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営情報システム論Ⅱ(後期)	さいとう たかし 齋藤 隆	経A・商経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

前期開講の「経営情報システム論Ⅰ」に引き続いて、企業経営における情報システムの役割とその効果的な活用方法について、事例を踏まえて習得します。なお、「ERPの事例紹介」では、本学に導入予定のERPパッケージ(SAP社製「R/3」)を利用してコンピュータ実習を行うことを予定しています。

講義の内容・
授業スケジュール

「ERP(Enterprise Resource Planning)」「ERPの事例紹介」「SDLC(System Development Life Cycle)」「BPR(Business Process Reengineering)」「EUC(End User Computing)」「システム監査」「情報化人材」、等

履修上の留意点

「経営情報システム論Ⅰ」を履修していること。また、パソコン中級者以上を想定して講義を進めますので、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」を履修済か、同等の能力を有することが求められます。

前期に開講される「経営情報システム論Ⅰ」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

発表や討議などを通じての授業への参画状況、課題の提出状況、提出物の内容、定期テストの成績等を総合して評価します。なお、追・再試験は原則として実施しません。

教科書

特に指定せず、レジメを使用します。

参考書等

その都度、提示します。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修者の人数を制限する場合があります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを実施しますので、必ず出席して下さい。初回講義に出席できない学生や質問等がある学生は、saito@rsch.tuis.ac.jp宛メールして下さい。なお、本講義は総合情報センターに登録しないと受講できません。受講希望者は4月に4号館1F自習室にて登録して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

財団法人会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計情報論	いし かわ じゆん じ 石川純治	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日の企業会計は歴史的にみても、これまでにない大きな変革期に直面している。「会計ビッグバン」(会計制度の一大改革)という言葉がそれを象徴している。では、その変革はどこからくるのであろうか。そもそも、会計情報の存立基礎はどこにあるのだろうか。会計情報の性格や役割はこれまでとは異なった方向に進んでいくのであろうか。これまでの利益計算の仕組みは何であり、それは今後、根本的に変わるのであろうか。

本講義では、こうした今日の企業会計と会計情報をとりまく諸問題を、制度と理論の双方から取り上げる。特に、米国でおこったエンロン問題など不正会計疑惑の根っこにあるものや、国際会計基準の世界統合化問題の背後にあるもの、そしてわが国の会計制度史上の画期的事件ともいえる民間の基準設定機関の創設や減損会計の導入問題の背後にあるものなど、さまざまな会計情報をめぐる時事問題もケースとして取り上げ(ホームページに掲載中)、そこにどのような問題が潜んでいるか、その洞察力を得ること(企業会計の政治経済学)を1つの目標にしたい。

専科
専門教育
目

講義の内容・
授業スケジュール

今日の企業会計のあり方の1つのキーワードは「キャッシュ・フロー」である。そこで、前半の講義では新たな財務諸表の一角を担うようになったキャッシュ・フロー会計情報を取り上げ、その計算の仕組みとキャッシュ・フロー情報の役割り、とりわけ企業価値(株主価値)とのかかわりについて学習する。後半の講義では、「会計ビッグバン」のもっとも重要な位置にある「時価会計」を中心にその制度と理論を学習し、あわせて会計情報をめぐる「政治経済学」についても学習する。

〈前半の講義〉

- 1 全体の講義紹介
- 2 キャッシュ・フロー計算書の作成方法
- 3 損益計算とキャッシュ・フロー計算
- 4 3つの財務諸表の動的相互関連
- 5 キャッシュ・フロー革命と企業経営
- 6 エクセルとアカウンティング

〈後半の講義〉

- 1 時事会計入門
- 2 金融商品会計の理論と制度
- 3 現在価値会計の理論と制度
- 4 無形資産の会計問題
- 5 資本の会計問題
- 6 企業会計の政治経済学

履修上の留意点

前半は教科書にそって講義する。解説はOHPを用いる予定。前半の講義の最終回に私のホームページにある4つのデモンストレーションをおこなう予定。後半については会計学の基礎知識をもっていることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験による(前半と後半の講義からそれぞれ1問を予定)。

教科書

石川純治『キャッシュ・フロー簿記会計論(改訂版)』(森山書店)2,500円

参考書等

石川純治『時価会計の基本問題』(中央経済社)

その他

前半の講義では一方的授業を避けるため、まず「何が問題か」そしてそれを「どう解くか」を明確にするため設問を解いてもらい、そのあとで教科書にそって解説するという方式をとる。特に、「系統だって学習する」ことの重要性を強調する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いし <small>かわ</small> ゆう <small>じ</small> 石川 祐二	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自らの状況を把握し、それに基づいて自らを管理していかなければならない。とりわけ、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理の身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜紹介する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

専門教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	やなぎ ゆう <small>じ</small> 柳 裕治	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、税務会計論の初学者を対象に、税法の基礎理論および法人企業の課税所得計算理論を体系的に理解することを目的とする。あわせて、租税の時事問題に触れ、租税に関する幅広い知識を修得できるようにしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

税務会計とは、税法（特に法人税法）の規定に従って課税所得および税額を計算することによって租税債務を確定するための会計であり、法的側面と会計的側面との統合された理論をもつところにその特徴がある。企業会計は、通常、帳簿記入・決算・納税申告という一連の手続きによって完結するが、税法は企業の所得に課税するため、その計算過程において企業会計と密接な関わりをもっている。

そこで本講義では、経済学部を学生を対象とした税務会計の概論として、税法の基礎理論から始め、法人が課税所得および税額を計算し、申告し、納税する一連の税務会計手続きについて、企業会計と関連させながら系統的に説明していく。その内容は、税務総論と法人税法が中心となるが、所得税法および消費税法についても触れる。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価する。

教科書

柳裕治著『税法会計制度の研究』（森山書店）

参考書等

岸田・矢内・柳・吉村著『現代税法の基礎知識』（ぎょうせい）
井上・柳・矢内著『法人税の計算と理論』（税務研究会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ会計 I (前期)	鈴 木 勝 浩 <small>すすき かつひろ</small>	経A・商・経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

今日、コンピュータをはじめとする情報技術の進展及び高度化はめざましく、あらゆる社会活動がその影響をうけている。このような高度情報化の到来に伴って、近年、コンピュータ会計は、企業の規模や業種にかかわらず広く普及している。本講義では、コンピュータを前提とした会計情報システムについて、その現状と問題点を検討したうえで、今後の展開を考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

①コンピュータ会計概論 ②情報処理システム ③データ通信システム ④会計情報とデータベース ⑤会計情報とシステム設計 ⑥販売管理システムと会計情報 ⑦生産管理システムと会計情報 ⑧在庫管理システムと会計情報 ⑨ 原価管理システムと会計情報 ⑩財務会計と会計情報 ⑪コンピュータ会計と内部統制

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」等を履修済みか、同等の能力を有することが求められる。また特に会計に関する知識を問わないが、簿記会計に関する基礎的な知識を有していればより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

課題の提出状況と提出物の内容等を総合して評価する。

教 科 書

初回講義にて指示する。

参 考 書 等

講義中に適時指示する。

そ の 他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを行うことがあるので、必ず出席すること。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメール連絡すること。

fwig0598@mb.infoweb.ne.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館1F自習室に行き、登録してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ会計Ⅱ(後期)	鈴木勝浩	経A・商経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

今日、高度情報化の到来に従い、コンピュータ会計は企業の規模及び業種にかかわらず広く普及している。本講義は、従来の手書き会計とコンピュータ会計の相違点を明確にし、リアルタイムで会計情報の入手とその利用が可能である点を解説したうえで、パソコン演習を通じて上記の点を検証していく。まず表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、その後会計パッケージを利用してその有用性を体感していく。

講義の内容・授業スケジュール

①コンピュータ会計概論 ②表計算ソフトによる実習(基礎準備) ③表計算ソフトによる実習(勘定科目コード及びその他の会計情報コードの設計) ④表計算ソフトによる実習(仕訳データの作成) ⑤表計算ソフトによる実習(試算表の作成) ⑥表計算ソフトによる実習(決算処理) ⑦会計パッケージによる実習(概要と基礎準備) ⑧会計パッケージによる実習(会計取引の入力) ⑨会計パッケージによる実習(日常帳票の作成) ⑩会計パッケージによる実習(決算諸表の作成) ⑪会計パッケージによる実習(財務分析) ⑫シミュレーションによる会計情報システムの実習

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」履修済か、同等の能力を有することが求められる。前期に開講される「コンピュータ会計Ⅰ」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

科専門教育

成績評価の方法

課題の提出状況と提出物の内容等を総合して評価する。

教科書

初回講義にて指示する。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを行うことがあるので、必ず出席すること。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメールしてください。

fwig0598@mb.infoweb.ne.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館1F自習室に行き、登録してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
憲 法	内田真利子	経A・商経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「人権」という観点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い。その一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴(日の丸・君が代・天皇制)、家族と法、学校における人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、性差別……。

履修上の留意点

毎回の授業に単に出席するだけでなく、主体的に参加できる人にも受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年数回、テストを行う。このテストのほか、授業への参加意欲についても成績評価の対象とする。

教科書

授業で指示する。

参考書等

六法(出版社、サイズは問わない)、少なくとも日本国憲法の全条文。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 一 部	おおみや たかし 大 宮 隆	経A・商・経B1・2・3・4履	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活(財産関係と家族関係)を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の子告をするので、教科書を読んでくること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。再試験を実施する。

教科書

『新民法概説 (1) 総則・物権』(有斐閣双書) 1,900円

参考書等

講義の中で随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法二部	織田晃子	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法二部の講義は債権総論と債権各論を対象とする。条文で言うと、399条～724条であり大変広範囲である。一年間でこれらすべてを網羅することは到底無理である。よって、まず日常の普通の取引、例えば、だれでも思い浮かべるであろう不動産の売買をとりあげ、売買の交渉から契約の成立、その履行にいたるまでの財産法上の問題をとりあげ、次に売買契約が履行されなかった場合の法的処理、すなわち債務不履行による損害賠償や解除に進む。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 売買の交渉から契約の成立、その履行
 - ① 契約の成立
 - ② 契約の履行過程
 - ③ 契約の履行終了
 - ④ 登記の移転
 - ⑤ 債権譲渡
- 2 契約不履行の場合の法的処理
 - ① 債務不履行
 - ② 契約の解除
 - ③ 他人の物の売買
 - ④ 瑕疵担保責任
 - ⑤ 債権者代位権
 - ⑥ 詐害行為取消権
- 3 その他
第三者による債権侵害、多数当事者の債権関係等。

科専門教育
目

履修上の留意点

六法は必ず持参すること

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験実施。

教科書

『民法（4）債権総論』（第4版増補版）（有斐閣双書）

参考書等

『コンパクト六法』（岩波）

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法一部	受川環大	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

商法は、企業の組織や活動などを規制する法である。商法が規制する対象は、会社、商行為、保険、海商、手形・小切手など広範囲に及んでいる。本講義では、商法の中で最も重要視されている「会社法」について講義する。「会社法」とは、株式会社・有限会社等の会社形態に関する法規の総体であり、会社の種類に応じて、その組織、その成立より消滅に至るまでの法律関係を定めるルールである。近年、日本のビジネス・システムへの批判や見直しの声が内外から高まっており、会社法の改正が頻繁に行われている。将来、皆さんの多くは株式会社に就職するのであるから、その組織や運営などを学ぶことの意義は大きいと思われる。

講義の内容・授業スケジュール

最初の数回の講義において、会社の意義・種類について説明する。次に、会社形態の中で最も主要な株式会社を対象として、その設立、株式と株主、株主総会、取締役会と代表取締役、監査役、資金調達、計算、基礎的変更について講義を進める。

履修上の留意点

講義には、教科書と最新の六法（平成15年版）を必ず持参して出席すること。講義中の私語は厳禁する。

成績評価の方法

期末試験の評価による。場合により出席をとり成績評価の参考とする。再試験は実施する。

教科書

黒田清彦ほか著『レクチャー会社法』（法律文化社）

参考書等

適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 法 二 部	うけ がわ かん だい 受 川 環 大	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

商法が規制対象とする諸分野のうち、手形法・小切手法について講義する。手形・小切手は、従前と比べてその利用量が減少したとはいえ、なお信用供与等の手段として重要性を失っていない。したがって、手形（とくに約束手形）や小切手の振出から支払に至るまでの仕組みを理解しておくことは重要である。

講義の内容・
授業スケジュール

最初の数回の講義において、約束手形・為替手形・小切手の意義・機能・法律上の性質について説明する。次に、約束手形を対象として、その振出・裏書・支払といった手形の一生について講義する。さらに、現金の代用手段である小切手の詳細についても説明する。

履修上の留意点

講義には、教科書と最新の六法（平成15年版）を必ず持参して出席すること。講義中の私語は厳禁する。

成績評価の方法

期末試験の評価による。場合により出席をとり成績評価の参考とする。再試験は実施する。

教 科 書

新海兵衛編著『手形法・小切手法（現代企業法概説シリーズ5）』（中央経済社）

参 考 書 等

適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	おか だ としひろ 岡 田 外司博	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。再試験実施。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	藤 本 茂 <small>ふじもと しげる</small>	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラや能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされ、現在は、変動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進めます。労働組合を中心に扱う労働関係法領域も重要ですが、あまり多くの時間を割くことができません。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことを学ぶことを基本にして、現代的課題に言及しようと思います。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外・休日労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

科 専 門 教 育 目

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

教 科 書

道しるべとして、ベーシック労働法(浜村彰ほか著・有斐閣)か労働法(浅倉むつ子ほか著・有斐閣)のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参 考 書 等

適当と思われる概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において配布するプリントで紹介します。

六法に関しては、最新のもの(法律改正があるので特に注意)そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

そ の 他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、行政法総論の基礎的概念について、具体的事例をとりあげながら、わかりやすく解説します。
 行政法に関する知識は市民生活を営んでいくためには、常識として具えておく必要があると思います。
 また、各種の公務員試験の受験を考えている人は、受講されるのが望ましいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

これについては、主たる項目を列記しておきます。
 ①行政とは ②行政法とは ③行政主体 ④行政の態様 ⑤行政立法 ⑥行政行為 ⑦約款
 ⑧取消と撤回 ⑨行政手続 ⑩即時強制 ⑪行政強制 ⑫行政契約 ⑬行政指導 ⑭行政計画
 ⑮行政上の制裁 ⑯損失補償 ⑰損害賠償 ⑱不服申立 ⑲行政訴訟

履修上の留意点

あたり前のことですが、教場内では他人に迷惑をかけるような言動はしないこと。

成績評価の方法

平常点および期末テストなど総合的な観点から評価します。

教 科 書

桜井昭平編著『現代行政法』（八千代出版）

参 考 書 等

講義初日に指示します。

専 科
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際法	さいとう ひろし 齋藤 洋	経A・商・経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

国際社会で日々生起している諸現象・諸事件を法学の視点から捉えられるようにするために、その基礎となる知識や原則・ルール of 習得をめざす。本講義は各法制度を法の発展過程の中で理解しようとする傾向をもつ。それは、担当者が現在という時間に区切って現行法制度を理解しようとするのではなく、過去から将来に続く一連の法発展過程の一時期の状態という視点で、現行法制度、特に国際法学を研究していることから生ずる傾向である。したがって講義内容も、狭窄な法解釈・判例研究ではなく、当該法制度あるいは判例が人類社会もしくは国際社会の発展の中で如何なる意味を有するのか、それが社会にどのような影響を与えるのか、といったことを中心として、現行法制度の基本ルールを説明することになる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：戦争観念と国家主権観念、国家と国際法（承認論、責任論、承継論、対外機関、条約法 など）、
 地的管轄権（1）（主として海洋法）
 後期：地的管轄権（2）（主として航空法・宇宙法）、人的管轄権（国籍、外国人問題、犯罪人引渡、難民など）、
 国際機関（法主体性論、国連、その他）、紛争解決（平和的解決手段、WTOの紛争処理、国際裁判など）

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

国際法は我々の日常生活に最も縁遠い法制度である。したがって、法学、憲法や民法、国際関係論、外交史などを履修した上で、3年次以上になってからの受講が望ましい。換言すればそれだけの予備知識がないと、1年生、2年生の履修は可能であるが、理解に困難を感ずると思われる。

また受講生は、毎日必ず新聞を読むこと。自ら図書館で判例を調べるくらいの気持ちが必要である。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績で評価する。夏期休暇中の課題は原則として課さない。

教科書

齋藤洋『国際法講義ノート・資料 2003』（虹有社）予価 2000 円

参考書等

授業中、適宜指示する。

その他

受講にあたって、私語を慎み、一所懸命ノートをとること。このノートが定期試験に威力を発揮するはずである。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I		岩 波 文 孝 <small>いわた なみ かつ たか</small>	経A・商・経B1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II			経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

近年、日本における企業集団の再編や企業集団に象徴される大企業と大銀行との結合が構造的な変化に直面しています。また、企業集団の構造は、コーポレート・ガバナンスの構造にも影響を与えることとなります。本講義では、企業集団の構造、とくに企業集団のコアに位置する株式相互持合いやメインバンク・システムについて、英語の著書を用いて理解を深めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の企業間ネットワークとメインバンクに関する文献を用いて、近年の巨大企業をめぐる企業間関係の特徴を探っていきます。なお、授業の進め方については、輪読形式による授業を行います。

履修上の留意点

受講者は事前に授業範囲の予習を行った上で、受講してもらいたい。

成績評価の方法

平常点により評価します。出席状況、予習状況、分担報告による総合評価を行います。再試験なし。

教 科 書

開講時にコピーを配布します。

参 考 書 等

随時指示します。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I		小 杉 修 二 <small>こすぎ しゅうじ</small>	経A・商・経B1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II			経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

現在の中国の諸政策のバックボーンをなしている鄧小平の考えを知るために、その著作を中国語で読む。参加者は中国語履修者であること。中国語を母国語とする者は日本語への厳密な翻訳能力習得を目標とする意欲のある者に限る。

成績評価の方法

再試験なし。

教 科 書

プリントして配布する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I		清 水 卓 <small>しみず たかし</small>	経A・商・経B1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II			経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

ヨーロッパの経済に関する伝説の論文、新聞記事などを読み、経済専門書の読解力をつけるのが目的です。大学院入試のレベルで行います。

講義の内容・
授業スケジュール

欧州の幾つかの国の経済の現状についてのテキストを、受講生の皆さんに翻訳してもらい、それを素材にして、正しい読み方を指導し、内容の解説を行います。

履修上の留意点

1週間の予習には4時間程度かかります。また、それだけ時間をかけて準備しなければ学習の成果も期待できません。

成績評価の方法

平常点。再試験なし。

教 科 書

プリントして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I	オズ きの のぶ え 鈴 木 伸 枝	経A・商・経B1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

英語の読解力を養うとともに、これまで経済学者たちがどのような問題に着目し研究してきたかを、ノーベル経済学賞受賞者の著作を題材に学びます。数式の多いものは避け、なるべく平易な英語で書かれた講演録等をいくつか選んで輪読・討論をします。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・分担当況の平常点により評価します。(再試験なし)

教 科 書

プリントして配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I	ちよん ちやん よん 鄭 章 淵	経A・商・経B1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

韓国の経済発展に関する朝鮮語文献を講読して、韓国経済に関する理解を深めてもらうことを目的とする。受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、講義では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してほしい。

成績評価の方法

出席率、レポート回数などを加味して、総合的に評価する。再試験なし。

教 科 書

初回講義時にプリントを配布する。
また、辞書や文法書などについても当日紹介する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I	ふく ぼら よし のぶ 福 原 好 喜	経A・商・経B1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

カール・マルクス『資本論』(ドイツ語)を講読する。在職中に第三巻の終りまで行くのが私の夢である。今年度は恐らく価値形態論を読むことになる。講義は訳のみでなく、内容の詳しい説明検討を行う。授業は少人数なのでゼミのような雰囲気である。学生諸君から希望があれば、夏休みなど泊まり込みで勉強することもある。受講者は、第二外国語としてドイツ語をとった人、あるいは独学でもドイツ語の素養のある人が望ましい。(夏休みには私のところにドイツ人の家族が泊りに来るので彼らと交歓の機会が持てたらと思っている。)

一昨年は男子1名、女子2名、昨年は男子1名の受講者であったが、本年はもう少し多くの受講生が来てくれればと思っている。ドイツ語及びドイツ文化の好きな人は来てほしい。ドイツ、オーストリア及び日本でオペラの監督として活躍中の高嶋勲氏はこの独書講読より育って行った。

履修上の留意点

授業は固苦しい話ばかりでなく、ドイツ人の酒の飲み方や夫婦のあり方などよもやま話しも含めて、ユツタリとしたものになりたいと思っている。

成績評価の方法

再試験なし。

そ の 他

よく出来た時は、コーヒーもでる。

科目名		担当者名	配当学科	単位
原書	講読 I	みぞ 手 芳 計	経A・商・経B1・2・3・4選	4
原書	講読 II		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

英語の経済学文献を原書で読むことにより、①経済学の基本文献にふれ、著者の考え方をしっかり学ぶとともに、②経済・経済学に関する専門用語や言い回しの読解力を高めようと思いません。大切なことは、著者が何を考えているのかをしっかりと読みとることです。英語の語学力よりも、学習意欲のある学生の受講を希望します。

講義の内容・授業スケジュール

現代の経済学においては、人間行動の動機を単純で単純なものとして、経済関係とりわけ市場の機能をモデル化し、これを現実経済の制御に応用しようとする「工学的」アプローチが主流となっているが、これに対して、センは、現実の人間行動には多様で複雑な倫理的考察が影響するとして、“経済学に倫理的視点を導入すべきだ”と主張し、多くの賛同者を得ている。講義では、アジア出身初のノーベル賞経済学者アマルティア・センの代表的な著作を取りあげます。授業は、輪読形式です。

履修上の留意点

受講に当たっては、必ず事前に予習してください。

成績評価の方法

出席、予習、分担報告等、平常点により評価します。再試験はおこないません。

教科書

Sen, Amartya (1988) "On Ethics & Economics", Blackwell Publishers Ltd.
(随時、コピーを配布します。)

科目名		担当者名	配当学科	単位
原書	講読 I	やま がた ひろ し 山 縣 弘 志	経A・商・経B1・2・3・4選	4
原書	講読 II		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

ソ連邦解体以後、あらゆる教科書が使いものにならない状態となっているが、解体以前から、社会科学分野で批判的な読み方を要求しないものはなかったと言ってよい。従って主体的な読み方はいつでも必要であったし、今後も必要である。

成績評価の方法

平常のパフォーマンスを評価する。再試験なし。

教科書

Города Подмосковья в трех книгах. Книга первая. М., 1979

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅰ(前期) 〔都市開発と経済〕	すが はら あき かみ 菅 原 章 文	経A・商経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

皆さんは「Sim City (シムシティ)」というコンピュータ(テレビ)ゲームを知っていますか。コンピュータ上で都市開発をシミュレーション(模擬実験)するゲームです。原野に道路や鉄道を建設し、水道・下水道・電気を整備し、病院や学校を建設すると、そこに人が住み、企業が事務所を構え…、というように、都市の開発・成長、そして衰退が描かれています。ここに出てくる要素のひとつひとつが都市の形成に欠かせないものです。

現実の都市はさらに複雑な要素によって構成されています。この講義では、都市を構成する様々な要素に注目し、その動向を知ることを通して、最近の経済に何が起きているか、今後どのような方向に進んでいくのか考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなキーワードで、都市の経済を分析・展望します。(順序は変更する可能性があります)

- ・都市と人口流動 … 都市の成長と衰退
- ・都市の基本構造 … 経済とインフラストラクチャー
- ・都市開発と企業活動 … 都市を建設する人々と企業
- ・都市開発と法規制 … 社会的ルールと経済活動
- ・都市と産業 … 都市を支える産業とその動向
- ・都市と物流 … 都市を支えるコンビニと宅配便
- ・都市と情報 … インターネットは都市の「神経」
- ・都市と環境 … 地球環境問題と都市
- ・都市とエネルギー … エネルギー産業の動向
- ・グローバル化と都市 … グローバル化がわが国経済に及ぼす影響と都市

履修上の留意点

プリントを配布し、教材とします。題材はできるだけ身近なことがらから選び、技術革新と規制緩和・グローバル化など経済の構造変化に注目しながら、皆さんと一緒に考える機会にしたい。

質問は歓迎しますが、私語はつつしんでいただきたい。

成績評価の方法

毎回、講義内容に沿った小論文、感想文等をその場で提出してもらいます。成績の50%以上は、この小論文、感想文で評価します。定期試験も実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅱ(前期) 〔スポーツとビジネス〕	ほんの 羽田野 治 朗	経A・商・経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

2002年に開催されたW杯は、日本のスポーツを取り巻く環境と周辺のビジネスにオリンピック以上の影響を与えた。スポーツはこれまで単に時間とカネを費やす消費財として扱われてきたが、スポーツの存在は今や国民の健康・医療をはじめ地域振興や雇用創出といったことまで波及している。このような実態からスポーツの意義と経済的・文化的な価値を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

スポーツとビジネス
 スポーツとマーケティング
 スポーツとメディア
 スポーツとイベント
 スポーツとツーリズム
 スポーツとライセンス
 スポーツと地域振興
 生涯スポーツと健康
 スポーツとマネージメント
 W杯後のスポーツとビジネス

履修上の留意点

スポーツに興味があり、今後スポーツに携わる仕事に就こうという気持ちのある学生の受講を期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績と課題レポートの提出を基に総合的に評価する。再試験有り。

教科書

なし。 独自に作成する資料を使用する。

参考書等

講義内容やテーマにより紹介する。

その他

講義を中心に行うが、一部討論形式も予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅲ(後期) 〔国際ボランティア〕	よし かわ けん じ 吉 川 健 治	経A・商・経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

グローバル化が進展する私たちの社会において、民間の国際ボランティアによる活動が顕著になっている。非政府組織（NGO）が主体となり展開される活動は、人権、平和、環境、開発の分野にまたがり、今日では、市民セクターや市民社会組織と呼ばれ国際社会でも無視できない存在となっている。こうした民間による国際ボランティアはどのような背景で誕生し活動を展開してきたのか、また現在の私たちの社会と生活にどのような関係性を持っているかを考察するのが本講義の目的である。まず、国際ボランティアが展開する国、地域での人々の現実を理解することからはじめ、国際ボランティアが如何なる理念と方法で人々のニーズに応じているのか実践例を検証する。また、その活動が地球社会変革へ向けてのインパクトを持ちうるのかにも言及し、一市民としての私たちの役割についても論じる。なお、国際ボランティア活動を実践する活動家を招いて現状を聞く機会も設けたい。

講義の内容・授業スケジュール

国際ボランティア活動（NGO）の発展の歴史と背景
 国際社会を取り巻く諸問題（貧困、紛争、難民）と直面する人々
 国際 NGO の活動事例
 人間中心開発——東南アジア地域（タイ・カンボジア・ラオス）における教育開発
 国際紛争と人権（人道支援）——アフガニスタン、東ティモールなど
 日本における国際ボランティア組織の活動と現状
 ボランティア、NGO、市民セクターの社会的役割と今後の可能性

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

国際ボランティア活動はもとより、国際協力、開発協力（政府間援助、国連なども含む）に関心のある学生の聴講を期待する。

成績評価の方法

レポート

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅳ(後期) 〔ディスカウント・ストア〕	ふじ 藤 澤 憲 きわ 藤 澤 憲	経A・商経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

現代の流通事情について、とくにメーカーとディスカウントストアの関係に注目して考察する。具体的事例としては、日本の取引慣行の象徴と言われ、流通系列化の進んでいる化粧品業界をとりあげ、同業界における再販売価格維持の実態とそれに対する行政や司法の判断を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

- (i) 日本の化粧品流通における価格問題
 - ①日本の化粧品流通と再販問題の歴史的検討
 - ②日本の化粧品流通の現状と再販維持の実態
 - ③化粧品流通の特殊性について
- (ii) 化粧品価格問題の過去の実例とその経緯
 - ①「対面販売の義務づけ」(資生堂事件)
 - ②「卸売行為の禁止」(花王事件)
 - ③「店別契約」(マックスファクター事件)
 - ④「ブランド別契約」(資生堂排除勧告)
- (iii) 欧州の化粧品流通と EC 競争法の対応
- (iv) 米国の化粧品流通と反トラスト法の関係
- (v) 日本の化粧品流通に対する公正取引委員会の対応と問題点
 - ①日本の独占禁止法と公取委の実情
 - ②公取委による独禁法の運用の問題点
 - ③その解決—政策提言—独禁法改正

履修上の留意点

現代の化粧品流通とディスカウントの実態に興味があり、その実態を探ることにより問題点を発見し、その解決を図ろうとすることを考えている学生の受講を期待する。

成績評価の方法

2/3以上の出席日数を満たさない者は基本的に不可。定期試験の成績と課題レポートの内容により総合的に評価する。再試験はなし。

教 科 書

特になし。プリントを配布し教材として使用する。

参 考 書 等

講義内容やテーマにより紹介する。

そ の 他

講義を中心に行うが、一般討論形式も予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代産業事情Ⅲ(前期)	代 田 純 <small>しろ た じゆん</small>	経A・商・経B3・4選	2

講義のねらい

野村証券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村証券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

科 専
目 門
教 教
育 育

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変更されることもある。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

教科書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2002年を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	浅 野 克 巳 <small>あさ の かつ み</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

演習Iでは『日本経済と産業』をテーマとして以下の内容を検討しよう。
現在、日本の実質GDPは520兆円である。もし90年代の停滞がなければGDPは一体どれだけになっているのだろうか。「失われた10年」の原因を解明するために、日本経済システムの特徴、あるいは日本企業システム、メインバンク・システムの機能、あるいはコーポレート・ガバナンスの仕組み、さらに企業行動の特徴、あるいは産業組織の実態などを近年著しい発展を遂げている「産業組織の経済理論」を参照しながら、さまざまな統計資料を使ってできるだけ現実に則し勉強し、日本経済の再生に向けて21世紀の新たなビジョンを描いてみよう。

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

長岡・平尾『産業組織の経済学』日本評論社、1998年。
ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』NTT出版、1997年。
小田切宏之『企業経済学』東洋経済新報社、2000年。

参考書等

内閣府『経済財政白書』。その他の資料については授業の中で指示する。

その他

卒業研究 有

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

演習（ゼミナール）の内容：テーマは「市民と経済学」である。
現在のわたしたちの社会は「市民社会」といわれている。そしてこの社会は「資本主義」をその根幹にもっているものでもある。そこで、この「資本主義」にのっとった「市民社会」はどのようなものなのか、「資本」という「利潤」追求を本質に持つ体制と、「市民」という「自由・平等・博愛」を基盤に持つ人間の在り方との比較を通じて、この問題にアプローチしてみようと思う。特に現在はこの問題がある特定の国のレベルを越えてグローバルな次元で展開していることを考えるとき、わたしたちはこれらの問題に接近していくためには広い視野をもって臨まなくてはならない。

講義の内容・授業スケジュール

この「演習 I」は2年次生が対象であるので、出発点として世界史的観点を身につけることを課題とする。その上で、参加者各人の固有のテーマを設定し、12月には各自の研究の発表を行うと共に論文として提出し、ゼミナールの機関誌『アルファ』に掲載するものとする。

履修上の留意点

ゼミナールの行事は「阿部ゼミ」全体で企画・施行するが、そのようなものとしては次のものがある：
* 春と夏の合宿 / * 10月のゼミナール対抗ソフトボール大会
* 論文発表大会 / * その他コンパ等

成績評価の方法

ゼミナールであるから参加者各自の自立した研究発表が評価の基準になるが、論文発表会に参加しないものは単位が取得できない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	荒木 勝 啓 <small>あらかき よしひろ</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

経済変動や教理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低 DTP（デスクトップパブリケーション）の方法を習得させる。すなわち①編集方法（Page Maker、Quark Express）②グラフィックス（Illustrator）③レタッチ・修正（Photoshop）を習得させる。ゼミ生は課題として、2年次後期から DTP 検定2種試験にチャレンジする。演習Ⅱからは Extd を使いシミュレーションモデル構築を行なう。

成績評価の方法

検定試験への挑戦と出席点。

教科書

指定なし。ただし必要な場合指示する。

その他

Macintosh 教場を使う。サブゼミ（金曜6:00より）で、C 言語をマスターする。例年ほぼ完全に修了している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	飯 田 泰 之 <small>いい だ やす ゆき</small>	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

2年次はミクロ経済学・マクロ経済学に関する平易なテキストを「自力でまとめ」「報告する」ことを中心に演習を進めていく。発表の際にはレジュメ・Power Point等の使用法、プレゼンテーションの手法など技術的な側面についても時間をかけて指導するつもりである。より説得的な発表を行うためにはテキスト中の図や統計資料を自力で情報収集し複製・発展させる技術が必要である。そのためのExcel等の使用法についてはそのつど講義形式で補完することにした。

履修上の留意点

「経済原論Ⅱミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

本演習は本年度より開講される新しいゼミである。学習の進め方のみならず行事・雰囲気まで、その構築は全て諸君に任されていると言って良い。積極的に「ゼミを作って」いこう！

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	石 川 純 治 <small>いし かわ じゆん じ</small>	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」の両者の関係において学習することが基礎にある視点です。社会・経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。したがって、会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力を得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

まず財務会計の基本テキストを学習し、その後、中級・上級のテキストへとレベルアップします。中級・上級では財務諸表論、米国会計基準・国際会計基準が学習内容となります。さらに、それらをより高い次元から見通す力を養うため、「時事会計」では新聞・雑誌・小論文の学習を行います。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

その都度指示します。

参考書等

『日本の論点 2003』（文藝春秋）。その他、必要に応じて指示します。

その他

国家試験に挑戦する意欲ある学生、世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生が歓迎されます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	いし かわ ゆう し 石 川 祐 二	経A・商2選	4

講義のねらい

企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点を、共に養いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Ⅰでは、会計に関する基礎知識を身につけることを目的としている。特に、会計に関わる現象を捉える上で不可欠な、基礎的な用語・概念を中心に取り扱う。基本的には、テキストを中心に、報告とディスカッションを行いたい。また、計算方法などの技術的な側面の学習に関してもフォローしていく。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってほしい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教 科 書

初回の演習時に指示する。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

そ の 他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	いわ なみ ふみ たか 岩 波 文 孝	経A・商2選	4

講義のねらい

近年の急速なIT革新の進展や企業活動のグローバル化に伴って、事業の再構築がグローバルに展開されています。ここでは、企業間ネットワークと経営システムをテーマとして、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深めていくことを目指していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習へ向けて、自らの課題を発見し、積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営に関する興味・関心を持ちゼミナールに参加してほしい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加などの平常点による総合評価を行います。

教 科 書

開講時に指定します。

参 考 書 等

必要に応じて指定します。

そ の 他

演習Ⅲ履修時には「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	大石雄爾	経A・商2選	4

講義のねらい

21世紀を迎えた現在、日本経済は今なお90年代から続いた不況を脱け出していない。この深刻で長びく不況は、バブル経済がなぜ生じ、そしてなぜはじけたのか、というナゾを解くことなしには理解できない。このゼミでは、バブル経済とその後の不況局面を研究することをおとし、日本経済の特質と今後のあり方について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では、森岡孝二他『日本経済の選択』をテキストとして、バブル経済の発生とその崩壊の理由をはじめ、日本経済がかかえる根本問題について学んでいく。また、地球環境の保護、高齢化社会のあり方、日本が多くの国に行なっている開発援助など、特に今日重要となっている問題についても立ち入って学習する。

平常の演習では、主としてテキストを中心に報告と討論を行ないつつ内容の理解につとめ、合宿において現代の興味ある経済問題について検討していく。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、その中には提出を求めた感想文などの評価も含まれる。

教科書

森岡孝二『日本経済の選択』桜井書店

参考書等

大西広他『政治経済学』大月書店

その他

「卒業研究」を併設する。
コース制との関連：いずれのコースを履修してもよい。

科
専
門
教
育
目
録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	大吹勝男	経A・商2選	4

講義の内容・授業スケジュール

情報化と現代企業の物流。現在、製造業、商社、卸売業から小売業まで、物流の合理化が叫ばれている。そして「世間」はIT革命とやりにウカレ、ノボせているが、その革命によって、企業間の電子商取引・eコマースだけではなく、消費者と企業間でもeコマースがひろがり、インターネット上での買物が日常化し、消費者のライフスタイルが一変し、また産業活動や産業構造が変化するという。そうなると、従来の商業や物流そしてそこで働く人々にどのような影響を及ぼすのかを研究しなければならない。そこで現代企業の経営戦略において重要性を増している『物流』と『情報経済化』を中心テーマとしながらこれに関連して卸売業、百貨店、スーパー、デスカウント・ストア、一般小売商、総合商社等々の今後の動向についても学習する。卒業時には、学問をした人間として、いかなる困難な問題にあってもきちっと解決することのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。また、次の詩に共感できる学生を歓迎します。

私が両手をひろげても／お空はちっとも飛べないが／飛べる小鳥は私のやうに／地面を速く走れない。

私がかからだをゆすっても／きれいな音はでないけど／あの鳴る鈴は私のやうに／たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、／みんなちがって、みんないい。(金子みすゞ作)

成績評価の方法

学年末のレポートの提出によって成績を評価する。卒業研究も併せて開講する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	お <small>ぐり</small> 栗 <small>なか</small> 崇 <small>し</small> 資	経A・商2選	4

講義のねらい

日本の企業会計制度は今、大きな転換期にさしかかっている。グローバルゼーションの影響による会計制度の大改革は会計ビッグバンと呼ばれるが、計算構造の面でもディスクロージャーの面でもこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつある。会計の学習者にとっては、従来のような勉強だけでは変化についていくことができないので大変やっかいであるが、発想を変えれば、現代経済のなかでの会計の役割や仕組みを研究するチャンスである。演習では「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Iでは、まず企業会計の基礎を理解することに重点を置き、企業会計の従来の考え方と新しい考え方を比較しながら、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。財務会計の理論を中心にディスカッションを重視してすすめるが、一方で、会計は基礎からの技術的積み上げが重要なので、簿記・会計の初心者にはまず、日商簿記検定2級、3級を取得できるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。夏季合宿やコンバ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「卒業研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教 科 書

演習の中で指示。

参 考 書 等

演習の中で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ <small>すぎ</small> 杉 <small>しゅう</small> 修 <small>じ</small> 二	経A・商2選	4

講義のねらい

本ゼミは地球温暖化問題とその解決策を考える。

1万年前に農業が発明されて、文明が始まったと言われる。この間、地球の気候は15℃プラス・マイナス1℃の間という、極めて安定した状態の間にあった。森林伐採や化石燃料の使用によって、21世紀末までに最大5.8℃の昇温がおこると予測されているが、これは文明の崩壊の可能性をはらんでいると言える。さまざまな異常気象、熱帯の伝染病や害虫の北上、巨大台風、海面上昇、国土の浸食、農業の崩壊等その影響するところは非常に大きい。これらがその他の様々な環境問題と合わせて我々を襲うだろう。

我々の文化や経済学というのは豊かさが切望された貧しい時代にできたものである。そして、経済成長はたしかに我々の生活を豊かで便利なものにした。

しかし、どんな経済活動も自然の生命維持システムという土台を離れては存立が不可能であることが今明らかになりつつある。こうした課題の前では、今までの常識、文明、経済学も全面的見直しが必要になるだろう。

この先40～50年は生きるであろう諸君にとってこれらをどうするかは避けて通れない深刻な問題であろう。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心にする。

そ の 他

ビデオを使った授業で理解を深める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	小林 正人 <small>こばやし まさと</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

この2年生の演習では、いま注目されている産業界の一つについて調査し、経済分析のおもしろさを味わうことにしたい。そのために、書籍、新聞、雑誌などの文献資料を集めて読む、報告書を作って発表する、討論やグループ作業に参加するなどの知的作業に取り組みます。また、インターネットによる情報検索、ワープロによる報告書作成にも慣れ、さらに自分のホームページを開設します。下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」にこれまでのゼミの活動が掲載されています。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

講義の内容・授業スケジュール

今年度のテーマは「IT (情報技術) 経済の歴史と現状」です。IT 経済とは、IT 産業 (コンピュータ、情報機器、半導体、ソフトウェア、情報サービス、電気通信など) や、インターネット・ビジネス、電子商取引などを中心とする経済分野のことです。

前期は、一定の文献についてみんなで議論したり、インターネットによる文献検索やワープロによる報告書作成に取り組みます。後期は、一定の文献にもとづいてグループごとの発表や討論に取り組みます。また各ゼミ生がホームページを開設し情報を発信します。

履修上の留意点

ゼミ生の自発的な発言、調査、発表が基本です。また、ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。駒沢大学総合情報センターのメールアカウント (KOMAnet のユーザー ID とパスワード) をいつでも使えるようにしておくこと。

成績評価の方法

ふだんの発表や発言を基本にして評価します。各期末にレポートを求めることもあります。

参考書等

授業中にゼミ生と相談して決めます。「テキストの候補」を、上記のウェブサイトの「ゼミのひろば」に掲載します。

その他

「卒業研究」(卒業論文のみ) を演習Ⅲで併設

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	齊藤 正 <small>さいとう ただし</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

「金融大改革と銀行業」をテーマとし、金融の仕組みがどのように変化しているのか、それともなっていて銀行業務がどのように変化しているのかを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

IT (情報通信技術) の発展が金融業務を大きく変え、ヘッジファンド、デリバティブなどの聞き慣れない用語を新聞紙上で目にすることが多くなりました。いまや金融業務は「資金の貸借」という意味だけではとらえきれない大変革の時代にあり、銀行業務も大手銀行を中心に、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務からデリバティブや M&A (合併) の伸介へと大きく変貌を遂げています。

演習Ⅰでは、金融業務の大変革をもたらしている「グローバル競争」のあり方を眺めながら、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務が現代経済において、どのような意味で重要であるのかを考えます。

履修上の留意点

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教科書

建部正義『はじめて学ぶ金融論』大月書店

参考書等

日本銀行『わが国の金融制度』
日本経済新聞社『経済新語辞典』(毎年、新版が発行されています)

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	里 中 恆 志 <small>さと なか つね し</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

この演習は2年次生を対象とし、副表題を「財政学」とする。わが国経済はバブル崩壊後の不況からくる財政収入の減少、国債の大量累積、就職難と失業の増加、人口高齢化にともなう年金財政の逼迫等と大きな問題に直面している。世界の経済大国であるわが国は、過去にどの国も経験したことのない大規模で、グローバルな経済問題にいやおうなしにかかわらねばならない。わが国の財政運営の舵取りも未知の経済問題に遭遇している。これからの財政問題に取り組むためには従来の財政思想の限界を理解し、さらに発展させることが必要である。

講義の内容・
授業スケジュール

近代経済理論のなかから財政理論の学習に必要な部分の基礎知識について理解するために、質問応答方式や練習問題訓練により授業を進める。

履修上の留意点

「財政学」、「財政政策」、「地方財政論」、「マクロ経済学」、「国民所得論」、「行政法」等の関連科目の履修が望ましい。

成績評価の方法

平常点により評価する。演習は参加することが重要であるから、出席を重視する。

教 科 書

最初の授業で指定する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	しみず たかし 清水 卓	経A・商2選	4

講義のねらい

当ゼミは、ヨーロッパ経済を中心としたゼミです。とはいっても、ヨーロッパは大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、各種のブランド品やサッカー、F1への興味やら、欧州連合（EU）の統一通貨ユーロ、スウェーデンの福祉社会など興味の対象はつきません。ですから、3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかり自己表現できるようになることを目指します。

担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などを行います。ゼミの中心は参加者学生の自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場になりたいと思います。

今後数年でEUに参加してくる中・東欧諸国、構成メンバー国数の増加に対応してのEU自体の機構改革、EU憲法制定への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

演習Iでは、ヨーロッパ経済とEUについての基礎的文献・資料をじっくりと学びます。自分なりの考えを分かりやすく他のメンバーに伝えられるようになるために、要旨を発表する形式で行います。見学（昨年は日本銀行、貨幣博物館）などの行事をしたり、春と夏には、楽しい合宿をやりませう。

科 専
目 門
教 教
育 育

履修上の留意点

大学生の時は大いに遊ぼうと言う人も、短い大学生活だから、将来につながるようしっかりと勉強しようという人も、歓迎ですが、私としては、「よく学びよく遊べ」をモットーにしたいと思っています。何事につけ前向きに取り組もうとする姿勢がほしいですね。

それと、昨年から、基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TOEFL、TOEICの資格に挑戦するように呼びかけています。

成績評価の方法

平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

教科書

（田中、長部、久保、岩田『現代ヨーロッパ経済』、有斐閣、2,500円）

参考書等

授業で紹介する。

その他

「卒業研究」併設。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	しろ た じゅん 代田 純	経A・商2選	4

講義のねらい

このゼミ（代田ゼミ）では、金融をゼミのテーマにします。金融は不良債権問題に示されるように、今や経済の最重要領域である、と言っても過言ではありません。ゼミでは、この金融について、基礎から現状まで学びます。

講義の内容・授業スケジュール

まず2回生では、基礎をしっかり学ぶことが大事です。このために、4～7月ではマクロ経済と金融の関連がわかるような、新書程度を取り上げて勉強しましょう。9～12月に、すこし基礎から現状へとレベルアップしましょう。

夏合宿は9月中旬を予定しています。

履修上の留意点

金融の基礎がわからない人でも歓迎します。ただし出席が前提です。

成績評価の方法

まず出席が重視され、ゼミでの発表や発言などから平常点で評価する。

教科書

ゼミ生と話し合って決めるが、昨年は『日本経済入門』（日経文庫）。

参考書等

『金融入門』（日経文庫ベーシック）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	すずき のぶ 伸 枝 鈴木 伸枝	経A・商2選	4

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

二年生のうちは、公共経済学の理論の基礎となるミクロ経済学もしくはゲーム理論のテキストの輪読を中心とします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

その他

ゼミ中は禁煙とします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	せとわか ひろし 瀬戸岡 紘	経A・商2選	4

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応した経済、社会、経営などにかんする学習と研究の基礎的能力をやしなうとともに、そうして習得したものを、話す力、書く力を高めることによって、実際にうまく表現できるようにすること。何を学習・研究の対象としてとりあげるかは、受講者の希望によります。かなり幅広くとめているのが当ゼミの特徴です。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの大学（なかでもシカゴ大学）の演習の方式を採用したゼミです。受講者の学習に有益な材料をふんだんに提供し、ゼミ生はそれらを活用し、相互に実践をとおして体得します。前半期は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのしかた、レジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたの習得が主になります。パソコンについては、ゼミ開講後半年以内に全員がひととおり使いこなせるまで徹底的に講習します。後半期は、グローバル化時代の特質と諸問題にかんする書物の輪読と討論が中心になります。ゼミで身につけた能力を上級のゼミ生とともに活用してみる場としてサブゼミ活動が、また、他大学の学生との交流をとおして学ぶ場として日本学生経済ゼミナールへの参加が、さらに、海外（とりわけアメリカ）の学生との交流と討論をとおして楽しく学ぶ場としてインターネットと遠隔授業がおこなわれます。そのほか、工場見学など多彩なイベントが用意されています。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は本人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。

その他

このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページにアクセスしてください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~Setooka>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	そ が のぶ たか 曾 我 信 孝	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

マーケティングの概念を明確にし、マーケティングで展開される諸政策を学習する過程で、問題の発見の方法、分析の方法、討論の方法などを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

マーケティング、流通関連の教科書を指定し、章単位程度に分割し、受講生に発表してもらう。残り時間を討論にあてる。11月末に他学年との合同ディベート大会を開催する。ディベート大会の課題発表（10月上旬）後は、グループ研究が中心になる。

成績評価の方法

出席状況（合宿参加も含む）、発表要旨（レジュメ）、ゼミ行事への取り組みなどで総合評価する。

教科書

春合宿時に決定する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ちよん ちやん よん 鄭 章 淵	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN 3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行形態的発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

東アジア経済に関する基礎知識を身につけるため、次の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

大野健一・桜井宏二 著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税

また、夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

その他

4年次に「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	徳 永 俊 明 <small>とくながとしあき</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参 考 書 等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

そ の 他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	友 松 憲 彦 <small>ともまつよしひこ</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

この演習は経済史の入門を課題としています。現在経済はどのように生まれ、いかなる特徴や問題を持ち、今後どの方向に変化していくのか、経済史はこうした問題を人類の過去の経済活動の軌跡を研究することによって明らかにする学問です。経済史という学問の課題と方法の理解につとめます。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では現在の世界や日本のさまざまな「経済問題」について研究します。すべての「経済問題」には歴史があります。現在を歴史としてみる眼を養います。また文献や資料を探し、レポートを書き、研究結果を発表し、議論をする、といった学問研究の技術を習得することにも努めます。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

①年度末のレポート②平常点（レジュメ、報告、討論の状態）③出席で評価。

そ の 他

卒業研究を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	なが すみ みつ おき 中 濟 光 昭	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

経済を情報の観点から研究していきます。具体的なテーマとしては、インターネットマーケティング、ネットワークを活用した流通システム、サプライチェーンマネジメント、デジタル情報の著作権問題、電子決済があります。コンピュータに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習などをテーマとしています。このゼミでは、パソコンを活用した情報リテラシー向上のための演習を行います。また、課外活動も重視しています。合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など、様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は、情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 担当者のシステムエンジニア時代の経験を活かした指導を行います。
- ・テーマの決め方、資料の探し方、レポートの書き方（アウトライン、レジュメ作成）
 - ・レポーティング実習、発表の仕方
 - ・各自設定したテーマについてレジュメ作成、発表

履修上の留意点

- ・合宿、課外イベント、サブゼミは、原則として出席していただきます。資格取得の自主ゼミも皆さんの希望によって実施しています。積極的なゼミ活動を期待しています。
- ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。今、ワープロが出来なくても、身につけたいという意欲のある人は歓迎します。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教 科 書

別途指示

参 考 書 等

別途指示

そ の 他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。演習Ⅲでは、卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	橋野知子 <small>はしのともこ</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

〈近代日本経済史の研究〉過去における選択が現代の経済社会にどのような影響を与えているのでしょうか？このゼミナールでは日頃我々が抱く疑問を解く鍵を経済史の中から発見する方法や考え方を学び、そのおもしろさを味わうことを目標とします。また、歴史を視るには、私たち自身が現代をどのように認識するかという、同時代人としての視点が不可欠です。よって、歴史だけではなく現代日本の経済問題も同時に考察していくこととします。なお、卒業研究を併設します。

講義の内容・
授業スケジュール

日本経済史の諸分野を分析する基礎を養うと同時に「社会科学とは何か」という問題を考えたいと思います。その過程で論文の読み方、発表・報告の仕方、議論の進め方、レポートの書き方、データベースソフトを利用した分析などといったスキルを身につけましょう。受講決定者には、ゼミの先輩からゼミ活動のイロハを早速学んでもらいます。

履修上の留意点

日本経済史に興味がある学生を歓迎します。同時に、ゼミという組織の形成に積極的に参加し、そのなかで自分を成長させようという強い意志と根性、仲間を思いやる心を持った学生を歓迎します。時間にルーズな方、約束を守れない方は御遠慮下さい。

成績評価の方法

平常点ならびにゼミ活動（時間内・時間外）への貢献度。

教 科 書

受講決定直後のガイダンスや第一回目のゼミで話し合った上で決定します。

参 考 書 等

必要に応じて随時紹介します。

そ の 他

演習Ⅱ、Ⅲの紹介も必読のこと。週に一度のゼミだけでなく、学年の枠を越えてゼミ活動を展開するのが「橋野ゼミナール」の特徴です。これまで年間1・2回の合宿、企業・工場や博物館の見学、日本大学商学部砂川ゼミナールとの合同ゼミ・合宿（小グループを作り、グループごとにフィールド調査・勉強会を進め、その報告会を合宿で行う）などを進めてきました。また全てのゼミナリストン（ゼミ生）がゼミ内の係の活動を通じて、活発で円滑な組織を形成・運営しています。また学内の他のゼミとの交流も深めています。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	ひやく た よし はる 百 田 義 治	経A・商2選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなテーマに取り組みます。

- ①メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
- ②企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？
- ③いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？
- ④なぜ、企業は海外進出するのか？ 経営が国際化するなかで異文化との共生には何が必要なのか？
- ⑤企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？ などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	福原好喜 <small>ふくはらのが</small>	経A・商2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

〔社会科学方法論研究〕 このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスかゼミのヨットで操縦訓練を行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。ヨットもテニスも初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。春秋年2回、2・3・4年ゼミ、全メンバーによる駒沢公園一周のマラソン大会とそれに続く合同コンパが恒例行事となっている。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛錬に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しかるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎むこと

履修上の留意点

「卒業研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ふる 古 沢 紘 造	経A・商2選	4

講義のねらい

2年演習〔アフリカの社会と文化I〕
アフリカを知るおもしろさは、混沌とした世界にあるようだ。生活様式一つを取ってみても狩猟採集、遊牧、農耕というように実に多様だ。こうした異質な社会を理解することによって、私たちのものの見方、考え方を問い直す契機となれば得るものは大きい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①次のテーマについて研究発表を行う。
 - A 多様な人間社会（ライフスタイル）
 - 1 狩猟採集民 2 牧畜民 3 農耕民 4 都市民
 - B 多様な人間関係
 - 1 通過儀礼（大人と子ども） 2 親族（身内とよそ者） 3 経済活動（贈与と交換） 4 宗教と権力（まつりとまつりごと）
- ②アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
- ③演習をアクティブなものとするため、楽しい企画（アフリカ・フェスティバル、コンサート、映画祭、サッカー大会）にチャレンジする。

成績評価の方法

研究発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科 専
門 教
目 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ほり 堀 龍 二	経A・商2選	4

講義のねらい

労務管理論に関する基本的知識の獲得や問題意識の涵養をねらいとしています。とくに現代日本の労務管理はいま大きく変化してきています。従来の労務管理がどのような特徴と構造をもっていたのか、それがなぜいま、どのような方向へ変化してきているのか。こうした問題を考えるのに有用な知識を修得してもらうのが課題です。

講義の内容・授業スケジュール

適当なテキストを用いながら、それを輪読し、また担当を決めて要旨を報告してもらうといった方法で知識を修得するとともに、ゼミとしての共通の認識を養ってもらう。また、基本的な統計資料の利用といった学習スキルの向上も図っていく。後期にはグループを作り、グループごとにテーマを決め、グループ内での下調べをもとにゼミで報告する方法も予定しています。

履修上の留意点

労務管理論に関する基本的知識の修得が主眼とはいえ、ゼミでの私の説明、他の人の報告、そこでの議論において、理解しにくいと感じたことをうやむやにしないで、質問する姿勢を大切にしてほしい。つまり積極的な発言を期待しています。

成績評価の方法

基本的に日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

教 科 書

現在検討中で、初回ゼミまでに決定します。

そ の 他

夏休みなどを利用して合宿を行う予定です。演習Ⅱ・Ⅲまで引き続き履修した場合には、演習Ⅲ履修時に「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	みつ おか ぼく み 光 岡 博 美	経A・商2選	4

講義のねらい

演習Ⅰでは、現代日本の労働問題や社会保障を研究するための準備として、これらの分野に関する基礎的な学習を行うこととします。具体的には、参加者と相談しながらテキストを決定し、毎時間レポーターによる報告と討論を積み重ね、確実にテキストの内容が理解できるように努力します。1年間で、できるだけたくさんテキストを読んでいく予定です。ゼミ参加者は、毎時間きちんと出席し、同時に、自分自身がどのようなテーマで今後の研究を行っていくのかを考えて下さい。(例えば、「日本の労使関係」、「女性労働問題」、「日本の社会保障・福祉」)なお、春と夏にはゼミ合宿(2泊3日程度)を行います。強制はしませんが、ゼミ内での親睦を深め3、4年生のゼミ生との交流の場とします。多数の参加を期待します。

履修上の留意点

通常の講義とは違って、演習は参加者自身が協力し、全員の努力で充実したものとなります。教員の話を一方向的に聞くのではなく、全員が発言し、活発な討論を期待します。

成績評価の方法

成績は(1)出席(2)レポーターとしての努力や工夫などを総合的に判断して評価します。通常の講義のような筆記試験は行いません。

教 科 書

演習参加者の意見や要望を参考にして決めたいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計	経A・商2選	4

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス(農業・食料関連産業)の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思っています。演習Ⅰでは、特に、問題のイメージを豊かにすることを重視します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にしてください。“みんな違ってみんないい”でいきましょう。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教 科 書

ゼミ生の希望を聞いて決定します。

参 考 書 等

必要に応じて紹介します。

そ の 他

演習Ⅰ、演習Ⅱの履修者には、演習Ⅲで「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	もり おか じん 森 岡 仁	経A・商2選	4

講義のねらい

21世紀を迎えた日本の経済と人口の成長は引き続き低水準にある。社会保障・人口問題研究所の平成14年推計によると、日本の人口は2006年の1億2,800万人をピークに、その後は減少すると予測されている。出生率の低下による影響は多方面に及び、人口高齢化とともに国民の関心は高いが、特に近年では社会保障との関係で出生率の動向が注目されている。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では経済人口学の立場から、わが国における人口の少子化や高齢化が経済に対してもつ相互の関係を明らかにする。

履修上の留意点

休まず出席することが演習履修の第一条件である。

成績評価の方法

平常点

教科書

大淵寛『少子化時代の日本経済』、日本放送出版協会。

参考書等

演習の中で適宜紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	経A・商2選	4

講義のねらい

会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。会計学の領域は大きく財務会計と管理会計とに分けられる。本演習では、財務会計の基礎理論を学ぶことを目的とする。財務会計とは、投資者、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。さらに、このような外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをベースとして、財務会計および監査の領域に属する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。必要に応じて簿記の学習（日商簿記検定試験3級程度）を取り入れることもある。1年間の演習の終了時にはレポートの提出を課す予定である。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。

成績評価の方法

いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかに報告内容（レジュメを含む）、レポートなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教科書

新井清光『現代会計学（第6版）』（中央経済社）2,500円

参考書等

演習時に適宜紹介する。

その他

演習Ⅲに「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やしき 谷 敷 正 光	経A・商2選	4

講義のねらい

テーマ〔日本経済発展史入門〕
2年生の演習は日本経済、日本産業の驚異的成長はいかにして可能だったのか、日本経済の発展過程と経済システムを明らかにしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕は、戦前・戦後の日本経済発展の理解や事実認識の手助けとして、和田英『富岡日記』、山本茂実『あゝ野麦峠—ある製糸工女哀史』、中村隆英『昭和恐慌と経済政策』、邦光史郎『トヨタ王国』、木下英治『東急王国』などの小説や「あゝ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和史」などの映画、「金融恐慌日本を揺るがす」「乗用車ゼロからの出発」などのビデオを教材として使用して班別課題発表やプレゼンテーションの練習をします。

〔後期〕は、前期に学んだ「題材」(テーマ)にかかわる学術論文を読み進めたり、基礎的文献を教材に日本資本主義の形成期、産業資本確立期、独占資本主義確立期を中心に日本経済の発展過程や経済システムを班別課題発表やプレゼンテーションで明らかにしたいと思います。

〔授業以外〕に夏休み、春休みを利用して合宿を行い、集中的研究を行う他、ソフトボール、ボーリング大会、旧跡めぐりなどを行い、ゼミ員の親睦をはかることにしています。

履修上の留意点

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

出席を基本に、常日頃の発表やレポートなどで総合評価します。

教 科 書

山本弘文『近代日本経済史』(有斐閣)

参 考 書 等

速水融、宮本又郎編『日本経済史(全8巻)』(岩波書店)
『日本歴史大事典(全4巻)』(小学館)

そ の 他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので希望する人は履修することができます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やす もと 安 元 稔	経A・商2選	4

講義のねらい

初めて経済史を勉強する諸君に、「経済史」という学問領域の特色・経済史的なものの見方・経済史の面白さを知ってもらうことがこの演習の主なねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを選び、それぞれ分担して要約・疑問点・興味を持った点を報告してもらいます。学術用語・概念を調べ報告してもらうこともあります。

履修上の留意点

なじみのない学術用語・概念が多く出て来ますので、その都度億劫がらずに図書館で調べることが必要です。

成績評価の方法

日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教 科 書

E. L. ジョーンズ著『ヨーロッパの奇跡』(名古屋大学出版界)

参 考 書 等

適宜指示します。

そ の 他

「卒業研究」は実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	山 ^{やま} 縣 ^{がた} 弘 ^{ひろ} 志 ^し	経A・商2選	4

講義のねらい

比較経済論研究の入門

講義の内容・授業スケジュール

専門的学習・研究へ向けての入門的トレーニングを行う。国際的な視野を獲得し、卒業時に各自のテーマで論文作成することを目標とする。2年次においては、(1)社会科学の文献に慣れる、(2)論理的思考を育てる、(3)プレゼンテーションを経験する、(4)問題意識を明確にもつ、(5)世界経済の全体像をイメージできるようにする、(6)国際的な比較の視点を常に意識する、を主な柱として授業を組み立てる。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教科書

岡沢憲美『スウェーデンの挑戦』
西川潤『世界経済入門』
石弘之『地球環境報告』
暉峻淑子『豊かさとは何か』
以上岩波新書

その他

非喫煙者が望ましい。
「卒業研究」有。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	吉 ^{よし} 野 ^の 紀 ^{おさむ}	経A・商2選	4

講義のねらい

総合情報センターの機材を使いながら、金利と利回りの話や、現在価値に割引く考え方を導入点として、成長率、成長モデルなどテーマを徐々に拡大し、自らシミュレーション（模擬実験）を行えるよう指導してゆく。結果はフロッピー・ディスクに保存しておくので、後で自分で自由に拡張してゆくことができるであろう。

成績評価の方法

日常の授業姿勢を評価の基準とする。

参考書等

蓑谷千風彦他『パソコンによる数量分析』（数量経済分析シリーズ第6巻）多賀出版。

その他

「卒業研究」併設。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	よしだ けいいち 吉田 敬一	経A・商2選	4

講義のねらい

この演習は日本経済分析の入門を基本課題としています。
バブル崩壊後の日本経済は長期にわたって深刻な不況に喘いでいます。90年代の世紀末大不況は単純な循環性の不況ではなく、日本経済の構造とりわけ日本型生産システムの抜本的再編成に基礎を置く「構造転換不況」として把握する必要があります。そこで本演習では、21世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。
また、以上の内容の共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観（ものの見方・考え方）を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が必要不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。

履修上の留意点

- ①ゼミ活動（合宿やイベント、コンパなど）に積極的に参加し、各種の役割分担を主体的に引き受けること。
- ②無断欠席・遅刻は厳禁。
- ③演習での議論にアクティブに関与すること（ゼミは講義の延長ではなく、ゼミ生が中心となり運営するもの）。

成績評価の方法

出席状況、平常点（レジュメ、報告内容、討論への参加度など）およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書

最初の演習の時間に指示します。

参考書等

演習を進める中で適宜に紹介します。

その他

演習Ⅲでは「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	あかの かつみ 浅野 克巳	経A・商3選	4

講義のねらい

演習Ⅰの継続として以下の内容を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴
2. 日本の企業と産業組織
3. 日本の企業システム
4. 市場と取引コスト
5. 情報の経済分析
6. ネットワーク外部性
7. 巨大企業の誕生と「収穫逓増」の波
8. 技術進歩と研究開発
9. 知的財産権と企業
10. 構造改革と日本経済
11. メインバンクシステムと資本市場
12. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

長岡・平尾『産業組織の経済学』日本評論社、1998年。
ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』NTT出版、1997年。
小田切宏之『企業経済学』東洋経済新報社、2000年。

参考書等

内閣府『経済財政白書』。その他の資料については授業の中で指示する。

その他

卒業研究 有

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	阿 部 弘 ^{あべひろし}	経A・商3選	4

講義のねらい

演習（ゼミナール）の内容：テーマは「市民と経済学」である。
現在のわたしたちの社会は「市民社会」とあるといわれている。そしてこの社会は「資本主義」をその根幹にもっているものでもある。そこで、この「資本主義」にのっとった「市民社会」はどのようなものなのか、「資本」という「利潤」追求を本質に持つ体制と、「市民」という「自由・平等・博愛」を基盤に持つ人間の在り方との比較を通じて、この問題にアプローチしてみようと思う。特に現在はこの問題がある特定の国のレベルを越えてグローバルな次元で展開していることを考えると、わたしたちはこれらの問題に接近していくためには広い視野をもって臨まなくてはならない。

講義の内容・授業スケジュール

この「演習Ⅰ」は2年次生が対象であるので、出発点として世界史的観点を身につけることを課題とする。その上で、参加者各人の固有のテーマを設定し、12月には各自の研究の発表を行うと共に論文として提出し、ゼミナールの機関誌『アルファ』に掲載するものとする。

履修上の留意点

ゼミナールの行事は「阿部ゼミ」全体で企画・施行するが、そのようなものとしては次のものがある：
* 春と夏の合宿 / * 10月のゼミナール対抗ソフトボール大会
* 論文発表大会 / * その他コンパ等

成績評価の方法

ゼミナールであるから参加者各自の自立した研究発表が評価の基準になるが、論文発表会に参加しないものは単位が取得できない。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	荒 木 勝 啓 ^{あらかきよしかつひろ}	経A・商3選	4

講義のねらい

経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低DTP（デスクトップパブリケーション）の方法を習得させる。すなわち①編集方法（Page Maker、Quark Express）②グラフィックス（Illustrator）③レタッチ・修正（Photoshop）を習得させる。ゼミ生は課題として、2年次後期からDTP検定2種試験にチャレンジする。演習ⅡからはExtdを使いシミュレーションモデル構築を行なう。

成績評価の方法

検定試験への挑戦と出席点。

教科書

指定なし。ただし必要な場合指示する。

その他

Macintosh 教場を使う。サブゼミ（金曜6:00より）で、C言語をマスターする。例年ほぼ完全に修了している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	飯田 泰之	経A・商3選	4

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標とした。

講義の内容・授業スケジュール

3年次はミクロ経済学・マクロ経済学の基礎知識を用いて現実経済を分析した著作を「白力でまとめ」「報告する」ことを中心に演習を進めていく。発表の際にはレジュメ・Power Point等の使用法、プレゼンテーションの手法など技術的な側面についても時間をかけて指導するつもりである。これらの知識を元に基礎的な統計・計量分析のツールとデータ探索の方法を学習し、世界経済・日本経済から株式市況・企業業績などの個別的な話題などの特徴を統計的に整理できるようになることを本演習の目標とした。

履修上の留意点

「経済原論Ⅱミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

本演習は本年度より開講される新しいゼミである。したがって、経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	石川 純治	経A・商3選	4

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」の両者の関係において学習することが基礎にある視点です。社会・経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。したがって、会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力を得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

まず財務会計の基本テキストを学習し、その後、中級・上級のテキストへとレベルアップします。中級・上級では財務諸表論、米国会計基準・国際会計基準が学習内容となります。さらに、それらをより高い次元から見通す力を養うため、「時事会計」では新聞・雑誌・小論文の学習を行います。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

その都度指示します。

参考書等

『日本の論点 2003』（文藝春秋）。その他、必要に応じて指示します。

その他

国家試験に挑戦する意欲ある学生、世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生が歓迎されます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	石川 祐二 <small>いしかわ ゆうじ</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点を、共に養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱでは、特に管理会計に関わる種々の技法を取り上げることとする。とりわけ、近年の管理会計研究上の議論の中心となっている技法に焦点を当てて、その意味を考えたい。さらに、その学習をつうじて、ゼミ生が各自のテーマを見つけだし、深く掘り下げていくための基礎固めをしたい。それにより、卒業研究に向けた足がかりを築くことを目指すものである。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書

初回の演習時に指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

専門
教育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	岩波 文孝 <small>いわなみ ふみ たか</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

現代の企業は急速なIT革新の進展や企業活動のグローバル化に伴って、グローバルな事業の再構築を展開しています。近年では、企業合併もダイムラーとクライスラーのようにグローバルなレベルで展開しており、それが業界再編を加速しています。その一方で、わが国では、「バブル経済」崩壊以降の不況下で、経済破綻や不法融資などによる経営の行き詰まりなどの問題も続出しています。本演習では、企業間ネットワークと経営システムをテーマとして、現代企業経営の課題を多面的に検討していきたい。また、コーポレート・ガバナンスの構造についても検討していきたい。これらを通じて、現代の企業経営に関わる問題意識を深めていくことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習へ向けて、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて指定します。

その他

演習Ⅲ履修時には「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	大石雄爾	経A・商3選	4

講義のねらい

2年次の演習Ⅰでは現実の経済問題について幅広く学んだ。それをふまえて、この演習では市場経済の進歩的側面とそれが抱える問題点について考える。

講義の内容・授業スケジュール

市場経済とは資本主義的商品経済のことである。今では、世界中のほとんどの地域が市場経済に組みこまれている。そのため、私たちがこの世界でより良い暮らしを実現するには、市場の運動法則やその仕組みを正しく理解することが必要となる。

マルクスの『資本論』は、この複雑な仕組みを、一般的なことからより具体的なことからへと、ナゾ解きにも似た推理でみごと明らかにした。マルクスといっしょにミステリー感覚で考えながら、市場経済の原理や法則を自分のものにしていく。

平常の演習では、『商品の価値と価格』について報告と討論を行ない、1年間かけて読んでいく。合宿では、その応用として、国際経済・経済援助などに関するテキストを用いて学習する。

専科
専門
教育
目

成績評価の方法

原則として平常点であるが、その中には提出を求めた感想文などの評価も含まれる。

教科書

大石雄爾『商品の価値と価格』創風社

参考書等

カール・マルクス『資本論』新日本新書

その他

「卒業研究」を併設する。
コース制との関連：いずれのコースを履修してもよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	大吹勝男	経A・商3選	4

講義の内容・授業スケジュール

『情報化』と現代企業の『物流』。前年度の学習成果をふまえて、日本企業の『物流』についての研究を一層深めることを課題とする。価格及び企業利益への影響は勿論のことですが、特に、労働者・サラリーマンへの影響つまりは消費者に与える影響等々について研究をすすめていきたいと思います。

成績評価の方法

学年末のレポートの提出によって成績を評価する。卒業研究も併せて開講する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	小栗崇資	経A・商3選	4

講義のねらい

演習Ⅰと同じねらい。演習Ⅱでも引き続き「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱでは、演習Ⅰに引き続き、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。テキストを中心にディスカッションを重視してすすめるが、3年生後半には各自が研究テーマをもって学生自身で調査・研究を進めるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。夏季合宿やコンパ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「卒業研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

専門教育
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	國島弘行	経A・商3選	4

講義のねらい

情報ネットワーク経営と日本の経営の革新

講義の内容・授業スケジュール

1970年代から1980年代にかけて「日本的経営」が「アメリカ的経営」に代わる新しい経営モデルとして国際的に注目され、「日本的経営」の海外移転が試みられた。そのなかで、アメリカを中心として「日本的経営」に代わる新しい経営モデルが生み出されつつある。

新しい経営モデルとは、「バーチャル企業」とも呼ばれる。オープンでダイナミックに編成される親密な企業間関係のもとで展開される企業経営のあり方である。また、マイブームや製品寿命短縮などの消費の高度化、環境問題、労働の人間化など市民生活の質の向上欲求および技術の高度化・複雑化などの経営課題に応答しようとするものであり、さらにそのなかで自律・分散型でかつオープンなコンピュータ・ネットワークとの相乗的発達を深まっている。

このような新動向は、すでに国内でも進展してきている。そこで、具体的な経営実践を検討し、整理していきたい。そして、人間にとって好ましい発展のあり方を、一緒に考えていきたい。

履修上の留意点

演習Ⅰでは教科書にそって、演習Ⅱでは各自のゼミ論テーマを順次報告してもらい、全員で討論する。毎回参加し、必ず発言し、一緒に問題点や疑問点を出しあい、考えている気持ちのある人を望みます。ニュービジネス協議会『ニュービジネス白書2002年版』（東洋経済新報社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	小杉修二	経A・商3選	4

講義のねらい

本ゼミは地球温暖化問題とその解決策を考える。
 森林伐採や化石燃料の使用によって、21世紀末までに最大5.8℃の昇温が起これると予測されているが、これは文明の崩壊の可能性をはらんでいると言える。
 我々の文化や経済学というのは豊かさが切望された貧しい時代にできたものである。そして、経済成長はたしかに我々の生活を豊かで便利なものにした。
 しかし、どんな経済活動も自然の生命維持システムという土台を離れては存立が不可能であることが今明らかになりつつある。こうした課題の前では、今までの常識、文明、経済学も全面的見直しが必要になるだろう。
 この先40～50年は生きるであろう諸君にとってこれらをどうするかは避けて通れない深刻な問題であろう。
 暗い展望が描かれそうだが、当ゼミはあくまで明るく楽しい未来を考えるための知識・思考力と学生の交流をつちかうつもりである。

また、時に応じて日本その他を例にとって、経済成長がこれまでどのようにおきてきたのかを学習する。2～3年次にかけては、環境問題、現代の労働・消費・生活・文化のいろいろな面を学習し、それらと経済成長とのかわり具合を考える。

専門教育目

成績評価の方法

出席率70%以上を中心にする。

教科書

小宮山宏『地球温暖化問題に答える』（東大出版会¥1,800）等を使う。

その他

ビデオを使った授業とデイトでメリハリをつけるようにしている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	小林正人	経A・商3選	4

講義のねらい

テーマ：「戦後の日本経済と産業発展」
 戦後の日本経済の変化や動きを深く知るためには、その中での産業の発展や企業活動の内容について詳しく調べる必要があります。しかも現在、日本の経済システムと産業システムは大転換を迫られており、その詳細な分析が欠かせません。このゼミでは、戦後日本経済の歴史や産業発展の要因について調査し、経済発展において大きな役割をした産業や企業、その産業や企業がかかえている課題などを研究します。下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」で、これまでのゼミの活動を見ることができます。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

講義の内容・授業スケジュール

前期には、一定の文献にもとづいて日本産業の歴史について全般的に調べます。
 後期では、個々の産業ないし業界について、ゼミ生ごとやグループごとに調査研究を行います。以上の調査をふまえて、4年生の演習で「卒業研究」（卒業論文のみ）を完成させます。

履修上の留意点

ゼミ生の自発的な発表、発言、調査が基本です。また、ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。

成績評価の方法

ふだんの発表や発言を基本にして評価します。各期末にレポートを求めることもあります。

参考書等

授業中にゼミ生と相談して決めます。「テキストの候補」を、上記のウェブサイトの「ゼミのひろば」に掲載します。

その他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を演習Ⅲで併設

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	さいとう とう たちし 齊 藤 正	経A・商3選	4

講義のねらい

「金融大変革と銀行の役割」をテーマに、望ましい金融システムのあり方について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

金融ビッグバンの展開後、巨大銀行同士の統合や合併、インターネット・バンキング、ソニーやヨロカ堂などによる銀行業務への参入など、金融制度は一大変革の時代を迎えています。

他方、行政は不良債権の「最終処理」なくして景気回復はないという理由から、金融機関に不良債権の早期処理をせまっていますが、広範囲に及んでいる「貸し渋り」をさらに押し進め、とくに中小企業や地域経済に深刻な影響を及ぼしています。

演習Ⅱでは、わが国における具体的金融問題を素材としながら、望ましい金融制度の再建方向について考えます。

履修上の留意点

日本社会は現在大きな変革期にあり、日本の将来をどのように描くのかという視点が求められています。金融問題を対象としながら、諸君一人一人が独自の視点を獲得されることを望みます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教 科 書

大橋・小西・齊藤・平澤・田村『日本のビッグインダストリー6 金融』大月書店

そ の 他

「卒業研究」を併設します。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	まこと なか つね し 里 中 恆 志	経A・商3選	4

講義のねらい

この演習は3年次生を対象とし、副表題を「財政学」とする。近代経済学の理論的枠組みを取り入れたかたちでの財政理論はこれまでの経済現象を解明するための有力な理論体系を含んでいた。そしてその応用としての経済安定化のための財政政策は重要な経済政策の一つであった。しかし経済社会の発展とともに今や、それらの財政思想および財政理論の限界が明らかになりつつあり、現在では新しいかたちの接近がいくつも試みられるようになっている。ここでは従来の財政思想の限界を分析するなかから、今後の財政理論の展開の可能性を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

公共財政の現代的課題を理解し、検討判断する能力を養うために現代財政を論じたテキストを使用する。輪読形式の精読により内容に対するゼミ生の共通理解を得て検討し、できるだけ多く進む。

履修上の留意点

「財政学」、「財政政策」、「地方財政論」、「マクロ経済学」、「国民所得論」、「行政法」等の関連科目の履修が望ましい。

成績評価の方法

平常点により評価する。

教 科 書

最初の授業で指定する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	清 水 卓 <small>しみず たかし</small>	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

現代ヨーロッパ問題をより体系的にとらえるため、EU 諸国の第二次大戦後の経済発展と EU 統合の歴史と現状の二つの課題を柱に、グローバル化という名のアメリカナイゼーションに対抗し、アメリカや日本とは異なる、西洋の偉大な知恵の結晶である欧州社会の固有の伝統を基礎に「ヨーロッパ・モデル」を追求している EU の動向と、我が国の「改革」路線との比較検討を踏まえて検討します。

また3年次後半からは就職活動が日程に上ってきますが、教員やゼミの先輩、ゼミ仲間の間で有益な情報交換やアドバイスが得られるように運営します。

講義の内容・
授業スケジュール

専門文献を精読と、各自のテーマ設定準備を行います。

履修上の留意点

演習 I を参照のこと。

成績評価の方法

演習 I を参照のこと。

教 科 書

演習 I を参照のこと。

そ の 他

演習 I を参照のこと。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	代 田 純 <small>しろ た じゆん</small>	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

代田ゼミでは金融について学習し、研究します。日本の金融が中心ですが、海外の金融の動向や日本との比較についても学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

4～7月においては、金融の入門書によって、金融の基礎を学ぶ。夏合宿を経て、9～12月には金融の現状分析へと進む。3年生12月には卒業論文のテーマ設定をしてもらう。

履修上の留意点

金融の基礎知識がない人も歓迎します。ただし毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

まず出席が基本です。さらにゼミでの発表、質問など発言によって日常点で評価します。

教 科 書

ゼミ生と話しあって決めますが、昨年は『ベーシック金融入門』（日経文庫）を前期に使用しました。

参 考 書 等

適宜紹介します。

そ の 他

全国学生証券ゼミナール大会などの参加も検討します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	すずき のぶ え 鈴 木 伸 枝	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックスについて「どのような問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

三年生のゼミでは、公共経済学のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。

コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

その他

ゼミ中は禁煙とします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	せとおか ひろし 瀬 戸 岡 紘	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化を分析し、自分の意見をもてる人間を養成すること。また、そういう時代を生きぬく社会的正義感をもった人間を養成することがねらいです。何を研究の対象としてとりあげるかは、受講者の希望により決定します。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの大学（なかでもシカゴ大学大学院）の演習の方式を大胆に採用したゼミです。前半期は思考に強くなるための方法、デジタル時代の学習と研究の方法、学ぶ者の社会的責任などを、ゼミ生との対話のなかで提示します。後半期は、それらを各自の関心あるテーマに実際に活用してみる活動を共同でおこない、学習の成果を確かなものにします。ゼミで身につけた能力を後輩のゼミ生を指導するという形で活用してみる場としてサブゼミが、また、それらの能力を検証する場として日本学生経済ゼミナールの東京大会、全国大会への参加が、さらに、インターネットや遠隔授業をとおしてアメリカの学生との交流をつうじた学習がおこなわれます。工場見学など多彩なイベントもゼミ生が自主的に企画実行しています。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。

その他

このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページにアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~Setooka>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	曾 我 信 孝 <small>そが のぶ たか</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

実際に企業がどのようなマーケティングを展開しているかを分析し、それらの政策がどのように評価できるのか。さらにそれらの政策に内在する問題点を指摘できる能力を育成することにならうを置いている。

講義の内容・授業スケジュール

前期にマーケティングの応用に関する文献を講読しながら、夏合宿までに問題意識とその解決方法の予備作業をしてもらう。夏合宿で、その結果を報告してもらい、検証する。後期にそれを論文にしてもらう。その論文は論文集として発行する。11月末に他学年との合同ディベート大会を開催する。

成績評価の方法

出席状況（合宿参加も含む）、発表要旨（レジュメ）、ゼミ行事への取り組みなどで総合評価する。論文集への参加は重視する。

教 科 書

春合宿時に決定する。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	田 中 浩 也 <small>たなか ひろや</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

この演習は松井柳平先生の代講であるから、松井先生が演習Iでやってこられたこととの継続性に留意しながら、演習を進めていくつもりであるが、本年度の演習においては、とくに以下の2点について理解を深め、実践することをねらいとしたい。

- ・デザインとはマーケティングと深く関わりあっており、ブランドイメージや情報伝達の基礎となるものである。
- ・インターネット上に情報を公開することはコミュニケーションの一種でもある。
- ・コンセプトをもってコンテンツを制作し、適切に情報を表現する方法を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

現代においてインターネットはもはや見過ごすことのできないインフラのひとつである。この講義では、インターネット上のWebサイト構築について、デザインやマーケティング・コミュニケーションなどさまざまな観点から解説を加え、ディスカッションしていく。その際、実際の製作実習を通してその基礎的な技術も身につける。デザインとはマーケティングの戦略であり、インターネット上に情報を公開することはコミュニケーションの一種である。また、ビジュアルでグラフィカルな表現方法はIT時代の情報伝達の最も基礎となるもののひとつである。ゼミ生各自の経済・社会への問題関心、問題意識をもとに、広い意味での経済、社会について考えていき、コンセプトをもったデジタルコンテンツの制作を実践してもらう。この演習では作品製作と自由なディスカッションに多くの時間を割き、インターネットの意味と展望について体験的に学ぶことを目標とする。その際、デザインサーベイや、プレゼンテーションの技法にも触れる予定である。

成績評価の方法

基本的には提出作品を見て授業の内容を理解しているかどうかを判断する。出席日数は補足的に判断に用いる。ただし、この授業ではソフトウェアの操作方法も扱うため、欠席された場合は、その回の内容については各自で自習してもらうことになることをご承知いただきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅱ	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	経A・商3選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行形態的発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰで身につけた基礎知識を上台に、さらに東アジア経済に関する知識を深めるため、次の文献を輪読してもらいます。

末廣昭・山影進編『アジア政治経済論』NTT 出版社2001年、3,000円＋税

また、夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

そ の 他

4年次に「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	徳永俊明 <small>とくながとしあき</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とその中での人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。

専
門
教
育
目

講義の内容・
授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法

参考書等

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	友松憲彦 <small>ともまつよしひこ</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

この演習は西洋社会経済史の研究を課題にしています。3年次にはヨーロッパやアメリカ経済史の基本文献を講読し、経済史の基礎理論や概念について学びます。

また、自分が設定したテーマについて研究を進め、卒業研究のための基礎づくりをします。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

①年度末のリポート②平常点（レジュメ、報告、討論の状態）③出席で評価。

その他

卒業研究を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	なか すみ みつ あき 中 濟 光 昭	経A・商3選	4

講義のねらい

演習Ⅰの内容を前提に、具体的なテーマを研究していきます。インターネットマーケティング、ネットワークを活用した流通システム、サプライチェーンマネジメント、デジタル情報の著作権問題、電子決済といった経営・経済のテーマに加えコンピュータに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習などの情報系のテーマを扱います。就職のための個別指導や合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など、様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は、情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 担当者のシステムエンジニア時代の経験を活かした指導を行います。
- ・文献の輪講（レジュメ作成）
 - ・レポート発表
 - ・各自設定したテーマについてレジュメ作成、発表

履修上の留意点

- ・演習Ⅱでは、後輩の指導や就職のための準備など、様々な活動が要求されます。もちろん合宿、課外イベント、サブゼミは、原則として出席していただきます。資格取得の自主ゼミも皆さんの希望によって実施しています。積極的なゼミ活動を期待しています。追加募集は若干名を受け入れます（編入学・転部生が主な対象）。
- ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教科書

別途指示

参考書等

別途指示

その他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。演習Ⅲでは、卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	橋 野 知 子 <small>はしの ともこ</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

〈近現代日本経済史の研究〉演習Ⅰで得た基本的知識をふまえて、戦前・戦後日本の経済発展を多様な角度から視て議論します。日本経済が発展する一方で、さまざまな問題が発生してきました。同時代人はこれをどう考えたのか、そして私たちはどう考えるのかを議論します。卒業研究を併設します。

講義の内容・授業スケジュール

文献の輪読を通じて理解を深める一方で、テーマや産業別に編成されたグループでの共同研究を進めます。共同研究の成果は、夏合宿での報告・ディスカッションを経て、レポートとして作成することで、卒論作成のためのスキルを身につけます。後期からは卒業研究を見据えて、個人の研究報告をしてもらいます。

履修上の留意点

演習Ⅰの「履修上の留意点」を参照のこと。意欲さえあれば、演習Ⅱからの参加も歓迎します。

成績評価の方法

平常点、ゼミ活動への貢献度。

教科書

第一回目のゼミナールで話し合います。

参考書等

必要に応じて随時紹介します。

その他

演習Ⅰ、Ⅲの紹介も必読のこと。このゼミで形成されつつある制度のほとんどは、ゼミナリストンによる自治の成果です。その一つにゼミナリストンが作ったさまざまな係があげられます。ゼミ幹事長、副幹事長のほか、例えば合宿・コンパ係、ホームページ係、就職係、記録・編集係、卒論係などがあります。これら係の担当者は、学年の枠を超えて積極的にゼミ活動に貢献しています。そのことによって、ゼミナリストンの研究が効率的かつ円滑に楽しく進められています。特に三年次からは、四年生の就職係の助言を受けながら三年生の就職係が中心となって、就職活動のための各種イベントをスタートさせています。例えば三年前期には、学外講師を招いて、就職係主催の就職懇談会を開きます。就職活動は単にJOBを探すことなく、自分がこれからどう生きるか考える機会です。ゼミを通じて考え、そして生き方を真剣に語り合える友だちを得て下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	番 場 博 之 <small>ばんば ひろゆき</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

ゼミでは流通政策を中心に流通分野（流通論、マーケティング、中小企業論等）についての研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な内容は開講時に提示する。研究の方法をフィールドワークを中心にするか文献研究を中心にするか等を含めて第1回目のゼミのときに相談して決める。

履修上の留意点

第1回目のゼミ時に名簿、資料等を作成するので必ず出席すること。なお、第1回目に欠席の者は原則としてその後のゼミへの参加を認めない。基本的に無断欠席は認めない。

成績評価の方法

出席状況、ゼミへの貢献度、研究状況等をあわせて総合的に評価する。

その他

開講までに質問等のある方は、h2banba@cuc.ac.jpまで。できるだけ、以下のホームページを見ておくこと。www.cuc.ac.jp/~h2banba/（検索サイトで、「番場研究室」で検索可能）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	ひやく た よし はる 百 田 義 治	経A・商3選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰの継続です。個別・グループ別に決定したテーマについて取り組みます。

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	ふく はら よし のぶ 福 原 好 喜	経A・商3選	4

講義の内容・授業スケジュール

〔ウェーバーとマルクス研究〕

このゼミナールではカール・マルクスの『資本論』やマックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の輪読を行う。専門の研究会以外に週1回自由テーマの読書会を持っている。合宿、コンパ、マラソン大会とゼミの行事は多彩であるが、そんな中から真の友人を得、自分なりの勉学態度を身につけてくれればと思っている。若干名募集。

履修上の留意点

「卒業研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	経A・商3選	4

講義のねらい

3年演習〔アフリカの社会と文化Ⅱ〕

アフリカに関心を置いた卒業作品の制作に着手する。作品の形態は、個人の好みに合わせ、ルポ、エッセイ、評論など自由に選択する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①卒業作品について数回の中間発表を行う
- ②アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
- ③アフリカに関連した企画の主要な担い手となる。

成績評価の方法

作品中間発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき評価する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	堀龍二	経A・商3選	4

講義のねらい

わが国企業の労務管理はいま大きな変化のうねりのなかにあります。雇用、賃金、教育・訓練、昇進・昇格、労働時間、福利厚生だけでなく、労務管理のほとんどの領域で、かつて日本の労務管理と特徴づけられた制度や慣行が改廃されつつあります。新しい方向を示すキーワードは、多様化、弾力化（フレキシビリティ）、成果主義、個別主義などです。現在進行中の制度や慣行の改廃は、どうやら地殻変動のような本質的部分を含むように思われます。それらがどのような背景から生じているのか、どこに向かおうとしているのか、こうした問題を念頭におきながら、現代労務管理の動向を大局的・客観的に捉えることがねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生にワーキンググループを作ってもらい、現代労務管理の変容を①雇用、②賃金、③労働時間、④教育訓練・能力開発、⑤福利厚生などの領域ごとに大別して、各グループが1つの領域を担当し、具体的なテーマを決めて報告し、全員で議論するという形式で進める予定です。時間がとれればサブゼミも設けて、本ゼミの準備にあてたい。

履修上の留意点

グループメンバーがお互いに協力して調べものをするといったゼミの楽しみを味わってほしい。また全員が自由な意見をいえる雰囲気大切にしたい。

成績評価の方法

基本的に日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

その他

皆さんは学生時代の終わりに就職活動を通じて企業の労務管理と直面することになります。演習を通じて、皆さんと働き方について語りあいたいと思っています。なお演習Ⅲ履修時には「卒業研究」を併設します。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	光岡博美	経A・商3選	4

講義のねらい

演習Ⅰの勉強を前提として、各人のテーマをさらに深く研究していくことを目標とします。参加者は自分の研究テーマを登録し、順次報告してもらいます。各人の報告は討論に付し、担当教員がコメント、今後の研究についてのアドバイスを行います。また、研究テーマが近接している場合にはテーマ別のグループによる共同研究を組織し、グループ別の発表会なども予定しています。参加者はこの1年間の勉強にもとづいて、次年度のゼミ論文に取り組んでもらいたい。なお、春と夏にはゼミ合宿（2泊3日程度）を行います。強制はしませんが、ゼミ内での親睦を深め、4年生との交流の場とします。多数の参加を期待します。

成績評価の方法

(1)出席は当然のことですが(2)自分の研究テーマをどれだけ深くほりさげ研究に努力を払ったのかという点を重視します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	みぞ 溝 手 芳 計	経A・商3選	4

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。演習Ⅱでは、これらの問題に関する代表的な見解を見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にしてください。“みんな違ってみんないい”でいきましょう。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生の希望を聞いて決定します。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

演習Ⅰ、演習Ⅱの履修者には、演習Ⅲで「卒業研究」を併設します。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	もり 森 岡 仁	経A・商3選	4

講義のねらい

現在世界の人口は60億を超え、増加速度は衰えたとはいえ、開発途上地域を中心になお増加を続けている。しかし、先進諸国では低出生率に伴う少子高齢化問題に悩み、日本も例外ではない。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の演習では、これら相反する人口問題を抱える世界の人口を取り上げ、それが社会経済的にどのような問題を具体的に生み出しているのか議論してみたい。

履修上の留意点

休まず出席することが演習履修の第一条件である。

成績評価の方法

平常点

教科書

濱英彦・河野桐果編『世界の人口問題』、大明堂。

参考書等

演習の中で適宜紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。
4年演習
4年次生は追加募集しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	もり 森 たい よし ひろ 田 佳 宏	経A・商3選	4

講義のねらい

財務会計は、企業をとりまく利害関係者の利害調整およびその意思決定に貢献することを目的として発展してきている。さらに、財務会計によってもたらされる情報に信頼性を付与するために会計監査が行われている。したがって、財務会計と会計監査には密接なつながりがあり、財務会計の知識なくして会計監査を深く理解することはできない。本演習においては、財務会計および監査の領域に属する諸問題を、学生相互間の討論を中心として研究していく。

講義の内容・授業スケジュール

まずテキストを用いて財務会計の理論を習得し、その後に監査論の学習に進む。これらの学習は、次年度における卒業研究の基礎となるものである。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。明るく楽しいゼミにしたいと思うので、自主的にゼミを運営できるような、積極的かつ協調の精神に富んだ諸君の参加を期待している。

成績評価の方法

いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにゼミにおける報告（レジュメを含む）・発言内容やゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教科書

最初の演習時に指示する。

参考書等

演習時に適宜紹介する。

その他

演習Ⅲに「卒業研究」を併設する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	や しき ただ みつ 谷 敷 正 光	経A・商3選	4

講義のねらい

テーマ〔日本経済の発展と高度工業化社会の研究〕
3年ゼミは、戦後の日本経済の発展過程と各時期における発展要因、構造的特質を明らかにし、明治以降西欧以外の諸国で日本だけが独立を維持し、高度工業国に脱皮しえたかを解明するとともに、戦後50余年間の日本型経済システムの形成と破綻の過程と要因を基礎文献や学術論文を使って明らかにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕は、戦後の日本経済を中心に、経済復興期、高度成長期、経済構造の転換期、安定成長期、バブル経済期の各推進要因と各段階の構造的特質を明らかにしたいと思います。

〔後期〕は、空前の大好況と「経済大国」が破綻し、戦後の日本経済を支えてきた日本型経済システムが破綻していった過程と要因を考察します。これらの考察は、班別課題発表、プレゼンテーションを通じて明らかにしたいと思います。

〔授業以外〕にも集中的研究とゼミ員相互の親睦をはかるために合宿を行います。

成績評価の方法

出席を基本に、常日頃の発表やレポートなどで総合評価します。

教科書

橋本寿朗『戦後の日本経済』（岩波書店）
佐和隆光『平成不況の政治経済学』（中公新書）

参考書等

紫垣和夫『昭和の歴史（全10巻）』（小学館）
速水融、宮本又郎『日本経済史（全8巻）』（岩波書店）

その他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	やすもと 安元 稔	経A・商3選	4

講義のねらい

われわれが現在生活している産業社会は、18世紀後半にイギリスで始まった産業革命に端を発しています。今年度の演習Ⅱでは、18-19世紀のイギリス経済の特質をさまざまな角度から見て行きます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの要約・疑問点・興味を持った点の報告、関連する学術用語・概念等の調査・報告を中心に演習を進めます。

履修上の留意点

学部の講義「経済史」を受講することが望ましい。

成績評価の方法

日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教科書

第1回目のゼミナールの際、指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

「卒業研究」は実施しません。

科 専
門 教
目 育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	やまがた ひろし 山縣弘志	経A・商3選	4

講義のねらい

比較経済論の専門的学習・研究

講義の内容・授業スケジュール

現代世界のリアリティをどうとらえるかは経済学の重要な責務となっている。テクノロジーの発展が生み出すヴァーチャリティと現実とのギャップをいかに埋めるか、わたしたちの知恵が問われているといえる。20世紀に顕在化した課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。後期は自主研究の発表の形で授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教科書

相談の上決める。

その他

非喫煙者が望ましい。
「卒業研究」有。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	よし の 野 おさむ 紀	経A・商3選	4

講義のねらい

経済状況を「かなり」とか「非常に」といった形容詞を用いて言い表わすのではなく、「数量」や「尺度」を用いることでより客観的に提示することが、私の手法であると、かつてケネーが表明していたが、そうした考え方に軸足を置きつつも、規範的 (normative) な経済の論理を生かすか否かは、良くも悪くも、生身の人間の、教育で育まれたかあるいは伝統として社会全体に受け継がれてきたかの思想(身体に染みついた考え方であり、容易に変革しえない部分)に依存する。

日本社会の底流にあるこうした部分との接点にも目を向けてゆくことにしよう。

成績評価の方法

日常の授業にとり組む姿勢を評価の基準に置く。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

「卒業研究」併設。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	経A・商3選	4

講義のねらい

この演習は日本経済分析入門と中小企業研究入門を基本課題としています。

バブル崩壊後の日本経済は国際化・価格破壊・規制緩和の新3K現象の下で長期にわたり深刻な不況に喘いでいます。そこから生じている諸矛盾は国民の雇用の8割近くを支えている中小企業の存立を根底から脅かしています。そこで本演習では、21世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。

また、以上の内容の共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観 (ものの見方・考え方) を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。

履修上の留意点

- ①ゼミ活動 (合宿やイベント、コンパなど) に積極的に参加し、各種の役割分担を主体的に引き受けること。
- ②無断欠席・遅刻は厳禁。
- ③演習での議論にアクティブに関与すること (ゼミは講義の延長ではなく、ゼミ生が中心となり運営するもの)。

成績評価の方法

出席状況、平常点 (レジュメ、報告内容、討論への参加度など) およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教 科 書

最初の演習の時間に指示します。

参 考 書 等

演習を進める中で適宜に紹介します。

そ の 他

演習Ⅲでは「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	あさの 浅野 かつみ 克巳	経A・商4選	4

講義のねらい

演習Ⅱの継続として以下の内容を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム
4. 市場と取引コスト 5. 情報の経済分析 6. ネットワーク外部性 7. 巨大企業の誕生と「収穫逡増」の波 8. 技術進歩と研究開発 9. 知的財産権と企業 10. 構造改革と日本経済 11. メインバンクシステムと資本市場 12. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

長岡・平尾『産業組織の経済学』日本評論社、1998年。
ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』NTT出版、1997年。
小田切宏之『企業経済学』東洋経済新報社、2000年。

参考書等

内閣府『経済財政白書』。その他の資料については授業の中で指示する。

その他

卒業研究 有

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	あべ ひろし 阿部 弘	経A・商4選	4

講義のねらい

演習（ゼミナール）の内容：テーマは「市民と経済学」である。
現在のわたしたちの社会は「市民社会」といわれている。そしてこの社会は「資本主義」をその根幹にもっているものでもある。そこで、この「資本主義」にのっとった「市民社会」はどのようなものなのか、「資本」という「利潤」追求を本質に持つ体制と、「市民」という「自由・平等・博愛」を基盤に持つ人間の在り方との比較を通じて、この問題にアプローチしてみようと思う。特に現在はこの問題がある特定の国のレベルを越えてグローバルな次元で展開していることを考えるとき、わたしたちはこれらの問題に接近していくためには広い視野をもって臨まなくてはならない。

講義の内容・授業スケジュール

この「演習Ⅲ」は卒業年次生が対象であるので、資本主義生産様式との比較の観点から「市民社会」の分析をすることを課題とする。参加者は各人の固有のテーマを設定し、12月には各自の研究の発表を行うと共に論文として提出し、機関誌である『アルファ』に掲載するものとする。なおこの研究は「卒業研究」とする。

履修上の留意点

ゼミナールの行事は「阿部ゼミ」全体で企画・施行するが、そのようなものとしては次のものがある：

- * 春と夏の合宿/* 10月のゼミナール対抗ソフトボール大会
- * 論文発表大会/* その他コンパ等

成績評価の方法

ゼミナールであるから参加者各自の自立した研究発表が評価の基準になるが、論文発表会に参加しないものは単位が取得できない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	経A・商4選	4

講義のねらい

経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

経済変動モデルや数理ファイナンスモデルを構築していく。ソフトはEXTDという汎用シミュレーションソフトを使う。モデルとしては同じでも、各自の表現のちがいにより、毎年オリジナルなプレゼンテーションモデルができて上がる。

成績評価の方法

オリジナルモデルの作成がすなわち卒業作品となる。

そ の 他

C言語やコンピュータシミュレーションの実際をマスターした学生は、就職の際に圧倒的に希望の会社、職種につくことができるというのが実情である。DTPの技能についても同様である。本ゼミとは、そうしたプロフェッショナルな技能を身に付けた上で、その技術をもとにはじめてオリジナルな自己表現をすることができるという現実を知る場であると心得よ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	経A・商4選	4

講義のねらい

企業においては、会計情報が利用される場合、それによって様々な目的が果たされる。その目的と会計上の手法との関係を探ることで、会計が社会的な諸関係の中でいかなる意味を持つものであるのかを明らかにしたい。そのことによって、社会現象のもつ意味を考えるための視点を養うことに努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲでは、ゼミ生各自が研究テーマに関する調査・分析を進め、それを基に「卒業研究」を作成する。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。また、「卒業研究」を開設する。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教 科 書

初回の演習時に指示する。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

そ の 他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	岩波文孝 <small>いわ なみ ふみ たか</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

現代の企業は急速なIT革新の進展や企業活動のグローバル化に伴って、グローバルな事業の再構築を展開しています。近年では、企業合併もダイムラーとクライスラーのようにグローバルなレベルで展開しており、それが業界再編を加速しています。その一方で、わが国では、「バブル経済」崩壊以降の不況下で、経営破綻、不法融資、企業経営上の不祥事などによる経営の行き詰まりなどの問題も続出しています。本演習では、企業間ネットワークと経営システムをテーマとして、現代企業経営における戦略展開の課題を多面的に検討していきたい。企業経営のあり方に関連してコーポレート・ガバナンスの構造についても検討していきたい。これらを通じて、現代の企業経営の課題と展望を追求していきます。

講義の内容・授業スケジュール

各ゼミ生の「卒業研究」報告を中心に討論し、「卒業研究」に取り組みます。合宿では、各ゼミ生の卒業研究テーマの報告とともに、現代の企業経営が抱える諸問題について討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習へ向けて、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加など平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて指定します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	大石雄爾 <small>おお いし ゆう じ</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

2年次・3年次のゼミ活動・学習の成果をゼミ論文（卒業研究）としてまとめること、そのための準備と執筆が中心となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は各自、就職活動に専念し、自分の性格や能力に合った、やりがいのある就職先を確保するべく努力する。

後期にはいと、卒業研究のためのレジュメを作成し、執筆にとりかかる。提出された論文は、ゼミ活動とともに長く思い出に残るよう『経済学ゼミ論集』にまとめられる。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、「卒業研究」が提出されない場合には、演習Ⅲの単位も取り消しとなることもある。

その他

「卒業研究」を併設する。

コース制との関連：いずれのコースを履修してもよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	大吹勝男	経A・商4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代日本企業の物流に係わる諸問題をテーマとして論文を作成することを課題とする。

成績評価の方法

ゼミ論文の提出によって成績を評価する。「卒業研究」も併せて開講する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	小栗崇資	経A・商4選	4

講義のねらい

新規募集せず。

講義の内容・
授業スケジュール

各自の研究テーマについて調査・研究を進め、卒業研究に結実するように指導したい。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	小杉修二	経A・商4選	4

講義のねらい

問題の解決学習をする予定である。人類が工業文明の成果をひきつぎながら、衣食住の需要を満たし、なおかつ、楽しく暮らせる社会について考えられないかどうか検討してみよう。
ゼミは学生のレポートと討論が中心になるが、その実現は学生諸君の熱意に頼るところが大きい。最近、本ゼミで重視しているのは、対立する正反対の意見を素材とするダイバイトである。これは仮想討論ではあるが、こうした経験を通じて、自分の意見を表明したり、他の意見とぶつかり合う訓練として役立つことを期待している。諸君の意欲的な参加を待つ。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心とする。

その他

「卒業研究」を併設する。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	こばやし まさ と 小 林 正 人	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

テーマ：「戦後の日本経済と産業発展」
このゼミでは「卒業研究」（卒業論文のみ）の作成を指導します。
3年生までのゼミでの調査や研究をふまえて、各ゼミ生が自発的に研究したい産業ないし業種についてテーマを決め（一般的な産業問題、あるいは生活経済の問題でもよい）、その特徴、歴史、課題や問題点などを卒業論文にまとめます。これにより各ゼミ生が、4年間の経済学部での学習と研究を集大成します。

講義の内容・授業スケジュール

「卒業論文の提出までに必要な段階」として、文献研究発表、参考文献一覧の提出、論文の予定目次と題名の発表、卒論本文の中間発表、指導教員による最終稿の予備審査などがあります。審査を通った論文は、卒業論文集（仮称『現代産業学生論集2002』）として編集し、印刷、製本します。したがって、卒業論文の最終稿はワープロにより一定の書式に従って提出します。具体的には下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」に掲示します。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

履修上の留意点

ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。

成績評価の方法

上記の「卒業論文の提出までに必要な段階」を踏んだかどうかを評価します。

参 考 書 等

各ゼミ生が選んだ文献以外に、全体で必要な参考文献があれば、授業中にゼミ生と相談して決めます。

そ の 他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を併設。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	さいとう ただし 齊 藤 正	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

演習ⅠⅡの集大成としてゼミナール論文の作成をめざします。テーマは自由ですが、第1回目の授業までにテーマを確定してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は就職活動等で全員が揃うことは難しいですが、就職情報を交流したり、新聞記事を題材に議論するのが慣例となっています。就職活動を通じて社会への関心が深まったり、勉学への新たな意欲が湧いてくるケースも少なくなく、飛躍的に成長できる時期でもあります。後期はゼミ論の執筆に向けて、報告・議論を積み重ねていきます。

履修上の留意点

4年生は学生時代の締めくくりの年です。勉学面でも、生活面でも社会人への備えが求められます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

そ の 他

「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	さとなか つねし 里中 恆志	経A・商4選	4

講義のねらい

この演習は4年次生を対象とし、副表題を「財政学」とする。構造改善に向けての財政出動、規制緩和等、新聞・学術誌等のマスコミでとりあげられる公共財政の現代的課題を理解検討する能力を養い、事柄に対し自分の意見がもてるような訓練を行う。原則として全員に「卒業研究」の論文を作ってもらふことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は学術誌、「日本経済新聞」等の公共財政に関する現代の論調を材料に理解力を高める訓練をする。「卒業研究」を課しているため、夏休み以降の後期は順番を決めて中間報告の発表を求め、論文作成の指導を行う。

履修上の留意点

「財政学」、「財政政策」、「地方財政論」、「マクロ経済学」、「国民所得論」、「行政法」等の関連科目の履修が望ましい。

成績評価の方法

平常点により評価する。「卒業研究」については提出論文を点数評価する。

教科書

最初の授業で指定する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

この演習は「卒業研究」を併設する。できあがった「卒業研究」は通常の授業時間とは別に報告発表の機会を設ける。報告発表は12月にゼミ生全員参加のもと一人約45分程度で、2日間を組む予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	しみず たかし 清水 卓	経A・商4選	4

講義のねらい

自分が決めたテーマでゼミ論文あるいは「卒業研究」を作成するのが課題です。一生の思い出になるよう、大学時代の学習の総まとめとして真剣に取り組んでもらいたいと思います。

履修上の留意点

演習Ⅰを参照のこと。

成績評価の方法

演習Ⅰを参照のこと。

教科書

演習Ⅰを参照のこと。

その他

演習Ⅰを参照のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	しろ た じゆん 代 田 純	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

金融についての研究

講義の内容・
授業スケジュール

就職活動と両立させて、卒論完成をめざす。

成績評価の方法

卒業論文の提出、内容で評価する。

教 科 書

特に決めない。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘	経 A・商 4 選	4

科 専
目 門
教 育

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化など各自の学習と研究の成果を卒業論文にまとめます。何をテーマにとりあげるかは、各自の希望で決定します。

講義の内容・
授業スケジュール

卒業論文の検討と完成が年間の最大の課題です。各自の論文の構想は、ゼミ生全体からのコメントを受けることでねりあげられます。他方、各ゼミ生は他人のテーマに関与することで耳学問としての幅広い知識と教養を得ることができます。また数百人におよぶ当ゼミ卒業生との交流をつうじて、就職・進学・留学の準備をします。そのほか、日本学生経済ゼミナールへの後輩の参加を支援したり、インターネットや遠隔授業をつうじた海外の学生との交流をリードしたり、工場見学などゼミの各種イベントにスーパーバイザーとして後輩を支援します。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

教 科 書

卒業論文に必要なあらゆる文献が参考書になりますが、それは個々人で異なります。

そ の 他

このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問いあわせたりすることのほか、下記のホームページにアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~Setooka>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	曾 我 信 孝 <small>そ が のぶ たか</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

現在社会で必要としているマーケティング戦略、あるいはその技法の検証能力、さらに自ら製品開発や広告などの企画をするための発想力を身に付けてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・授業スケジュール

ホットなテーマに沿った文献を選び、議論を中心とした授業にする。マーケティングに関する重大な時事があれば、それを議題にすることもある。後期のディベート大会では、幹事学年として後輩の指導にもあたってもらう。

成績評価の方法

出席状況（合宿参加も含む）、発表要旨（レジュメ）、ゼミ行事への取り組みなどで総合評価する。

教科書

春合宿時に決定する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	鄭 章 淵 <small>ちよん ちやん よん</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行形態的発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱでの学習を基礎に「卒業研究」の作成をします。ゼミ生各自のテーマに従い個別指導を行います。

成績評価の方法

出席率、卒業研究の内容を参考に評価します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	とくながとしあき 徳 永 俊 明	経A・商4選	4

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とその中での人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済中での人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参 考 書 等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

そ の 他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。

科 専
目 門
教 教
育 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	ともまつよしひこ 友 松 憲 彦	経A・商4選	4

講義のねらい

演習Ⅱ（3年）で開始した研究を継続発展させ、卒業研究に結実させていきます。

履修上の留意点

「経済史」、「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

①年度末のレポート②平常点（レジュメ、報告、討論の状態）③出席で評価。

そ の 他

卒業研究を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	中 濟 光 昭 <small>なか すみ みつ あき</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

進路指導と卒業論文の作成を行います。就職のための個別指導や合宿、学外の研究発表、展示会見学など、様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は、情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・
授業スケジュール

就職活動と並行して、
・研究計画書作成、論題の提出
・レジュメ作成、レポーティング、発表
を行います。

履修上の留意点

・合宿、課外イベント、サブゼミは、原則として出席していただきたいと思います。資格取得の自主ゼミも皆さんの希望によって実施しています。積極的なゼミ活動を期待しています。
・追加募集は致しません。
・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教 科 書

別途指示

参 考 書 等

別途指示

そ の 他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	橋野知子	経A・商4選	4

講義のねらい

〈近現代日本経済史の研究〉演習Ⅲでは、演習Ⅰ、Ⅱで学んだことの集大成としての卒業研究を完成させることを目標とします。対象が日本経済であれば、時期は戦前・戦後を問いません。就職活動で得た経験やさまざまな知見を卒業研究作成に生かして下さい。なお、四年次からの新規参加は原則として認めていません。卒業研究を併設します。

講義の内容・授業スケジュール

前期のはじめは輪読や時事問題のチェックを中心とします。ゼミナリストには、①前期、②夏合宿、③秋学期にわたって最低4～5回の卒業研究の報告を義務とします。卒業研究は『経済発展論集』として発行されます。

履修上の留意点

就職活動期もゼミを開講します。

成績評価の方法

平常点、研究報告の内容、卒業研究の水準、ならびにゼミ活動への貢献度。

教科書

演習Ⅱ終了時にゼミナリストと話し合って決定します。

参考書等

必要に応じて随時紹介します。

その他

「学生時代にしか体験できないことは何か？」と聞かれたら、私はゼミ活動だと即答するでしょう。ゼミとは、学問・研究と課外活動を通じて人間が信頼関係を結ぶ場ではないでしょうか。その意味でこのゼミでは、担当教員もゼミナリストの1人です。日本の経済発展の過程では、多くの制度や組織が形成され、それらは経済発展にさまざまな形で貢献してきました。現在それらの多くは「改革」を余儀なくされています。それはなぜでしょうか。物事の表面だけを追って、持論を展開するのではなく、制度や組織の歴史的展開を観察することによって初めて問題解決の糸口が見えてくるはずで、ゼミナリストたちはこのゼミでのさまざまな活動を通じて、「制度とは何か」、「組織とは何か」、「伝統とは何か」という、日本経済が現在抱えている問題の解法を自らの体験とともに論じることができるようになるでしょう。

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	はせがわ よしかず 長谷川 義和	経A・商4選	4

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験戦争や消費競争、夫or妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。経済のグローバル化は、企業のこの傾向をさらに純化し強めるものです。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさには無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。——これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会の最大の課題のありかです。

諸君の人生のかなりの部分で関わらざるをえない企業中心社会の課題に、思い切って真正面からぶつかってみましょう。

教科書

プリント、佐高他『日本会社原論』、川人『過労死社会と日本』、熊沢『能力主義と企業社会』、奥村『会社本位主義は崩れるか』、野村『雇用不安』、サロー『資本主義の未来』、間宮『法人企業と現代資本主義』、マルクス『資本論』など。関係文献を系統的に読み進めるなかで同時に「日本語を使いこなす力」を身につけます。

その他

〔ゼミの3つの目標〕

1. ゼミを一生懸命やるなかで本物の友達をつくろう。
2. 日本語を自由に使いこなせるようになろう。
3. 自分の人生の指針になるような勉強をみつけよう。

勉強大好き人間歓迎、勉強大嫌い人間も歓迎。コンパ大好き人間大歓迎。社会派・無頼派・はみ出し派大歓迎。——人と人との出会い=仁義とやる気だけを大切にします。

◎「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	はた なか たかし 畠中 貴	経A・商4選	4

講義のねらい

この講義の目標とするところは、以下の2点である。

- (i) 卒業論文の作成を通して、創造力を磨く。
- (ii) お互いの研究内容について討論を行うことによって、建設的な議論を行うための技術を磨く。

講義の内容・授業スケジュール

演習の主な内容は、卒業論文作成の指導である。この演習は松井柳平先生の代講であるから、松井先生が演習Ⅰ、演習Ⅱでやってこられたこととの継続性に留意しながら、演習を進めていくつもりである。ゼミ生には10月末に一旦論文を完成させることが求められる。完成の期限を早めに設定するのは、その後の討論を通じて、お互いの論文をよりよいものにするためである。

成績評価の方法

ゼミでの発言の内容および最終的な論文の総合評価。10月末までに論文を完成させることができなかった人には、単位を与えることができないので、注意すること。論文の評価に当たっては、いかに多くの知識を獲得したかということよりも、論文の構成の適切さやいかに自分の頭でものを考えたかということを重要視する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	ばん ば ひろ ゆき 番 場 博 之	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

ゼミでは流通政策を中心に流通分野（流通論、マーケティング、中小企業論等）についての研究を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的な内容は開講時に相談して決める。

履修上の留意点

第1回目のゼミ時に名簿、資料等を作成するので必ず出席すること。なお、第1回目に欠席の者は原則としてその後のゼミへの参加を認めない。基本的に無断欠席は認めない。

成績評価の方法

演習Ⅲの成績評価は出席状況、ゼミへの貢献度、研究状況等を合わせて総合的に行うが、卒業研究の成績評価は卒業論文の内容に限定して行う。

そ の 他

開講までに質問等のある方は、h2banba@cuc.ac.jp まで。できるだけ、以下のホームページを見ておくこと。www.cuc.ac.jp/~h2banba/（検索サイトで、「番場研究室」で検索可能）

専
門
教
育
目
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	ひやく た よし ぼる 百 田 義 治	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱの継続です。各人のテーマについて「卒業研究」に取り組みます。

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教 科 書

未定

参 考 書 等

未定

そ の 他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	ふく ぼる よし のぶ 福 原 好 喜	経 A・商 4 選	4

履修上の留意点

原則として4年生の募集は行わない。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

参 考 書 等

福原好喜『総理に忠告す——日本経済危機水域に入れり——』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	古 沢 紘 造 <small>ふる さわ こう ぞう</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

4年演習〔アフリカの社会と文化Ⅲ〕
卒業作品を完成する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①卒業作品について2回の中間発表会と、公開発表会を行う。同時に作品の展示会を開催する。
- ②アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
- ③アフリカに関連した企画のサポーター役を務める。

成績評価の方法

作品発表、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

専 科
教 育
目 録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	堀 龍 二 <small>ほり りゅう じ</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

わが国企業の労務管理はいま大きな変化のうねりのなかにあります。雇用、賃金、教育・訓練、昇進・昇格、労働時間、福利厚生だけでなく、労務管理のほとんどの領域で、かつて日本の労務管理と特徴づけられた制度や慣行が改廃されつつあります。新しい方向を示すキーワードは、多様化、弾力化（フレキシビリティ）、成果主義、個別主義などです。現在進行中の制度や慣行の改廃は、どうやら地殻変動のような本質的部分を含むように思われます。それらがどのような背景から生じているのか、どこに向かおうとしているのか、こうした問題を念頭におきながら、現代労務管理の動向を大局的・客観的に捉えることがねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

ゼミ生にワーキンググループを作ってもらう。現代労務管理の変容を①雇用、②賃金、③労働時間、④教育訓練・能力開発、⑤福利厚生などの領域ごとに大別して、各グループが1つの領域を担当し、具体的なテーマを決めて報告し、全員で議論するという形式で進める予定です。時間がとればサブゼミも設けて、本ゼミの準備にあてたい。

履修上の留意点

グループメンバーがお互いに協力して調べものをするといったゼミの楽しみを味わってほしい。また全員が自由な意見をいえる雰囲気大切にしたい。

成績評価の方法

基本的に日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

そ の 他

皆さんは学生時代の終わりに就職活動を通じて企業の労務管理と直面することになります。演習を通じて、皆さんと働き方について語りあいたいと思っています。なお演習Ⅲ履修時には「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	みづ 溝 手 芳 計	経A・商4選	4

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。演習Ⅲでは、ゼミ生自身の考えを整理し、表現する力の取得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にしてください。“みんな違ってみんないい”でいきましょう。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生の希望を聞いて決定します。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

平成15年度は、「卒業研究」を併設しません。

科 専
門 教
教 育
目 録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	みつ 光 岡 博 美	経A・商4選	4

講義のねらい

演習Ⅰ、Ⅱの勉強をもとに、総仕上げとしてのゼミ論文を完成させることが演習Ⅲの最大の目的です。ゼミ論文については、その内容はもとより、論文としての形式や体裁についても指導します。なお、「卒業研究」を併設します。ゼミ論文の完成の直前の時期には合宿（2泊3日程度）を行い、また、ゼミ論文の発表会の場とします。ゼミでの勉強の総仕上げとしての意味をもつ合宿です。全員参加を原則とします。

成績評価の方法

ゼミ論文の完成度によって評価します。ゼミ論文未提出者は単位を認定しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	もり おか じん 森 岡 仁	経A・商4選	4

講義のねらい

現在世界の人口は60億を超え、増加速度は衰えたとはいえ、開発途上地域を中心になお増加を続けている。しかし、先進諸国では低出生率に伴う少子高齢化問題に悩み、日本も例外ではない。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の演習では、これら相反する人口問題を抱える世界の人口を取り上げ、それが社会経済的にどのような問題を具体的に生み出しているのか議論してみたい。

履修上の留意点

休まず出席することが演習履修の第一条件である。

成績評価の方法

平常点

教 科 書

濱英彦・河野稠果編『世界の人口問題』、大明堂。

参 考 書 等

演習の中で適宜紹介する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。
4年演習
4年次生は追加募集しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	経A・商4選	4

講義のねらい

本演習は「卒業研究」(卒業論文)の研究報告を中心に行う。卒業論文のテーマは演習Ⅰおよび演習Ⅱにおいて習得した財務会計および監査の知識にもとづき、これらの領域から各人が自由に決定することを原則とする。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の報告は、テーマの選定、章立ての決定、内容の報告の順に進める。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。なお、原則として4年生の新規募集は行わない。

成績評価の方法

最終的な卒業論文の内容はもとより、その作成過程における報告内容(レジュメを含む)、さらにはゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教 科 書

原則として使用しない。

参 考 書 等

演習時に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	谷 敷 正 光 や しき ただ みつ	経A・商4選	4

講義のねらい

テーマ〔教育経済の研究〕
4年ゼミは、産業人の育成に大きな影響を与えた近代教育の発展を日本経済の構造分析、日本経済の発展との関連において各自が自由に論題を設定して研究し、ゼミ論文を完成することになっています。

講義の内容・授業スケジュール

〔4年ゼミ〕は、就職活動で欠席する人も多数いるので、ディスカッションが難しくなりません。したがって文献を使って、人材養成の基礎をなす教育が日本経済の発展と不可分の関係においておし進められてきた過程を検証したいと思います。

〔卒業研究〕は、2年生からゼミで研究してきた集大成として各自が自由に論題を設定し、論文の作成をすすめます。詳細は3年ゼミで説明します。

研究の基礎資料は提供できるものは提供しますが、足りない所はインターネットを利用したり、図書館で資料収集をします。

成績評価の方法

基本的には出席、平常でのゼミ活動状況と完成したゼミ卒業論文で評価します。

教 科 書

尾崎ムゲン『日本の教育改革－産業化社会を育てた130年』（中央公論新社）

参 考 書 等

その都度、各自の論題によってお知らせします。

そ の 他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。「卒業研究」の進め方は3年ゼミの終りに具体的に説明します。

科 専
目 門
教 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	安 元 稔 やす もと みのる	経A・商4選	4

講義のねらい

ヨーロッパ経済史の基礎知識を具体的な経済史分析の中で応用することがこの演習のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

「ゼミ論」の報告・質疑応答という形で演習を進めます。

履修上の留意点

原則として規定枚数の「ゼミ論」の提出が義務付けられています。

成績評価の方法

日常の勉学態度・「ゼミ論」で評価します。
※「卒業研究」を認めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	山 縣 弘 志 やま がた ひろ し	経A・商4選	4

講義のねらい

比較経済論の専門的学習・研究を進め、論文作成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

3年次から継続。就職活動に取り組みながら、各自の自主研究の発表を行ない、論文の形にまとめていく。

成績評価の方法

出席、発表、討論参加を総合評価する。

そ の 他

「卒業研究」有。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	経A・商4選	4

講義のねらい

この演習は大学生生活の総決算として、各自の問題意識を踏まえて、卒業論文（卒業研究）の作成を行います。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Ⅲでは、これまでの共同研究を踏まえて、卒業研究の作成に向かって、個別指導の形で演習を行います。

履修上の留意点

演習Ⅲは卒業研究の作成を中心課題としているため、少なくとも演習Ⅱをすでに履修していることが前提となります。

成績評価の方法

出席状況、平常点(卒業研究作成指導への対応姿勢など)を中心にして総合的に評価します。

教 科 書

使用しません。

参 考 書 等

卒業研究の課題に応じて個別に紹介します。

そ の 他

演習Ⅲでは原則として「卒業研究」を作成することが求められます。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	よし の おさむ 吉 野 紀	経A・商4選	4

講義のねらい

基本的な方向は演習Ⅱの延長線上にある。変わりゆくものは事実であり、変わらぬものは美を与えるが、もし演習Ⅱに比べて色彩にいろどりが加わるとすれば、この真実と美の実像をより豊富に示すことにあるかもしれない。

成績評価の方法

日常の授業姿勢を評価の基準とする。

教 科 書

開講時に指示する。

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

他履修
学部科目

Ⅲ. 他学部履修科目

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	433
中国禅宗史	〈石井修道〉	433
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	434
禅籍講読Ⅰ	〈石井修道〉	434
禅籍講読Ⅲ	〈石井清純〉	435
仏教概論	〈吉津直英〉	436
インド仏教文化史	〈金沢篤篤〉	436
中国仏教文化史	〈永井政之〉	437
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	437
中国古典語初級	〈石井公成〉	438
中国哲学史	〈前川亨〉	438
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	439
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	439
中世文学研究Ⅰ	〈武田昌憲〉	440
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	440
近代文学研究Ⅰ	〈休講〉	
比較文学	〈溝谷マーガレット〉	441
西洋思想史	〈柴野博子〉	441
演劇概論	〈阿部由香子〉	442
イギリス文学特講Ⅰ	〈石原孝哉〉	442
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	443
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	443
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	444
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	444
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	445
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	446
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	446
演劇特講(イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	447
時事英語	〈荒井良雄〉	447
地理思想史	〈吉田敏弘〉	448
地形学	〈小池一之〉	449
人口地理学	〈大友篤篤〉	449
文化地理学	〈小田匡保〉	450
応用地理学	〈高木正博〉	450
現代地理学特論	〈長谷川均〉	451
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈小泉雅弘〉	451
東洋史特講Ⅹ〔近・現代〕	〈趙軍〉	452
考古学特講Ⅲ	〈休講〉	
日本仏教史Ⅱ	〈松本信道〉	452
西洋文化史Ⅰ	〈休講〉	
日本民俗学	〈谷口貢〉	453
哲学史	〈山口祐弘〉	453
歴史哲学	〈山口祐弘〉	454
産業・職業社会学	〈休講〉	
マス・コミュニケーション論	〈川本勝〉	454
社会福祉発達史	〈林千代〉	455

行政法各論	〈金子昇平〉	455
比較憲法	〈西修〉	456
親族法	〈五島京子〉	456
相続法	〈門広乃里子〉	457
西洋法制史	〈北野かほる〉	458
英米法	〈北野かほる〉	459
ヨーロッパ政治論(1)	〈中野裕二〉	460
ヨーロッパ政治論(2)	〈中野裕二〉	461
国際政治学	〈小堀訓男〉	462
ヨーロッパ政治史	〈浦田早苗〉	462
地方自治法	〈富井幸雄〉	463
比較政治学	〈三竹直哉〉	464
現代国家論	〈大塚桂〉	465
比較憲法	〈休講〉	
国際経営論	〈茂垣広志〉	466
経営分析論	〈片桐伸夫〉	467
経営情報論	〈高井徹雄〉	468
情報理論	〈西村和夫〉	469
経営統計	〈長国強〉	470
医療経済学	〈休講〉	
異文化コミュニケーション	〈奥原淳子〉	471
女性史	〈高嶋めぐみ〉	471
文化概論	〈藺部幹生・他〉	472
メディアと表現	〈松田直行〉	472
時事英語	〈岡本誠〉	473

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	佐藤秀孝	経A・商・経B	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禅那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禅（禅定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習態度）と年度末の定期試験による。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）や駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）および田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

他
履修
科目
部

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	石井修道	経A・商・経B	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正觉③円悟克勤④大慧宋杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤秀孝	経A・商・経B	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西の能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈闍の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
 その他、日本禅宗に関する諸文献

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅰ	石井修道	経A・商・経B	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗典籍を原典テキストで味読するものである。唐代の最も魅力ある禅者として伝えられ、最も読まれてきた『六祖壇経』を今年度は読む。『六祖壇経』は六祖慧能（638～713）の伝記と説法の記録である。テキストには大きく3種ある。敦煌本・恵昕本・宗宝本（流布本）である。この講義では恵昕本『六祖壇経』を講読する。慧能の言行を知らないでは、禅を学んだとは言えない。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。テキストはプリント配布。

履修上の留意点

必ず手持ちの漢和辞典を持参すること。無ければ『全訳 漢辞海』（三省堂）等を購入して欲しい。また、『中国禅宗史話』（禅文化研究所）を読み、中国禅宗史の予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に六祖慧能の伝記（400字詰め5枚以上）のレポートの提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

プリント配布

参考書等

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円。『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円。
 入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 Ⅲ	石 井 清 純	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

この講義は、日本において禅宗が成立した当時の禅籍を講読するものである。具体的には、日本史の時代区分でいうところの中世、すなわち鎌倉時代から室町南北朝時代に編集された禅語録や法語類がこれにあたる。

禅宗は、鎌倉時代、武家政権の幕開けと共に日本に伝来したことで知られる。そしてそれは、その後、一部では中国の五山制度を導入することにより中央に進出し、また他方では、種々の宗教的要素を取り込んで地方に展開していった。つまり、この時代は、まさに日本の禅宗が生まれ、そして独り歩きを始めた時代なのである。

この講義では、まず、禅の表現形式に慣れるために、各種仏教関連の辞書を用いて丹念に禅籍を読み進める。そしてさらに、読み進んだ内容から、日本の禅林の思想的特徴を把握できればと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は、日本における禅思想の特徴を見出す意味から、臨済宗大応派の宗峰妙超の語録を読み進める。この派は、後の日本禅林の展開に大きな影響を与えたものであり、その主張を知ることは、禅の日本的展開の様相を知るに不可欠といえる。

講義前半は、対象となるテキストをプリントにて配布、そこに現われる禅語の意味を、一つ一つ丹念に辞書を用いて確認してゆく。これは、禅籍の独自の漢文表現と、仏教関係辞書の検索方法の双方に慣れることを意図したものである。

辞書の使用方法と漢文表記に慣れたところで、後半は、思想的内容を読解する演習へと移行してゆく予定である。

履修上の留意点

辞書や参考書類は用意するが、自己の読解力を高める意味でも、講義中に用いる基本的な辞書類は各自で用意されたい。

成績評価の方法

前期中に2回、後期中に1回、計3回の小テスト（ペーパーテスト）を行なう。それに年度末の定期試験を加えた計4回のテストを総合して成績を評価する。

教 科 書

講義ごとにプリントを配布。

参 考 書 等

『禅入門4大燈』（講談社）
講義中に使用する予定の辞書類
『禅学大辞典』（大修館書店）、『中日大辞典』（大修館書店）、『禅語辞典』（思文閣）
『新字源』（角川書店）、『助字小字典』（内山書店）

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教概論	よしづよしひて 吉津宜英	経A・商・経B	4

講義のねらい

仏教概論とは仏教を全体的に把握し、仏教とは何かを明示することを目的とします。ただ、釈尊以来の仏教は多彩であり、ある場合には相互に対立したり、矛盾する場合があります。私は釈尊の自洲（自己を拠り所にする）と法洲（法を拠り所にする）の教えを重視します。法洲の立場では、この範囲の教えを仏教と認定して良いとの基準があると思います。ただ、問題は自洲です。人間は千差万別ですから、さまざまな自覚の形態があり、それによってさまざまな仏教観が生まれることとなります。この仏教概論では釈尊の教えとして縁起と中道を中心として把握し、私自身は現代の日本社会に生きる仏教研究者としての自覚の一端を披瀝します。ただ、仏教の特色は仏教だけを認識していても明らかになるものではありません。仏教以外の思想や宗教などを比較検討してみても始めて仏教の特色が鮮明になることもあります。そこで、私は現代の世界で無視できない思想や宗教として、一神教（ユダヤ教、キリスト教、イスラム）、儒教、ヒンズー教、そして科学思想の四つを選び、仏教と対峙させてみたいと思います。それらとの比較によって、仏教の特色が強い点や弱い面、また濃い点や薄い面などとして総合的に把握され、現代社会で仏教の果たすべき役割も具体的に浮き彫りにされると考えております。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に釈尊の縁起や中道の教えの意義をインド思想史の立場から明らかにします。次に、それらの教えを私自身がいかに関心し、実践しているかを語ります。さらに、現在の世界で盛んに活躍している思想や宗教を取り上げ、それらの特色や意義を把握します。また、それらの思想や宗教と仏教との比較検討を行います。その上で、現代における仏教の意義や役割を明らかにします。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。私の講義を記録すると共に皆さん方の意見や疑問を書き留めていって下さい。結果的に1年間の受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいことを希望します。私が講義している最中でも手を挙げて質問して下さい。ただ、私語は厳禁であり、厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回の出席、年間2～3回の課題提出、最後の期末試験、これらを総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しませんが、参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

講義の中で、随時参考図書などを紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かなざわあつし 金沢篤	経A・商・経B	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

指定なし（資料は教場で適宜指示する）。

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教文化史	<small>なが い まさ し</small> 永井政之	経A・商・経B	4

講義のねらい

中国で成立した「禅」は、難解とも言える「禅問答」でその名を馳せます。しかし「問答」が繰り返されるのは、それなりの理由があるからです。方外の人である禅僧といえども、社会と全く無縁では存在しませんでした。今年の講義は中国の民衆と禅との関係を考える一環として、禅僧の言葉にあらわれた中国の文化、特に風俗習慣との関係を論じてみたいと思います。

成績評価の方法

期末試験の成績に加えて、出席、課題図書についてのレポートなどを総合して評価します。

教科書

適宜プリントを配布します。大切に保管してください。

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	<small>はかま や のり あき</small> 袴谷憲昭	経A・商・経B	4

講義のねらい

この講義では、日本に完全に定着してしまった仏教文化の実態を、その問題に応じた関連文献を講読することを通じて、批判的に考察することを主眼とする。取り上げられる問題は多様になるかもしれないが、できれば、通史的に扱っていきたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

講義において取り上げられる問題やその順序をここに明記することはできないが、だいたいは、下記に示すような予定である。

- 序 : 仏教東漸—半跏思惟像
- 第1章: 「玉虫厨子」と捨身供養
- 第2章: 『往生要集』と地獄極楽
- 第3章: 『一言芳談』と後世物語
- 第4章: 『日本史』における仏教
- 第5章: 『新論』の国体論と仏教
- 結 : 仏教西来—靖国問題考

履修上の留意点

参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変更もありうる。

教科書

渡辺照宏著『日本の仏教』（岩波新書、1958年第1刷、2002年4月第61刷）定価740円＋税

参考書等

末木文美士著『日本仏教史』（新潮文庫）

他
修
学
部
目
録

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語初級	いし 井 公 成 石 井 公 成	経A・商・経B	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国哲学史	まえ かわ とおる 前 川 亨	経A・商・経B	4

講義のねらい

中国人の世界観、人間観の歴史的展開を把握することを目的とする。儒教・道教・仏教の思想とその相互関係の理解が主な課題である。特に、東アジア世界の中での中国思想という視点を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式の特徴を明らかにすることは、中国思想の強い影響を受けている日本人の思考様式を相対化することにもつながるであろう。今日の我々の主観的な価値観によって過去を断罪するような態度からはっきり一線を画し、評価する前にまず理解するように勉めよう。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は唐代から始めて近代（辛亥革命時期）に至る時代を扱う。その場合にも、断代史的ではなく、問題史的に進めていくつもりである。唐代以前の時代についても、前提となる知識には触れるように努める。「近代とは何か」特に「中国近代とは何か」ということが、全体を貫くテーマとなるであろう。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化・社会などに関心を有する多様な受講者の参加を希望する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもつことが望ましいが、授業じたいはその方面の知識なしでも理解可能であろう。積極的な問題関心をもっているひとの受講を期待する。継続して出席する意志と意欲をもたない者の受講はお断りする。

成績評価の方法

授業内容に関連するレポートを前期と後期に提出してもらう。ただし、継続して出席しないで、レポートだけ提出しても、決して単位を取得することはできない。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの知識を提供するため講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めたい。積極的な問題提起・討論を歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 研 究 I	おのの 小野 寛	経A・商・経B	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

万葉集全20巻から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 古 文 学 研 究 I	まつ おか とも ゆき 松岡 智之	経A・商・経B	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語のないし歌日記的なものに関する問題提起をする。
②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

授業時に紹介する。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究 I	たけだまのり 武田昌憲	経A・商・経B	4

講義のねらい

無常観の美学に触れる—「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり」で始まる、格調高くも、また人の心を打つ『平家物語』の調べを鑑賞。本作品は平安貴族の優美・鎌倉武士の勇壮さを併せ持ち、また、琵琶法師が語り歩いたという不思議な作品です。平清盛、木曾義仲、源義経、那須与一、などの英雄像。建礼門院、祇王、巴御前などの女性像を追って人間の生きる美しさをみます。

講義の内容・授業スケジュール

軍記の定義と流れ—軍記の発生・将門記。軍記の展開・陸奥話記。軍記の成長・保元物語・平治物語。軍記の達成・平家物語。
 作品読解—祇園精舎。祇王—白拍子と遊び女・清盛の悪行。源氏揃え—源頼政の位置。橋合戦。木曾の最後—乳母子との愛・巴との愛。那須与一—扇の的美学
 その後の軍記—太平記の世界・後期軍記の世界。

履修上の留意点

授業中の私語、遅刻は厳禁。

成績評価の方法

前期末と後期末に試験またはどちらかレポート。また、教場レポート、出席状況、授業態度を含め、総合的に評価する。

教科書

佐藤謙三校注 角川文庫『平家物語』上・下（角川書店）

参考書等

参考書その他は授業の都度、紹介・指示する。

その他

授業方法は講義

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究 I	このえのり 近衛典子	経A・商・経B	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鷲山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

その他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	^{みつたに} 満谷マーガレット	経A・商・経B	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995年
 日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991年
 西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994年など

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	^{しば} 柴野 ^{ひろ} 博 ^こ 子	経A・商・経B	4

講義のねらい

前半は、西洋哲学史の古代・中世・近代を概観する。その後、現代哲学の一つとして生の哲学をとりあげたい。とくにデイルタイの解釈学とその現代的発展に力点をおき、解釈学が現代に生きる私達にどのような意味をもつか考えてみたい。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教科書

久保陽…『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 概 論	阿 部 由 香 子	経A・商・経B	4

講義のねらい

近代以降の日本演劇はいくつもの屈折を重ねて現代に至っている。「演劇」に対するイメージが多種多様であるのはなぜなのか？演劇をとりまく状況の変遷をたどりつつ、演劇と近代化の問題、劇壇と文壇との関係、劇団や女優の問題などをとりあげていく。

講義の内容・授業スケジュール

近代、現代の日本演劇の流れを中心に講義するとともに、いくつかの作品の戯曲を読み、ビデオを鑑賞する時間も取り入れる。

履修上の留意点

授業で扱う作品をあらかじめ読んできてもらったり、実際に劇場へ足をはこんで観劇してもらう場合があるので、演劇に対して積極的な興味関心がある者の受講がのぞましい。

成績評価の方法

前期は試験をおこない、後期はレポートの予定。出席点、平常点も加味する。

教 科 書

教場で指示する。

参 考 書 等

教場で指示する。

他履修科目
学 部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 I	石 原 孝 哉	経A・商・経B	4

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton など取り上げます。

成績評価の方法

この時代に関心がある意欲的な学生の受講を望みます。
成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教 科 書

『シェイクスピアを読む』（三修社）2,800円、配布プリント

そ の 他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	経A・商・経B	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心を持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版された*Lyrical Ballads*という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

他学
履修
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おがさきとしいちろう 岡崎寿一郎	経A・商・経B	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出發として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅳ	なか おか ひろし 中 岡 洋	経A・商・経B	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいがたくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には Charlotte Bronte (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教科書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参考書等

教場で適宜指示する。

その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅴ	ふじかわ よし ゆき 富士川 義 之	経A・商・経B	4

講義のねらい

英国文化史についての講義。とくにロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性について文化史的背景のなかで述べる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	まるこ てつ お 丸 小 哲 雄	経A・商・経B	4

講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存し対峙していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自律していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを見出すことです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

出席、前期・後期のチーム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- ・ *Elements of fiction* by R.Scholes（英宝社）
- ・ プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	経A・商・経B	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を採り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

教 科 書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参 考 書 等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし だ かず ひと 足 田 和 人	経A・商・経B	4

他履修科目
学 部

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

必要に応じて配布・紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おちろ あい かず あき 落 合 和 昭	経A・商・経B	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカ劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀アイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主な劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Engene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-)、Sam Shepard (1943-)、David Mamet (1947-)、アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Harold Pinter (1930-) 等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

プリント

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語	あら い よし お 荒 井 良 雄	経A・商・経B	4

講義のねらい

このクラスでは、Newspaper English と Radio English を中心に、Current English を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

英字新聞、ラジオの英語、映画やテレビの英語、雑誌の英語を使って、Current English と英米文化の背景を研究し、刻々と変る世界情勢を理解し、国際的視野を広げる事を目標とする。

履修上の留意点

その日のラジオの英語や英字新聞の英語を主として扱うので、各自が自習するとともに、辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎時間の小テストと、夏休み前と冬休み前の2回のテストで評価する。

教科書

『ニュース英語パワーボキャビル4,000語』(語研) 1,900円

参考書等

各種の時事英語辞典。

その他

テープを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理思想史	よし だ とし ひろ 吉 田 敏 弘	経A・商・経B	4

講義のねらい

担当者は、地理思想史という分野を、場所や地域、景観、世界（宇宙）などの生活空間に関する知識や認識をめぐる社会思想史と捉えている。したがって地理思想史研究の実践においては、古今東西のさまざまな社会における地理思想の特質を明らかにするとともに、それらの時代的・地域的な比較を通じて、普遍性や類型的把握を試みることも重要な課題となる。

本講義における主たる着眼点は、「生活空間、生活世界の図的表現」である。人類は太古以来、世界や地域、場所に関する知識をグラフィックに表現してきた。いわゆる「地図」はそのひとつのジャンルであるが、それ以外にもさまざまな絵画的表現や抽象化された模式図的表現があり、これらもまた地理思想史の対象となる。これらの図は、それぞれの社会における地理思想の一端を示す重要な資料であるが、従来の地図史や風景画史の知見に依存するのみでなく、新たな問題設定と分析方法の導入によって、地理思想史独自の知見を構築したい。また、もう一つの着眼点を「日本と西洋の出会い」におき、戦国時代以来の東西の地理思想の衝突と融和、そして近代以後における西洋の地理思想・アカデミズム地理学の導入に関する諸問題にも論及したい。

講義の内容・
授業スケジュール

配布資料・Powerpointを用いて、講述方式で講義をすすめる。まず、地理思想史研究の全体的な枠組みに関して講述したのち、前期では、絵画における「遠近法」をキーワードとして、古今東西の景観表現を比較検討し、絵画と地図との関係を考察する。後期では、「地図の記号学」をキーワードとして、さまざまな古地図を事例に、そこに表現されたメッセージの読解を試み、宇宙や世界、国家や地域などの多様なイメージの形成と普及、革新について考察する。

履修上の留意点

講義時にさまざまな問いかけを行うので、つねに自ら考え、これに積極的に応えてゆくことが望まれる。

成績評価の方法

年度末レポートにより採点する。

教科書

特に指定しないが、随時指示する文献を読んでゆくことが望ましい。

参考書等

京都大学文学部地理学教室編『地理の思想』（地人書房）
 織田武雄『地図の歴史』（講談社）
 織田武雄『古地図の世界』（講談社）
 葛川絵図研究会『絵図のコスモロジー』上・下（地人書房）
 小山・下坂・吉田編『中世荘園絵図大成』（河出書房新社）
 水津一期『近代地理学の開拓者たち』（地人書房）
 野沢秀樹『フランス地理学の群像』（地人書房）

他履修
学部
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池 一之	経A・商・経B	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：
 地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、
 組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成させる地形
 （火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

貝塚爽平著（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税
 小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	大友 篤	経A・商・経B	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを並行して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

成績評価の方法

定期試験による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	小田 匡 保	経A・商・経B	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 宗教集落・宗教都市
5. 巡礼
6. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	高木 正 博	経A・商・経B	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえつつ、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを利水・災害・自然環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学から講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれ河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおし随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学特論	はせがわ ひとし 長谷川 均	経A・商・経B	4

講義のねらい

この講義では、「オキナワ」をテーマに、島々の自然や環境、文化について地理学的なアプローチを試みたい。沖縄県では、本土復帰以降の30年間、巨額な資金が注ぎ込まれ地域振興がはかられた。そのマイナスの結果として、島々の自然がいたるところで痛めつけられてしまった。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。また、あわせて「オキナワ」の人々の暮らしの背景にある、本土にすむ私たちから見ればかなり異質に見える文化を「創作民謡」の歌詞などから解説してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」、「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。なお、後期は前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地域や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。また、講義のねらいの最後で述べた内容に関して講義の準備を進めているが、学生から積極的な希望があれば省略する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の講義内試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、PCによるプレゼンを多用するが、基本的には講義形式の授業である。

履修
学
科
目
部

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ (近代)	こいずみ まさひろ 小泉 雅弘	経A・商・経B	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民権分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講 X (近・現代)	趙軍	経A・商・経B	4

講義のねらい

〈近・現代日中関係史〉と題して講義する。その目的は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概的に解説し、日本とアジア諸国とりわけ中国との関係を正しく理解できる知識や教養を高めることである。

講義の内容・授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第一次世界大戦以後の日中関係史を具体的に解説する。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山満と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満州事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦
14. 改革開放と「新アジア主義」
15. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教科書

趙軍著『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年
竹内実著『日中国交基本文献集』上・下巻（蒼々社）1993年

参考書等

田中明彦著『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年
ホームページ「日中関係資料館」<http://www.est.hi-ho.ne.jp/~zhaojun/> など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史Ⅱ	松本信道	経A・商・経B	4

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本の受容」というテーマを中心として日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を政治的・社会的・思想的・宗教的環境のなかで有機的にとらえてゆくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的な視点とし、古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートで評価したい。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史』古代編（古川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口貢	経A・商・経B	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の霊魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	山口祐弘	経A・商・経B	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘「カントにおける人間観の探求」、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	やまぐちまさひろ 山 口 祐 弘	経A・商・経B	4

講義のねらい

「すべての真の歴史は現代の歴史である」というクローチェの言葉を手引きとして、「歴史とは何か」という問題を様々な思想家の見解によりつつ考える。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 生の様態と歴史の類型（ニーチェ）
2. 歴史の哲学的考察（カント）
3. 哲学的歴史の構想（ヘーゲル）
4. 歴史認識と価値（ヴィンデルバンド）
5. 文化科学の客観性（ウェーバー）
6. ホモ・ファエベルとポイエーシスの世界（西田幾多郎）
7. 歴史の存在構造（メルロ・ポンティ）

成績評価の方法

出席を重視する。成績は平常の学習態度と期末に課す小論文の評価によって判定する。

教 科 書

E・H・カー『歴史とは何か』（岩波新書）
B・クローチェ『歴史の理論と歴史』（岩波文庫）

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもとまさる 川 本 勝	経A・商・経B	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーション活動の現代的特質と社会的機能、影響過程を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションとの関連を考える。
・社会的コミュニケーションの諸形態と特質。
・情報環境の変容とコミュニケーション内容。
・社会生活とコミュニケーション行動。
後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのような機能やインパクトを与えているかを考える。
・マス・コミュニケーション活動と諸問題。
・メディア・コミュニケーションの社会的機能。
・受容過程の特質と効果研究。

履修上の留意点

他学部・学科履修科目であるが、他学部・他学科の学生は、社会学の科目を履修して社会学の基礎知識を修得しておくこと。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教 科 書

特に用いない。

参 考 書 等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉発達史	はやし 林 千代	経A・商・経B	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本的特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。

参考書等

その都度紹介する予定である。

その他

特に無し。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	かね 金子昇平	経A・商・経B	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選I・II』第四版（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	にし西 おさむ修	経A・商・経B	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといふ点で非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

①開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと
②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

①出席・レポート 20点 ②前期試験 40点 ③後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- ①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
- ②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- ③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるため、注意すること。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
親族法	ごとうきょうこ五島京子	経A・商・経B	4

講義のねらい

民法典第四編親族編に規定される内容を中心に「親族法」の講義を行う。身近な家族の問題を法的視点から理解することを通じて、民法の基礎的な考え方を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

私法の一般法である民法には財産関係を規律する法と家族関係を規律する法が含まれるが、本講座は後者を講義の対象とする。具体的には、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次講じていくことになるが、法律を初めて学ぶ方たちのために最初はゆっくりと基本的用語の説明をしながら講義を進め、知識がある程度集積してくる夏休み明けから進度を速めていく予定である。民法の条文解釈を中心に、わが国における制度の歴史や欧米家族法との比較、法社会学的な考察をも踏まえ、最近の立法の動向を紹介しながらダイナミックな家族をめぐる法状況を検討したい。

履修上の留意点

面白がって講義に参加していただくのは大歓迎だが、その興奮を講義の時間内に隣の人たちと分かち合うのは控えていただきたい。1人のひそひそ話が100人分集まれば、もはやひそひそ話ではなくなるのである。

成績評価の方法

定期試験により成績評価をするが、出席状況などの平常点をも加味する。

教科書

遠藤浩はか編『民法（8）親族〔第4版増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明・水野紀子編『家族法判例百選〔第6版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	かど ひろ のりこ 門 広 乃里子	経A・商・経B	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（9）相続〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円
六法

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	経A・商・経B	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修科目
他学部

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米法	またの北野かほる	経A・商・経B	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法
 - (2) 二大法体系
 - (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴
 - (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域
 - (2) 法源
 - (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性
 - (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念
 - (2) 法システムにおける裁判の位置
 - (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論
 - (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法
 - (2) 判決における法考察
 - (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠
 - (2) 内実
 - (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ
 - (2) 厳格な分離解釈の理論

他学部履修科目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

昨年度から講義計画に変更が生じているため、シラバスが一部大きく変更になっている。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がる。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	なかのゆうじ 中野裕二	経A・商・経B	2

講義のねらい

平成15年(2003年)度の「ヨーロッパ政治論(1)」はフランスを対象とする。フランスの政治制度を概観した後、近年のフランス政治を理解する上で重要なテーマを扱う。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

第1章 政治制度

1. 大統領も首相もいる国
2. 「半大統領制」
3. 「合理化された議会制」

第2章 社会編成原理としての共和制

1. フランス共和制の理念
2. 共和制の現実
3. 「フランス的統合」

第3章 移民問題

1. 移民の概観
2. 移民問題の顕在化
3. 移民問題とフランス共和制

第4章 国民戦線の台頭

1. フランスの新右翼
2. 新右翼の主張
3. 国民戦線台頭の意味

他履修科目

履修上の留意点

「政治制度論」をすでに受講していることが望ましい。フランス、広くはヨーロッパの政治に関心のある学生の受講を希望する。日本の政治に関心のある学生も、講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、日本政治との類似点・相違点という観点から問題関心を抱き受講してもらいたい。授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

参考書等

田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年
 中野裕二『フランス国家とマイノリティ』国際書院、1996年
 畑山敏夫『フランス極右の新展開』国際書院、1997年
 山口定・高橋進編『ヨーロッパ新右翼』朝日新聞社、1998年
 奥島孝康・中村紘一編『フランスの政治』早稲田大学出版部、1993年
 宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』人文書院、1998年
 長部重康『変貌するフランス』中央公論社、1995年
 渡邊啓貴『フランス現代史』中央公論社、1998年
 本間圭一『パリの移民・外国人』高文研、2001年
 三浦信孝編『普遍性か差異か』藤原書店、2001年 など

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	なかのゆうじ 中野裕二	経A・商・経B	2

講義のねらい

平成15年(2003年)度の「ヨーロッパ政治論(2)」はイギリスを対象とする。イギリスの政治制度を概観した後、近年のイギリス政治を理解する上で重要なテーマを扱う。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

第1章 政治制度

1. 複合国家から準連邦国家へ
2. 議会優位

第2章 政党政治——サッチャリズムからブレアの「ニュー・レイバー」へ

1. 準備作業——概念、理論の確認
2. イギリスの伝統的政党制
3. サッチャリズム
4. ブレアの「ニュー・レイバー」

第3章 北アイルランド紛争

1. 北アイルランド紛争の歴史の経緯
2. 北アイルランド紛争の基底

履修上の留意点

「政治制度論」をすでに受講していることが望ましい。
イギリス、広くはヨーロッパの政治に関心のある学生の受講を希望する。日本の政治に関心のある学生も、講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、日本政治との類似点・相違点という観点から問題関心を抱き受講してもらいたい。
授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

他
学
部
履
修
科
目

成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

参考書等

田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』人文書院、1998年
梅川正美『イギリス政治の構造』成文堂、1998年
山口二郎『イギリスの政治 日本の政治』筑摩書房、1998年
舟場正富『ブレアのイギリス』PHP 研究所、1998年
自治・分権ジャーナリストの会編『英国の地方分権改革』日本評論社、2000年
豊永郁子『サッチャリズムの世紀』創文社、1998年
川勝平太／三好陽編『イギリスの政治』早稲田大学出版部、1999年
ポール・スノードン／大竹正次『イギリスの社会』早稲田大学出版部、1997年
鈴木良平『アイルランド問題とは何か』丸善、2000年
M・イグナティエフ『民族はなぜ殺し合うのか』河出書房新社、1996年
富田正史『「多文化主義ネイション」に向けて』晃洋書房、1996年 など

そ の 他

配布するプリントの概要は KOMSY に掲載するので参照すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 政 治 学	こ ぼり のり ち 小 堀 訓 男	経A・商・経B	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教 科 書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨ ー ロ ッ パ 政 治 史	うら た さ なえ 浦 田 早 苗	経A・商・経B	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート—7~8×400字—は任意ではあるが、年5~6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教 科 書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和 22 年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成 12 年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教 科 書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000 円

参 考 書 等

『地方自治判例百選（第 2 版）』（別冊ジュリスト）。
 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成 12 年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成 13 年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

他学
履修
科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	み たけ なお や 三 竹 直 哉	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに、指定してある教科書を使い、方法論の基礎の基礎を勉強します。それから、優れたドキュメンタリーなど、かなりの数のビデオ教材を見て外国の様子を知り、随所で比較政治学分野で現在行われている最新の研究を紹介していきたいと思います。2003年度は、移民政策の比較研究に特に力を入れたいと思っています。

前期中もしくは、後期中に、もう一冊か二冊、教科書として指定した本を買っていただく可能性があります。

この授業についての最新の情報は、下記のホームページで見られますので、ご利用ください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3～4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2002年度用です。2003年度用の情報は、2003年4月に入ってから確認してください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教 科 書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円
他に一冊、もしくは二冊、指定する可能性があります。

参 考 書 等

適宜指示します。

そ の 他

授業では、みなさんがせつかく6年間（以上）も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おお つか かつら 大 塚 桂	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1 国家論の課題 2 幕末政治過程 3 幕末政治思想（水戸学、国学） 4 公議政体論 5 太政官制・内閣官制 6 大日本帝国憲法 7 法典整備・司法制度 8 統帥権・戒厳（令） 9 地方官官制 10 自由民権運動 11 帝国議会 12 財政制度 13 教育勅語 14 国家神道 15 社会主義運動 16 大正デモクラシー 17 天皇機関説 18 天皇制ファシズム 19 統制経済 20 まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教 科 書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3300円

参 考 書 等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3000円

そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

他 学 部
履 修 科 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 営 論	茂 垣 広 志 も がき ひろ し	経A・商・経B	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

他履修
科目
部

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教 科 書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参 考 書 等

必要に応じて指示する。

そ の 他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かた ぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

- * レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

開講時、指示します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

他 学 部
履 修 科 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報論	高井 徹雄	経A・商・経B	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報理論	にしむらかずお 西村和夫	経A・商・経B	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報量を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしてします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

他学部
履修科目

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	なが 長 くに 国 きょう 強	経A・商・経B	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。
 経営統計について：経営統計の役割、基礎概念
 統計特性値：平均、分散、正規分布
 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理
 経営時系列：季節指数、時系列予測
 経営指数：物価指数、数量指数
 統計推測：標本分布、区間推定、仮説検定
 統計的意志決定理論：意思決定基準、期待効用理論

他履修科目
学部

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
 この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
異文化コミュニケーション	<small>おく はら しゆん こ</small> 奥 原 淳 子	経A・商・経B	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化がますます進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下において、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- ・「日本人」とはだれか。
- ・「コミュニケーション」とは何か。
- ・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- ・非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
- ・日本語にはどんな特徴があるのか。
- ・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くことについてその方策を提示していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・試験（レポート）

教科書

開講時指示します。

参考書等

開講時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 史	<small>たか しま</small> 高 嶋 めぐみ	経A・商・経B	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけないこと。

成績評価の方法

総合評価（①出席、受講の状況②レポートまたは試験）

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHPなど適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化概論	<small>このべ</small> 菌部 幹生・井上 優 <small>さとう</small> 佐藤 憲昭・町田 尚子 <small>すまふじ</small> 末藤美津子・内藤 寿子 <small>さじた</small> 藤田 和美	経A・商・経B	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。
 本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月16日(水) オリエンテーション 菌部幹生

- ① 近代文学とタブー 《4/23、5/7、5/14、5/21(4回)》 井上優
 - ② タブーと宗教 《5/28、6/4、6/11、6/18(4回)》 佐藤憲昭
 - ③ 言語とタブー 《6/25、7/2、7/9、7/16(4回)》 町田尚子
 - ④ 教育におけるタブー 《9/17、9/24、10/1、10/8(4回)》 末藤美津子
 - ⑤ メディアとタブー 《10/22、10/29、11/5(3回)》 内藤寿子
 - ⑥ 慣習のタブー 《11/12、11/19、11/26、12/3(4回)》 藤田和美
- ◎12月10日 まとめ 菌部幹生

◎1月8日 レポート提出(資料室) 菌部幹生

履修上の留意点

最初の授業時(4/16)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	<small>まつ</small> 松 だ 直 行 <small>なお</small> 田 直 行 <small>ゆき</small> 直 行	経A・商・経B	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストはまだ未定だが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

成績評価の方法

レポートの提出と出席状況により評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語（前期）	おが ちと まこと 岡 本 誠	経A・商・経B	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば"Current English"ということになるだろうか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席状況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

履修科目
他学部

IV 「日本語」・「日本事情」科目

〔日本事情〕
〔日本語〕

IV. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日	本	語	I	〈佐野典子〉	479
日	本	語	I	〈多田羅哲子〉	479
日	本	語	II	〈佐野典子〉	479
日	本	語	II	〈多田羅哲子〉	480
日	本	語	III	〈多田羅哲子〉	480
日	本	語	III	〈湯村礼子〉	481
日	本	語	IV	〈石川守〉	481
日	本	語	IV	〈湯村礼子〉	481
日	本	語	V	〈石川守〉	482
日	本	語	V	〈多田羅哲子〉	482
日	本	語	VI	〈石川守〉	483
日	本	語	VI	〈多田羅哲子〉	483

《日本事情科目》

日本事情 I	〔地理〕	(前期)	〈須山 聡〉	483
日本事情 II	〔自然〕	(前期)	〈清水 善和〉	484
日本事情 III	〔歴史〕	(後期)	〈宮本 由紀子〉	485
日本事情 IV	〔思想〕	(前期)	〈赤羽 由規子〉	485
日本事情 V	〔社会〕	(後期)	〈李 妍 炎〉	486
日本事情 VI	〔政治・法律〕	(後期)	〈中野 裕 二〉	487
日本事情 VII	〔文学〕	(後期)	〈奥原 淳 子〉	487
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽 由規子〉	488
日本事情 IX	〔経済〕	(前期)	〈吉田 敬 一〉	488
日本事情 X	〔経営〕	(前期)	〈鈴木 幸 毅〉	488

「日本事情」
「日本語」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	全学科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- ・語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- ・助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、前期は、日本の映画を中心に、日本語を勉強する。後期は、同じテーマを持った、外国の映画との、比較を通して、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
 - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
 - ・あわせて書く練習もする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- ・読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- ・スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ・ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- ・話したことを文章にまとめる。
- ・テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 III	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- ・話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
 - ・一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- ・その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	湯村礼子	全学科	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	石川守	全学科	2

講義のねらい

日本語の中上級の文型、表現、会話の表現を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 形式名詞を中心とした表現。
2. 最近よく使われる会話文型を分析する。
3. 会話特有の表現について学ぶ。

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみと期末試験等で総合的に評価する。特に出席は重視。

教科書

授業中に配布する。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	湯村礼子	全学科	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	石川 守 <small>いし かわ まもる</small>	全学科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	多田羅 哲子 <small>たたら あまこ</small>	全学科	2

講義のねらい

- ・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
- ・現在マスコミ等でよく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。

テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布、ビデオも使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	石川 守 <small>いし かわ まもる</small>	全学科	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Vで学習した内容は引き続き、更にその残りの文法と中上級全般とのかかわりを中心に講義を進めていく。

主たる項目は以下の通りである。

- ・目的の表現
- ・試みの表現
- ・条件の表現 「と」「たら」「なら」
- ・原因・理由の表現
- ・逆接の表現
- ・依頼の表現
- ・使役の表現と用法
- ・受身の表現
- ・自動詞と他動詞
- ・使役の受身
- ・～てしまうの用法

その他

順番は必ずしも上の通りとはならない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	多田羅 哲子 <small>ただら あきこ</small>	全学科	2

講義のねらい

読解能力を向上させる。
文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリントを配布。

日本語
日本事情

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 I (前期) [地理]	須山 聡 <small>す やま さとし</small>	全学科	2

講義のねらい

日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域(都道府県あるいは都市)を分担し、それぞれに地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。

成績評価の方法

出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅱ(前期) 〔自然〕	しみず よしかず 清水 善和	全学科	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 章 位置
 - 1. 国土の範囲
 - 2. 行政区分
 - 3. 位置の特徴
- II 章 気候
 - 1. 世界の気候帯
 - 2. 海流
 - 3. 気候の特徴
 - 4. 気団と季節
 - 5. 台風
 - 6. 天気予報
 - 7. 生物季節
 - 8. 俳句と季節
- III 章 地質・地形
 - 1. 弧状列島
 - 2. 変動の歴史
 - 3. 多様な地形
 - 4. 火山
 - 5. 地震
- IV 章 生物
 - 1. 世界の植生帯
 - 2. 日本の植生帯
 - 3. 生物地理区
 - 4. 日本の海産生物
 - 5. 帰化種の侵入
 - 6. 自然保護の制度

履修上の留意点

なし。

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

その他

必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ（後期） 〔歴史〕	<small>みやもと ゆきこ</small> 宮 本 由紀子	全学科	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとして。

講義の内容・
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートまたは筆記試験で成績の評価とする。

教科書

なし

参考書等

その都度知らせる。

その他

講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ（前期） 〔思想〕	<small>あかば ゆきこ</small> 赤 羽 由規子	全学科	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅴ(後期) 〔社会〕	李 妍 炎 り げん えん	全学科	2

講義のねらい

この講義では、一般的に「日本的」「日本型」「日本らしい」と言われるような社会事象を発見し、その意味を探り、それについて理解し、検討していくことを目的とする。それによって、受講生とともに日本社会への理解を深めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞記事や映像などを素材として、受講生が「日本的」「日本型」「日本らしい」と思うようなものを選んで、授業で発表する。その発表をベースにコメントや議論を加えて授業を進めていく。大まかなテーマとスケジュールは以下のとおりである。

1. ガイダンス
2. 日本の政治 (政治家)
3. 日本の経済 (企業)
4. 日本の外交 (国際交流・国際援助)
5. 日本の教育 (学校・子育て)
6. 日本の若者
7. 日本の芸能
8. 日本の事件簿
9. 日本の事件簿
10. 日本の暮らし
11. 日本の暮らし
12. ディスカッション: 「日本的」と「日本らしい」から考える日本社会論
13. まとめ

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

平常点 (出席) とレポートによる。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅵ(後期) 〔政治・法律〕	なかの ゆうじ 中 野 裕 二	全学科	2

講義のねらい

この講義は、日本語を母語としない学生を対象にして、日本の政治制度を概観し、現在の日本政治の争点と課題を理解することを目的とする。
項目ごとにまず講義を行い、そのうえでその項目に即したテーマを設定し、受講生の間で討論をして内容の理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる項目は次のとおり。
1. 国会
2. 政党政治
3. 首相
4. 官僚
5. 地方政治
6. 政治参加

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。できるだけ双方向型の授業にしたいと考えている。

成績評価の方法

①出席、②質問、発言など授業への積極的参加度、③期末試験を総合的に評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。毎回プリントを配布するので、そのプリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

参考書等

適宜紹介する。

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅶ(後期) 〔文学〕	おく ほら じゆん こ 奥 原 淳 子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、文学・言語に対する理解を深めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進めます。その際、内容はもちろん、言語面での問題点も共に考えていきます。
テーマは、文学作品、作家、日本語の言語項目を対象とします。
第一回の授業には、予め関心のある作品や作家、言語項目を持って出席してください。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・レポート

教科書

その都度指示します。

参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ(後期) 〔文化・芸術〕	あか ぼ ゆきこ 赤 羽 由規子	全学科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。
また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅸ(前期) 〔経済〕	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	全学科	2

講義のねらい

第2次世界大戦に敗れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No. 1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。
I 日本経済入門の入門
II 戦後日本の高度経済成長の秘密
III 経済大国日本とバブル景気
IV 空洞化問題に苦しむ日本

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

講義中に必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ(前期) 〔経営〕	すず き こう ぎ 鈴 木 幸 毅	全学科	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教科書

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

経済学科フレックスB

I 全学共通科目

1 宗 教 教 育 科 目

1 . 宗 教 教 育 科 目

仏 教 と 人 間 〈皆 川 広 義〉	497
仏教と人間〔再クラス〕	
仏 教 と 人 間 〈小 坂 機 融〉	498
仏教と人間〔再クラス〕	
仏教と人間〔再クラス〕 〈松 本 史 朗〉	498
仏教と人間〔再クラス〕 〈熊 本 英 人〉	499
仏教と人間〔再クラス〕 〈岩 永 正 晴〉	499
仏教と人間〔再クラス〕 〈吉 村 誠〉	500

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	みな がわ ひろ よし 皆 川 広 義	経B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全学科2・3・4年	

講義のねらい

仏教の開祖・釈尊（おしゃかさま）の生涯と教えを学ぶことによって、現代に生きる私たちの人間としての道を学んでゆきたい。

釈尊は、約2500年まえ、インドのヒマラヤ南麓にあった釈迦国の皇太子として生まれた。彼は、青年時代までは幸せな人生を歩んでいたが、ある日身近にいる人々の老病死の苦悩をみて、自分もいつかはあのような一大事に直面することを自覚させられた。

釈尊は、その生死の苦悩から解脱して、安心と生きがいを求めて、沙門という宗教者になられた。沙門は、樹下石上に生活し、三衣一鉢しか所有しないで、道を求める宗教者であった。彼は幸いにも六年の修行の後に、菩提樹下で座禅瞑想中に悟りを得て、生死の苦悩からの解脱道を発見せられた。人間が、なんのために生まれ、成長し、そして老い、病にたおれ、死してゆくのかという人生の目的をも悟られたのである。

釈尊は、悟りを得てから45年間、八十歳で亡くなるまで、自分が悟り発見した生死の苦悩からの解脱道と人生の目的とを、多くの苦悩に打ちひしがれている人々に伝道されたのである。

本学は、曹洞宗がこの釈尊の教えにもとづいて設立した大学であり、この『仏教と人間』の講義を通して、各自がおのれの人間としての道を学びとっていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、人間と宗教について、社会学、心理学、宗教学、仏教などをふまえて、わかりやすく語りたい。

次に、釈尊の生涯と教えを考察し、彼の宗教の成立とその教えへの世界へのひろがりについて述べる。

結びに、仏教の教えを通して、私たちがなんのために生まれ、成長し、老病死してゆくのか、つまり、人生の目的について、各自が自分の問題として明らかにできるようにしてゆきたい。

I 人間と宗教

- 1 現代人の意識と行動
- 2 世界の宗教状況
- 3 我国の宗教と問題点
- 4 有所得の宗教と無所得の宗教
- 5 人間存在の有限性 生老病死

II 仏教 仏教の開祖 釈尊の生涯と教え

- 1 釈尊の国インドと時代
- 2 誕生と成長
- 3 出家求道 沙門の道
- 4 菩提樹下の悟り 自己の真実 生命
- 5 初めての説法 釈尊の教え ①縁起説 ②血諦説
- 6 45年の伝道
- 7 沙羅双樹下の人滅
- 8 弟子たちによる仏教の誕生
- 9 釈尊仏教の世界へのひろがり

III 人生の目的

私たちは、なんのために生まれ、成長し、老い、病にたおれ、そして死してゆくのか。

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。

宗教教育科目の「仏教と人間」は、本学がほこりうる講座であり、この授業を通して他大学ではなかなか得ない人間の陶冶と人格の完成をなして、豊かな人生をつくりだしていただきたい。

成績評価の方法

聴講態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	小坂 機融	経B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全学科2・3・4年	

講義のねらい

当授業は、大学教育を実施するに当って、先づ本学の建学の理念である仏教思想による知性と慈悲とを兼ね備えた人間の育成を目指し、仏教的情操を基調として、広い知識と専門の学位とを修得して行くという本学独自の講座である。

仏教は、人間および世界に対する深い洞察からもたらされた思想信仰である。偏りのない智慧の獲得をもって一切を正しく認識判断して、おのおのの実人生を虚妄なものではなく、確実なものとして生きる道を示して来た。仏教は、伝統を有しているが、決して古くさいものではなく、常に現実の事として響くものであるから、これからの諸君の学業と人生に生かされることを切望する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代文明社会の明と暗
2. 現代文明の理念を吟味する
3. 科学技術の飽なき進歩への信仰と危惧
4. 人間の自然認識とその問題点
5. 人間—その成りたちと変貌—
6. 本能と自我とエゴイズム
7. 仏教における人間観・世界観・自然観
8. 仏教による認識と行動
9. 仏教を基盤とする文化・社会・政治・経済等
10. 遍塞しない人生

履修上の留意点

この講座の核は、誰れもがそらすことのできない課題であるので自身で真剣に考えることに努めてほしい。

成績評価の方法

授業の伝達度を確認するため、毎時間その日の問題を提示して解答して貰うことと、期末試験・出席状況等によって評価する。

教科書

講義形式、出来れば1~2回坐禅実習。

参考書等

松本史朗著『仏教への道』、奈良康明著『仏教と人間』（共に東京書籍）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	まつもと しろう 松本史朗	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	熊本英人 <small>くまもと えい にん</small>	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。
仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブッダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を理解してもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。適宜レポートを課す。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	岩永正晴 <small>いわなが しょうせい</small>	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教への関心を持ってもらうことが本講義の目的です。しかし、煩雑な儀礼や慣例・漢文などの語学・特殊な用語・独特の思考法・多量の文献など、諸君から仏教を遠ざける要因は少なくないでしょう。そこで本講義では、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、仏教について冷静に考察するための材料が提供できれば、と考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

原則として毎回ひとつの用語をテーマに定め、解説する。

履修上の留意点

成績評価に際しては、平常点など補助的な評価材料を一切用いないので注意して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。

教科書

教科書は未定。但し千円程度のものを用いる予定で、初回の授業において指示する。

参考書等

平川彰著『仏教入門』（春秋社刊）
古田紹欽訳注『正法眼蔵随聞記』（角川文庫）。
その他は講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	よしむら 吉村 誠 <small>まこと</small>	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の礼拝対象である仏像には、信者でなくともその美に心打たれることがある。そこにはいかなる思いが託されているのだろうか。また寺院には、神秘的なマンダラを前に呪文を唱え、あるいは清寂たる庭を背に黙座する人がいる。それらはいったい何を象徴しているのだろうか。本講義では、代表的な仏教芸術を手がかりに、美に託された思想の源流を求めて、遠くブッダの時代へとさかのぼる。その思想を未来へと投じたとき、私たちの人生や来るべき世界はどのように照らされるのだろうか。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は仏教のイコノロジーについて。仏・菩薩への信仰を分析し、その背後にある思想を読み取ってゆく。後期は仏教のシンボリズムについて。密教と禪の象徴形式について考察し、それらの意味を読み解いてゆきたい。年間を通じて、日本人の人間や社会に対する見方が、仏教のそれに裏打ちされていることを発見するであろう。さらに日本人が培ってきた感性や思惟が、これからの生活や社会に何らかの意味を持つのか否か、持つとすればどのようなありかたにおいてか、という問題についても考えをめぐらせたい。

履修上の留意点

必修科目であるが、この機会を前向きにとらえ、日本の文化史・美術史の教養として、宗教学・仏教学の入門としてなど、自分なりの目標を立てて授業に臨んでもらいたい。出席励行。

成績評価の方法

出席状況とレポートによる総合評価。

教 科 書

プリントを使用する。

参 考 書 等

授業中に随時紹介する。

そ の 他

授業は講義形式。

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P. 11)

教養教育

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学〔聖と俗〕	菅原 壽清	505
宗教学〔比較宗教文化〕	田中 かの子	506
文学(1)(3)〔日本文学「古典」〕	合瀬 純華	506
文学(2)〔日本文学「近代」〕	保明 陽子	507
歴史学(1)〔日本近代史〕	林 彰	507
歴史学(2)〔中国古代史〕	小林 惣八	508
歴史学(3)〔中国古代思想史〕	小林 惣八	508
哲学〔西洋思想の源流〕	河谷 淳	508
哲学〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理	509
哲学〔現代文明と人間〕	鈴木 聡	509
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理	510
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享志	510
倫理学〔現代と倫理〕	古田 知章	511
倫理学〔人生と倫理〕	末木 恭彦	511
教育の思想	伊藤 茂樹	512
教育と社会	伊藤 茂樹	512
発達と学習の心理学	川田 三夫	513
カリキュラムと学習	川田 三夫	514

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕	鶏徳 啓登	515
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	515
社会科学論〔社会認識の思想〕	枝松 正行	516
経済学〔現代経済と人間〕	明瀬 政治	517
社会学〔現代社会を考える〕	呉 炳三	518
社会学〔現代文化を考える〕	橋爪 敏	518
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	519
文化人類学〔文化と人間〕	川上 新二	519
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	520
政治学〔政治システムと政治参加〕	村井 良太	521
政治学〔国際社会と日本〕	山村 恒雄	521

(3) 自然分野

心理学 (1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	鈴木 順一	522
心理学 (2)〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	522
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	523
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	525
コンピュータ基礎(1)(3)〔コンピュータと情報〕	竹田 洋一	526
コンピュータ基礎(2)(4)〔コンピュータと情報〕	上原 隆平	526
地球科学〔地球環境の現在・過去・未来〕	山縣 毅	527
地球科学〔変動帯としての日本列島〕	藤井 享	528
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	篠原 正雄	529
自然環境論〔環境と保全〕	山縣 毅	530
情報数理学〔情報と論理〕	小沢 誠	530

教養教育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 〔聖と俗〕	すが わら とし きよ 菅 原 壽 清	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえてみたいと考えております。

授業は講義形式とし、前半は宗教学・宗教人類学についての基礎的な問題を、後半は聖と俗を手がかりに、日本人の生死観、東南アジアや中国雲南など、具体的な地域の事例を基にしながら、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について、順次考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 〈宗教人類学入門〉
- 1、宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
 - 2、宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）
- 〈宗教の多様性〉
- 3、さまざまな宗教形態（その多様な形態）
 - 4、宗教の分類方法（現代の分類方法）
- 〈聖なるコスモロジー〉
- 5、聖と俗
 - 6、東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
 - 7、シャーマニズム
 - 8、日本人の生死観

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし。

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

ビデオ・スライドなども使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	田 中 かの子 <small>たなか</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をとまなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教を選び、それぞれの歴史・思想・文化、および、相互の歴史的連関について解説する。その予備知識として、前期の初めには、比較宗教学の基本的立場、宗教多元主義の問題点、諸宗教を比較する方法などを講ずる。

比較宗教文化の具体例としては、仏教美術とキリスト教美術を取り上げる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 (1)(3)〔日本文学「古典」〕	合 瀬 純 華 <small>おおせ</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

平賀源内といえばエレキテルの発明家であり、本草学者、鉱山開発、殺人の末の獄死など、その破天荒な生涯から奇人変人として知られている。だが、彼の文学作品は当時の江戸の戯作者たちに影響を与え、「江戸戯作の祖」として評価されている。日本の古典文学史においては源内が生きた18世紀後半は、文化の中心が上方から江戸へ移行し、洒落本や黄表紙など多様な都市文芸が開花する時期でもある。以上の観点から、この講義では平賀源内の文学と江戸中期の戯作を鑑賞することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

まずは文学史的な知識をふまえた上で、平賀源内の生涯と時代背景を概観し、特に小説『根南志具佐』を現代語訳しながら講読する。その他の江戸戯作については、具体的な作品を影印と翻字によって読みながら、変体仮名の解説を目標とする。

履修上の留意点

講義中の私語、携帯電話の使用（含メール）は禁止する。

成績評価の方法

出席状況および前後期2回の定期試験による。

教科書

必要に応じてプリントして配布する。

参考書等

中村幸彦校注『風来山人集』（岩波書店、日本古典文学大系）その他。

その他

4月開講第一回目の授業時に詳細なシラバスを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文学 (2)〔日本文学「近代」〕	ほあき ようこ 保 明 陽 子	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・
授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探求するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品を本格的に読むことになる。授業に出席することで新しい読み方を探求し、そして実際にその本を読み、そこで獲得した読みの成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して課されたテーマの考察が、不定期なレポート提出という形で成績に反映される。

教科書

適宜講義で指示する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 (1)〔日本近代史〕	はやし あきら 林 彰	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

今年度は、幕末から明治・大正時代にかけての思潮・思想を中心に概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、日本化されていくか、他方、伝統的な思想が天皇制を核にいかに関わり、近代思想とどう錯綜・対立していくのか。それらを見ていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は近代史の概説をこころみる。その後、近代の思潮動向をおっていく。とくに、体制側の思想や反体制側の思想を運動もからめてみていく。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

参考書等

講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (2)〔中国古代史〕	小林 惣八 <small>こばやし そう ほん</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (3)〔中国古代思想史〕	小林 惣八 <small>こばやし そう ほん</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	河合 淳 <small>かわ たに あつし</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば、現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義では次のような内容を取り扱う。
- (1) ギリシア哲学（ソクラテス以前・ソクラテス・プラトン・アリストテレス）
 - (2) キリスト教哲学（教父哲学、スコラ哲学）
 - (3) 近代哲学（デカルト、ロック、カント）

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点をさぐる。今年度は、特に「歴史」について検討する。近代において、「歴史」の概念がどのように形成され、現代文明を考えるうえでどのような意義と問題点をもっているかを解説する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要なところをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

以下の素材のうちのいくつかを叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果論
2. 演繹
3. 帰納
4. 仮説形成
5. グルーのパラドクス
6. 懐疑的パラドクス
7. ニューカムのパラドクス
8. 囚人のディレンマ
9. 言語哲学

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

その他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

①古典的三段論法 ②公理系Ⅰ～命題論理 ③公理系Ⅱ～述語論理 ④コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享 志 <small>あさ お たか し</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものかと考えるか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで①論理とは何かを考え、②変化する論理学の各内容についての知識を持ち、③日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔現代と倫理〕	ふるたともあき 古田知章	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上に乗ってこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「自己」と「世界」あるいは「他者」との関係などの、「自己」と倫理をめぐる基礎的な諸問題を整理し、後期は、前期で扱った内容をもとに、現代社会で関心が集まっている、生命倫理、環境倫理といった応用倫理に関する諸問題の検討をおこなう。

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	すえきやすひこ 末木恭彦	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

人は一人では生きることができない。生きることは、必然的に人と人の関りの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋（特に中国・日本）に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題としたい。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとる（板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること）

成績評価の方法

中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想(前期)	伊藤茂樹	経B・経A 2選 12以降入学生/商2選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・近代社会と教育
 ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会(後期)	伊藤茂樹	経B・経A 2選 12以降入学生/商2選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・現代の教育問題
 ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学(前期)	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	経B・経A 2選 12以降入学生/簡2選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史の変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学」「青年心理学」の単位を取得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習(後期)	かわ だ みつ ちゅう 川 田 三 夫	12以降入学生/経B 2選	2
		12以降入学生/経A・商2選	

講義のねらい

- 1) 教授-学習課程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習(教育)をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育学・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史の変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程(学校教育の基本について)
- 8) 教授-学習過程(学習指導、学級集団、生徒指導)
- 9) 教育評価の歴史の変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領(改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等)
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題(授業時間、教科書、教科書検定、等)
- 13) その他(教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等)
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験(論述、レポート)を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、前期に「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	い 鶏 徳 啓 登 い 鶏 徳 啓 登	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - ①法の意義 ②法発生の背景 ③法とその近辺の社会規範 ④法の種別と解釈 ⑤法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - ①民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - ②憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - ③国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	は せ が わ ひ で よ 長谷川 日出世	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。
本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわり合いを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。
後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 科 学 論 〔社会認識の思想〕	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	経B・経A選	4
		12以降入学生/商選	

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教 科 書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参 考 書 等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

そ の 他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 〔現代経済と人間〕	みょう せ まさ はる 明 瀬 政 治	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・ 授業スケジュール

受講生にあっては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきちんと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- ① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
 - ② きょうは「経済学」か、と言わせたい
- そして、
- ③ 結構おもしろい（じゃん）、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りて業間チェック（クイズ）を行い、平常点として考慮します。

教 科 書

教科書は、開講時に指示します。基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

参 考 書 等

- 幸村 千佳良 著『経済学事始』（多賀出版）
 伊藤 元重 著『入門経済学』（日本評論社）
 林 俊彦 著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	奥 炳 三 <small>おん びよん さん</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	橋 爪 敏 <small>はし つめ さとし</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康 慈 <small>しんぎょうち こうじ</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を導き出す道具で、経営・経済をはじめとする社会現象の解析、意志決定など幅広い分野で活用されています。本講義は統計学の入門として、基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

①記述統計 ②標本空間と確率 ③確率変数と確率分布 ④母集団と標本 ⑤推定 ⑥検定 ⑦相関 ⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して出席していくことが大切です。

成績評価の方法

出席・課題・試験を統合して評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

必要に応じて適時紹介します。

その他

配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	川上 新 二 <small>かわかみ しんじ</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

世界にはさまざまな文化を背景として暮らす人々がいるが、その彼らのもつさまざまな文化を理解すること（異文化理解）が、すなわち彼らを理解することにつながる。また異文化理解は我々以外の文化を理解するというだけではない。異文化を理解することは、我々の文化の再発見、再認識にもつながる。さらにさまざまな文化の理解は、それを生み出した人間の理解にもつながる。この講義では、さまざまな異文化を紹介しながら、その理解のための見方を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

先ず、文化とは何か、文化人類学における文化のとらえ方について紹介した後、婚姻、家族、親族、宗教、儀礼、経済行為などさまざまな場面で見られる世界各地の事例を紹介しながら、異文化理解のための視点を養うことにする。

成績評価の方法

出席状況、レポートの提出状況および内容、定期試験によって評価する。原則として遅刻、途中退席を認めず、また頻繁に授業内容のまとめ等のレポートを提出してもらうことを考えている。

教科書

教科書は指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ い じゆん いち 杉 井 純 一	経B・経A選 12以降入学生/高選	4

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼、慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化とコミュニケーション
 3. 環境と人間
 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
 1. 呪術と宗教
 2. 儀礼の構造
 3. 儀礼・神話・世界観
 4. 神聖王権
 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社)

その他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	村井良太	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

日々耳にするニュースの多くは、直接間接に政治と関係しています。消費税や公共事業に見られるように、政治は私たちの生活一般に深く関わっているのです。また私たちは主に選挙を通じて政治をつくる立場にもあります。日本のような民主主義社会において、政治への理解は社会人の大切な素養であるといえます。本講義は、政治参加とそれを支える政治システムに注目しながら、社会人の素養としての政治学、政治を見る目を養うことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

講義は基本的に下記教科書を下敷きにおこないますが、各テーマごとに話をふくらませたり、政治史など新たにテーマを加えたりしながら進めていきます。講義内容としては、官と民の関係、地方分権、選挙、政治参加、マスコミと政治、国会、官僚制、首相のリーダーシップ、国際政治、経済交渉など政治学に基本的なテーマに、占領、講和、日本の国際社会復帰など政治史上の知識を加味していきたいと思っています。詳しい予定は第一回目の講義でお知らせします。

履修上の留意点

履修する学生に求めるのは何より政治を知りたいという熱意です。積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査、中間レポート、学年末試験により評価します。

教科書

真淵勝・久米郁男・北山俊哉『はじめて出会う政治学』（有斐閣）1,700円＋税。

参考書等

参考図書は講義のなかで随時紹介していきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔国際社会と日本〕	山村恒雄	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本をめぐる諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (1) [ヒューマン・ウォッチング]	すずき じゆん いち 鈴木 順 一	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅ですていただきます。授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』(八千代出版) 1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——(ナカニシヤ出版) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (2) [人間関係を考える]	すずき じゆん いち 鈴木 順 一	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があるでしょう。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。

自分のことは自分が一番良く知っているようでいて、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。

本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』(八千代出版) 1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——(ナカニシヤ出版) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生態と進化〕	し みず よし かず 清 水 善 和	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性
 - (2) 遺伝子と生命現象
 - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンブリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化－生物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率
 - (2) 密度効果
 - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係と共生
 - (2) 花と昆虫の共進化
 - (3) 菌根
 - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発展段階
 - (3) ホミニゼーション（ヒト化）
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系（エコ・システム）
 - (2) 食物連鎖と生物濃縮
 - (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量

- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則
 - (2) 水の循環
 - (3) 炭素の循環
 - (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル
 - (2) さまざまな遷移
 - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性
 - (2) 多様性の尺度
 - (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物
 - (2) 都市と生物
 - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆したweb版教科書（無料ダウンロード可）を紹介する。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を超えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは羅病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・
授業スケジュール

1. はじめに
2. 生物の生活
 - a. 地球の歴史・生命の起源
 - b. 生命の誕生
 - c. 生命の維持——いのちを支える物質とエネルギー
 - d. 植物の物質生産
 - e. 遷移——溶岩上に森林が成立するまで
 - f. 遷移——植物群落の世代交代
 - g. 個体群の内部構造——順位制となわばり
 - h. 生殖行動——こどもを確実に残すための作戦
 - i. 生態系——めぐる生命の輪
3. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質がつくる豊かな生活
 - b. ゴミ焼却とダイオキシン
 - c. ダイオキシン汚染
 - d. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・バイオテクノロジー
 - e. 遺伝子組み換え生物
 - f. クローンと動物工場
 - ・地球温暖化とエネルギー問題
 - g. 地球温暖化のメカニズム
 - h. 生態系におよぼす影響
 - i. 新エネルギー革命
 - j. 原子力利用の諸問題

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科はじめ各教科の知識を本講義の前提とする。意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教科書

赤堀他著『生物学 - 地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(1)(3) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	たけだ よういち 竹 田 洋 一	経B選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OSはWindows) で主としてワープロソフト (WORD) と表計算ソフト (EXCEL) を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習 (自宅または情報センターの自習室などのパソコンで) を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして学期末に行うテスト (実技+筆記) の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(2)(4) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	経B選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地球科学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やまがた 山 縣 毅	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・関東平野の断層と地震
 - ・房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・関東山地の地質
 - ・関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教科書

特に定めません。

参考書等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN4-8343-4002-3C7344

その他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔変動帯としての日本列島〕	藤井 享 <small>ふじい すすむ</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といつて過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	しのはらまさお 篠原正雄	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境について講義します。太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきました。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でもかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 宇宙と地球
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
2. 宇宙と地球環境
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
3. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
4. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
5. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

石田恵一著『宇宙と地球環境』(成山堂書店) 1,600円

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』(岩波新書) 660円
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた 山 縣 たいし 毅	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因 2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教科書

特に定めなし。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	おざわ 小 沢 まこと 誠	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

実社会に起こる種々の問題をグラフで表現し、具体的な解決方法を導き出すことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、グラフと部分グラフ・木・連結度・オイラー回路とハミルトンサイクル・マッチングを学び、その応用として、最短道問題・連結子問題・信頼できる通信ネットワーク・中国郵便配達夫問題・巡回セールスマン問題・適正割り当て問題を取り扱う。後期に、辺着色・独立集合とネットワーク・点彩色・平面的グラフ・有向グラフ・ネットワークを学び、その応用として、時間表問題・Schurの定理・Mengerの定理を取り扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

J. A. Bondy & U. S. R. Murty (立花俊一・奈良知恵・田澤新成訳) 『グラフ理論への入門』(共立出版) 2,800円

参考書等

R. Diestel(根上生也・太田克弘訳) 『グラフ理論』(シュプリンガーフェアラーク東京) 4,200円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

3 . 外 国 語 科 目

外
国
語

3 . 外国語科目

英語 I A	(経 B)	〈葉 島 千 歌〉	535
英語 I A	(経 B)	〈山 縣 裕〉	535
英語 I A	(経 B)	〈杉 本 誠〉	536
英語 I A	(経 B)	〈河 内 賢 隆〉	536
英会話 I	(経 B)	〈永 野 光 一〉	537
英語 L L I	(経 B)	〈真 砂 久 晃〉	538
英語 I B	(経 B)	〈林 明 人〉	539
英語 I B	(経 B)	〈岸 本 茂 和〉	539
英語 I B	(経 B)	〈大 瀨 利 春〉	539
英語 I B	(経 B)	〈林 明 人〉	540
英語 I A・I B	[再クラス]	〈丹 治 弘 昌〉	540
英語 I A・I B	[再クラス]	〈伊勢村 定 雄〉	540
英語 I A・I B	[再クラス]	〈伊勢村 定 雄〉	541
英語 I A・I B	[再クラス]	〈山 縣 裕〉	541
英語 I A・I B	[再クラス]	〈佐 藤 江 里 子〉	541
英語 I A・I B	[再クラス]	〈本 間 俊 一〉	542
英語 II A	(経 B)	〈影 山 な お み〉	543
英語 II A	(経 B)	〈島 村 豊 博〉	543
英語 II A	(経 B)	〈北 村 弘 文〉	543
英語 II B	(経 B)	〈河 内 賢 隆〉	544
英語 II B	(経 B)	〈葉 島 千 歌〉	544
英語 II B	(経 B)	〈北 村 弘 文〉	544
英語 II A・II B	[再クラス]	〈丸 小 哲 雄〉	545
英語 II A・II B	[再クラス]	〈山 縣 裕〉	545
英語 II A・II B	[再クラス]	〈笹 倉 貞 夫〉	545
英語 II A・II B	[再クラス]	〈萩 原 輝〉	546
ドイツ語 I A	(経 B)	〈清 水 修〉	547
ドイツ語 I B	(経 B)	〈篠 原 敏 昭〉	547
ドイツ語 I A・I B	[再クラス]	〈本 橋 右 京〉	548
ドイツ語 II A	(経 B)	〈清 水 修〉	548
ドイツ語 II B	(経 B)	〈篠 原 敏 昭〉	549
ドイツ語 II A・II B	[再クラス]	〈本 橋 右 京〉	549
フランス語 I A	(経 B)	〈八 木 明 美〉	550
フランス語 I B	(経 B)	〈木 下 雄 介〉	550
フランス語 I A・I B	[再クラス]	〈桑 田 禮 彰〉	550
フランス語 II A	(経 B)	〈八 木 明 美〉	551
フランス語 II B	(経 B)	〈木 下 雄 介〉	551
フランス語 II A・II B	[再クラス]	〈竹 田 正 純〉	551
中国語 I A・I B	(経 B)	〈秋元 翼・王 聡〉	552
中国語 I A・I B	(経 B)	〈塩旗伸一郎・天野 節〉	552
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈大久保 明 男〉	553
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈曹 泰 和〉	553
中国語 II A	(経 B)	〈秋 元 翼〉	553
中国語 II B	(経 B)	〈王 聡〉	554
中国語 II A・II B	[再クラス]	〈弘 兼 加 奈 子〉	554
中国語 II A・II B	[再クラス]	〈東 映 全〉	554

スペイン語 I A	(経 B)	〈亀山晃一〉	555
スペイン語 I B	(経 B)	〈中山直次〉	555
スペイン語 I A・I B	[再クラス]	〈栗林ゆき絵〉	556
スペイン語 II A	(経 B)	〈亀山晃一〉	556
スペイン語 II B	(経 B)	〈中山直次〉	557
スペイン語 II A・II B	[再クラス]	〈栗林ゆき絵〉	557
ロシア語 I A	(経 B)	〈廣田英靖〉	558
ロシア語 I B	(経 B)	〈廣田英靖〉	559
ロシア語 I A・I B	[再クラス]	〈杉山秀子〉	559
ロシア語 II A	(経 B)	〈廣田英靖〉	560
ロシア語 II B	(経 B)	〈廣田英靖〉	560
ロシア語 II A・II B	[再クラス]	〈杉山秀子〉	560
英会話 II		〈永野光一〉	561
英語 L L II		〈外池一子〉	562

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	は し ま ち か 葉 島 千 歌	経 B 1 年	2

講義のねらい

英語を理解するためには精読と多読が必要であるが、この授業では比較的易しい英文を扱い、多読をすることでリーディング能力を高めることを目的とする。そのために1年間に易しいテキスト2冊を使用する。多読に必要な基本語彙習得の目標は3000語(担当者オリジナル)とし、隔週に50題15分間の単語テストを実施する。リーディングのスピードは1分間に15行以上読むことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) ガイダンス
 - ・授業の進め方の説明
 - ・多読の意義について
- (2) 自分の能力を知る
 - ・自己確認テスト
- (3) 1分間に内容を把握しながら英文を頭から読みこなす訓練
 - ・内容確認、5文型について
 - ・速読の結果を成績グラフに記入

成績評価の方法

中間試験 + 後期試験 + 積極的授業参加 + 出席 2/3 以上の総合評価

教 科 書

Ear-rings from Frankfurt (Oxford) 600円
Chemical Secret (Oxford) 600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	や ま が た ゆ た か 山 縣 裕	経 B 1 年	2

講義のねらい

日常会話を TOEIC 形式の問題などまじえながら学習する。学生用 CD 付教材使用。

成績評価の方法

定期テスト・出席点などを総合的に評価する。

教 科 書

S. Eckstut、青木雅幸著『TOEIC テストに役立つ日常英語』(成美堂) 1,900円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	すぎもと まこと 杉本 誠	経B1年	2

講義のねらい

新聞という人間生活のあらゆる面を取り扱う媒体をわたしたちの日常生活の情報源として活用することに視点を置いて、時事英語、特に新聞英語やメディア英語への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は容易に、しかも楽しく英字新聞が読めることを重視し、旅行、環境、健康、スポーツなどの日常生活に密接な関わりのある記事を取り上げる。後期は、政治、経済、文化、社会生活などの記事をできるだけ多く読み、大意を把握し、読む速度をあげるようにする。内容把握、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

履修上の留意点

速読で進むので、かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、レポート、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

『写真で見るイギリス・リスニングの旅』（南雲堂）1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	かわうち けん りゅう 河内 賢 隆	経B1年	2

講義のねらい

本テキストでは、現在世界の人々が直面している話題性のある諸問題を扱っている。特別基礎クラスなので、初歩的な文法事項や語法を詳しく解説しながら、授業をすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

ここで取り上げている主な内容は人類の未来、言語・芸術・食文化・意識の起源などを直接我々自身にかかわる今日的な課題である。興味深く読めると思う。なお基礎クラスなので文法的な事項も扱い取り上げ、やさしく解説していく。

成績評価の方法

出席点と発表点を重視する。それに小テストや期末の二回のテストの結果を総合的に加算して評価点をつける。

教科書

『君と地球の未来のために』（金星堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ながの こういち 永野 光 一	経B1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 L L I	眞 砂 久 晃 <small>まなご ひさあき</small>	経B1年	2

講義のねらい

基本的な英語の Listening 能力と発音の向上をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間、ビデオを見ながら、Listening の練習をして耳を慣らし、少なくとも日常会話が聞き取れるようにする。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。(正当な理由のある欠席については考慮する)

成績評価の方法

成績 = (前期の点数 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%) となる。

教 科 書

CUTTING EDGE Elementary/Pre-Intermediate Video Workbook (Longman) 1540円

そ の 他

最初の授業では、詳しい説明をするので、必ず出席すること。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	はやし 林 明 人	経 B 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

アメリカ文化に関するテキストを読みます。あらかじめ皆さんに試訳を提出してもらい、それを用い質問をしながら授業を進めます。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、試訳、出席の総合評価。

教 科 書

『アメリカ文化はおもしろい』(松柏社) 1,400 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	まし 岸 本 茂 和	経 B 1 年	2

履修上の留意点

英和辞典は必携。

成績評価の方法

全授業日数の 3 分の 1 以上欠席の場合は不可とする。試験は前期末と最終試験の 2 回。

教 科 書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	おお 大 淵 利 春	経 B 1 年	2

講義のねらい

経済に関するトピックも多く含まれる時事英語のテキストを用い、ある程度の速さでそれを読む能力、また、それを聞き取る能力をつけることを目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

毎回テキストを読み進めていきます。また、リスニング力アップのための小テストを行います。

履修上の留意点

毎回多くの学生に発表してもらうので、予習をしっかりと行って下さい。また、辞書を必ず持参して下さい。

成績評価の方法

平常点 50%、前・後期試験 50% で評価します。平常点は出席率、発表の内容などから総合的に判断します。

教 科 書

New Stories Today (成美堂) 1,600 円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	はやし 林 明人	経B1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前置詞と基本動詞の本来の意味合いを理解しながら、簡単な会話英作文を学びます。さらに、米語口語イディオムを用いた文を毎週10題小テストとして行います。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、小テスト、出席の総合評価。

教科書

『英語自己表現の基礎レッスン』（松柏社）1,600円
『米語口語イディオム101』（マクミラン）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	たんじひろ 丹 治 弘 昌	経B2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には教場にて説明します。

成績評価の方法

成績評価は原則として3分の2以上の出席を最低限として、数回の小テスト並びに年2回の期末テストによって判定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	いせむら 伊勢村 定 雄	経B2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、辞書の使い方などの基本を学ぶことを主眼とするが、出席と予習も重視する。

講義の内容・
授業スケジュール

2~3時間で1レッスンを終えるように進む。〔本文の音読→Questions（2種類）→English Break→ダイアローグ（音読・訳読）→小テスト〕の順でやる予定。（変更も少しある。）

履修上の留意点

予習必要！辞書は毎回持参のこと！

成績評価の方法

ペーパーテスト及び出席態度。

教科書

伊勢村定雄・Dennis R. Kogge『アメリカン・ライフを英語で』（北星堂書店）1,900円

参考書等

中型英語辞典なら何でも可。

その他

水曜日・6時限

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	伊勢村 定雄 <small>いせむら さだお</small>	経B 2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、辞書の使い方などの基本を学ぶことを主眼とするが、出席と予習も重視する。

講義の内容・
授業スケジュール

2~3時間で1レッスンを進む。
進め方は：〔本文の音読→訳読→Exercises〕となるが、音読は全員が参加し、他は1人ずつ指名してやってもらう。

履修上の留意点

予習必要！辞書は毎回持参のこと！

成績評価の方法

ペーパーテスト及び出席態度。

教科書

渡辺節子他『インターネットで世界旅行』（南雲堂）1,800円

参考書等

中型英語辞典なら何でも可。

その他

水曜日・7時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	山 縣 裕 <small>やま がた かつ</small>	経B 2・3・4年	2

講義のねらい

日常会話を TOEIC 形式の問題などまじえながら学習する。学生用 CD 付教材使用。

成績評価の方法

定期テスト・出席点などを総合的に評価する。

教科書

S. Eckstut・青木雅幸著『TOEIC テストに役立つ日常英語』（成美堂）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	佐 藤 江里子 <small>さとう えりこ</small>	経B 2・3・4年	2

講義のねらい

異文化が抱える現実を理解するための13のトピックから成るテキストを用い、総合的な視点で内容を把握しながら、実践的な英語力を習得することを目指す。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。

成績評価の方法

出席、発表、毎回行う小テスト、授業態度などの平常点（50%）と、前期後期試験（50%）による総合評価。

教科書

『FACE IT! 異文化への視線』（南雲堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A ・ I B 〔再クラス〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一	経 B 2・3・4 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教 科 書

『愛の諸相』（朝日出版社） 1,700円

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	かげ やま 影 山 なおみ	経 B 2 年	2

講義のねらい

英語で自由作文を書く実力を身に付ける。

講義の内容・ 授業スケジュール

学生の理解にあわせて、スローペースで学習をすすめていく。テキストだけでなく、時には英米の小説や映画の英語に触れる機会をつくる予定。

成績評価の方法

出席、授業態度、テストの点数という三つの点から総合的に評価する。

教 科 書

『日本文化を英語で表現』(成美堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	しま むら とよ ひろ 島 村 豊 博	経 B 2 年	2

講義のねらい

英文を書く際に既習の文型や文法事項をどう活用すればよいかを学び、興味ある話題についてパラグラフのレベルで英文が書けることを目標にする。同時に日本とアメリカの生活文化の違いへの理解を深め、これを英語で表現できるようにする。

成績評価の方法

前後期二度の定期試験に提出物など平常点を加えて、総合評価をください。

教 科 書

齊藤 宏/Keith T. Nishimura 著 *WRITING ABOUT CROSS-CULTURAL TOPICS* (成美堂) 1,600 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	きた むら ひろ ふみ 北 村 弘 文	経 B 2 年	2

講義のねらい

普段日本にいて英語を話す機会が少ない我々は、外国人の話す英語を聞いてある程度理解はできて、英語で自分の意見を言うとなると、そう簡単ではない。ただこれも習慣の問題で、それほど深刻に考える必要はない。今、我々が英語で自分の意見を言う時、我々はまず頭に日本語が浮かび、次いでその日本語を英語に翻訳して発表する。ところが、もしこの日本語を英語に翻訳するというプロセスを省いて、一挙に頭に英語が浮かぶようにはできないだろうか？ 勿論それができるのです。そういう習慣を身に付ければよいわけです。

成績評価の方法

定期試験(前・後期)の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教 科 書

Try America (三修社) 1,700 円

外国語

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	かわ うち けん りゆう 河 内 賢 隆	経 B 2 年	2

講義のねらい

英語による時事問題へのアプローチ、国際感覚の養成、さらに時事語学力の育成、この三つが本テキストの狙いである。少し難しいかもしれないが、脚注がかなり詳しく書かれているので何とか理解出来ると思う。加えて、語法や文法も解説し総合的に授業をすすめる。

成績評価の方法

真面目な態度や地味な努力を評価したい。学期末の二回のテストに加えて、出席点や発表点を重視し、総合的に評価する。

教 科 書

『世界ニュース展望』（金星堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	は じま ち が 葉 島 千 歌	経 B 2 年	2

講義のねらい

英語習得には「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能が必要であるということは述べるまでもない。この授業では特に「英語でのコミュニケーションをとれるようにする」を目標に授業をすすめる。使用するテキストはオールラウンドにこの4技能を学習できる構成になっている。1年次で培った英語力を活かし、読解は平易な英文を文頭から一気に読み一語一語ではなく文章のかたまりとして内容を理解できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 英文理解のために必要な基本語彙の習得に単語テスト 50 題を「基本語彙 3000」（担当者オリジナル）を使用し隔週（15 分間）に実施する。
- (2) リーディングは速読の後“Check”や“Exercise”を学習しながら要点を読むテキストの会話文の練習をする。

成績評価の方法

中間試験＋後期試験＋積極的授業参加＋出席 2/3 以上の総合評価

教 科 書

Fun Volga・英米文化学会編著 “Domo, Dome” Paradise（桐原書店）1,600 円＋税

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	きた むら ひろ かつみ 北 村 弘 文	経 B 2 年	2

講義のねらい

この授業の目的は、はじめて時事英語を読む学生諸君に、英字新聞を読む基礎を学んで貰うことにあります。そのためテキストにはやさしくて読み易い記事のみが取り上げられています。受講者は意欲的に授業に参加して、時事英語についての知識と能力を高め、併せて国際的な視野を養うのに役立てて欲しいと思います。

成績評価の方法

定期試験(前・後期)の成績以外に、平常点、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教 科 書

Newspaper English（朝日出版社）1,400 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	丸小哲雄	経B3・4年	2

講義のねらい

環境問題を取り扱いたい。20世紀は戦争と科学技術の時代で、抗生物質と農薬、そして遺伝子の革命であった。現代ではインターネットによる情報社会であり、「IT革命の時代」と呼ばれるようになってきた。しかし自然破壊と化学物質の毒性による人間環境の痛めつけはわれわれが予想した以上に進んでいるようです。加えて、地球温暖化問題、大気・水質汚染問題、人口爆発、それらを原因とする環境ホルモンなどの問題も深刻な様相を呈しています。そこで環境保護運動の土台となるキー・ワードを捉えつつ、環境問題に対する関心を高め、自己表現としての実用英語を修得していただきたい。

同時に、20分間を教材を利用してリスニング・タイムとして、70分をリーディング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総合理解を、リーディング・タイムはテキストの読み・解釈・批評の能力を涵養してゆきます。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）、前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- ・リーディング・テキスト：『危うい日本の生活環境』（英宝社）
- ・リスニング・テキスト：12 Great Hit Songs (4)（英宝社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	山縣裕	経B3・4年	2

講義のねらい

日常会話を TOEIC 形式の問題などまじえながら学習する。学生用 CD 付教材使用。

成績評価の方法

定期テスト・出席点などを総合的に評価する。

教科書

S. Eckstut・青木雅幸著『TOEIC テストに役立つ日常英語』（成美堂）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	笹倉貞夫	経B3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに、実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後期末テストの他、随時レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら最終評価を出す。

教科書

Pearl S. Buck 『The Bible Story（聖書物語）』（太陽社）1,422円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	はぎわら 萩原 輝	経B3・4年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を、英語で表現出来る能力の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

4月から6月は、“Happiness”と“Money”と“work”についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、“Love and Hate”と“Humor and Laughter”と“Experince”についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。

教科書

Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』（南雲堂）1.957円

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	清水 修 <small>しみず おさむ</small>	経B1年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては「読む・書く」に重点を置いて授業を進めます。語学の学習においては「聞く・話す」「読む・書く」という要素のバランスが重要であることはいうまでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙を学ぶことが重要です。

ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補っておいください。

成績評価の方法

年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断する。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	篠原 敏昭 <small>しの はら とし あき</small>	経B1年	2

講義のねらい

発音や文法、簡単な文章など、ドイツ語の基礎的な知識の習得を目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考えなどもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

欠かさず出席すること、予習・課題をやってくること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを合わせて総合的に評価します。

教科書

荻野蔵平ほか『ドイツってすてき（読章版）』（朝日出版社）2300円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

テープやビデオをつかった授業をおこなう予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I A・I B 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	経B 2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で理解を確実なものとし、習得を助けます。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

諏訪田 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	し みず おさむ 清 水 修	経B 2年	2

講義のねらい

特にコミュニケーション能力の養成をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

最初は特に、復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。

履修上の留意点

ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法

主に平常点で評価します。

教 科 書

プリントを用意します。

参 考 書 等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	篠原 敏昭 <small>しの はら とし あき</small>	経B2年	2

講義のねらい

ドイツ語ⅠA・ⅠBで習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の文章が理解できるようになることをめざします。あわせてより進んだレベルの文法項目の学習もおこないます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツ人の考え方や行動スタイルなどもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

予習をやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教科書

大谷弘道『CD付きドイツ人を知る9章』（三修社）2500円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

CDをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	本橋 右京 <small>もと はし う きょう</small>	経B3・4年	2

講義のねらい

やさしい文章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・
授業スケジュール

初級文法を初めから復習し、場合によっては補足します。表現は短くて平易です。テーマは、ドイツ語圏の日常生活や生活文化です。私たちには馴染みのない事柄が興味深く紹介されています。

履修上の留意点

テキストには丁寧な文法問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んでください。予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

Briel・渡辺『アルタークスレーベン』（郁文堂）2000円

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	八木 明美	経B1年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	木下 雄介	経B1年	2

講義のねらい

フランス語の基本文法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね教科書の章立てにそって授業を進める。

履修上の留意点

初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもない。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりであるから、地道な努力をつづけるなら、修得が困難なわけではない。学生諸君の努力に期待するゆえんである。予習を怠り、教室に坐りに来るだけの学生は受講者とは認めない。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点する。

教科書

『モン・ブルミエ・リーヴル』（白水社）1,631円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A・I B [再クラス]	桑田 禮彰	経B2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、できるかぎり分かりやすく初級文法を説明しながら、簡単な文章読解・練習問題・会話表現を通じて、フランス語の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

大津・楠瀬・村岡『赤い風船』（朝日出版社）

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	八木明美	経B2年	2

講義のねらい

初級文法をひとつおりの学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	木下雄介	経B2年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

平易な文章の探偵小説をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語の品詞名・用法を確認して授業にのぞむこと。予習を怠り、教室に坐りに来るだけの学生は受講者とは認めない。かならずまともな仏和辞典を教室に持参すること（ポケット版の小辞典は不可）。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点する。

教科書

野村二郎編注『ロンメルのお宝』（白水社）1,470円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA・ⅡB [再クラス]	竹田正純	経B3・4年	2

講義のねらい

初級文法の復習をしながら教科書を読み進めていく。と同時に、中級フランス語の骨格部分も学習する。

講義の内容・授業スケジュール

読む・話す・書くの基本部分の練習を繰り返す。

履修上の留意点

辞書を必ず持参すること。授業を休まないこと。

成績評価の方法

小テストのほか、提出物も課す。それをベースに前後期2度の試験で評価する。

教科書

ミュリエル・ジョリヴェ『フランス男性から一言』（第三書房）1,100円

中 国 語

中国語 I A・I B・II A・II B

(P.139) 参照

【辞書について】

(P.139) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	あきもと 翼 秋元 翼	経B1年	2
中 国 語 I B	あきおう 聡 秋王 聡		2

講義の内容・
授業スケジュール

前期はピンイン（中国式ローマ字表記）で中国語の音節の発音の仕方を学んだ後、簡単な文型の学習に入る。後期はひきつづき発音訓練をしながら、初級文法の知識をつみ重ね完成させる。

履修上の留意点

中国人教師の発音をよく聞き、大きい声を出して正しい発音が身につくように練習してほしい。学んだ文型を用いて会話にも積極的に挑戦してほしい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果を重視し、各期末のテストと合わせて評価する。

教 科 書

尹景春・竹島毅著『《新版》中国語はじめの一步』（白水社）2,310円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	しおはた しんいちろう 塩旗 伸一郎	経B1年	2
中 国 語 I B	あまの 節 天野 節		2

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・
授業スケジュール

単語の発音と意味の確認と文法の説明及び例文の発音と意味を I A で行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習を I B で行う。

履修上の留意点

予習、復習、出席を必ずして、声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

出席、課題、授業態度、テストで総合判定する。

教 科 書

牧田英二『新編例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

そ の 他

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	経B2・3・4年	2

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得をめざす

履修上の留意点

毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

- 以下の三項目で総合評価する
- ① 出席率：全授業回数の四分の三以上出席すること。6回以上の欠席は単位放棄とみなす。
 - ② 小テスト：各課終了後に小テストを行う。必ず受けること。
 - ③ 学習態度：遅刻、早退、私語、指されて「わかりません」の即答などは消極的な学習姿勢としてマイナス評価される。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語はじめの一步』（白水社）2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	そう たい わ 曹 泰 和	経B2・3・4年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原 茂・陳淑梅等著 アニメ中国語『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	あき もと たすく 秋 元 翼	経B2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本語でもよく使われる9つの故事成語について書かれた教科書を使用する。文章は全文ピンインつきのやさしい中国語で書かれている。成語は中国の歴史に根ざしているのが興味をそえられるであろう。

履修上の留意点

教科書には練習問題もあるので予習・復習をして授業に臨んでもらいたい。音読練習も重視したい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果と各期末のテストで評価する。

教科書

荒屋勤、金佩華、橋本幸枝著『日本に生きる中国語—故事成語編—』（朝日出版社）1,700円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	おう 王 そう 聡	経B2年	2

講義のねらい	発音の復習や簡単な日常会話の学習と並行しながら、文法の基礎事項を順次学んでいく。中国語のヒアリングと会話の能力を高めることを目標とする
講義の内容・授業スケジュール	前期：発音の復習。コミュニケーションの中で実際に使う基本表現の習得。基礎文法の解説。 後期：日常会話と基礎文法の習得を中心にし、発音の復習も念頭に。
履修上の留意点	予習を済ませてあることを前提に授業をする。
成績評価の方法	出席率・授業態度・平常点50%、定期試験50%。
教科書	三瀧正道他『たのしく話そう中国語』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	ひろ 弘 かね 兼 かなこ 加奈子	経B3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール	めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。 翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。
履修上の留意点	中国語が嫌いな学生も、苦手意識を持たずに授業に参加してほしい。
成績評価の方法	成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	三瀧正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	あずま 東 えい 映 ぜん 全	経B3・4年	2

講義のねらい	本講座では、学生諸君が大学一年生の時に学習した中国語A、またはBで、学習した音読を再確認し、このテキストを通じて、読解力の向上にとどまらず、中国人の生活・文化・風俗習慣により、ものの見方、考え方などをも垣間みることができ、中国を多く知ることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	このテキストは、中国の故事や民話、人民生活、新聞記事等から構成された文章を教材にし、中国への関心を高めることを目指す。
履修上の留意点	出席重視・大声で読むこと、時間厳守そして事前予習することが大切である。
成績評価の方法	試験、出席、授業態度等総合的に判断する。
教科書	頼石傳等共著『現代中文課文』（神保出版）1,650円

〔スペイン語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	かめ やま ころう いち 亀 山 晃 一	経B1年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習を継続させる為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	なか やま なお し 中 山 直 次	経B1年	2

講義のねらい

楽しみながら、スペイン語に親しむことを目指します。

講義の内容・ 授業スケジュール

まず、場面別の会話文を使って音読や訳読の練習をします。次に、その会話文から取り出した文法を解説します。最後に、関連問題を解いたり、応用演習をしたりします。

履修上の留意点

初習の語学は、途中で抜け落ちると続けにくくなります。なるべく、欠席しないようにしてください。また、当然ながら、必ず予習をして授業に臨むように心がけてください。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします（いわゆる学期末定期試験は行いません）。

教科書

中山著『トーレス一家の人たちと』（芸林書房）

参考書等

辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書：中山著『スペイン語が面白いほど身につく本』（中経出版）
特に上記の本でなくてもかまいませんが、辞書のほかに手頃な自習参考書も一冊利用することをお勧めします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	栗林 ゆき絵 <small>くりばやし ゆきえ</small>	経B2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点（出席、課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教科書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	亀山 晃一 <small>かめ やま こういち</small>	経B2年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより、習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしないこと。自ら興味をもち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時指示

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	中山直次	経B2年	2

講義のねらい

前年度に引き続き、楽しみながら、スペイン語の総合的な学習を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

昨年度スペイン語ⅠBで使用した『トーレス一家の人たちと』の前半を簡単に復習した後、その後半を学習します。これまで通り、場面別の会話文を訳読し、そこから取り出した文法を解説し、関連問題を解きます。ただし、今年度は、授業に変化をもたせるために、毎回副読本を使って簡単なスペイン語会話の演習をさします。

履修上の留意点

外国語の学習には「継続は力なり」という格言がよくあてはまります。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし気長に取り組んでください。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。(いわゆる学期末定期試験は行いません)。

教科書

中山著『トーレス一家の人たちと』(芸林書房)：昨年度からの継続受講者は購入不要です。
中山著『250語でできるやさしいスペイン会話』(白水社)：今年度用の副読本です。

参考書等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分まにあうと思います。ただし、辞書は小型の携帯用だけでは幾分物足りなくなるかも知れませんので、その場合、できれば『現代スペイン語辞典』(白水社)・『西和中辞典』(小学館)・『新スペイン語辞典』(研究社)などのうちいずれか一冊を補充してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	栗林ゆき絵	経B3・4年	2

講義のねらい

本年度は会話表現の習得に重点をおく。動詞の活用形を学びながら、基本表現の応用の仕方を理解し、それをを用いて様々なニュアンスの文を作ることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

活用・文法事項の確認→応用作文、会話表現の説明→応用作文、を交互に行う。

履修上の留意点

辞書(和西つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくる。基本表現は口について出るよう発音練習を繰り返してほしい。

成績評価の方法

出席日数が6割に満たないものは、試験の採点を行わない。小テスト、前後期の試験を合わせて60%以上とることが単位取得の最低条件。

教科書

木村琢也『スペインへのパスポート』(同学社)

参考書等

『プログレッシブスペイン語事典』(小学館)
*辞書を所有しない者は上記の辞書を購入するように。

[ロシア語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I A	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経B1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経B1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	おぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	経B2・3・4年	2

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ぶと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておおらかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

戸辺又方『1年生のロシア語』（白水社）1,400円

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA	ひろた ひてやす 廣田英靖	経B2年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡB	ひろた ひてやす 廣田英靖	経B2年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	すぎやま ひてこ 杉山秀子	経B3・4年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

英 会 話 II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFLのスコア450点、TOEICのスコア500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	<small>なが の こう いち</small> 永 野 光 一	経B1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

英語 L L II

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階のLL教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。TOEFLで450点、TOEIC 500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	のいけかずこ 外池一子	経B1・2・3・4選	2

講義のねらい

日常生活の様々な場면을テーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上を目指しますが、最終目標はそれを基にスピーキングの力をつけることです。

講義の内容・授業スケジュール

そのために、個々の音声の発音に加えて、語や句の中におけるアクセントの位置、リズム、イントネーション、さらには音が連続した時、また弱く発音された時の音の変化などに留意しながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。カセットテープを必ず持参すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

4 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	※大石	ニュースポーツ			高 橋	空手道	鈴 木	健康・スポーツ論
	秋 田	バドミントン			※村松	卓球		
	宮 沢	卓球			三 幣	バドミントン		
7 時 限	大 石	ニュースポーツ	竹 田	健康・スポーツ論	※高橋	空手道		
	秋 田	バドミントン			村 松	卓球		
	※宮沢	卓球			三 幣	バドミントン		

※は、科目の主担当者

4. 保健体育科目

健康・スポーツ論	(前期)	〈鈴木淳平〉	567
健康・スポーツ論	(前期)	〈田中佳孝〉	568
健康・スポーツ実習	(卓球)	〈川村正義〉	569
健康・スポーツ実習	(バドミントン)	〈秋田浩一・三幣晴三〉	570
健康・スポーツ実習	(室内球技)	〈内山雅博〉	571
健康・スポーツ実習	(空手道)	〈高橋俊介〉	572
健康・スポーツ実習	(ニュースポーツ)	〈大石武士〉	573
生涯スポーツ実習	(集中前期・基礎/応用)	〈休講〉	
生涯スポーツ実習	(集中後期・基礎/応用)	〈休講〉	
生涯スポーツ演習	(シーズン前期)(ゴルフ)		
	〈森本葵・他〉		574
生涯スポーツ演習	(シーズン後期)(スキー・スノーボード)		
	〈鈴木淳平・他〉		575

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	すざ ぎ じゆん べい 鈴 木 淳 平	経B1選必	2
健康・スポーツ論(再クラス)(前期)		経B2・3・4年	

講義のねらい

健康としての具備すべき条件(13項目)の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併せて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11時限目：　　〃
- 12時限目：トレーニング理論全般
- 13時限目：　　〃
- 14時限目：　　〃
- 15時限目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	たなか よし たか 田 中 佳 孝	経B1選必	2
健康・スポーツ論(再クラス)(前期)		経B2・3・4年	

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5~7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8~10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11~12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、優~不可の評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)
『0歳からのビタミンバイブル』／『貝原益軒の養生訓』／『サーロインステキー症候群』
／『食事療法』／『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	かわむらまさよし 川村正義	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)		経B2・3・4年	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境、特にフレックスB学生に対して、例え少ない時間であっても、卓球を通じて体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特徴、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サービスレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：　　　　〃
- 11時限目：　　　　〃
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：　　　　〃
- 14時限目：　　　　〃
- 15時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

服装は運動着、体育館用シューズ。
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あきた こういち みぬさ はるみ 秋田 浩一・三幣 晴三	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(バドミントン)		経B2・3・4年	

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12時限目：同 第2日目
- 13時限目：同 第3日目
- 14時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

成績評価の方法

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

教 科 書

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	うち やま まさ ひろ 内 山 雅 博	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)		経B2・3・4年	

講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケット・ボール)
- 2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフ・コート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4時限目：ハーフ・コート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5時限目：ハーフ・コート4対3、ゲーム(1・2次リーグ)
- 6時限目：ハーフ・コート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 7～9時限目：実技テスト、ゲーム(2次リーグ)
(バレーボール)
- 10時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム(リーグ戦)
- 13～15時限目：実技テスト、ゲーム(トーナメント)

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)、60点以上を合格とする。

そ の 他

種目の内容については、第1回目の授業時に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たかほし しゆん すけ 高橋 俊介	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(空手道)		経B2・3・4年	

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(ニュースポーツ)		経B2・3・4年	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時 限 目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時 限 目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時 限 目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時 限 目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時 限 目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13 時 限 目：総合
- 14 時 限 目：総合
- 15 時 限 目：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	もり 森 ちと 本 まもる 葵 他	経B選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的なねらいを主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係をつくっていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 17:40~18:00 9-173 教場
2回目 4月16日(水) 17:40~18:00 9-173 教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 7月20日(日) 13:00~16:00 2研-102 教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目【9月8日(月)】実技：14:00~17:00《打撃練習》
講義：19:00~21:00《ゴルフスイングの基本》
 - 2日目【9月9日(火)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》
講義：19:00~21:00《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目【9月10日(水)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》
講義：19:00~21:00《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目【9月11日(木)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《ラウンド・その他》
講義：19:00~21:00《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目【9月12日(金)】実技：9:00~11:00・12:30~14:30《ラウンド・その他》

履修上の留意点

生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成15年9月8日(月)~9月12日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場所：①宿 泊 軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話(0267)46-1111
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
②練習場 軽井沢ゴルフ練習場 電話(0267)48-1211
③コース 晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- 3) 定員：20名
- 4) 集合解散：現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)
詳細については事前授業で説明するので必ず出席すること。
- 5) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること(16:30以降は夜間総合事務室で受け付けます)。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 6) 服装・用具：
 - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
 ※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

その他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	すず き じゆん べい 鈴木 淳平 他	経B選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。
実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 17:40~18:00 9-173 教場
2回目 4月16日(水) 17:40~18:00 9-173 教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月22日(月) 13:00~16:00 2研-102 教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目【2月16日(月)】
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目【2月17日(火)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目【2月18日(水)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目【2月19日(木)】
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目【2月20日(金)】
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

- 本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。
- 1) 実習日程：平成16年2月16日(月)~2月20日(金)の4泊5日(現地集合解散)
 - 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グランド 電話 (0195) 73-5019
 - 3) 定員：スキー 20名
スノーボード 5名(但し、初心者に限る)
 - 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること(16:30以降は夜間総合事務室で受付けます)。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
 - 5) 用具：用具は現地レンタル可能(有料)。
 - 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているのに特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

保健体育

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経 済 学 科 フ レ ッ ク ス B

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P.285)

科
專
門
教
育
目

II. 専門教育科目

※印の科目については、経済学科フレックスAの頁を参照してください。

経済学概説〈阿部 弘〉	583
経済学概説〈橋野 知子〉	584
経済理論ⅠA・資本の原理〈休 講〉	
経済理論ⅠB・経済システムの原理〈阿部 弘〉	585
経済原論Ⅱ・ミクロ経済学〈休 講〉	
経済原論Ⅱ・マクロ経済学〈浅野 克巳〉	586
経済学史〈休 講〉	
経済数学〈水野 勝之〉	587
価格理論〈荒木 勝啓〉	588
国民所得論〈休 講〉	
計量経済学〈休 講〉	
統計原論〈稲葉 敏夫〉	589
景気循環論〈野村 信廣〉	589
現代資本主義論〈休 講〉	
社会思想史〈休 講〉	
経済史〈安元 稔〉	590
日本経済史〈休 講〉	
西洋経済史〈休 講〉	
経済政策〈飯田 泰之〉	591
農業政策〈溝手 芳計〉	592
工業政策〈奥山 雅之〉	593
経済地理〈休 講〉	
中小企業論〈吉田 敬一〉	594
環境経済論〈山口 由二〉	595
財政学〈休 講〉	
公共経済学〈鈴木 伸枝〉	596
財政政策〈休 講〉	
地方財政論〈休 講〉	
金融論〈代田 純〉	597
国際金融論〈秋山 誠一〉	598
社会政策〈休 講〉	
人口論〈森岡 仁〉	599
教育経済論〈休 講〉	
労働経済論〈休 講〉	
日本経済論〈小林 正人〉	600
国際経済論〈徳永 俊明〉	601
アジア経済論〈休 講〉	
中国経済論〈小杉 修二〉	602
アメリカ経済論〈瀬戸岡 紘〉	602
ヨーロッパ経済論〈休 講〉	
※EU統合論〈清水 卓〉	(336)
※現代西欧経済論〈清水 卓〉	(337)
ロシア・東欧経済論〈休 講〉	
情報・経済ネットワーク論〈中 濟 光 昭〉	603
プログラミング論〈濱本 和彦〉	604

情報処	理	論	〈岩瀬弘和〉	605
商學	總	論	〈大吹勝男〉	606
マ一ケ	政	策	〈休講〉	
商	イ	グ	〈曾我信孝〉	607
交	ン	学	〈休講〉	
商	テ	論	〈休講〉	
消	品	史	〈幸野保典〉	608
経	通	論	〈休講〉	
経	業	論	〈岩波文孝〉	609
財	経	論	〈百田義治〉	610
労	学	理	〈白坂亨〉	611
経	管	論	〈堀龍二〉	612
※企	務	論	〈休講〉	
※經	管	史	〈休講〉	
※經	業	論	〈岩波文孝〉	(348)
※經	情	I	〈齋藤隆〉	(349)
※經	情	II	〈齋藤隆〉	(350)
会	シ	論	〈森田佳宏〉	613
簿	ス	論	〈鈴木勝浩〉	613
財	テ	論	〈小栗崇資〉	614
会	ム	論	〈休講〉	
管	総	論	〈石川祐二〉	615
原	計	論	〈鈴木勝浩〉	616
税	学	論	〈休講〉	
経	記	論	〈休講〉	
※会	会	論	〈石川純治〉	(352)
※コ	計	I	〈鈴木勝浩〉	(354)
※コ	一	II	〈鈴木勝浩〉	(355)
貿	タ	論	〈古沢紘造〉	617
貿	タ	論	〈荒畑治雄〉	618
通	易	論	〈荒畑治雄〉	619
銀	実	論	〈休講〉	
※銀	行	論	〈齊藤正〉	(327)
※現	シ	情	〈齊藤正〉	(328)
証	ス	論	〈休講〉	
保	テ	論	〈休講〉	
憲	ム	法	〈内田真利子〉	620
民	事	部	〈織田晃子〉	621
民	場	部	〈河野弘矩〉	622
商	一	部	〈休講〉	
商	二	部	〈休講〉	
経	二	部	〈岡田外司博〉	623
労	法	法	〈藤本茂〉	624
行	濟	法	〈休講〉	
国	働	法	〈王志安〉	625
社	政	法	〈原田啓一郎〉	626
保	際	法	〈加瀬幸喜〉	626
商	障	法	〈工藤聡一〉	627
法	海	法	〈奥村正郎〉	627
税	商	I		

稅				II	〈奧村正郎〉	628
原	書	講	法	II	〈飯田正泰之〉	628
現	代	經	讀	I	〈菅原章文〉	629
現	代	經	濟	II	〈羽田野治朗〉	630
現	代	經	濟	III	〈吉川健治〉	631
現	代	經	濟	IV	〈藤澤憲〉	632
現	代	產	業	I	〈阿部弘〉	633
現	代	產	業	II	〈友松憲彦〉	633
現	代	產	業	III	〈代田純〉	634
總	合	專	門	I	〈休講〉	
總	合	專	門	II	〈休講〉	
總	合	專	門	III	〈夏季集中一〉	
總	合	專	門	IV	〈夏季集中一〉	
總	合	專	門	V	〈休講〉	
總	合	專	門	VI	〈休講〉	
會	計	資	格		〈鈴木勝浩〉	635
情	報	資	格	I	〈永井勇〉	636
情	報	資	格	II	〈永井勇〉	637
教	員	試	驗		〈谷敷正光〉	638
基	礎	ゼ	ゼ	ミ	〈荒木勝啓〉	638
基	礎	ゼ	ゼ	ミ	〈里中恆志〉	639
基	礎	ゼ	ゼ	ミ	〈瀬戸岡紘淵〉	639
基	礎	ゼ	ゼ	ミ	〈鄭岡博美〉	640
基	礎	ゼ	ゼ	ミ	〈山縣弘志〉	641
演	習	I			〈大吹勝男〉	641
演	習	I			〈百田義治〉	642
演	習	I	・II		〈飯田泰之〉	643
演	習	I	・II		〈鈴木伸枝〉	643
演	習	I	・II	・III	〈浅野克巳〉	644
演	習	I	・II	・III	〈阿部弘〉	644
演	習	I	・II	・III	〈石川祐二〉	645
演	習	I	・II	・III	〈岩波文孝〉	645
演	習	I	・II	・III	〈大石雄爾〉	646
演	習	I	・II	・III	〈小栗崇資〉	646
演	習	I	・II	・III	〈小杉修二〉	647
演	習	I	・II	・III	〈小林正人〉	647
演	習	I	・II	・III	〈齊藤正〉	648
演	習	I	・II	・III	〈清水卓〉	649
演	習	I	・II	・III	〈代田純〉	650
演	習	I	・II	・III	〈曾我信孝〉	650
演	習	I	・II	・III	〈田中浩也〉	651
演	習	I	・II	・III	〈鄭章淵〉	652
演	習	I	・II	・III	〈德永俊明〉	653
演	習	I	・II	・III	〈友松憲彦〉	653
演	習	I	・II	・III	〈中濟光昭〉	654
演	習	I	・II	・III	〈福原好喜〉	655
演	習	I	・II	・III	〈古堀紘造〉	656
演	習	I	・II	・III	〈堀龍二〉	657

演習	I	・	II	・	III	〈溝手芳計〉	657
演習	I	・	II	・	III	〈森岡仁〉	658
演習	I	・	II	・	III	〈谷敷正光〉	659
演習	I	・	II	・	III	〈安元稔〉	660
演習	I	・	II	・	III	〈山縣弘志〉	660
演習	I	・	II	・	III	〈吉田敬一〉	661
演習	II	・	III			〈大吹勝男〉	661
演習	II	・	III			〈番場博之〉	662
演習	II	・	III			〈百田義治〉	662

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 概 説	あ べ ひろし 阿 部 弘	経 B 1 必	4

講義のねらい

テーマ：労働と所有
 今日、私たちの労働とそれに対する人々の評価（価値）はかけ離れているかのようです。労働は私たちが経済学を学んでいく上での基盤です。この労働は、しかし、現在のような形になるには極めて長い時間がかかりました。そこで、この講義では、労働とこれに対する人々の評価を人間の歴史とともに観て行くことにします。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は私が書いた20年前の作品である『労働と所有』を批判的に扱いながらすすめて行きます。その章だては次の通りです。

- 第1部：労働と人間社会
- 第2部：市民社会の形成と労働
- 第3部：階級社会と労働

さらに、これに序章と終章がつきますが、最初に、受講生の皆さんには終章を読んでおいていただきます。そして、これについてのレポートを5月半ば頃に書いてもらいます。それから第1部へと入り、最終は序章にもってきます。

成績評価の方法

評価はレポートによります。定期試験およびそれに関わる追試験や再試験は一切ありません。レポートは5回ほど書いてもらいます。

教科書

講義はテキストに沿って行ないますし、レポートはこのテキストを中心に書いてもらいますので必須になります。以下の書です。

阿部弘『労働と所有——経済学の出発』（八千代出版）3,200円＋税

その他

レポートを重視します。そして、それは、テキストをどれだけ批判的に読み込んでいるかが重要なポイントになりますので、出席および理解度はかなり要求されるものとなります。ただ漫然と読み、ノートを取るだけではだめで、批判的に行なうことが必要です。

講師の住所を次に記します。
 〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204 Tel 03-3976-7984
 研究室 第2研究課 2538号 Tel 03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 概 説	はし 橋 の とも 野 知 子	経B1必	4

講義のねらい

この講義は、主として日本経済におけるさまざまな問題—歴史も現在も—を題材とします。そこで、これらの問題を経済学的立場から観察・分析する方法を説明しながら、経済学とはどのような学問かをみなさんに感じ取っていただくことを目的としています。

同時に、レポートの書き方や議論の進め方など、いわばコミュニケーションの技能（聴く・話す・読む・書く）も身につけていただけるよう、工夫をするつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

前期は以下のようなテーマを取りあげ、講義を進める予定です（順番が入れ替わる可能性もあります）。後期は、経済学という学問の歴史についても触れたいと思います。

1. 日本の経済発展を振り返る
2. 人口にかかわる諸問題—少子高齢化、過疎と過密
3. 食生活からみた第一次産業の変化
4. 第二次産業・第三次産業の現在
5. 情報化社会と私たち
6. 雇用と労働
7. 金融・資本市場の現状と課題
8. 政府の役割と財政問題
9. 国際収支とは
10. 国民生活の行方

成績評価の方法

テストとレポートによって評価します。再試験はございませんのでご注意ください。

教 科 書

特に指定しません。毎回の講義で資料を配付しますので、ファイリングして下さい。

参 考 書 等

毎回のテーマに関連する文献を講義中に紹介します。

そ の 他

TV ニュース、新聞、ビデオなども積極的に取りあげる予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済理論ⅠB・経済システムの原理	阿部 弘 <small>あべひろし</small>	経B・経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は「経済理論ⅠA・資本の原理」の後篇です。したがって、ここでは、前篇で問題提起した「資本」が、具体的に運動をしていくに当って、どのような形をとるのか、そして現在のわたしたちの社会にあって運動している資本の基本的なメカニズムを明らかにしていくことが、その課題となります。

講義の内容・授業スケジュール

- A：利潤の生産
1. 剰余価値と利潤
 2. 利潤の生産と生産価格体系の形成
 3. 社会的虚偽の価値体系の形成
- B：利潤体系の運動
1. 利潤体系とその構成要素
 2. 利潤の分配と再分配
 3. 資本の商品化
- C：恐慌と独占
1. 過剰生産恐慌とその必然性
 2. 失業とその産業予備軍機構化
 3. 労働組合と独占体

成績評価の方法

1. レポートによる評価
 - (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行ないます。
 - (2) レポートは：NO 1: 7月
 : NO 2: 9～10月
 : NO 3: 10～11月
 : NO 4: 12月

なお、NO.1レポートの場合には、その1ヶ月前に講師が課題を提示し、NO.2以降は、受講生各自のレポートから次のレポート用のテーマを設定します。

2. その他 「定期試験」および、「追試」また「再試」は行ないません。

教科書

教科書は用いません。しかし、講義の性格上、マルクスの『資本論』やレーニンの『帝国主義論』は基本的な文献ですから、次の文献を「参考書」として指定しておきます。

参考書等

1. マルクス『資本論』（大月書店）国民文庫 1～9分冊
2. レーニン『帝国主義論』（大月書店）国民文庫
3. ヴァルガ『資本主義経済学の諸問題』（岩波書店）1996

その他

講師との連絡方法

受講生と講師の連絡ができるように、次に講師の住所を掲載しておきます。

阿部弘：〒179-0072

練馬区光が丘6-1-4-204、Tel 03-3976-7984

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・マクロ経済学	あさの かつみ 浅野 克巳	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。現在わが国の失業率は上昇傾向にあるというが、その要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
2. 国民経済計算と国民所得の考え方
3. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化とGDPの関係
5. 消費と投資
6. IS-LMモデルと財政金融政策
7. インフレとデフレについて
8. 国際貿易
9. 政府の経済的役割
10. 総需要と総供給
11. 貨幣とマクロ経済
12. 貨幣政策と金融政策
13. 為替市場と金融政策
14. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよ。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立ちおすすすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、ノートをしっかりとり、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケイタイなどもつてのほか、以上厳守。守れない者は直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートの成績を総合評価する。再試はする。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年。

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）2003年。これは公務員試験の問題集だけ他の国家試験の受験対策にも十分通用する。できる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他

毎回の授業の内容や主なトピックスをKOMSYに掲載するし、経済学部浅野ゼミのHPにも練習問題やその模範解答を載せるから、必要に応じ参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、いつでも質問相談に応じます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済数学	水野勝之	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済理論は数学を利用して説明される。しかしながら、数学のうちどれが必要か不必要かは現段階で諸君は知らない。また、経済学の授業で突然数学が使われても忘れてしまった諸君もいればはじめて目にする諸君もいるはずだ。本講義では、今後の諸君の経済学の勉強への数字の適用を念頭において、そこで利用されるであろう数学の基礎とその経済学へのあてはめを行っていきたいと思う。講義内容は、経済学の例示としてマクロ、ミクロととびとびになるが「経済学に利用される数学」という方針の下に体系化させる。数学の苦手な諸君にも十分理解できるような授業の進め方をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 数学の用語・記号あれこれ
 - ①関数
 - ・関数
 - ・同次性
 応用：効用関数と生産関数
 - ② Σ (シグマ)
 - ・積の法則
 - ・合成微分
 - ・その他
 応用：予算式の表示
物価指数
 - ③その他
2. 微分と偏微分
 - ①微分の意味と最大・最小
 - ・積の法則
 - ・合成微分
 - ・その他
 応用：弾力性・他
 - ②微分いろいろ
 - ・全微分
 - ・オイラーの定理
 - ・ラグランジュ未定係数法－最適消費－
 - ③偏微分
 - ・偏微分の意味
 - ・オイラーの定理
 - ・ラグランジュ未定係数法－最適消費－
 応用：効用関数と限界効用
生産関数と限界生産力
 - ④その他
 - ⑤余因子と余因子行列
 - ⑥連立方程式
3. 行列
 - ①ベクトルと行列
 - ②行列の加減と積
 - ③行列式
 - ④逆行列
 - ⑤余因子と余因子行列
 - ⑥連立方程式

履修上の留意点

数学は全く苦手でもよい、出席することが望ましい。

成績評価の方法

授業中の課題と期末テストの総合評価
尚、再試験は実施しない。

教科書

前期使用：水野勝之著『入門編テキスト経済数学』（中央経済社）
後期使用：水野勝之著『テキスト経済数学』（中央経済社）

参考書等

水野勝之著『どうなってるの！？日本の経済』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
価格理論	あらきよしひろ 荒木勝啓	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/簿1・2・3・4選	4

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することでもある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分がそのために準備と練習にあてられると思っただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計原論	稲葉敏夫	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/箇1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済現象を統計的に分析する際、基本となる概念および手法を出来る限り数式を使用することなく説明したい。たとえば、消費支出と国民所得、投資と利子率などの経済変数間の関係に着目する。このような経済変数間の関係を調べる、典型的な方法である回帰分析を取り扱う。それとともに消費支出、投資など実際にどのデータを使用するのが妥当であるかについても議論する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。
後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。再試験は実施しない。

教科書

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著『経済・経営 統計入門』（共立出版）2,100円

その他

授業は講義の形態をとるが、年に数回コンピュータルームで簡単な実習を行う。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
景気循環論	野村信廣	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/箇1・2・3・4選	4

講義のねらい

景気（循環）への関心が極めて高い。それは（1）景気循環が多くの人の生活に影響する（2）景気循環の姿がその時々で変化する（3）景気循環が経済・政治の諸問題に影響する一などのためである。講義では（1）景気循環を把握する方法（2）景気循環を引き起こす原因とメカニズム（3）景気循環を応用しての景気の現状把握や将来予測などを学ぶ。学生達が一般の景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。09300 景気循環論に比べて、実践・応用面に力を入れる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 景気の見方
- (2) 景気の見方認識
- (3) 景気循環と景気指標
- (4) 景気循環を引き起こす要因とメカニズム
- (5) 景気循環の歴史
- (6) 景気循環の理論
- (7) グローバリゼーションと景気循環
- (8) 財政・金融政策と景気循環
- (9) 景気予測の方法と実践

履修上の留意点

日々の経済動向に興味を持つ

成績評価の方法

レポート（前期）、定期試験（後期）、出席状況を加味して評価する

教科書

景気循環学会・金森久雄『ゼミナール・景気循環入門』（東洋経済新報社）

参考書等

適宜参考資料を配布する

その他

講義中心だが、質問や討議を歓迎する

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済史	やすもと みのる 安元 稔	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義の目的は、社会科学的なものの見方がある程度身につけた諸君に、『経済史』という学問領域の特色を知ってもらうことです。経済学と歴史学双方の学問的特色をもった『経済史』とは、人間のどのような営みを対象にするのか。どのような切り口で対象に接近するのか。今、『経済史』では何が問題になっているのか。先ず、こうした点を簡単に説明します。

次に、外国の経済史を勉強する意味について考えてみます。特にわれわれが生活しているアジア社会の歴史的な発展とヨーロッパのそれとは、どこが、どのように違うのか。環境・政治的要因・技術のあり方は、どのように経済発展の道筋を決定するのか。幾つかの考え方を紹介しながら、広い視野からこの点を捉え直してみたいと思います。

講義の後半では、ヨーロッパの中世以降における経済発展を取りあげます。中世に生きる人々は、物質的な欲求の充足をどのような形で行ってきたのか。そのためにどのような制度・慣習・技術を自らのものとしてきたのかを考えてみます。およそ1000年から1500年のヨーロッパは、農業中心の社会でした。農業生産はどのような形で組織され、その生産性はどの程度のものであったのか。中世社会における都市の機能は、どのようなものであったのか。中世社会が崩壊し、近代の誕生を告げた1500年～1750年におけるヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていたのか。こうした点を具体的にみていきます。

最後に、現代社会の根幹を形造った産業革命＝工業化とは何であったのかを説明します。工業化の波は、次々にヨーロッパ諸国、さらにアジア・その他の地域に拡大して行きました。国際経済の生成と発展の時期、19世紀末期から20世紀初頭の世界経済のメカニズムを具体的に説明して行くつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

第1編 『経済史』とは何か

I 『経済史』の対象と課題

1. 「経済的営為」の特色
2. 『経済史』の課題

II 資源配分の方法

1. 市場経済と非市場経済（慣習・指令経済）
2. J・R・ヒックスの『経済史の理論』

第2編 外国経済史を学ぶ意味

I ヨーロッパとアジア

1. 比較史の視点

II 環境・政治支配の型と経済発展

2. E.L. ジョーンズの『ヨーロッパの奇跡』

第3編 ヨーロッパ経済の歴史的発展

I 中世の経済と社会

1. 農業生産と土地領主制
2. 中世都市と商業組織
3. 中世社会経済システムの崩壊

II 近代の幕開け

1. 農業革命・価格革命
2. 「長期の18世紀」の人口
3. プロト工業化

III 最初の工業国家

1. 産業革命をどう捉えるべきか
2. 人口の動向と農業革命
3. 18・19世紀イギリスの経済変動
4. 都市化と工業化

IV 工業化の伝播と拡大

1. ヨーロッパ大陸諸国の工業化
2. イギリス経済の退潮

V 国際経済の生成と発展

1. 国際経済の構造
2. ヨーロッパとアジア

履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパを中心に、経済発展を歴史的に概観し、経済史的なものの見方を身につけることを主な目的にしています。聞き慣れない用語・概念や事実が多くでてきますので、億劫がらずに調べ、理解して行くことが必要です。受講者は、授業スケジュール・講義資料（講義中に配布します）をいつも持参して下さい。

成績評価の方法

前期試験を行わない代わりに、夏休みに参考書 E. L. ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡』を読み、レポート（200字詰め原稿用紙10枚以上＝40点配点）を提出してもらい、後期試験（60点配点）と総合して成績を評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

E・L・ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡－環境・経済・地政の比較史－』（名古屋大学出版会）

そ の 他

授業の方法は、講義方式です。但し、OHP・ビデオ・資料を使って説明します。再試験実施。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 政 策	<small>いいだ やすゆき</small> 飯 田 泰 之	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。経済問題に関してその導きの糸となるものが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とする。講義全体に必要となる基本ツールの学習後、①理論的な枠組みを解説し、②それを用いて政策的課題を論じ、③現実の事例・データで確認するというプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は経済学の基本思考、図表・データの読み方使い方といった基本ツールを講義した上で、ミクロ・産業レベルの経済政策課題を中心に学習する。具体的には「貿易」「課税」「公共投資」「環境問題」「産業政策・産業規制」「不況の長期化」などを取り扱う。後期はマクロレベルの経済政策課題の学習と現在の日本経済に対する様々な政策提案の検討を行う。具体的には「財政政策の根拠」「金融政策の手法」「失業問題」「不良債権処理」「需要創出型構造改革」「インフレーションターゲット」などが中心になるだろう。

履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。

成績評価の方法

2回のレポート提出と後期試験。再試験は行わない。

教 科 書

指定しない

参 考 書 等

ミクロ経済学・マクロ経済学に関する基本的なテキストを持っていると便利である。その他の参考文献に関しては講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
農業政策	みぞてよしかず 溝手芳計	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/畜1・2・3・4選	4

講義のねらい

農業のあり方は、様々な問題に関わってくる。現代の農業は、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が重要となり、経済の国際化の中で農業の位置付けを問われている。農業に携わる人々にとっては、安定した就業条件、収入確保が必要である。消費者にとっては、適正な価格で良質の食料が安定的に供給されることが望まれる。農業が自然環境や生態系に及ぼす影響、国土保全機能などいわゆる多面的機能に対する関心も高まっている。地域作りや住宅問題では、農地の扱いもかかわってくる。授業では、こうした事実を念頭に置きつつ、現代日本の農業政策と関連分野の政策の構造を明らかにするとともに、その背景、経済学的意義、問題点も検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- 農業に関わる諸問題の概況を説明し、問題状況のイメージをつくる。
- 土地利用産業、生物資源培養産業といった農業の産業的特性について考察するとともに、それらの現代的展開を紹介する。
- 戦後日系の農業政策の流れを概観したうえで、WTO体制の下での農政の特徴を示す。
- 食品安全、環境、土地、住宅、地域振興など関連分野の政策が農業政策に及ぼす影響を検討する

履修上の留意点

出欠票をかねた「コミュニケーション・カード」を配布するので、授業の感想や質問を書くこと。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とするが、出席状況も考慮に入れる。

教科書

使用しない。授業時にレジュメ、資料等を配布する予定。

参考書等

- ・井野隆一ほか『農業問題入門』（大月書店）
- ・梶井 功『新基本法と日本農業』（家の光協会）
- ・田代洋一『日本に農業は生き残れるか』（大月書店）
- ・食糧政策研究会編『WTO体制下のコメと食糧』（日本経済評論社）
- ・中野一新編『アグリビジネス論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
工 業 政 策	おく やま まき ゆき 奥 山 雅 之	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

我が国の工業を題材として、その生産構造の特徴を確認しながら、海外生産の加速や空洞化の進展といった状況のもと、その展望と工業政策の方向を考察する。また、環境との調和、新産業育成、産学連携といった今日的課題についても検討を加える。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①日本産業における工業の役割と特徴
- ②生産構造の変化と生産の海外化
- ③大都市工業、地方工業の実態と課題
- ④工業政策の今日的課題（環境との調和、新産業育成、産学連携など）
- ⑤我が国工業の展望と工業政策の今後

履修上の留意点

講義を通じて「ものづくり」産業の役割や重要性について再認識することを目標とする。

成績評価の方法

成績は学年末試験で評価する。ただし、レポート提出等も評価の対象とする。追試・再試験は行わない。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

加藤秀雄著『ボーダレス時代の大都市産業』新評論。その他、必要がある場合には、授業で別途案内したい。

そ の 他

多くの企業事例を紹介しながら、今後の日本の「ものづくり」産業について一緒に考えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	よしだ けい いち 吉田 敬 一	経B・経A1・2・3・4選	4
		12以降入学生/商1・2・3・4選	

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を支えてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において、自動車工業を事例として中小企業が果たしてきた重要な役割を明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので(例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など)、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境経済論	やまぐち ゆうじ 山口 由 二	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/箇1・2・3・4選	4

講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美徳とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しさゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な事例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論ができることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。
また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。再試験を実施する。

教科書

未定、最初の授業時に指定する。

参考書等

- ・ K. W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』(岩波書店)
環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1950年に原著は刊行されている。
- ・ 宇沢弘文著『自動車の社会的費用』岩波新書(岩波書店)
若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われる自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため?。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらうまいと思っていましたが…。ちょっと古い本だがおすすめ。
- ・ 宮本憲一著『環境経済学』(岩波書店) 3,600円ぐらい
筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の「容器」としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。
- ・ 環境庁編『環境白書平成13年度版』(株ぎょうせい)
白書というと堅苦しく難しいイメージがあるが、『環境白書』は、現在の環境問題についてかかっている良書。総説は毎年サブタイトルがかわり13年度版は“地球と共生する「環の国」日本を目指して”となっている。「環の国」の環は「環境」や「循環」の環の意で、「持続可能な簡素で質を重視する循環型社会」をイメージしたものである。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公共経済学	すずき のぶ 鈴木 伸 枝	経B・経A 1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題を経済学的手法を用いて考えます。

この講義では、公共経済学の理論を概観します。まずは最も基礎的な理論を学び、年金や環境などの現実の諸問題に関連付けながらより高度な理論を紹介していきます。身につけた理論を応用すれば、講義で扱う内容そのもの以外にもさまざまな政策について経済学的に分析できるようになるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

以下のようなトピックスを扱う予定です。

1. 競争均衡の効率性・公平性
2. 外部性と市場の失敗
3. 公共財の理論
4. 所得再分配政策
5. 年金
6. 医療
7. 環境政策
8. 課税の理論
9. 政治過程・政府の失敗
10. 分権化・民営化

履修上の留意点

『経済理論Ⅱ・ミクロ経済学』程度のミクロ経済学の知識をもった学生を対象とした授業内容です。『経済理論Ⅱ・ミクロ経済学』の履修を強制はしませんが、未履修の場合は各自勉強しておいてください。

より理解を深めたい学生は、『財政学』や『経済数学』と併せて履修すると効果的でしょう。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の平均点で評価します。出席点も多少加味します。

教科書

特に指定しません。講義の進行状況にあわせて講義ノートを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
金 融 論	しろ 代 田 じゆん 純	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

4～5月においては、金融入門として、金融論の基礎について説明する。金融とは何か？についてまず解説する。資金の貸借関係としての金融について説明し、部門間のマネーフローについて説明する。また、金融の区分について解説し、間接金融、直接金融についても説明する。

6～7月においては、間接金融について日本の実情に即して説明する。伝統的に日本においては企業金融の特質は間接金融の優位であったことを明らかにする。メインバンク、系列融資、護送船団方式、業態規制といった日本の特質についても説明する。9～10月においては、金融の証券化、換言すれば間接金融から直接金融へのシフトが進んでいることを明らかにする。80年代以降の株式発行増加、90年代に入ってから社債発行増加によって、企業金融は証券形態での資金調達を増加させた。90年代後半からは、海外に居住する外国人投資家による日本株投資も増加している。

11～12月においては、日本の証券市場の構造変化について説明する。外国人投資家による日本株投資が増加する一方、株式相互持ち合いが崩壊している。また日本においても日本版401Kなど年金基金が株主として成長しつつある。株式保有構造の変化に伴い、日本型経営にも変化が生じていることを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 金融入門 部門間資金フロー 金融についての諸学説
- 2 日本における間接金融
- 3 金融の証券化 間接金融から直接金融へ
- 4 証券市場の構造変化

履修上の留意点

出席は問わないが、私語は禁止します。2回生以上の履修が望ましい。

成績評価の方法

定期試験による。再試験は実施しない。但し、レポート提出者には加点する。

教科書

前期はテキストの指定はしないで、プリントを配布する。後期は代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2001年を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際金融論	あきやま せいいち 秋山 誠一	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日の国際取引は、経常取引（商品・サービスの輸出入）と資本取引の両面において、自由化が進んでいる。このなかで国際間の経済取引が拡大するとともに、国際間の決済とファイナンスが重要な問題となってきた。決済は外国為替を用いて行われるので、経常取引と資本取引にもとづく外国為替の需給関係が外国為替相場を決定するが、逆にその変動が経常取引と資本取引に影響を与え、ひいては各国の経済活動全体に影響を及ぼす。このため、為替相場・通貨危機が各国の経済危機の発端となり、また経済危機は為替相場・通貨危機として現れる。このような今日の経済のグローバル化のもとでは、外国為替の仕組みや国際金融市場の一定の知識がなければ、各国および世界の経済状況を正確に理解することはできない。そこで、外国為替や国際金融問題を理解するために必要な基礎的知識を得ることをねらいとして主に以下の内容で講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 国際決済と外国為替の仕組み
- 2) 外国為替の基本概念とその手段
- 3) 外国為替市場と外国為替銀行の操作
- 4) 国際経済取引と国際収支概念
- 5) 国際資金移動と国際金融市場の発展
- 6) 国際通貨制度の歴史的発展と国際通貨
- 7) 変動相場制と最終決済なき国際通貨制度

履修上の留意点

講義は初学者にも理解できるが、新聞・雑誌・ニュース等の国際金融問題の動きに興味を持つことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として学年末試験によって、さらに小テスト、レポートを加味して行なう。再試験を実施する。

教科書

秦忠夫・本田敬吉『国債金融のしくみ（改訂版）』（有斐閣）

参考書等

授業の進行に沿って紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口論	もり森 つかみ岡 じん仁	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/歯1・2・3・4選	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況
再試験を実施する。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

その他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展
産業構造の理論と歴史
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義ではOHPなどをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節日に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

講義中に随時実施する小テストおよびレポートと、定期試験（論述式）の成績を総合して評価する。再試験は実施しない。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	徳永俊明 <small>とくながとしあき</small>	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいますのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成り立ち始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としています。同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済

貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序

- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は、読書ノート(2~3回)および講義の基本的内容の理解を確認する学年末レポートで評価します。(追・再試験は行ないません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/簡1・2・3・4選	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着眼して、中ソ同盟下の大志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上国の特徴=機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体制づくりのため経済効率は低下し行きづまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大国志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策による外資の呼びこみ、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかげていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』(龍溪書舎) 4,000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック2000-2001』(古今書院) 3,800円

その他

授業方法 講義+ビデオ映像の活用

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/簡1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡訳、青木書店、1994年)をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報・経済ネットワーク論	なかすみみつあき 中 濟 光 昭	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/履1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、情報が経済学でどのように扱われているのかについて議論します。具体的には「経済学と情報」「デジタルエコノミーとはなにか」「ITによって何が変わるのか」「情報ネットワーク経済の基盤となる情報システムとは」「電子商取引とは」について理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレーディングなどについて理解を深めていきます。講義では、コンピュータを操作して情報システムについて実習し、またメールなどを活用し教員と皆さんが双方向に意見を交換するようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場のパソコンの使い方、受講上の注意など
- 2) グループウェアで共同作業を行なう
- 3) インターネットで株取引シミュレーションをやってみる
- 4) 経営情報システムの実例 (SAP R/3)
- 5) 情報経済システム論 - 情報とは、カジノテーブルと収穫逓増の法則、情報の非対称性、デジタルエコノミーとは
- 6) 情報システム概論 - コンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論
- 7) 電子商取引概論 - 電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度
- 8) インターネットビジネス概況 - マイクロソフトにみる情報ビジネス戦略、インターネットビジネスを覆う危機
- 9) 事例研究 (amazon.com, yahoo.com などについてビジネスモデルを調査・分析する)

履修上の留意点

ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行います。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用します。パソコン初心者には、まず基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ (フレA設置) やコンピュータ基礎を履修することをお勧めします。

成績評価の方法

講義時の課題と夏季・冬季休業時に課すレポートによります。実習を含むため、追・再試験は行いません。卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めません。

教科書

初回の講義で指示

参考書等

初回の講義で指示

その他

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回の講義に「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めません (事前に相談すること)。
- ・Komanetに登録している前提で講義を行なうので、Komanet未登録者は4月初旬に4号館1F自習室に行き、登録手続きを行なうこと (登録なしに受講することは講義内容上困難)。
- ・講義に関する質問などは、事前予約の上、第二研究館4F 2437研究室 (tel: 03-3418-9352) に来室するか、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
プログラミング論	はまもと かず ひこ 濱 本 和 彦	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/備1・2・3・4選	4

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンダードからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としてはC言語とJavaを扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としてはC言語とJavaを扱う。前期にC言語、後期にJavaを扱う予定である。C言語は基本情報技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。Javaでは、主に、インターネットのWWW上でプログラムを発信するためのJavaアプレットについて講義する。いずれも実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メールによる出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生は大学のメールアドレスの取得手続きを行っておくこと。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。なお、再試験を実施する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

講義中に指定する。

その他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクタで見せながら行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理論	いわせひろかず 岩瀬弘和	経B・経A1・2・3・4選 12以納入学生/産1・2・3・4選	4

講義のねらい

高度情報化社会といわれている現代社会において、コンピュータグラフィックス (CG) は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CGを作成したり鑑賞する機会が急速に増大するものと予想される。

この講義では、CGの概要から始まり、CG作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存のCG作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG理論の理解を深めていく。さらに、現在CGが応用されている分野を知り、今後どのようにCGが活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・コンピュータグラフィックスとその展開
 - ・2次元CGの作成と変換理論の習得
 - ・3次元図形の表示技術 (投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など)
 - ・自由曲線の種類とその理論 (ベジエ曲線、Bスプライン曲線など)
 - ・自由曲面の種類とその理論 (ベジエ曲面、Bスプライン曲面など)
 - ・3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど
- 上記の理論を学習するとともに、Photoshop、VRML、Java Scriptなどの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。

成績評価の方法

出席状況および提出課題にて評価する。
再試験はレポートにて実施する。

教科書

配布資料。

参考書等

田中成典、小林孝史 (編) 『VRMLの達人』 (森北出版)
黒瀬能幸 『3次元図形処理工学』 (共立出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
商学総論	おおぶきかつお 大吹勝男	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

近年、経済学部にもヤンキーだか、モンキーだかわからない、以前の駒大生にはみかけなかった入学者が出現している（風体ではなく、受講態度）が、本学もまた大学であるかぎり、真理を探究する学問の場でなければならない。したがって、まず講義の妨害となる集団的私語をするような入学者諸君の受講は遠慮願いたい。

さて、講義の内容であるが、本講義も、現代の風潮にしたがい、企業はいかにすればより多くの利潤・利益を取得・実現することができるか、その方法を探ることを課題とする。すなわち、いかにしてサラリーマンおよび労働者を搾取（この言葉がわかるかな）するか、経営者の立場からその方法を考えるということである。これは、立場をかえれば、経営者になることのないほとんどの諸君からみれば、いかに自分が搾取されているかを学ぶことになる。さらに現代風にいえば、なにゆえにこれほどまでに多くの若くて将来のあるサラリーマンが過労死や過労自殺に追込まれるのか等々を考えるでだてにもなる。以上のような問題を意識しつつ授業では流通論を講義するものであり、その内容からして流通経済論といかえてもよいとおもう。諸君は、流通理論の習得に努めるとともに単なる知識ではなく、将来社会にでてでも使い捨てるサラリーマンになることのないように、それらを学ぶ過程において、論理的に思考する能力を身につけてもらいたい。そして、単なる入学者ではなく、大学の学生となって卒業してもらいたい。そのためには、一年間を通して授業に出席することが必要である。また、本講義は、諸君が履修するであろうマーケティングおよび商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、下記の項目にしたがってすすめるが、本年度は現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論に重点をおいて講義する。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通費用）
- (4) 商業資本論（電子商取引、eコマース）
- (5) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

成績評価の方法

評価は、期末試験によるが、講義の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また、各講義項目が終る毎に、小テストを実施し、諸君の理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とする。再試験は実施する。

教科書

1. 大吹勝男著『流通費用の基礎理論』（梓出版社、4月刊行予定）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マーケティング	曾 ^も 我 ^が 信 ^{のぶ} 孝 ^{たか}	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. マーケティングの問題点
 - ・消費者の価値観とマーケティング支配
 - ・マーケティングと収奪関係
2. 製品政策
 - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
 - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
 - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
3. 価格政策
 - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
 - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
 - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
 - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
4. チャンネル政策
 - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
 - ・販売チャンネル（販売チャンネルを支配する理由は何でしょう）
 - ・チャンネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
5. 販売促進政策
 - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
 - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
 - ・サービス（現在存在してないようなサービスを思いつきますか）
6. 国際化戦略
 - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
 - ・マーケティングの現地化（なぜ現地でマーケティングを展開する必要があったのか）

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2～4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけではなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができているかどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜き書き解答等には厳しい評価となる。
2. 夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からはずす可能性がある。
4. 再試験は実施する。

教科書

指定なし

参考書等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業史	幸野保典	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

商業史とは、各時代の人間の経済生活のなかでとくに商業活動を取りあげて、その具体的役割や歴史的な変遷を明らかにする学問だといってよいであろう。この場合の経済生活とは、人間が生存のために必要な生活必需品などさまざまな財貨（商品）を獲得し、それらを消費しながら日常生活を繰り返すことである。広義の商業とは、財貨がどこで生産され、どのような経路で生産者から消費者へ運ばれ売られるかに関わることである。

経済の発達した現在では、消費者は必要な消費財をみずから生産せず、第三者が生産した財貨を商品として市場から購入しなければならない。人間の経済生活は市場における商品の売買という取引行為を通して営まれている。そして、商品売買という取引行為が生産活動から独立した場合、商品を購入して再び販売するこの取引行為は生産とは別の独立した職業として専門的に営まれることになる。これが本来の意味での商業で、それを専門に営む者が商人である。

このように、本来の商業は市場における商品の購入と再販売という連続した二つの取引からなっている。しかし、現実商品取引が行なわれる場合には、金融業（信用業務）、通信業（発注・受注業務）、保険業（商品の保全）、運輸業（商品運送業務）、倉庫業（商品の保管）などが商品の売買に付随して行なわれることから、これらも商業の範疇として考えられ、商業史の対象となりうる。外国との商取引である貿易も商業史の重要な一部門である。

このように商業史の対象は多岐にわたるが、本講義では、日本における小売商問題、とくに大正・昭和期の小売商問題に重点をおきたいと思う。それは、今日の小売商問題の源流を探るうえで重要であると考えられるからである。経済史とのかかわりのなかで商業史をみることは当然のことではあるが、小売商問題に限っては社会史や文化史からのアプローチも重要な要素となる。経済的効率のみから小売商問題を理解したり、外国との経済摩擦の解消策としての規制緩和問題に重点を置き解決を計ろうとすれば、地域文化の崩壊や個性の喪失はまぬがれないと考える。

講義の内容・授業スケジュール

I. 商業史の課題と方法（1回）。II. 明治期の商業、1. 近代商業の経済的環境（1回）、2. 近代商業経営の成立（1回）、3. 商業教育の展開（1回）。III. 大正・昭和期の小売問題、1. 小売商の社会経済環境（1回）、2. 商業人口の過剰現象とその定着度（1回）、3. 中小商業者の零細性（1回）、4. 各種小売形態の発展、a. 百貨店①百貨店の発展（2回）②百貨店の植民地、占領地への進出（1回）、b. チェーンストアなどの発展（1回）、c. 小売市場、産業組合（1回）、d. 商店街①商店街の形成（1回）②各地「商店街ニ関スル調査」の概要（1回）③巢鴨地藏通商店街、浅草仲見世商店街（1回）④砂町銀座商店街、高円寺純情商店街（1回）5. 中小小売商の経営実態、a. 小売商経営の実際（1回）、b. 小売商問題の発生と社会的認識（1回）。c. 露天商（ヤシ・香具師・てきや）（1回）。6. 中小小売商の社会運動、a. 反百貨店運動（1回）、b. 反産運動・その他の社会運動（1回）。IV. 戦時下の商業、1. 経済統制と商業（1回）、2. 企業整備と中小商業者（1回）。V. 戦後の小売商問題、1. 流通革命とスーパー・マーケット（1回）、2. コンビニエンス・ストアの発展（1回）を予定している。

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

前期にレポート、後期に試験を実施する。再試験を実施する。

教科書

とくに指定しない。毎回講義にはレジュメを用意する予定である。

参考書等

竹林庄太郎『日本中小商業の構造』（有斐閣）1941年
日本小売業経営史編集委員会『日本小売業経営史』（公開経営指導協会）1967年
糸園辰雄『日本中小商業の構造』（ミネルヴァ書房）1975年
藤田貞一郎、宮本又郎、長谷川彰『日本商業史』（有斐閣）1978年
石坂昭雄、壽永欣三郎、諸田實、山下幸夫『商業史』（有斐閣）1995年
白澤恵一『地域経済と小売商業』（溪水社）1982年
鈴木安昭『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年
田中道雄『商店街経営の研究－潮流・変革・展望－』（中央経済社）1995年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 学 総 論	岩 ^{いわ} 波 ^{なみ} 文 ^{ふみ} 孝 ^{たか}	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

21世紀の企業経営は、グローバル化とIT革新の進展という急激な経営環境の変化に対応することが求められています。また、長期化した不況など実感を持って企業経営のあり方を学ぶ機会でもあるといえます。

経済学部には、現代企業の経営に関連する科目が多く開講されています。とくに経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務官理論、マーケティングなどは、現代企業の構造と機能、あるいは企業経営に関連する諸問題の系統的・体系的理解には不可欠な科目です。経営学総論では、経済学部において経営学関連科目を学ぶことの意義について講義します。

本講義では、企業経営を理解するための基礎的な知識の獲得を目的とします。はじめて経営学を学ぶ学生に向けて、企業経営の仕組みについて身近な例を取り上げながら、授業を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 現代の企業社会と経営学を学ぶ目的
- 3 現代企業とマネジメント
- 4 企業形態の展開
- 5 企業経営と経営組織
- 6 経営システムと情報システム
- 7 トップ・マネジメントの組織と機能
- 8 組織・管理の諸理論
- 9 企業経営と情報化・グローバル化の進展
- 10 環境保全と企業経営
- 11 非営利組織のマネジメント
- 12 企業経営をめぐる諸課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。また、授業はテキストおよび配布レジュメにより進めます。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

レポートおよび学年末の定期試験により総合的に評価します。

教科書

前期 渡辺峻『やさしく学ぶ経営学入門』（八千代出版）2000年。
後期 仲田正機・夏目啓二編著『企業経営変革の世紀』（同文館）2002年。

参考書等

随時レジュメ等配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営管理論	ひやく た よし はる 百田 義治	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

21世紀を迎えて、日本企業は大きく変貌しています。その底流には、IT革命やグローバル化の進展があります。IT革命はいん石が地球に衝突した（恐竜の死滅）と同様な影響を産業構造・経営組織・労働組織に及ぼし、コア・コンピタンスを武器としたネットワーク型経営を現実化し、ビッグ・ビジネスだけが競争優位を確立できる時代に終止符を打とうとしています。また、ボーダレス化したグローバルな市場統合はメガ・コンペティション（大競争）を現出し、「グローバル・スタンダード（アメリカン・スタンダード）」が「日本的経営」の根本的変革を迫っています。頻繁かつ大規模な企業再編（合併や提携）、持株会社の解禁・普及、企業集団や下請関係の再編、猛烈なリストラ、終身雇用・年功制の崩壊、能力主義・成果主義の台頭などなど、日本企業の変貌が日々新聞やテレビで報じられています。本講義では、このような激動のなかにある日本企業の経営管理の問題に焦点をあて、国際比較の視点からその現状と今後の課題についてアプローチします。

講義の内容・授業スケジュール

（前期の授業スケジュール）

- ① 授業ガイダンス（経営管理論とはどのような学問か）
- ② 現代企業と経営管理（経営管理とは何か）
- ③ 大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム）
- ④ 経営管理と人間性（人間関係論と行動科学、労働の人間化…）
- ⑤ 経営組織の基本形態と発展形態（ラインとスタッフ、事業部制、カンパニー制、分社化…）
（夏休みのレポート）

（後期の授業スケジュール）

- ⑥ IT革命の進展と企業経営の変容（ネットワーク型経営と企業間関係）
- ⑦ グローバリゼーションの進展と企業経営の課題（グローバル化、ローカル化、異文化共生）
- ⑧ 日本的企業システムの変化（所有構造、統治システム、企業と政府）
- ⑨ 日本的生産システムの再編（トヨタ・システム、製販統合システム…）
- ⑩ 日本的労働システムの変化（終身雇用、年功制、能力主義、成果主義、…）
（学年末試験）

履修上の留意点

現代の企業経営をめぐるホットな話題を取り上げ、授業テーマと関連づけて講義します。新聞・雑誌・ニュースなどを通して企業、経営、労働などに関心を向け、現代の企業経営についての問題意識をもって授業に参加してください。また、経営学総論、経営学史、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどと併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。再試験なし。

教科書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2003年。

参考書等

授業や課題レポート（夏休み）に関連して随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財 務 管 理	しら <small>しらす</small> 坂 <small>さか</small> 亨 <small>とる</small>	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

財務管理は企業の資本についての諸問題を研究対象とする学問です。しかも、企業側からすれば、この財務管理はその企業の形態や業種、規模によっても変化します。したがって、学問領域も広く、商法および税法、証券取引法、独占禁止法といった法制度とも密接に関連しています。またその奥も深いものとなっています。

このような状況のもと、財務管理は利益管理（費用管理と収益管理）と資本管理（調達管理と運用管理）の両側面において発生する問題の背景や、要因を解明すべく、企業を取り巻く金融・証券市場の構造解明と役割の認識を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、本講義においては次にしめす項目を2・3回に分けて検討します。

1. 財務管理論の枠組み
2. 会社制度
3. 財務管理の役割り
4. 資金調達の実態－株式資本－
5. 資金調達の実態－借入れ資本－
6. 資金調達の実態－社債資本－
7. 資金調達の実態－自己金融－
8. 配当政策
9. コーポレート・ガバナンス

履修上の留意点

履修するにあたり、学生諸君に望むことはただ一つ、積極的な授業参加です。

成績評価の方法

成績評価は出席、小テスト、レポート等により総合的に評価します。再試験を実施します。

教 科 書

教科書・参考書は開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 務 管 理 論	ほり 堀 龍 二	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本の労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本の労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用形態の多様化
 2. 賃金・処遇の成果主義化
 3. 職能資格制度とキャリア形成
 4. 成果主義と目標管理と人事考課
 5. 労働時間の弾力化
 6. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教 科 書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参 考 書 等

講義中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計学総論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

会計とは、特定の経済主体が営む経済活動およびこれに関連する経済的事象を、主として貨幣額で測定・記録・伝達する行為である。また、これらの行為を通じて得られる各種の情報を会計情報という。この会計情報の中心的存在が貸借対照表や損益計算書などの財務諸表である。会計学の主たる研究領域としての企業会計は、企業が作成する会計情報の提供先の相違により、財務会計と管理会計とに分類されるが、とりわけ財務会計は、財務諸表の作成および公開をその主要な課題とする。公認会計士による会計監査も財務会計の領域に属する。

本講義は、会計学の初学者を対象として、会計学の概要を理解し、財務会計論や会計監査論を学習する上で基本的な知識を習得することを目的としている。このためには、財務諸表の作成・公開についての制度面・理論面からの理解のみならず、これと表裏一体をなす財務諸表作成のための技術的な側面、すなわち簿記の基礎についての理解も不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

財務諸表の作成から公開に至る一連の過程を概括的に理解できるよう、会計の制度面、理論面および技術面における基本的事項について解説を行う。

具体的には、わが国の企業会計制度、簿記の基礎、財務諸表の仕組み・内容、財務諸表の公開、監査制度の順で講義する。スケジュールとしては、簿記の基礎（日本商工会議所簿記検定試験3級程度）までを前半、それ以降を後半とする予定である。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

新井清光著、加古宜士補訂『現代会計学』（中央経済社）2,500円
加古宜士、渡部裕巨編著『新検定簿記講義3級商業簿記』（中央経済社）680円

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記論	すず き かつ ひろ 鈴 木 勝 浩	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、まず簿記の歴史と複式簿記の原理を解説した後、日商簿記検定3級程度の知識を得るべく、簿記一巡の手続きに従い、記帳演習を取り入れながら個別事項を学習していく。また現在の実務状況を勘案し、コンピュータ環境下における簿記会計の在り方についても触れていきたい。

履修上の留意点

簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。
再試験は実施する。

教科書

新井清光『入門簿記』（中央経済社）

参考書等

『要点整理 日商簿記検定練習問題集3級』（一橋出版）

その他

講義の際には、電卓を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財務会計論	おぐり たがし 小栗 崇 資	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	いし かわ ゆう し 石 川 祐 二	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自らの状況を把握し、それに基づいて自らを管理していかなければならない。とりわけ、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教 科 書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参 考 書 等

講義において適宜紹介する。

そ の 他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原価計算論	すずき かつひろ 鈴木 勝 浩	経B・経A1・2・3・4選	4
		12以降入学生/商1・2・3・4選	

講義のねらい

原価計算は「目的」に対する「手段」の体系にはかならないから、原価計算はその目的との関連において理解されなければならない。多くの企業において、原価計算システムは経営情報システムのコアを形成し、経営管理に関連するさまざまな情報ニーズに応えることができるように、システムの構築が考えられるべきである。原価計算システムに対する情報ニーズは、経営環境や経営戦略の変化に応じて絶えず変化する。特にFA化が進んだ今日では、伝統的な原価計算の中にはその有用性を失いつつあるものもある。そこで本講義では、伝統的な原価計算を解説しその問題点を把握した後、原価計算の新しい潮流について話を進めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義の内容とスケジュールは概ね以下の通りである。

- I 原価計算の歴史
- II 原価計算総論
- III 財務諸表作成のための原価計算
- IV 経営管理のための原価計算
- V 原価計算の新しい潮流

履修上の留意点

教科書にある計算事例を使いながら講義を進めていくので、当然のことではあるが、教科書は必ず購入すること。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。
再試験は実施する。

教科書

山田庫平編著『原価計算の基礎知識』（東京経済情報出版）

参考書等

毎回プリントを配布する。
参考文献については必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易論	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/産1・2・3・4選	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り、授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 実 務 (前 期)	あら ほと はる お 荒 畑 治 雄	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/備1・2・3・4選	2

講義のねらい

有力な海外市場の有力な相手先と取引関係を形成することは、貿易経営にとって最も重要な実務である。本講において、海外の企業との取引関係の形成から、物品売買契約の成立、輸出通関手続き、物品の船積、陸揚げ、輸入通関手続き、代金決済に至るまでの取引の流れと基本原理、実務手続きなど、貿易取引の現状を解説する。また、絶えず変動する貿易環境のもとで将来の方向を考えながら、貿易取引の実践の方法を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 貿易マーケティング
2. 貿易契約の基本条件
3. 売買契約成立に伴う実務
 - ①信用状の発行・照合
 - ②先物為替の予約
 - ③約定品の調達・輸出承認
 - ④運送契約の締結
 - ⑤海上保険契約の締結
4. 通関・船積・陸揚げ
 - ①コンテナ船積・在来船積
 - ②輸出通関業務
 - ③陸揚・輸入通関業務
5. 貿易決済の実務
6. 貿易クレーム

履修上の留意点

国際経済の動向、国際マーケティングの変化、電子商取引の普及など取引環境の変化に絶えず関心を持つこと。

成績評価の方法

授業への参加度、期末試験

教 科 書

大塚朝夫監修、福田靖・横山研治著『貿易実務』（成美堂）

参 考 書 等

浜谷源蔵『最新貿易実務』（同文館）3,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
通 関 実 務 (後期)	あら はた はる お 荒 畑 治 雄	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	2

講義のねらい

今日では、関税は「輸入品に課される税金」として定義されている。貨物を輸出又は輸入しようとする時は、税関に申告してその許可を受けることが必要である。これを一般に「通関手続」といっている。税関では、申告が正しく行われているかどうかを審査し、必要に応じて貨物の検査を行い、輸入貨物については、定められた関税や消費税等が納入されているかどうかを確認したのち、輸入の許可を行う。

本講において、輸出入される貨物の通関業務、通関手続の電算処理、関税法などを解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

税関の役割

(1) 監視行政 (2) 通関行政 (3) 税務行政 (4) 保税行政

通関・課税

(1) 輸出入貨物の通関・課税

保税

間税率・その他

履修上の留意点

貿易取引の仕組みをよく理解しておくこと

成績評価の方法

授業への参加度、期末試験

教 科 書

プリントを配布する

参 考 書 等

授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
憲法	うちだまりこ 内田真利子	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/備1・2・3・4選	4

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「人権」という観点から問題的の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らざる領域は幅広い。その一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、学校における人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、性差別……。

履修上の留意点

毎回の授業に単に出席するだけでなく、主体的に参加できる人にもみ受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年数回、テストを行う。このテストのほか、授業への参加意欲についても成績評価の対象とする。

教科書

授業で指示する。

参考書等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法一部	織田晃子	経B・経A 1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 権利の主体
 - (1) 自然人
 - ①権利能力
 - ②意思能力、行為能力
 - ③不在者、失踪宣言
 - (2) 法人
 - ①法人の意義・本質
 - ②法人格否認の法理
 - ③権利能力なき社団・財団
 - ④法人設立とその能力
 - ⑤法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
 - (1) 物の概念
 - (2) 不動産と動産
 - (3) 主物と従物
 - (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
 - (1) 法律行為
 - (2) 意思表示
 - (3) 代理
 - (4) 無効及び取消
 - (5) 条件及び期限、期間
 - (6) 時効

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験を実施する。

教科書

河野弘矩著改訂版『民法総則講義』（八千代出版）3,100円＋税

参考書等

コンパクト六法（岩波）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 二 部	こ う の 河 野 弘 矩	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

債権法とは、形式的には民法第三編債権の規定の総体（399条～724条）をいい、実質的には債権関係を規律する法規の全体を意味している。債権法は、物権法と共に市民生活のうち財産関係を規律する法規であり、主として財貨の移動関係を定めた法律といえよう。

債権法 債権総論 第一章 総則－債権の目的、効力、多数当事者の債権、債権譲渡、債権の消滅の5節から構成されている（399条～548条）

債権法 各論 第二章 契約（549条～696条）
第三章 事務管理（697条～702条）
第四章 不当利得（703条～708条）
第五章 不法行為（709条～794条）

講学上、債権法第一章総則を債権総論といい、第二章以降を債権各論と呼んでいる。

本講義は、上記の第一章の債権総則を対象とする。債権総則は、実質上契約から生ずる債権を念頭においた規定と解される場合が多いことから、講義のなかでは契約の例示を多く登場させ、極力具体的事例を以て抽象的理論を説明するようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の進行は、債権法の規定の順序に従い、以下の通り行う。

- (1) 債権の意義及びその性質
- (2) 債権の目的
- (3) 債権の種類（特定債権、種類債権、金銭債権、利息債権、選択債権、任意債権）
- (4) 債権の効力（自然債務、強制履行、債務不履行、第三者による債権侵害、責任財産の保全、他）
- (5) 多数当事者の債権関係（連帯債務、保証債務）
- (6) 債権関係の移転（債権譲渡、債務の引受、契約上の地位の譲渡）
- (7) 債権の消滅（弁済、代物弁済、供託、相殺、更改、免除、混同）

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。

講義には、六法全書を必ず持参すること。

講義についての質問は、毎回講義終了後質問を受けることは当然であるが、その他前期と後期の授業最終日に質問を受ける時間を設ける予定です。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教 科 書

教科書は、河野弘矩『債権法講義』（八千代出版）価格未定を使用予定。
参考書については、授業のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 法	<small>おかだとしひろ</small> 岡 田 外司博	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/箇1・2・3・4選	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
労働法	ふじもと しげる 藤本 茂	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しながされています。現在は、変動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、裁量労働、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限や男女雇用平等、などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進めます。労働組合を中心に扱う労使関係法領域も重要ですが、あまり多くの時間を割くことができません。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことを学ぶことを中心にして、現代的課題に言及しようと思います。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外・休日労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありませんが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

教科書

ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）か労働法（浅倉むつ子ほか著・有斐閣）のうち1冊は用意してください。ほかにも、関心に応じた選択ができるようにいくつか紹介します。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、プリントをして紹介します。六法に関しては、最新のもの（法律改正があるので特に注意）そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 法	おうしあん 王 志 安	経B・経A1・2・3・4選	4
		12以降入学生/高1・2・3・4選	

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）、東信堂、2002、2,800円

参 考 書 等

松田幹夫編著『現代国際法』（八千代出版）1997年 2,700円
市販されている国際条約集

そ の 他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会保険法	ほらだ けいいちろう 原 田 啓一郎	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。
 社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

講義開講時に指定する。参考文献については、適宜指示をする。
 なお、多方面の法律に言及するため、ポケット六法レベルのものでは不十分であるので、社会保障立法を収録する六法を各自必ず用意すること。

その他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
保険・海商法	か せ こう き 加 瀬 幸 喜	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

保険法および海商法の基礎的知識を習得することがこの講義の目的です。
 まず、保険についてですが、私達は、火災、自動車事故、病気といった様々な危険に囲まれて生活しています。これらの危険を減少させることは可能です。しかし、それをまったく除去することは不可能です。ここに、保険の必要性があります。つまり、共通する危険をもつ者達があらかじめ掛け金を拠出して、それを現実に損害を被った者の損害填補に充てるという仕組みです。これが保険制度です。保険制度はこのように有用なものです。他面、これは濫用されるおそれの高いものでもあります。少額の保険料で多額の保険金を取得することが可能であるからです。近年、しばしば新聞などで報道されている保険金殺人事件はこの代表的なものです。この講義では、保険制度のもつこれら2つの側面を法的視点から解明しようと考えております。
 次に、海商法ですが、海商法は船舶を手段とする海上企業活動に関する法です。船舶というと、時代遅れの交通手段に思われますが、物品の運送については依然として主役の地位にあります。また、海商法は、歴史的にいうとその起源を中世の慣習法に求めることができます。そのため、この法分野には独特の制度がみられます。これらについて、概説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期および後期の前半を保険法の講義にあて、残りの時間を海商法にあてる予定です。

履修上の留意点

債権法の基礎的知識を習得していることが望ましいです。

成績評価の方法

出席は年間を通じて7~8回とる予定です。これは、成績評価の際に加点事由とします。期末試験は持ち込み不可で行います。

教科書

山野嘉朗・山田泰彦編著『現代保険・海商法 30 講 第5版』（中央経済社）4,000円

専科
教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法総則・商行為法	工藤 聡一	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

商法は企業に関する法であり、商法総則は企業の人的・物的組織を規定し、商行為法は企業取引に特有な法律関係を規律する。本講義では、商法総論として、商法の意義とその内容について基礎知識を得た後、商法総則および商行為法の基本的枠組みを考察する。企業実務は変化が著しく、商法典は必ずしもそれについていけない。そこで、現行法の弾力的柔軟な解釈に留意するとともに、法文には現れていない現代的な企業取引に関する法規整のあり方についても、考えていくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

商法総論に関して一商法の意義、商法の特徴、商法の体系、商法の適用等
 商法総則に関して一商人、商業使用人、代理商、商号、商業帳簿、商業登記、営業譲渡等
 商行為法に関して一商事売買、仲立営業、問屋営業、運送取扱営業、運送営業等
 *詳細な講義計画は開講時に発表する。

成績評価の方法

後期末試験(70%)の結果に平常点(30%)を加えて成績評価する。
 試験は論述式とする。平常点のカウントの仕方は、受講者の数をみて決める。

教科書

関口雅夫編著『現代商法I(総則・商行為)』(八千代出版)2,800円+税
 必要に応じてプリント教材を配布する。なお、六法を毎回必ず持参すること。

参考書等

江頭憲治郎・山下友信編『商法(総則・商行為)判例百選(第4版)』(有斐閣)2,300円+税
 江頭健治郎『商取引法(第2版)』(弘文堂)3,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
税法I(前期)	奥村 正郎	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義は、我々の身近な法律である税法について、その基礎的な理論と計算方法の習得を目的とする。また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度、税法Iでは、個人を納税義務者とする所得税を中心に講義、計算演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 所得の概念 | 8. 所得金額の計算(4) |
| 2. 納税義務者 | 9. 所得控除及び税額の計算(1) |
| 3. 課税所得の範囲等 | 10. 所得控除及び税額の計算(2) |
| 4. 各種所得の種類 | 11. 所得控除及び税額の計算(3) |
| 5. 所得金額の計算(1) | 12. 申告、納付 |
| 6. 所得金額の計算(2) | 13. 源泉徴収、その他 |
| 7. 所得金額の計算(3) | |

履修上の留意点

簿記の知識がある方が良いが、なければ簿記(3級レベル)の講義も履修することを勧める。

成績評価の方法

出席、期末試験により評価する。

教科書

高柳昌代著『知っておきたい所得税の常識』(税務経理協会)

参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

その他

計算演習についてはプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税法Ⅱ（後期）	おくむらまさろう 奥村正郎	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/備1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義は、我々の身近な法律である税法について、その基礎的な理論と計算方法の習得を目的とする。また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度、税法Ⅱでは、所得税同様、個人を納税義務者とする相続税を中心に講義、計算演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 相続税の意義
2. 納税義務者
3. 相続税の課税財産
4. 相続税の課税価格
5. 相続税額の計算 (1)
6. 相続税額の計算 (2)
7. 相続税額の計算 (3)
8. 相続税の申告、納付
9. 贈与税の課税原因と納税義務者、課税財産
10. 贈与税の課税価格と税額計算
11. 相続税・贈与税の財産評価 (1)
12. 相続税・贈与税の財産評価 (2)
13. その他

履修上の留意点

簿記の知識は必須ではないが、なければ簿記(3級レベル)の講義も履修することを勧める。

成績評価の方法

出席、期末試験により評価する。

教科書

小池正明著『知っておきたい相続税の常識』(税務経理協会)

参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

その他

計算演習についてはプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ	いいだやすゆき 飯田泰之	経B・経A・12以降/備1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経B・経A・12以降/備2・3・4選	

講義のねらい

90年代に入り、経済政策に関する理論的なフレームワークはもとより、政策の具体的な手法も大きな変貌を遂げつつある。こと金融政策に関しては理論・手段双方の新潮流に加え、その重要性がかつて無いほどの高まりを見せるに至った。本講義では90年代アメリカの経済政策を概観すると同時に、その理論的な基礎となった金融政策理論について平易な解説書を読むことで理解を深めていきたい。さらには、アメリカでの政策的実践と日本の経済政策の比較対象を行う論文なども補完的に参照し現在の日本経済と経済政策について考える契機とすることを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は90年代アメリカ経済に関する一般書、後期は金融政策理論に関する入門書を輪読することを講義の中心とする。また、スケジュールに余裕があれば関連した雑誌記事なども適宜挿入して進めていきたい。したがって、参加者の分担報告が講義の中心になるがテキスト理解に必要な経済理論に関しては一部講義形式でも解説するつもりである。

履修上の留意点

「経済原論Ⅱマクロ経済学」を履修済であるか並行して履修することを強く要望する。

成績評価の方法

出席を中心に、分担報告の内容・発言による。再試験は行わない。

教科書

- ・Blinder and Yellen, "The Fabulous Decade: Macroeconomic Lessons from the 1990s" (Twentieth Century Fund, 2001 Aug.)
- ・Blinder, "Central Banking in Theory and Practice" (MIT Press, 1999 Jan.)

参考書等

講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情 I (前期) 〔都市開発と経済〕	菅 原 章 文 <small>すが はら あさ ひろ</small>	経B・経A1・2・3・4選	2
		12以降入学生/商1・2・3・4選	

講義のねらい

皆さんは「Sim City (シムシティ)」というコンピュータ (テレビ) ゲームを知っていますか。コンピュータ上で都市開発をシミュレーション (模擬実験) するゲームです。原野に道路や鉄道を建設し、水道・下水道・電気を整備し、病院や学校を建設すると、そこに人が住み、企業が事務所を構え…、というように、都市の開発・成長、そして衰退が描かれています。ここに出てくる要素のひとつひとつが都市の形成に欠かせないものです。

現実の都市はさらに複雑な要素によって構成されています。この講義では、都市を構成する様々な要素に注目し、その動向を知ることを通して、最近の経済に何が起きているか、今後どのような方向に進んでいくのか考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなキーワードで、都市の経済を分析・展望します。(順序は変更する可能性があります)

- ・都市と人口流動 … 都市の成長と衰退
- ・都市の基本構造 … 経済とインフラストラクチャー
- ・都市開発と企業活動 … 都市を建設する人々と企業
- ・都市開発と法規制 … 社会的ルールと経済活動
- ・都市と産業 … 都市を支える産業とその動向
- ・都市と物流 … 都市を支えるコンビニと宅配便
- ・都市と情報 … インターネットは都市の「神経」
- ・都市と環境 … 地球環境問題と都市
- ・都市とエネルギー … エネルギー産業の動向
- ・グローバル化と都市 … グローバル化がわが国経済に及ぼす影響と都市

履修上の留意点

プリントを配布し、教材とします。題材はできるだけ身近なことから選び、技術革新と規制緩和・グローバル化など経済の構造変化に注目しながら、皆さんと一緒に考える機会にしたい。

質問は歓迎しますが、私語はつつしんでいただきたい。

成績評価の方法

毎回、講義内容に沿った小論文、感想文等をその場で提出してもらいます。成績の50%以上は、この小論文、感想文で評価します。定期試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅱ(前期) 〔スポーツとビジネス〕	はたの じ ろう 羽田野 治 朗	経B・経A1・2・3・4選	2
		12以降入学生/商1・2・3・4選	

講義のねらい

2002年に開催されたW杯は、日本のスポーツを取り巻く環境と周辺のビジネスにオリンピック以上の影響を与えた。スポーツはこれまで単に時間とカネを費やす消費財として扱われてきたが、スポーツの存在は今や国民の健康・医療をはじめ地域振興や雇用機会の創出といったことにまで波及している。このような実態からスポーツの意義と経済的・文化的な価値を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

スポーツとビジネス
 スポーツとマーケティング
 スポーツとメディア
 スポーツとイベント
 スポーツとツーリズム
 スポーツとライセンス
 スポーツと地域振興
 生涯スポーツと健康
 スポーツとマネージメント
 W杯後のスポーツとビジネス

履修上の留意点

スポーツに興味があり、今後スポーツに携わる仕事に就こうという気持ちのある学生の受講を期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績と課題レポートの提出を基に総合的に評価する。再試験有り。

教科書

なし。 独自に作成する資料を使用する。

参考書等

講義内容やテーマにより紹介する。

その他

講義を中心に行うが、一部討論形式も予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅲ(後期) 〔国際ボランティア〕	よし がわ りん じ 吉 川 健 治	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

グローバル化が進展する私たちの社会において、民間の国際ボランティアによる活動が顕著になっている。非政府組織（NGO）が主体となり展開される活動は、人権、平和、環境、開発の分野にまたがり、今日では、市民セクターや市民社会組織と呼ばれ国際社会でも無視できない存在となっている。こうした民間による国際ボランティアはどのような背景で誕生し活動を展開してきたのか、また現在の私たちの社会と生活にどのような関係性を持っているかを考察するのが本講義の目的である。まず、国際ボランティアが展開する国、地域での人々の現実を理解することからはじめ、国際ボランティアが如何なる理念と方法で人々のニーズに応えているのか実践例を検証する。また、その活動が地球社会変革へ向けてのインパクトを持ちうるのかにも言及し、一市民としての私たちの役割についても論じる。なお、国際ボランティア活動を実践する活動家を招いて現状を聞く機会も設けたい。

講義の内容・
授業スケジュール

国際ボランティア活動（NGO）の発展の歴史と背景
 国際社会を取り巻く諸問題（貧困、紛争、難民）と直面する人々
 国際 NGO の活動事例
 人間中心開発——東南アジア地域（タイ・カンボジア・ラオス）における教育開発
 国際紛争と人権（人道支援）——アフガニスタン、東ティモールなど
 日本における国際ボランティア組織の活動と現状
 ボランティア、NGO、市民セクターの社会的役割と今後の可能性

履修上の留意点

国際ボランティア活動はもとより、国際協力、開発協力（政府間援助、国連なども含む）に関心のある学生の聴講を期待する。

成績評価の方法

レポート

教 科 書

特に指定しない

参 考 書 等

随時指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅳ(後期) [ディスカウント・ストア]	ふじ 藤 澤 けん 憲	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/備1・2・3・4選	2

講義のねらい

現代の流通事情について、とくにメーカーとディスカウントストアの関係に注目して考察する。具体的事例としては、日本の取引慣行の象徴と言われ、流通系列化の進んでいる化粧品業界をとりあげ、同業界における再販売価格の維持の実態とそれに対する行政や司法の判断を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

- (i) 日本の化粧品流通における価格問題
 - ①日本の化粧品流通と再販問題の歴史的検討
 - ②日本の化粧品流通の現状と再販維持の実態
 - ③化粧品流通の特殊性について
- (ii) 化粧品価格問題の過去の実例とその経緯
 - ①「対面販売の義務づけ」(資生堂事件)
 - ②「卸売行為の禁止」(花王事件)
 - ③「店別契約」(マックスファクター事件)
 - ④「ブランド別契約」(資生堂排除勧告)
- (iii) 欧州の化粧品流通とEC競争法の対応
- (iv) 米国の化粧品流通と反トラスト法の関係
- (v) 日本の化粧品流通に対する公正取引委員会の対応と問題点
 - ①日本の独占禁止法と公取委の実情
 - ②公取委による独禁法の運用の問題点
 - ③その解決—政策提言—独禁法改正

履修上の留意点

現代の化粧品流通とディスカウントの実態に興味があり、その実態を探ることにより問題点を発見し、その解決を図ろうとすることを考えている学生の受講を期待する。

成績評価の方法

2/3以上の出席日数を満たさない者は基本的に不可。定期試験の成績と課題レポートの内容により総合的に評価する。再試験はなし。

教 科 書

特になし。プリントを配布し教材として使用する。

参 考 書 等

講義内容やテーマにより紹介する。

そ の 他

講義を中心に行うが、一般討論形式も予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代産業事情Ⅰ(後期)	あ 阿部 ひろし 弘	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/産1・2・3・4選	2

講義のねらい

東西労働比較
この講義は、人間としての必須要件と考えられている労働に対して、私たち日本で生活している人々とヨーロッパやアメリカで生活している人々とは、異なったイメージをもっていることに関して、主として皆さんの先輩方から、それぞれ自分の経験を通じて話をしてもらい、それについてディスカッションをしてみることをめざしています。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容としては、主としてアメリカでの労働観と日本の場合の比較に重点を置きますので、アメリカや外資系で仕事をしてきた人、日本の市場で仕事をしている人から、それぞれポイントを話をしていただき、それをまとめていくなかで、皆さんにも授業進行に携わっていただく、という方法をとってみようと思います。

履修上の留意点

講義は何人かの講師にそれぞれの立場から話をしていただき、討論をするという形をとりますので、討論に参加して積極的に意見を述べていただくことが、この講義をすすめていく重要なポイントになりますので、参加精神で臨んでください。

成績評価の方法

基本的にレポートということになります。定期試験やそれに伴っている追試や再試はありません。

教科書

授業のなかでふれます。

参考書等

授業のなかでふれます。

その他

講義担当者の住所などを次に記しておきます。
〒179-0072
練馬区光が丘6-1-4-204
Tel.03-3976-7984
研究室：第2研究棟 No.2538 Tel.03-3418-9360

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代産業事情Ⅱ(後期)	とも まつ よし ひこ 友松 憲 彦	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/産1・2・3・4選	2

講義のねらい

現在、日本経済は長い深刻な不況にあえいでいます。企業は業績悪化のために新規雇用を抑制し、生き残りのためにリストラを進めています。雇用は縮小し、失業率は5%以上(実態はそれ以上といわれる)になりました。欧米の先進諸国と同じように、雇用問題は日本経済の最も深刻な問題の一つとなっています。

こうした状況のもとで注目を集めているものにベンチャー企業があります。ベンチャー企業とは、創業者のもつ将来性のある技術やノウハウをよりどころとする生まれたばかりの企業のことです。経済を再生させ、雇用を生み出すうえで、とりわけ現在の日本では重要な役割を担うものといえます。この講義はベンチャー企業を中心に、日本経済の現状と再生について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

ベンチャー企業を立ち上げた本学出身の数名の起業家を招き、その体験を軸にベンチャー企業の現状、可能性、問題点などについてお話いただきます。就職活動に取り組もうとしている皆さんの聴講も期待します。

成績評価の方法

出席と講義の感想を含めたりポートで評価します。再試験はありません。

教科書

講師から指示していただきます。

参考書等

講師から指示していただきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 産 業 事 情 Ⅲ	しろ 代 田 じゆん 純	経B・経A3・4選 12以降入学生/商3・4選	2

講義のねらい

野村証券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村証券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変更されることもある。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

教 科 書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2002年を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計資格特別演習	すずき かつひろ 鈴木 勝 浩	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、税理士試験の法人税法について、基礎的な理論及び計算方法を理解した上で、できる限り受験可能なレベルの知識の習得を目指すものである。法人税は、企業会計において算出された決算利益を基礎に、税務上の調整を行って求められた課税所得に対して課せられる。したがって法人税法は企業会計と有機的に結びついており、その理解には企業会計の理論や会計処理を習熟していることが必要とされる。本講義では、企業会計の理論に関連付けながら、法人税法について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず課税所得と法人税の算定に至るまでの流れを、特に別表1及び4を利用して体系的に理解をしていく。その後、課税所得算定に必要な個別調整事項を対象に詳細な解説を行うと共に、具体的な計算問題を通じて理解を深めていく。また税理士試験は計算に加えて理論も出題されるため、計算の根底にある税法上の理論的裏付けを条文に照らし合わせながら確認していく。また法人税法は計算問題のウエートが高いため、計算演習を多く取り入れながらより確実な知識を求めていきたい。授業スケジュールについては、受講生の理解を考慮しながら柔軟に対処していく予定である。

履修上の留意点

本講義を履修するに当たっては、特に株式会社に関する会計理論を理解していることが必要であり、日商簿記2級の商業簿記（工業簿記の知識は不要）程度の知識を有していることが望ましい。積み上げ方式により講義を進めていくので、できるだけ欠席しないこと。

成績評価の方法

出席率と講義中の演習で評価する。

教科書

渡辺淑夫著『法人税法の要点整理〔平成15年受験用〕』（中央経済社）
『法人税法 個別問題集〔平成15年度版〕』（TAC出版）

参考書等

必要に応じて指示する

その他

法人税法は税理士試験の中でも特にボリュームの多い科目であり、かつ複雑難解であるといわれているため、資格取得に対して高い目的意識をもって講義に参加してほしい。また疑問点については遠慮せずに積極的に質問をして早期に解決すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報資格特別演習Ⅰ	ながい 勇	経B・経A1・2・3・4選	4
		12以降入学生/商1・2・3・4選	

講義のねらい

本講座は経済産業省「基本情報技術者試験」の受験を希望する学生に、主に午前問題の対策向けの講座です。同時に、情報処理技術（IT）の基礎的な知識・学力の習得を目的としています。当試験の合格を目指す学生はもとより、現在の社会で必要不可欠なITの基礎を学びたい学生が対象です。

「基本情報技術者」の資格はソフトウェア開発技術者、さらにはシステムアナリストなどの上級の情報関連技術者をめざすための登竜門的資格です。情報関連企業に限らず、金融機関、商社に至るまで、就職活動には非常に有利な資格です。

講義の内容・授業スケジュール

前期では主にコンピュータサイエンスの基礎を学習し、後期では主にコンピュータの応用分野を学習します。前後期ともに講義に加え、最近過去3年間の午前問題を中心に演習を実施します。またコンピュータを利用したオンラインテストも適時併用します。

【前期】基礎講座（13回）の目安

第1回	ガイダンス		〔講義／演習〕
第2～3回	コンピュータ入門		〔講義／演習〕
第4～6回	コンピュータの基礎理論	その1	〔講義／演習〕
第7～8回	コンピュータの基礎理論	その2	〔講義／演習〕
第9～12回	ハードウェアの基礎		〔講義／演習〕
第13回	ソフトウェアの基礎		〔講義／演習〕

【後期】答案演習講座（13回）の目安

第1～4回	通信ネットワーク		
第5～6回	ファイルとデータベース		〔講義／演習〕
第8～9回	ソフト開発の基礎		〔講義／演習〕
第10回	情報処理システム		〔講義／演習〕
第11回	産業社会と情報化、情報化の課題		〔講義／演習〕
第12～13回	総合演習		〔演習〕

（上記スケジュールは状況により変更することがあります）

履修上の留意点

前年度及び前々年度の“情報資格特別演習”と、同様の性格の講義です。ただし、当然より最近の問題が演習の対象となります。

成績評価の方法

定期試験に基本情報技術者試験午前の過去の問題から抜粋した模試を実施し、評価します。また講義への出席率も評価の対象となります。

教科書

・コンピュータシステムの基礎（閑アイテック 4,000円（予想値段））

参考書等

・基本情報技術者試験の過去の午前問題を適時に配布

その他

基本情報技術者試験の合格やITに興味のある人が望ましく、またパソコンを使用した講義があるため、履修制限を行なう場合もあります。

情報資格特別演習Ⅱを同時履修することができます。また同講義は来期以降に履修することもできますが、同時履修することをお勧めします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報資格特別演習Ⅱ	なが いさむ 永 井 勇	経B・経A 1・2・3・4選 12以降入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講座は経済産業省「基本情報技術者試験」の受験を希望する学生に、主に午後問題の対策向け講座です。同時に、基本情報技術者として基礎的な素養や知識の習得を目的としています。当試験の合格を目指す学生はもとより、IT（情報処理技術）における開発技術の基礎を学びたい学生が対象です。

「基本情報技術者」の資格はソフトウェア開発技術者、さらにはシステムアナリストなどの上級の情報関連技術者をめざすための登竜門の資格です。情報関連企業に限らず、金融機関、商社に至るまで、就職活動には非常に有利な資格です。

講義の内容・授業スケジュール

前期では主にアルゴリズムを中心にコンピュータサイエンスの基礎とプログラミング（C言語中心）を学習し、後期では主にプログラムの設計技術を学習します。前後期ともに講義に加え、最近過去3年間の午後問題を中心に演習を実施します。またコンピュータを利用したオンラインテストも適時併用します。

【前期】基礎講座（13回）の目安

第1回	ガイダンス		〔講義／演習〕
第2～3回	アルゴリズムとデータ構造	I	〔講義／演習〕
第4～6回	プログラミング能力	I	〔講義／演習〕
第7～8回	アルゴリズムとデータ構造	II	〔講義／演習〕
第9～10回	プログラミング能力	II	〔講義／演習〕
第11～13回	総合演習		〔講義／演習〕

【後期】答案演習講座（13回）の目安

第1～3回	表現能力		〔講義／演習〕
第4～6回	内部設計の基礎的能力		〔講義／演習〕
第7～9回	プログラム設計能力		〔講義／演習〕
第10～13回	総合演習		〔講義／演習〕

（上記スケジュールは状況により変更することがあります）

履修上の留意点

午後問題の対策講座として本年より開講するものです。午後問題はCOBOL、C言語、CASL、JAVA等の言語の内少なくとも1ヶを習得していることが前提です。このため高校等で何らかの言語を経験している学生以外は、「プログラミング論」の単位を取得していることが望ましい。さらに前年度以前の「情報資格特別演習」の単位を取得しているか、または情報処理特別演習Ⅰを同時履修していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験に主に基本情報技術者試験午後の過去の問題から抜粋した模試を実施し、評価します。また講義への出席率も評価の対象となります。

教科書

・コンピュータシステムの基礎 (株)アイテック 4,000円（予想値段）

参考書等

・基本情報技術者試験の過去の午後問題を適時に配布

その他

基本情報技術者試験の合格やITに興味のある人が望ましく、またパソコンを使用した講義があるため、履修制限を行なう場合もあります。

情報資格特別演習Ⅰは、同時履修することが望ましい（「履修上の留意点」参照）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教員試験特別演習	谷敷正光	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/高1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、教員採用試験を目指して努力している人に、教師としての資質・力量の形成と教員試験に必要な基礎学力を育成することを主眼としている。

近年、教員採用試験はより優れた、魅力ある教師を求めて選考試験も多様化・高度化し、筆記試験のみならず、面接、論作文、実技試験その他全般にわたって、さまざまな工夫がなされている。

そこで、本講は「君は、今なぜ教師を目指すのか」「どんな教師になりたいのか」「どんな教育をしたいのか」といった教師をめざすのに不可欠な教育理念の形成をはじめとして、教職教養、一般教養、専門教養の学習方法、面接・論作文演習などの試験対策、模擬授業実践、先輩教師との交流、学校見学、ボランティア活動などさまざまな活動を通して将来の教師としての資質・力量の涵養につとめたい。教職を目指す人ならば学部、学科を問わないので、いっしょに勉強し、教員志望者の夢を叶えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 教育の意義
2. 教師の資質と役割
3. 教員試験の心構えと学習計画
4. 西洋教育史の要点整理と問題演習
5. 日本教育史の要点整理と問題演習
6. 教育法規の要点整理と問題演習
7. 教育心理の要点整理と問題演習
8. 教育原理の要点整理と問題演習
9. 同和教育の要点整理と問題演習
10. 道徳教育の要点整理と問題演習
11. 学習指導要領の要点整理と問題演習
12. 一般教養の取り組み法
13. 専門教養の取り組み法
14. 集団討論の実際（演習）
15. 個人面接の実際（演習）
16. 集団面接の実際（演習）
17. 教育論作文演習
18. 模擬授業の実際（演習）
19. 総合問題演習
20. 学校見学
21. ボランティア活動

履修上の留意点

講義問題演習、討論などさまざまな活動を行うので、出席を重視する。

成績評価の方法

授業中実施する小テスト、討論の内容、小論文などを参考にすが、基本的には真剣さ、真面目さ＝出席状況なども加味して総合的に評価する。

教科書

必要に応じて講義教材としてプリントを配布するので、教科書は使用しない。

参考書等

- ①『教育小六法』（学陽書房、三省堂など）
- ②小学校、中学校、高等学校の学習指導要領

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ（前期）	荒木勝啓	経B1選	2

講義のねらい

Extendを使ったシミュレーションの方法を実習形式で行ないます。今年のテーマは経済統計ソフトの作成です。最小自乗回帰モデル、大検定を実行できるソフトを作ります。

成績評価の方法

出席点。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ (前期)	里中 恆志 <small>さと なか つね し</small>	経B1選	2

講義のねらい

半期 14 回程度のゼミであるから、これから 4 年間卒業まで経済学を学ぶ上で、どうしても理解しておかなければならない基礎的な知識を重点的にいくつか絞って、取り上げる。新聞の経済欄や一般の経済専門誌が読めるようなレベルに到達することをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

限界費用と価格、市場金利と債券価格、実質金利、為替の変動、国民経済計算の概要、バブル崩壊と対策の方向、財政と金融等のテーマを取り上げる。

履修上の留意点

ゼミであるから出席を重視する。

成績評価の方法

期末にノート持ち込みで到達度をはかるための作文を書いてもらう。出席点を考慮する。

教科書

テキストはとくに定めませんが、必要な資料は用意し配布する。

参考書等

指定しない。

その他

学習資料を一問一答方式でチェックし、ゼミ参加者の共通の理解が得られたら先に進む方式をとる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ (前期)	瀬戸岡 紘 <small>せとおか ひろし</small>	経B1選	2

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応した経済、社会、経営などにかんする学習と研究の基礎的能力をやしなうとともに、そうして習得したものを、話す力、書く力を高めることによって、実際にうまく表現できるようにすることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの大学の演習方式をとりいれた演習です。みなさんの学習に有益な材料をふだんに提供し、ゼミ生はそれらを活用し、相互に実践をとおして体得します。前半 2 ヶ月は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのしかた、レジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたの習得が主になります。後半 2 ヶ月では、グローバル化時代の特質と諸問題にかんする書物の検討と討論、そして IT 革命の時代に上手に賢くインターネットとつきあう方法を身につけることが中心になります。すすんで学習したい者には、海外（とりわけアメリカ）の学生とインターネットによる交流の機会を用意します。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。

参考書等

随時、有益な文献を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ（前期）	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	経B1選	2

講義のねらい

私たちの生きる現代社会は、「グローバル化の進展」という言葉に集約されるように、極めて複雑な様相を呈しています。その現代社会の仕組みを分析するに当たり、社会科学の基礎的分野の位置を占める経済学的重要性はますます増しています。この授業では、受講生の皆さんに経済学的思考を身につけてもらうために、最低限必要な経済学の基礎的知識とその学習方法について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

当面は、経済学の基礎知識についての講義を行います。途中から新聞記事や雑誌論文などを題材としたゼミナール形式の授業に移っていきます。その他、今後、皆さん方が経済学の勉強を深めていくに当たって必要となる図書館の利用方法などについても学ぶ予定です。

履修上の留意点

この授業はあくまでも少人数制のゼミナール（ゼミ）形式で進めるのが原則ですので、大いにディスカッション（議論）して頂きます。どんな小さな疑問でも結構ですので、自分の言葉で表現することに努めて下さい。

成績評価の方法

レポートの提出と出席率など平常点を加味して総合的に評価します。

教科書

特に定めません。

参考書等

参考文献については、その都度授業の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ（前期）	みつ おか たく み 光 岡 博 美	経B1選	2

講義のねらい

このゼミでは、新入生の諸君が経済学を本格的に勉強するための基礎的な力を身につけることを目的とします。経済学以外の社会科学もそうですが、特に経済学の勉強は現実の社会で起っているさまざまな社会問題、経済問題に関心を持ち、それらの問題が発生する原因について、あるいはその問題を解決するためにはどうしたらよいかを考えるとところからスタートします。だから、私達はまず狭い意味での経済の問題に限定せず、現代社会のさまざまな社会問題に関心をもつ必要があります。ゼミでの前半の勉強は、新聞や雑誌記事あるいは比較的やさしい経済学の入門書などを読んでいきます。この勉強を通じて、参加者は各人が関心のあるテーマを決めて下さい。後半には、各自の選んだテーマに沿って勉強したことを発表してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミナール形式で行います。

成績評価の方法

出席とゼミでの勉強意欲や努力を総合評価します。

教科書

参加者と相談のうえ決定します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎ゼミ (前期)	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	経B1選	2

講義のねらい

高校までと違って、大学での学習は、自主的であること、答が必ずしも1つとは限らないことから、少なからぬ新生が戸惑いを覚えるようです。確かに、高校までの教育は、広く国民として共有すべき知識、望ましい能力を身につけることが目標とされ、従って、そのために「教科書」が設定され、学習の到達度が測られることとなります。大学では、そうして得られた基礎を前提として学習を進めることとなりますが、近年、この前提を再確認する必要があるという考えが強まってきました。大学での学習に対する準備をそれとして独自に行うことは有効ではないかということです。この授業では、以下の内容で自主的学習への足がかりを提供する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

1. 社会の動きをとらえる。新聞やニュースの意味を知る。
2. 経済学とは何か？
3. 社会科学の考え方に慣れる。
4. 問題設定し調査する。
5. 読んで要約する。
6. 意見をまとめて発表する。

成績評価の方法

授業への参加、課題の処理を評価します。

そ の 他

ゼミナール形式で授業を行うので、学生諸君の自主的学習がなければ何の結果も生まれません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	おおがき かつ お 大 吹 勝 男	経B2選	4

講義のねらい

情報化と現代企業の物流。現在、製造業、商社、卸売業から小売業まで、物流の合理化が叫ばれている。そして「世間」はIT革命とやりにウカレ、ノボせているが、その革命によって、企業間の電子商取引・eコマースだけではなく、消費者と企業間でもeコマースがひろがり、インターネット上での買物が日常化し、消費者のライフスタイルが一変し、また産業活動や産業構造が変化するという。そうなると、従来の商業や物流そしてそこで働く人々にどのような影響を及ぼすのかを研究しなければならない。そこで現代企業の経営戦略において重要性を増している「物流」と「情報経済化」を中心テーマとしながらこれに関連して卸売業、百貨店、スーパー、デスカウント・ストア、一般小売商、総合商社等々の今後の動向についても学習する。卒業時には、学問をした人間として、いかなる困難な問題にあってもきちっと解決することのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。また、次の詩に共感できる学生を歓迎します。

私が両手をひろげても／お空はちっとも飛べないが／飛べる小鳥は私のやうに／地面を速く走れない。

私がからだをゆすっても／きれいな音はでないけど／あの鳴る鈴は私のやうに／たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、／みんなちがって、みんないい。(金子みすゞ作)

学年末のレポートの提出によって成績を評価する。課題研究も併せて開講する。

成績評価の方法

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ひやく た よし はる 百田 義治	経B2選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなテーマに取り組みます。

- ①メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
- ②企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？
- ③いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？
- ④なぜ、企業は海外進出するのか？ 経営が国際化するなかで異文化との共生には何が必要なのか？
- ⑤企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？ などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定。

参考書等

未定。

その他

「課題研究」を行います。「ビジネス・マネジメント」専修課程の認定を行います。専修課程認定のための系統的学習に必要な科目は、経営学総論、経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務管理論演習などです。

企業経営に関心を抱き、学習意欲が旺盛で、演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを継続して履修できる学生の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	いだ やす ゆき 飯 田 泰 之	経B2選	4
演習 II		経B3選	

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度はマクロ経済学を中心に平易なテキストを「自力でまとめ」「報告する」ことを中心に演習を進めていく。発表の際にはレジュメ・Power Point等の使用法、プレゼンテーションの手法など技術的な側面についても時間をかけて指導するつもりである。より説得的な発表を行うためにはテキスト中の図や統計資料を自力で情報収集し複製・発展させる技術が必要である。そのためのExcel等の使用法についてはそのつど講義形式で補完することにした。

履修上の留意点

「経済原論Ⅱミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

本演習は本年度より開講される新しいゼミである。学習の進め方のみならず行事・雰囲気まで、その構築は全て諸君に任されていると言って良い。積極的に「ゼミを作って」いこう！

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	すず き のが え 鈴 木 伸 枝	経B2選	4
演習 II		経B3選	

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

公共経済学のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

その他

ゼミ中は禁煙とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	あまの かつみ 浅野 克巳	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

フレBの演習では『日本経済と産業』をテーマとして以下の内容を検討しよう。
 現在、日本の実質GDPは530兆円である。もし90年代の停滞がなければGDPは一体どれだけになっているのだろうか。「失われた10年」の原因を解明するために、日本経済システムの特徴、あるいは日本企業システム、メインバンク・システムの機能、あるいはコーポレート・ガバナンスの仕組み、さらに企業行動の特徴、あるいは産業組織の実態などを近年著しい発展を遂げている「産業組織の経済理論」を参照しながら、さまざまな統計資料を使ってできる限り現実に則し勉強し、日本経済の再生に向けて21世紀の新たなビジョンを描いてみよう。

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

長岡・平尾『産業組織の経済学』日本評論社、1998年。
 ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』NTT出版、1997年。
 小田切宏之『企業経済学』東洋経済新報社、2000年。

参考書等

内閣府『経済財政白書』。その他の資料については授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	あべひろし 阿部 弘	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

テーマは「市民の経済学」である。
 現在のわたしたちの社会は「市民社会」とあるといわれている。そしてこの社会は「資本主義」をその根幹にもっているものでもある。そこで、この「資本主義」にのっとった「市民社会」はどのようなものなのか、「資本」という「利潤」追求を本質に持つ体制と、「市民」という「自由・平等・博愛」を基盤に持つ人間の在り方との比較を通じて、この問題にアプローチしてみようと思う。特に現在はこの問題がある特定の国のレベルを越えてグローバルな次元で展開していることを考えるとき、わたしたちはこれらの問題に接近していくためには広い視野をもって臨まなくてはならない。

講義の内容・授業スケジュール

「演習」では、現在私たちが生活している資本主義生産社会での比較眼によって「市民社会」の分析をすることを課題とする。参加者は各人の固有のテーマを設定し、12月には各自の研究の発表を行うと共に論文として提出し、機関誌である『アピール』に掲載するものとする。なおこの研究には「課題研究」を付け加える。

履修上の留意点

ゼミナールの行事は「阿部ゼミ」全体で企画・施行するが、そのようなものとしては次のようなものがある：
 ＊春と夏の合宿／ ＊10月のゼミナール対抗ソフトボール大会
 ＊論文発表大会／ ＊その他コンパ等

成績評価の方法

ゼミナールであるから参加者各自の自立した研究発表が評価の基準になるが、論文発表会に参加しないものは単位が取得できない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	いし <small>かわ</small> ゆう <small>じ</small> 石 川 祐 二	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点を、共に養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では、特に管理会計に関わる種々の技法を取り上げることにする。とりわけ、近年の管理会計研究上の議論の中心となっている技法に焦点を当てて、その意味を考えたい。その際、テキストを中心として、レポートとディスカッションを重視して演習を進めていきたい。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書

初回の演習時に指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	いわ <small>なみ</small> ふみ <small>たか</small> 岩 波 文 孝	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

近年の急速な IT 革新の進展や企業活動のグローバル化に伴って、個別企業内の組織改造の再編成のみならず、グローバルな組織戦略が展開されています。ここでは、企業間ネットワークと経営システムをテーマとして、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深めていくことを目指していきます。

講義の内容・授業スケジュール

輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習へ向けて、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営に関する興味・関心を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて指定します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	お お い し ゆ う し 大 石 雄 爾	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

21世紀を迎えた現在、日本経済は今なお90年代から続いた不況を脱け出していない。この深刻で長びく不況は、バブル経済がなぜ生じ、そしてなぜはじけたのか、というナゾを解くことなしには理解できない。このゼミでは、バブル経済とその後の不況局面を研究することとあわせて、日本経済の特質と今後のあり方について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では、森岡孝二他『日本経済の選択』をテキストとして、バブル経済の発生とその崩壊の理由をはじめ、日本経済がかかえる根本問題について学んでいく。また、地球環境の保護、高齢化社会のあり方、日本が多くの国に行なっている開発援助など、特に今日重要となっている問題についても立ち入って学習する。

平常の演習では、主としてテキストを中心に報告と討論を行ないつつ内容の理解につとめ、合宿において現代の興味ある経済問題について検討していく。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、その中には提出を求めた感想文などの評価も含まれる。

教科書

森岡孝二『日本経済の選択』桜井書店

参考書等

大西広他『政治経済学』大月書店

その他

「課題研究」併設。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	お ぐ り た か し 小 栗 崇 資	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

日本の企業会計制度は今、大きな転換期にさしかかっている。グローバル化の影響による会計制度の大改革は会計ビッグバンと呼ばれるが、計算構造の面でもディスクロージャーの面でもこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつある。会計の学習者にとっては、従来のような勉強だけでは変化についていくことができないので大変やっかいであるが、発想を変えれば、現代経済のなかでの会計の役割や仕組みを研究するチャンスである。演習では「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習では、まず企業会計の基礎を理解したうえで、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。経営分析の基礎についてもあわせて学習し応用能力を付けるようにしたい。テキストを中心にディスカッションを重視してすすめるが、一方で、会計は基礎からの技術的積み上げが重要なので、受講者の状況を見て、日商簿記検定2級、3級を取得できるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「課題研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ すぎ しゆう じ 小 杉 修 二	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

本ゼミは地球温暖化問題とその解決策を考える。
 森林伐採や化石燃料の使用によって、地球の温室効果が強まり、今世紀末までに最大で5.8度Cの昇温が起ると予測されているが、これは文明の崩壊を招く可能性をはらんでいると言える。さまざまな異常気象、熱帯の伝染病や害虫の北上、海面上昇、国土の浸食、農業の崩壊等その影響するところは大きい。これらがその他のさまざまな環境問題と合わせて我々を襲うことになる。
 化石燃料の使用は経済活動に不可欠であり、近代文明の基礎であるので、その解決策を考えると、近代文明の見直しを迫ることになるかもしれない。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心にして評価。

教科書

小宮山宏著『地球温暖化問題に答える』（東大出版会、¥1,800）

その他

ビデオを使った授業を併用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ ばやし まさ と 小 林 正 人	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

テーマ：「戦後の日本経済と産業発展」
 戦後の日本経済の変化や動きを深く知るためには、その中での産業の発展や企業活動の内容について詳しく調べる必要があります。しかも現在、日本の経済システムと産業システムは大転換を迫られており、その詳細な分析が欠かせません。このゼミでは、戦後日本経済の歴史や産業発展の要因について調査し、経済発展において大きな役割をした産業や企業、その産業や企業がかかえている課題などを研究します。
 同時に、書籍、新聞、雑誌などの文献資料を集めて読む、報告書を作って発表する、討論やグループ作業に参加するなどの知的作業に取り組みます。また、インターネットによる情報検索、ワープロによる報告書作成にも慣れ、さらに自分のホームページを開設します。下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」にこれまでのゼミの活動が掲載されています。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

講義の内容・授業スケジュール

前期は、一定の文献についてみんなで議論したり、インターネットによる文献検索やワープロによる報告書作成に取り組みます。後期は、一定の文献にもとづいてグループごとの発表や討論に取り組みます。

履修上の留意点

ゼミ生の自発的な発表、発言、調査が基本です。また、ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。

成績評価の方法

ふだんの発表や発言を基本にして評価します。各期末にレポートを求めることもあります。

参考書等

授業中にゼミ生と相談して決めます。「テキストの候補」を、上記のウェブサイトの「ゼミのひろば」に掲載します。

その他

「課題研究」なし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	さいとう 藤 正 齋 藤 正	経B 2 選	4
演 習 II		経B 3 選	
演 習 III		経B 4 選	

講義のねらい

「日本経済の構造改革の方向」をテーマとし、日本の「何を」「どのように」改革すべきなのかを主に新聞・雑誌記事を素材にしながら考えます。

講義の内容・授業スケジュール

世界経済は「大競争時代」といわれる激しい変化の時代がありますが、それは一方では、ソ連・東欧型社会主義の崩壊によって「市場経済化」が急速に拡大したこと、他方では、情報通信技術の発展によって産業構造や経済取引のあり方が大きく変化していることに由来しています。

そうしたなかで、日本経済はバブル経済崩壊後の不況をいまだ克服できておらず、企業のリストラによって勤労者の労働条件（就業機会、賃金、労働時間）がますます厳しくなっています。戦後50年あまりにわたって展開され、世界から「脅威」とも目されてきた「日本的経営」のあり方が、根本的に問われているのです。「6大改革」に代表されるさまざまな改革論議が飛び交うゆえんです。

履修上の留意点

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。そして、議論を通じて諸君が自らの「見解」を獲得することを大いに期待します。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

参 考 書 等

日本経済新聞社『経済新語辞典』：毎年新版が発行されており、新聞記事を理解するために役立ちます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	しみず たかし 清水 卓	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

フレックスAのゼミと全く同じように運営します。当ゼミは、ヨーロッパ経済を中心テーマとしたゼミです。とはいっても、ヨーロッパは大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、各種のブランド品やサッカー、F1への興味やら、欧州連合(EU)の統一通貨ユーロ、スウェーデンの福祉社会など興味はつきません。ですから、3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかり自己表現できるようになることを目指します。

担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などを行います。ゼミの中心は参加者学生の自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場になりたいと思います。

今後数年でEUに参加してくる中・東欧諸国、構成メンバー国数の増加に対応してのEU自体の機構改革、EU憲法制定への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰでは、ヨーロッパ経済とEUについての基礎的文献・資料をじっくりと学びます。自分なりの考えを分かりやすく他のメンバーに伝えられるようになるために、要旨を発表する形式で行います。見学(去年は日本銀行、貨幣博物館)などの行事を行ったり、春と夏には、楽しい合宿をやりませう。

履修上の留意点

大学生の時は大いに遊ぶと言う人も、短い大学生活だから、将来につながるようしっかりと勉強しようという人も、歓迎ですが、私としては、「よく学びよく遊べ」をモットーにしたいと思っています。何事につけ前向きに取り組もうとする姿勢がほしいですね。

それと、昨年から、基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TOEFL、TOEICの資格に挑戦するように呼びかけています。

成績評価の方法

平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

教科書

田中、長部、久保、岩田『現代ヨーロッパ経済』、有斐閣、2,500円

参考書等

参考書は授業で紹介しませう。

その他

「課題研究」併設。
ヨーロッパ経済論 専修過程。
ヨーロッパ経済論、清水演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、理論経済学ⅠA・ⅠB、国際経済論、日本経済論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	代 田 純	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

- 講義のねらい 金融についての研究
- 講義の内容・授業スケジュール 就職活動と両立させて、卒論完成をめざす。
- 履修上の留意点 毎回、出席すること。
- 成績評価の方法 卒業論文の提出、内容で評価する。
- 教科書 特に決めない。
- 参考書等 必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	曾 我 信 孝	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

- 講義のねらい 前期でマーケティングに関する基礎学力を、後期でマーケティング戦略、あるいはその技法の検証能力、さらに自ら製品開発や広告などの企画をするための発想力を身に付けてもらうことを狙いに行っている。
- 講義の内容・授業スケジュール 前期は主に文献講読と議論に中心を置く。夏合宿で受講生個別の研究テーマの検証方法について議論をする。後期はディベート大会向けのためのグループ研究を主体にする。並行して夏合宿の成果をレポートもしくは論文にしてもらう。
- 成績評価の方法 出席状況（合宿参加も含む）、発表要旨（レジュメ）、ゼミ行事への取り組みなどで総合評価する。
- 教科書 春合宿時に決定する。
- 参考書等 必要に応じて紹介する。
- その他 専修課程を認定する『マーケティング戦略論』
[系統学習に必要な科目] 演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、マーケティング、商学関連科目、経営学関連科目、会計学関連科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	たなかひろや 田中浩也	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

講義のねらい

この演習は松井柳平先生の代講であるから、松井先生が演習Iでやってこられたこととの継続性に留意しながら、演習を進めていくつもりであるが、本年度の演習においては、とくに以下の2点について理解を深め、実践することをねらいとした。

- ・デザインとはマーケティングと深く関わりあっており、ブランドイメージや情報伝達の基礎となるものである。
- ・インターネット上に情報を公開することはコミュニケーションの一種でもある。
- ・コンセプトをもってコンテンツを制作し、適切に情報を表現する方法を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

現代においてインターネットはもはや見過ごすことのできないインフラのひとつである。この講義では、インターネット上のWebサイト構築について、デザインやマーケティング・コミュニケーションなどさまざまな観点から解説を加え、ディスカッションしていく。その際、実際の製作実習を通してその基礎的な技術も身につける。デザインとはマーケティングの戦略であり、インターネット上に情報を公開することはコミュニケーションの一種である。また、ビジュアルでグラフィカルな表現技法はIT時代の情報伝達の最も基礎となるもののひとつである。ゼミ生各自の経済・社会への問題関心、問題意識をもとに、広い意味での経済、社会について考えていき、コンセプトをもったデジタルコンテンツの制作を実践してもらおう。この演習では作品製作と自由なディスカッションに多くの時間を割き、インターネットの意味と展望について体験的に学ぶことを目標とする。その際、デザインサーベイや、プレゼンテーションの技法にも触れる予定である。

履修上の留意点

基本的には提出作品を見て授業の内容を理解しているかどうかを判断する。出席日数は補足的に判断に用いる。ただし、この授業ではソフトウェアの操作方法も扱うため、欠席された場合は、その回の内容については各自で自習してもらうことになることをご承知いただきたい。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	経B2選	4
演	習	II		経B3選	
演	習	III		経B4選	

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジア NIES（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行形態的発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

また、夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

教科書

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税

その他

「課題研究」を併設します。

アジア経済論専修課程：系統学習に必要な科目
アジア経済論、演習Ⅱ・Ⅲ、国際経済論、中国経済論、日本経済論、国際金融論、アメリカ経済論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	とく なが とし あき 徳 永 俊 明	経B 2選	4
演習Ⅱ		経B 3選	
演習Ⅲ		経B 4選	

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料を使ってすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「課題研究」としてまとめます。
 〈現代国際経済〉専修課程認定に必要な科目——国際経済論、貿易論、アジア経済論、中国経済論、日本経済論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	とも きつ よし ひこ 友 松 憲 彦	経B 2選	4
演習Ⅱ		経B 3選	
演習Ⅲ		経B 4選	

講義のねらい

この演習は経済史の入門を課題としています。現在経済はどのように生まれ、いかなる特徴や問題を持ち、今後どの方向に変化していくのか、経済史はこうした問題を人類の過去の経済活動の軌跡を研究することによって明らかにする学問です。経済史という学問の課題と方法の理解につとめます。

講義の内容・授業スケジュール

この演習は西洋社会経済史の研究をおこないます。ヨーロッパやアメリカ経済史の基本文献を講読し、経済史の基礎理論や概念について学びます。

また、各自が4年次の課題研究にむけて自由に設定したテーマについて研究を進めていきます。

成績評価の方法

①年度末のリポート②平常点（レジュメ、報告、討論の状態）、③出席で評価。

その他

課題研究を実施。
 社会経済史専修課程
 演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、経済史、西洋経済史、日本経済史、商業史、社会思想史、経済学史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	なか すみ みつ あき 中 濟 光 昭	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

経済を情報の観点から研究していきます。具体的なテーマとしては、インターネットマーケティング、ネットワークを活用した流通システム、サプライチェーンマネジメント、デジタル情報の著作権問題、電子決済があります。コンピュータに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習などをテーマとしています。このゼミでは、パソコンを活用した情報リテラシー向上のための演習を行います。この演習の成果は、社会人には、新たなキャリアに、これから就職する学生には、情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・テーマの決め方、資料の探し方、レポートの書き方・実習、発表の仕方
- ・各自設定したテーマについてレジュメ作成、発表

履修上の留意点

- ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。今、ワープロが出来なくても、身につけたいという意欲のある人は歓迎します。

成績評価の方法

出席と課題提出、中間発表、総合発表とレポートを総合評価します。

教 科 書

別途指示

参 考 書 等

別途指示

そ の 他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。

[情報デザイン論] 専修課程

系統学習に必要な科目 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、情報経済ネットワーク論、基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ、応用情報処理Ⅰ・Ⅱ、コンピュータ会計Ⅰ・Ⅱ、経営情報システム論Ⅰ・Ⅱ、プログラミング論、論理学、科学史、統計学、情報数学、コンピュータ基礎・応用、情報資格特別演習Ⅰ・Ⅱ、経営情報論、情報理論

専修課程を選択する学生への注意・要望 基本情報技術者試験合格を目標に取り組んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ふくはら よし のが 福 原 好 喜	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義の内容・
授業スケジュール

(社会科学方法論研究)

このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の場合では、研究会とともに、午後はテニスカゼミのヨットで操縦訓練を行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。ヨットもテニスも初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。春秋年2回、2・3・4年ゼミ、全メンバーによる駒沢公園一週のマラソン大会とそれに続く合同コンパが恒例行事となっている。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛練に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しかるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎しむこと

履修上の留意点

「課題研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	経B 2選	4
演	習	II		経B 3選	
演	習	III		経B 4選	

講義のねらい

〔アフリカの社会と文化〕
アフリカを知るおもしろさは、混沌とした世界にあるようだ。生活様式一つを取ってみても狩猟採集、遊牧、農耕というように実に多様だ。こうした異質な社会を理解することによって、私たちのものの見方、考え方を問い直す契機となれば得るものは大きい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 次のテーマについて研究発表を行う。
- A 多様な人間社会（ライフスタイル）
1 狩猟採集民 2 牧畜民 3 農耕民 4 都市民
- B 多様な人間関係
1 通過儀礼（大人と子ども） 2 親族（身内とよそ者） 3 経済活動（贈与と交換）
4 宗教と権力（まつりとまつりごと）
- ② 自分の好みに合わせて、アフリカをテーマにしたルポ、エッセイ、評論、童話などを書き、個性的な雑誌をつくる。
- ③ 演習をアクティブなものとするため楽しい企画（アフリカ・フェスティバル、コンサート、映画祭、サッカー大会）にチャレンジする。

成績評価の方法

研究発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

その他

「課題研究」併設
国際地域比較論専修課程
演習 I・II・III〔アフリカの社会と文化〕
国際経済論、貿易論、ヨーロッパ経済論、ロシア・東欧経済論、アジア経済論、中国経済論、アメリカ経済論、日本経済論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	ほり 龍二 <small>りゅうじ</small>	経B 2選	4
演習Ⅱ		経B 3選	
演習Ⅲ		経B 4選	

講義のねらい

労務管理論に関する基本的知識の獲得や問題意識の涵養をねらいとしています。とくに現代日本の労務管理はいま大きく変化してきています。従来の労務管理がどのような特徴と構造をもっていたのか、それがなぜいま、どのような方向へ変化してきているのか。こうした問題を考えるのに有用な知識を修得してもらうのが課題です。

講義の内容・授業スケジュール

適当なテキストを用いながら、それを輪読し、また担当を決めて要旨を報告してもらうといった方法で知識を修得するとともに、ゼミとしての共通の認識を養ってもらう。また、基本的な統計資料の利用といった学習スキルの向上も図っていく。後期にはグループを作り、グループごとにテーマを決め、グループ内での下調べをもとにゼミで報告する方法も予定しています。

履修上の留意点

労務管理論に関する基本的知識の修得が主眼とはいえ、ゼミでの私の説明、他の人の報告、そこでの議論において、理解しにくいと感じたことをうやむやにしないで、質問する姿勢を大切にしてほしい。つまり積極的な発言を期待しています。

成績評価の方法

基本的に日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

教科書

現在検討中で、初回ゼミまでに決定します。

参考書等

ゼミのなかで適宜指示します。

その他

夏休みなどを利用して合宿を行う予定です。なお、本演習では「専修過程」の制度を設けています。名称は「企業労働」です。指定の系統科目は以下の通りです。
労務管理論、経営管理論、経営学史、経営学総論、社会対策、労働法

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計	経B 2選	4
演習Ⅱ		経B 3選	
演習Ⅲ		経B 4選	

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。演習Ⅰでは、問題のイメージ鮮明化、演習Ⅱでは、代表的な見解の学習、演習Ⅲでは、自主研究を重視します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にしてください。“みんな違ってみんないい”でいきましょう。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生の希望を聞いて決定します。

参考書等

必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	もり森 おか岡 じん仁	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

わが国の最新の将来推計人口（2002年1月中位推計）によると、日本の人口は2006年の1億2,774万人をピークに、以後は長期減少過程に入り、半世紀後の2050年には1億60万人にまで減少する。この演習では人口の変化がもつ経済学的意味を研究する。

講義の内容・授業スケジュール

人口の量的変化とそれに伴う年齢構造の変化が経済や社会に与える影響に大きな関心が集まっている。経済成長や社会保障など現代日本経済がもつ課題に人口の側から接近する。

履修上の留意点

無遅刻無欠席

成績評価の方法

平常点。

教科書

未定

参考書等

演習の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	谷 敷 正 光 やしきただみつ	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

テーマ〔日本経済発展史と高度工業化社会の研究〕
2年生の演習は日本経済、日本産業の驚異的成長はいかにして可能だったのか、日本経済の発展過程と経済システムを明らかにしていきたいと思います。

3・4年ゼミは、戦後の日本経済の発展過程と各時期における発展要因と構造的特質を明らかにし、明治以降西欧以外の諸国で日本だけが独立を維持し、高度工業国に脱皮しえたかを解明するとともに、戦後50余年間の日本型経済システムの形成と破綻の過程と要因を基礎文献や学術論文を使って明らかにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

〔2年生前期〕は、戦前・戦後の日本経済発展の理解や事実認識の手助けとして、和田英『富岡日記』、山本茂実『あゝ野麦峠－ある製糸工女哀史』、中村隆英『昭和恐慌と経済政策』、邦光史郎『トヨタ王国』、木下英治『東急王国』などの小説や「あゝ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和史」などの映画、「金融恐慌日本を揺るがす」「乗用車ゼロからの出発」などのビデオを教材として使用して班別課題発表やプレゼンテーションの練習をします。

〔2年生後期〕は、前期に学んだ「題材」にかかわる学術論文を読み進めたり、基礎的文献を教材に日本資本主義の形成期、産業資本確立期、独占資本主義確立期を中心に日本経済の発展過程や経済システムを班別課題発表やプレゼンテーションで明らかにしたいと思います。

〔3・4年生前期〕は戦後の日本経済を中心に、経済復興期、高度成長期、経済構造の転換期、安定成長期、バブル経済期の各推進要因と各段階の構造的特質を明らかにしたいと思います。

〔3・4年生後期〕は、空前の大好況と「経済大国」が破綻し、戦後の日本経済を支えてきた日本型経済システムが破綻していった過程と要因を明らかにします。これらの考察は、班別課題発表、バズセッションを通じて明らかにしたいと思います。

〔授業以外〕にも集中的の研究とゼミ員相互の親睦をはかるために合宿を行います。合宿ではソフトボール、ボーリング大会、旧跡めぐりなども行い、ゼミ員の親睦をはかることにしています。

履修上の留意点

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

出席を基本に、常日頃の発表や論文などで総合評価します。

教科書

山本弘文『近代日本経済史』（有斐閣）〔2年生後期〕
橋本寿朗『戦後の日本経済』（岩波書店）〔3年生〕
佐和隆光『平成不況の政治経済学』（中公新書）〔3年生〕
尾崎ムゲン『日本の教育改革－産業化社会を育てた130年』（中央公論新社）〔4年生〕

参考書等

速水融、宮本又郎『日本経済史（全8巻）』（岩波書店）
『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）

その他

①4年ゼミ生には、「課題研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。
②教育経済研究 専修課程を開設しますので、以下の科目の中から5科目履修して下さい。卒業時には「専修課程」修了を認定し「専修課程修了認定証」を授与します。

系統学習に必要な科目は、

演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 教育経済論 日本経済論 日本経済史 近代経済学
国民所得論 経済政策 財政政策 社会政策 労働経済論 人口論
マーケティング 商業史 中小企業論 景気循環論の中から選択履修

③専修課程を選択する学生への注意・要望

専修課程を選択履修しても、演習だけの履修でもかまいません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	やすもと 安元稔	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

今年度の演習は、2・3・4年生合同の演習となります。初めて経済史を勉強する諸君もいるでしょうから、まず「経済史」という学問領域の特色・経済史的なものの見方・経済史の面白さを知ってもらうことを第一の目標にします。次いで、具体的な経済史の分析の例として、文献を選び、それを皆で読みます。

講義の内容・授業スケジュール

報告者を予め決めておきます。それぞれの報告者には、担当箇所の要約・疑問点・興味を持った点などを発表してもらいます。大体、一年で2冊の文献を読む予定です。また、文献検索の方法、史料の読み方についても勉強します。

履修上の留意点

可能であれば、「経済史」の講義も履修して下さい。4年生に関しては、自分の興味を持った問題について、ゼミ論として、まとめることを望みます。なじみのない用語・概念が出てきた場合には、億劫がらずに、図書館で調べる習慣を身につけて下さい。

成績評価の方法

日常の勉学態度・出席状況・報告の内容を見て評価します。

教科書

E.L. ジョーンズ著『ヨーロッパの奇跡』（名古屋大学出版会）

参考書等

適宜、関連した文献（図書館所蔵）を指示します。

その他

4年生については課題研究を認めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	やまがたひろし 山縣弘志	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

比較経済論

講義の内容・授業スケジュール

テクノロジーの発展が生み出すヴァーチュアリティと現実（リアリティ）とのギャップをいかに埋めるか、わたしたちの知恵が問われている。20世紀に顕在化してはまだ未解決の課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。

2年次生は入門の文献、3年次生は専門の文献、4年次生は自主研究のそれぞれ発表によって授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を総合評価する。

教科書

相談の上決める。

その他

非喫煙者が望ましい。

「課題研究」有。

〔比較経済論〕専修課程

系統学習に必要な科目 ロシア・東欧経済論 ヨーロッパ経済論 アジア経済論 日本経済論 国際経済論 アメリカ経済論 貿易論 中国経済論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

この演習は現代日本経済分析を基本課題としています。
バブル崩壊後の日本経済は長期にわたって深刻な不況に喘いでいます。90年代の世紀末大不況は単純な循環性の不況ではなく、日本経済の構造とりわけ日本型生産システムの抜本的再編成に基礎を置く「構造転換不況」として把握する必要があります。そこで本演習では、21世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。
また、以上の内容の共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観（ものの見方・考え方）を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。

履修上の留意点

- ①ゼミ活動（報告やイベント、コンパなど）に積極的に参加し、各種の役割分担を主体的に引き受けること。
- ②無断欠席・遅刻は厳禁。
- ③演習での議論にアクティブに関与すること（ゼミは講義の延長ではなく、ゼミ生が中心となり運営するもの）。

成績評価の方法

出席状況、平常点（レジュメ、報告内容、討論への参加度など）およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書

最初の演習の時間に指示します。

参考書等

演習を進める中で適宜に紹介します。

その他

演習Ⅲでは「課題研究」を併設する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	経B3選	4
演習Ⅲ		経B4選	

講義の内容・授業スケジュール

『情報化』と現代企業の『物流』をテーマとして学習しますが、とくに、現代日本企業の『物流』についての研究を深めることを課題として、物流の合理化が、価格及び企業利益への影響は勿論のことですが、特に、労働者・サラリーマンへの影響つまりは消費者に与える影響等々について研究をすすめたいたいとおもいます。

成績評価の方法

学年末のレポートの提出によって成績を評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅱ	ばん ぼ ひろ ゆき 番 場 博 之	経B 3選	4
演 習 Ⅲ		経B 4選	

講義のねらい

ゼミでは流通政策を中心に流通分野（流通論、マーケティング、中小企業論等）についての研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な内容は開講時に相談して決める。

履修上の留意点

第1回目のゼミ時に名簿、資料等を作成するので必ず出席すること。なお、第1回目に欠席の者は原則としてその後のゼミへの参加を認めない。基本的に無断欠席は認めない。

成績評価の方法

演習の成績評価は出席状況、ゼミへの貢献度、研究状況等を合わせて総合的に行うが、課題研究の成績評価は提出された論文の内容に限定して行う。

そ の 他

開講までに質問等のある方は、h2banba@cuc.ac.jp まで。できるだけ、以下のホームページを見ておくこと。www.cuc.ac.jp/h2banba/（検索サイトで、「番場研究室」で検索可能）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅱ	ひやく た よし はる 百 田 義 治	経B 3選	4
演 習 Ⅲ		経B 4選	

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなテーマに取り組みます。

- ①メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
- ②企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？
- ③いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？
- ④なぜ、企業は海外進出するのか？ 経営が国際化するなかで異文化との共生には何が必要なのか？
- ⑤企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？ などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教 科 書

未定。

参 考 書 等

未定。

そ の 他

「課題研究」を行います。「ビジネス・マネジメント」専修課程の認定を行います。専修課程認定のための系統的学習に必要な科目は、経営学総論、経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務管理論演習などです。

企業経営に関心を抱き、学習意欲が旺盛で、演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを継続して履修できる学生の参加を希望します。

Ⅲ 他学部履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

国際紛争解決法	〈王 志 安〉	667
法 思想史	〈河 見 誠〉	668
日 本 法 制 史	〈 休 講 〉		
西 洋 法 制 史	〈北 野 かほる〉	669
国 際 関 係 論	〈南 山 淳〉	670
地 方 自 治 法	〈富 井 幸 雄〉	671
倒 産 処 理 法	〈雨 宮 眞 也〉	671
アメリカ経営学	〈宮 城 徹〉	672
経 営 組 織 論	〈日 野 健 太〉	673
中 国 禪 宗 史	〈須 山 長 治〉	674
日 本 禪 宗 史	〈石 井 公 成〉	674
イ ン ド 仏 教 史	〈池 田 道 浩〉	675
日 本 仏 教 史	〈袴 谷 憲 昭〉	675
日 書 道	〈那 須 隆 吉〉	676
仏 教 と 文 化	〈奥 野 光 賢〉	676

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おうしあん 王 志 安	経A・商・経B	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）、東信堂、2002、2000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	かわみ まこと 河 見 誠	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀的枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、基本的には近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想(ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス)、
中世ローマ・キリスト教の法思想(キケロ、アウグスティヌス、トマス・アキナス)
近代：自然権・社会契約論(ホッブス、ロック、ルソー)、ドイツ観念論(カント、ヘーゲル)
近代から現代へ：社会主義法思想(マルクス)、新カント派法哲学(ケルゼン、ラートブルフ)、新しい自然法論(コーイング、カウフマン、フィニス)、現代の法思想状況について

履修上の留意点

レジュメと参考資料を配布し、それらに基づいて授業を進めていく。参考資料については授業中に配布するが、レジュメについてはKOMSY上の河見のURLから、各自、印刷して持ってくること (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kawami/>)。

成績評価の方法

定期試験(後期終了後1回)を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課すかもしれない。

教科書

特に指定しないが、参考書に挙げた2冊は教科書に準じたものとして、しばしば引用する。

参考書等

田中成明他『法思想史(第2版)』(有斐閣Sシリーズ、1997年)1700円。
三島淑臣『法思想史(新版)』(青林書院、1993年)5000円
その他、随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋法制史	またの北野かほる	経A・商・経B	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	みなみ やま あつし 南 山 淳	経A・商・経B	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による秩序の崩壊と新たな秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバル化の拡大、アメリカ同時多発テロ事件に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念的な理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題など、現代国際関係の諸問題をとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験等により評価する。

教科書

進藤榮一 著『現代国際関係学』（有斐閣）
松岡 完 著『20世紀の国際政治』（同文館）

参考書等

文献リストを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い めき お 富井 幸雄	経A・商・経B	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房) 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	あめ みや まさ や 雨宮 眞也	経A・商・経B	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。

法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するかの学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教科書

倒産処理法の分野は、最近めまぐるしい改正が行われ、各種教科書の改定作業が進められているので、開講時に指定する。

参考書等

同様に開講時に指定する。

その他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式をとり入れることもある。

履修科目部

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやき 城 徹	経A・商・経B	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。なお、この授業回数は一応の日安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2003年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル－エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
 - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
 - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
 - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
 - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
 - 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
 - 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
 - 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997）
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 組 織 論	ひのけんた 日野健太	経A・商・経B	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。ここでは、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) グループダイナミクス
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織におけるパワーとコンフリクト
- (6) 組織の環境適応
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) イノベーションと組織変革
- (10) まとめ

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

学期末2回の定期テストのウエイト80% 小テスト等のウエイト20%
講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、基本的に成績評価には加味しない。

教 科 書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参 考 書 等

高橋・山口・磯山・文『経営組織論の基礎』（中央経済社）
桑田・田尾『組織論』（有斐閣）

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	須山長治	経A・経B 12以降入学生/商	4

講義のねらい

『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の屈かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察して行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅は時代とともにどういう問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とはなにかを考えて行きたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

『碧巖録』(岩波文庫)、『雪竇頌古』(禅の語録シリーズ)

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	石井公成	経A・経B 12以降入学生/商	4

講義のねらい

禅宗以外の禅の日本への伝来、禅宗の伝来に始まり、道元禅師・瑩山禅師を経て現代に至る日本の禅宗の歴史を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

時代別に概観してゆくが、重要な問題については、時代別にこだわらずに検討する。

履修上の留意点

漢文・古文の訓練をかねる。最初はまったくできなくても良いが、わかりやすく指導してゆくと、漢文・古文の力を少しでもつけようとする姿勢が望まれる。

成績評価の方法

年度末の試験によって判定するが、質問したり発表を譚とするなど、授業に積極的に関わっていた者については、特に考慮する。

教科書

コピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教史	池田道浩	経A・経B 12以降入学生/商	4

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）
平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	袴谷憲昭	経A・経B 12以降入学生/商	4

講義のねらい

下記の教科書により、日本仏教史を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ教科書の順序に従って進行する予定であるが、切れ目切れ目でプリントを配布して、文献の読解を促すかわら、講義内容の確認を行う。因みに、今念頭にある講義プランは、必ずしも全て実行するというわけではないが、ほぼ以下のとおりである。

- 序 仏教伝来以前の思想
- 1 古代宗教の解釈 2 日本古来の宗教
- 第1章 中国朝鮮の文化と仏教の受容
- 1 大陸仏教の意味 2 仏教伝来と影響 3 聖徳太子と仏教 4 作善主義と仏教
- 第2章 仏教の確立と南都六宗の教義
- 1 仏教思想と学問 2 三論宗と成実宗 3 法相宗と俱舍宗 4 華嚴宗と律宗と
- 第3章 平安二宗の教義と仏教の展開
- 1 国家体制と仏教 2 天台宗教義概観 3 真言宗教義概観 4 浄土教と諸思想
- 第4章 中世社会の展開と仏教の変様
- 1 権門体制と仏教 2 法然と浄土思想 3 親鸞道元日蓮と 4 本迹思想と神道
- 第5章 近世と近代の体制的仏教思想
- 1 キリスト教伝来 2 寺檀制度の確立 3 排仏毀釈と仏教 4 近代科学と仏教
- 結 現代社会と仏教
- 1 現代思想と仏教 2 現代と批判仏教

履修上の留意点

単に講義を聞くだけではなく、配布されたプリントを中心とした文献の読解を自らに課さんとする事が望まれる。

成績評価の方法

学年末にレポートを課して評価したいと考えているが、状況しだいで変更もありうる。

教科書

末木文美士『日本仏教史——思想史としてのアプローチ——』（新潮文庫）560円

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道	那須隆吉	経A・経B 12以降入学生/商	4

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- ・書の基本的知識(書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、写経、書論等)について理解を深める。
- ・中国日本の書道史(文字の歴史)を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。(墨汁は使用不可。硯、筆は常に洗っておく。)

成績評価の方法

出席点、平常点(遅刻等)、清書、レポート等による。

教科書

『書の世界』(中教出版)約1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と文化	奥野光賢	経A・経B 12以降入学生/商	4

講義のねらい

日常生活において何気なく使われている言葉の中から、仏教に関わるものを毎回取り上げて、その言葉の持つ本来の意味、語義の変遷等を考察することによって、「仏教と文化」の問題を考えてみたい。その際、教理史・仏教史に対する知識は必要不可欠になるので、講義は必然的に教理史・仏教史を再度確認しながら進めることになるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、上記に記したねらいにしたがって毎回ある「仏教語」を取り上げて講義形式で授業を進める。後期は、「仏教語」だけでなく日常行なわれている「仏教行事」等にも眼を向けて授業を進める予定である。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

特に指定せず、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

授業は講義形式とする。